

# 市政概要

## 2023

鶴岡市議会事務局

# 鶴岡市民憲章

出羽の山なみと日本海に抱かれ、歴史と文化を築いてきた、  
いのち輝くまち鶴岡。

わたくしたちは、このふるさとを愛し、力を合わせて、  
希望に満ちた未来をひらきます。

自然を尊び、環境をととのえ、美しいまちにしましょう。

心も体も健やかに、命はぐくむまちにしましょう。

認め合い、助け合って、笑顔あふれるまちにしましょう。



働くことを喜び、生き生きとした豊かなまちにしましょう。

進んで学び、共に語り、創意わき出るまちにしましょう。

平成18年10月1日制定



市章

この市章は、が出羽三山・山形県の「山」、  
が鶴岡の「鶴」、全体をもって鶴岡の「岡」  
を形づくり、鶴岡市の飛躍発展を表現している。

(平成17年10月1日制定)

### 市の木「ブナ」

出羽三山から朝日連峰に至るブナの広葉原生林の樹海は、広大な山麓（さんろく）から山腹にかけてはい上がり、山脈の力強いうねりをくまなく覆い、空気と水を浄化し、豊かな自然の恵みを与えるまさに生命の源そのものである。樹皮の硬い灰白色は、風雪に耐えるたくましい生命力を感じさせる。

### 市の花「さくら」

春一斉に市内各地に花開くさくらの花は、厳しい冬を耐え、希望に満ちあふれる市民の喜びそのものといえる。鶴岡公園、赤川堤、大山公園、松ヶ岡、蝦夷館公園、馬渡の土手、温海川河畔などいずれも桜の名所として市民に愛されており、特に鶴岡公園のさくらは、日本のさくらの名所100選のひとつとなっている。

### 推奨木・推奨花

合併前の旧市町村で制定されていた市町村の木、市町村の花については、それぞれの地域で身近なものとして、長年、大事にされてきた経過もあり、「市の木」・「市の花」に準ずるものとして、新鶴岡市においても「推奨木」・「推奨花」と位置付け、これまでと同様に大事に扱っていくものである。

推奨木	けやき（旧鶴岡市・旧藤島町）、庄内柿（旧鶴岡市・旧櫛引町）、五葉松（旧藤島町）、杉（旧羽黒町・旧温海町）
推奨花	藤の花（旧藤島町）、ミズバショウ（旧羽黒町）、サルビア（旧櫛引町）、カタクリ（旧朝日村）、マルバシャリンバイ（旧温海町）

(平成18年10月1日制定)

### 市の魚「クロダイ」

江戸時代、庄内藩主は武士の心身鍛錬のため磯釣りを奨励してきた。日本海の荒波にもまれ、時間をかけて強くたくましく成長していくクロダイの姿は、鶴岡人の質実剛健な気質を表し、庄内藩時代から現代に脈々と受け継がれる歴史、文化の象徴といえる。

(平成27年8月24日制定)

# 鶴岡市民歌

♩=112



## 鶴岡市民歌

作詞 保岡 直樹  
作曲 新実 徳英

一 出羽の山脈 織りなす緑

そめて希望の 陽が昇る

水は大地を うるおして

稲穂がそよぐ 庄内平野

豊かな恵み 受けついで

いのち輝く 鶴岡市

二 深い歴史に 息づく文化

こころ育み 学びあう

かおる桜も 誇らしく

笑顔がつどう 城下町

みなぎる力 寄せあって

くらし高める 鶴岡市

三 広く世界を 見わたす瞳

夢をつないで 幸を呼ぶ

光り波うつ 日本海

虹をかけよう 空はるか

新たな息吹 わき起こし

明日へはばたく 鶴岡市

(平成29年10月1日制定)

# 目次

## 市勢

沿革	1
地勢等	2
人口・世帯	3
就業者	6
高校卒業者の就職状況	7
事業所	8
総生産等	9
市制施行以来の主なできごと	10
名誉市民等	13
兄弟・姉妹・友好都市等	16

## 議会

定数・構成	19
歴代議長・副議長	21
委員会	21
審議等の状況	22
議員報酬・議員活動費	23
議会事務局	24

## 総務

総合計画	25
広域行政	27
市有財産	30
財政	30
市税	34
行政機構・人事	35
歴代三役	38
報酬・給与	38
広報・広聴	40
電算機の利用	41
東京事務所（鶴岡江戸屋敷）	45
出羽庄内国際村	47

## 市民

住民自治組織と行政連絡体制	50
コミュニティ行政	51
防災	58
交通安全	63
総合相談室	64
消費生活相談	64
住居表示	65
住民記録	66
清掃	68
公害	70
斎場	71
墓園	72

## 健康福祉

国民年金	73
保険	74
保健事業	78
死因別死亡者数	84

救急医療	85
医療施設・保健医療従事者数	86
国民健康保険直営診療所	87
高齢者福祉	88
障害（児）者福祉	93
母子・父子・寡婦福祉	97
児童福祉	98
生活保護	103
災害一時援護	104
中国残留邦人等支援給付	104
民生委員児童委員	104
その他の福祉資金制度	105
<b>病院</b>	
市立荘内病院の概要	106
市立荘内看護専門学校	111
市立湯田川温泉リハビリテーション病院の概要	112
<b>商工・観光</b>	
商工業	113
商業	113
工業	117
観光	124
<b>農林水産業</b>	
農業委員会	137
農業	138
林業	146
水産業	148
<b>建設</b>	
都市計画	150
都市再開発事業	162
住宅	164
道路・橋梁	165
<b>上下水道</b>	
水道事業	167
下水道事業	170
<b>消防</b>	173
<b>教育・文化</b>	
学校教育	176
鶴岡市教育研修所	180
鶴岡市教育相談センター	180
鶴岡市青少年育成センター	180
社会教育行政	181
図書館	191
スポーツ	193
学校給食	197
<b>市の主な施設</b>	199

# 市 勢

## ■ 沿 革

山形県の庄内平野は、源を異にする最上川と赤川の流れることによって生まれ、北に秀峰鳥海山、東に出羽三山（羽黒山、月山、湯殿山）、南は朝日連峰の山々に囲まれ、日本海に面した西側には大砂丘が広がる、日本有数の穀倉地帯である。

当地方に人類が住みついたのは、遠く旧石器時代・縄文時代にさかのぼり、南部の丘陵・山麓地帯には、その当時の狩猟生活の遺跡が点在している。古墳時代になると、平野部の低湿地にも人々が住みつき、豪族の支配を受けながら米づくりの生活を始めるようになる。

平安時代の末期、この地方には大泉荘という荘園が置かれる。「義経記」に「大泉荘大梵寺を通せ給ふ」という記述があるが、「大梵寺」は後に「大宝寺」と呼ばれるようになり、大泉荘の中心となっていく。

鎌倉時代のはじめ、武藤氏が大泉荘の地頭として支配し、以来、中世を通じて地方の中心として栄えたが、天文年間（1530年代）、武藤氏は戦乱の中に要害を求めて尾浦城（現在の大山）に居を構える。また、中世期より羽黒山は当地における一大勢力を成していたが、武藤氏は羽黒山の別当という立場を兼ね、黒川能を厚く庇護したといわれている。

武藤氏の滅亡後、庄内は越後上杉氏の支配するところとなり、天正19年（1591年）上杉氏の武将直江兼続によって大宝寺城が政治の拠点として整備される。その後、関ヶ原の戦いの結果、山形城主最上義光が慶長6年（1601年）庄内を治めることとなり、義光は大宝寺城を隠居の城として整備し、慶長8年には、その名を鶴ヶ岡城と改めた。

江戸時代に入り、元和8年（1622年）最上氏が領地を没収され、代わって譜代大名の酒井忠勝が庄内藩14万石の領主として入国、鶴岡を居城として城下町を整備し、現在の鶴岡の基礎を築いた。庄内藩には飽海郡と田川郡があり、これを行政上、川北三郷と川南五通に区分するが、現在の鶴岡市は中川通、櫛引通、京田通、山浜通に含まれている。庄内藩は、その後、約250年にわたり酒井氏より治められることになり、明治維新を迎える。

明治2年（1869年）、酒井氏は版籍を奉還、庄内藩は大泉藩と改称された。同4年の廃藩置県により大泉県となり、次いで酒田県、鶴岡県を経て、同9年8月に山形県、置賜県と合併し、現在の山形県に属することとなり、同11年（1878年）に郡区町村編成法により田川郡が東西の両郡に分かれ、西田川郡役所は鶴岡に、東田川郡役所は藤島に置かれた。

明治22年（1889年）4月の町村制の施行により、西田川郡は1町16村、東田川郡は26村に制定されるが、その後、昭和28年（1953年）10月の町村合併法の施行を経て、昭和43年より庄内南部は1市7町1村の行政区分となる。それから30年以上が過ぎ、平成の大合併により、鶴岡市、藤島町、羽黒町、櫛引町、朝日村、温海町が合併し、平成17年10月1日に新鶴岡市が発足した。

新市の人口は約13万人で県内では2番目、面積は1,311.53平方キロメートルで東北では一番広い市となった。平成21年1月に第1次総合計画を策定し、まちづくりに努めてきた。

平成31年3月には、第2次総合計画を策定し、「ほんとうの豊かさを追求するみんなが暮らしやすい創造と伝統のまち鶴岡」をめざす都市像に掲げたまちづくりを推進している。

## ■ 地 勢 等

### 1 位 置

面 積	位 置		海 抜	広 ぼ う	
	東 経	北 緯		東 西	南 北
1,311.51km <sup>2</sup>	139° 50′	38° 44′	15m	43.1km	56.4km

### 2 気 象

(単位：℃・mm)

		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
気 温	最 高	37.9	38.7	38.2	37.3	35.3
	最 低	-11.6	-3.3	-4.3	-6.1	-6.6
	平 均	13.4	13.8	13.9	13.5	13.3
年 間 降 水 量		2,448.5	1,814.5	2,332.0	2,345.5	2,396.0

資料：気象庁

### 3 地目別面積 (1月1日現在)

(単位：km<sup>2</sup>・%)

	実 数					構 成 比				
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
田	163.7	164.65	164.59	164.41	164.29	12.48	12.55	12.55	12.54	12.53
畑	35.66	35.65	35.63	35.32	35.23	2.72	2.72	2.72	2.69	2.68
山林	800.32	797.74	788.63	757.38	757.17	61.02	60.83	60.13	57.75	57.73
宅地	32.05	32.17	32.21	32.32	32.35	2.44	2.45	2.45	2.47	2.47
原野	34.69	34.71	34.72	34.79	35.00	2.65	2.65	2.65	2.65	2.67
雑種地	147.86	146.14	145.5	136.42	136.35	11.27	11.14	11.09	10.4	10.4
その他	97.25	100.47	110.25	150.87	151.12	7.42	7.66	8.41	11.5	11.52
合計	1311.53	1311.53	1311.53	1311.51	1311.51	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00



# ■ 人 口 ・ 世 帯

## 1 年次別推移

(単位：世帯・人)

	世帯数	人 口			人口密度	備 考
		男	女	計		
昭和5. 10. 1	22,523	65,447	70,885	136,332	104.0	
昭和10. 10. 1	23,716	67,947	73,732	141,679	108.0	
昭和15. 10. 1	24,454	67,928	74,222	142,150	108.4	
昭和22. 10. 1	30,222	79,337	88,886	168,223	128.3	
昭和25. 10. 1	30,666	82,385	90,082	172,467	131.5	
昭和30. 10. 1	31,844	85,248	92,611	177,859	135.6	町村合併
昭和35. 10. 1	33,376	78,071	89,739	167,810	128.0	
昭和40. 10. 1	34,748	74,798	84,764	159,562	121.7	
昭和45. 10. 1	36,051	71,955	81,218	153,173	116.8	
昭和50. 10. 1	37,565	71,392	78,956	150,348	114.6	
昭和55. 10. 1	39,389	73,338	79,992	153,330	116.9	
昭和60. 10. 1	39,865	72,712	79,924	152,636	116.4	
平成2. 10. 1	40,889	71,678	79,162	150,840	115.0	
平成7. 10. 1	42,660	71,121	78,388	149,509	114.0	
平成12. 10. 1	44,382	70,457	77,089	147,546	112.5	
平成17. 10. 1	45,493	67,676	74,708	142,384	108.6	市町村合併
平成22. 10. 1	45,514	64,846	71,777	136,623	104.2	
平成27. 10. 1	45,339	61,761	67,891	129,652	98.9	
令和2. 10. 1	45,666	58,626	63,721	122,347	93.3	

資料：国勢調査・山形県の人口と世帯数

## 2 人 口 動 態

(単位：世帯・人)

	自 然 動 態			社 会 動 態			増減
	出生	死亡	増減	転入	転出	増減	
平成16年	1,112	1,666	△ 554	3,302	3,660	△ 358	△ 912
平成17年	1,073	1,629	△ 556	3,308	3,800	△ 492	△ 1,048
平成18年	1,135	1,603	△ 468	3,405	3,817	△ 412	△ 880
平成19年	1,053	1,570	△ 517	3,115	3,858	△ 743	△ 1,260
平成20年	1,047	1,769	△ 722	2,932	3,593	△ 661	△ 1,383
平成21年	1,009	1,759	△ 750	3,344	3,630	△ 286	△ 1,036
平成22年	1,008	1,745	△ 737	2,836	3,389	△ 553	△ 1,290
平成23年	1,014	1,889	△ 875	2,833	3,207	△ 374	△ 1,249
平成24年	937	1,743	△ 806	2,807	3,135	△ 328	△ 1,134
平成25年	908	1,854	△ 946	2,714	3,473	△ 759	△ 1,705
平成26年	892	1,794	△ 902	2,636	3,258	△ 622	△ 1,524
平成27年	901	1,856	△ 955	2,709	3,126	△ 417	△ 1,372
平成28年	968	1,838	△ 870	2,665	3,207	△ 542	△ 1,412
平成29年	746	1,946	△ 1,200	2,650	3,109	△ 459	△ 1,659
平成30年	757	1,805	△ 1,048	2,558	2,925	△ 367	△ 1,415
令和元年	713	1,917	△ 1,204	2,615	3,058	△ 443	△ 1,647
令和2年	711	1,779	△ 1,068	2,491	2,829	△ 338	△ 1,406
令和3年	672	1,926	△ 1,254	2,398	2,913	△ 515	△ 1,769
令和4年	649	2,065	△ 1,416	2,634	3,001	△ 367	△ 1,783

※各年、前年10月1日から当年9月30日までの数値

資料：山形県の人口と世帯数

社会動態人口は、市内各地域相互の流入流出を控除して算出している。

### 3 年齢階層別人口

(単位：人・%)

	実 数					構 成 比				
	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
15 歳 未 満	22,446	19,698	17,527	15,347	13,441	15.2	13.8	12.8	12.1	11.0
15 ～ 64 歳	90,011	84,922	79,640	72,430	65,098	61.0	59.7	58.3	57.2	53.2
15 ～ 24 歳	15,094	13,197	11,382	10,252	9,243	10.2	9.3	8.3	8.1	7.6
25 ～ 34 歳	16,042	15,698	13,498	11,488	9,800	10.9	11.0	9.9	9.1	8.0
35 ～ 44 歳	17,979	16,056	15,834	15,435	13,545	12.2	11.3	11.6	12.2	11.1
45 ～ 54 歳	22,241	20,130	17,526	15,694	15,509	15.1	14.2	12.8	12.4	12.7
55 ～ 64 歳	18,655	19,841	21,400	19,561	17,001	12.6	13.9	15.7	15.4	13.9
65 歳 以 上	35,020	37,630	39,222	41,303	43,003	23.7	26.5	28.7	32.6	35.1
65 ～ 69 歳	10,317	9,277	8,666	10,364	10,164	7.0	6.5	6.3	8.2	8.3
70 ～ 79 歳	16,741	18,312	17,462	16,103	17,227	11.3	12.9	12.8	12.7	14.1
80 歳 以 上	7,962	10,041	13,094	14,836	15,612	5.4	7.1	9.6	11.7	12.8
年 齢 不 詳	69	134	234	572	805	0.05	0.1	0.2	0.5	0.7

資料：国勢調査

### 4 学区・地区別人口

(単位：世帯・人)

地 区	平成27年国勢調査					令和2年国勢調査			
	世帯数	人 口			世帯数	人 口			
		総数	男	女		総数	男	女	
総 数	45,339	129,652	61,761	67,891	45,666	122,347	58,626	63,721	
鶴 岡 地 域	34,307	91,818	43,863	47,955	34,862	87,894	42,151	45,743	
第1学区	4,031	10,479	4,915	5,561	4,122	10,105	4,736	5,369	
第2学区	3,065	7,460	3,594	3,866	3,133	7,062	3,388	3,674	
第3学区	5,838	13,403	6,454	6,949	5,872	12,974	6,279	6,695	
第4学区	3,690	9,294	4,418	4,876	3,769	9,121	4,329	4,792	
第5学区	3,773	8,781	4,262	4,519	3,940	8,603	4,252	4,351	
第6学区	4,712	11,826	5,617	6,209	4,807	11,439	5,491	5,948	
斎地区	665	2,102	971	1,131	696	2,068	979	1,089	
黄金地区	500	1,959	900	1,059	493	1,798	816	982	
湯田川地区	333	1,141	530	611	314	961	446	515	
大泉地区	1,147	4,197	2,211	1,986	1,190	4,177	2,177	2,000	
京田地区	540	1,725	863	862	625	1,816	898	918	
栄地区	243	927	430	497	245	851	399	452	
田川地区	256	874	417	457	242	788	366	422	
上郷地区	635	2,222	1,033	1,189	624	2,051	956	1,095	
豊浦地区	1,061	3,186	1,500	1,686	1,014	2,837	1,332	1,505	
加茂地区	423	1,142	544	598	392	956	465	491	
湯野浜地区	452	1,290	578	712	425	1,135	521	614	
大山地区	2,072	6,639	3,064	3,575	2,085	6,277	2,913	3,364	
西郷地区	871	3,174	1,562	1,612	874	2,875	1,408	1,467	
藤 島 地 域	2,926	10,216	4,851	5,820	2,905	9,472	4,505	4,967	
藤島地区	1,489	4,910	2,311	2,780	1,504	4,650	2,206	2,444	
東栄地区	481	1,748	829	1,046	470	1,578	750	828	
八栄島地区	248	929	434	521	243	861	396	465	
長沼地区	300	1,093	528	634	287	996	474	522	
渡前地区	408	1,536	749	839	401	1,387	679	708	

地 区	平成27年国勢調査				令和2年国勢調査			
	世帯数	人 口			世帯数	人 口		
		総数	男	女		総数	男	女
<b>羽 黒 地 域</b>	<b>2,287</b>	<b>8,529</b>	<b>4,037</b>	<b>4,492</b>	<b>2,297</b>	<b>7,912</b>	<b>3,811</b>	<b>4,101</b>
泉地区	975	3,615	1,743	1,872	962	3,323	1,625	1,698
広瀬地区	939	3,494	1,610	1,884	966	3,292	1,538	1,754
手向地区	391	1,420	684	736	369	1,297	648	649
<b>櫛 引 地 域</b>	<b>1,979</b>	<b>7,244</b>	<b>3,460</b>	<b>3,784</b>	<b>2,000</b>	<b>6,872</b>	<b>3,273</b>	<b>3,599</b>
山添地区	1,306	4,655	2,208	2,447	1,355	4,623	2,204	2,419
黒川地区	673	2,589	1,252	1,337	645	2,249	1,069	1,180
<b>朝 日 地 域</b>	<b>1,190</b>	<b>4,295</b>	<b>2,046</b>	<b>2,249</b>	<b>1,118</b>	<b>3,704</b>	<b>1,797</b>	<b>1,907</b>
大鳥地区	40	74	38	36	37	62	33	29
朝日大泉地区	146	491	244	247	144	402	208	194
大針地区	78	268	137	131	74	231	125	106
本郷地区	218	769	372	397	200	652	325	327
名川地区	250	830	381	449	233	736	348	388
熊出地区	156	728	325	403	147	662	289	373
大網地区	96	360	173	187	87	274	135	139
東岩本地区	206	775	376	399	196	685	334	351
<b>温 海 地 域</b>	<b>2,650</b>	<b>7,550</b>	<b>3,504</b>	<b>4,046</b>	<b>2,484</b>	<b>6,493</b>	<b>3,089</b>	<b>3,404</b>
第一地区	398	1,200	552	648	384	1,023	483	540
第二地区	1,192	3,237	1,500	1,737	1,123	2,822	1,350	1,472
第三地区	260	823	399	424	231	664	321	343
第四地区	800	2,290	1,053	1,237	746	1,984	935	1,049

資料：国勢調査

## 5 人口集中地区

(単位：世帯・人・km<sup>2</sup>)

	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
世 帯	22,249	22,415	23,420	23,695	24,026	25,002
人 口	64,354	60,821	60,455	59,518	58,040	57,238
面 積	13.7	13.4	13.8	14.0	14.1	15.1

資料：国勢調査

## 6 昼間人口

(単位：人)

	昼間人口	流 動 人 口			常住人口
		流入人口	流出人口	流入超過	
平成2年	151,383	5,540	4,989	551	150,832
平成7年	150,337	6,457	5,625	832	149,505
平成12年	148,113	7,228	6,592	636	147,477
平成17年	143,363	7,936	6,823	1,113	142,250
平成22年	137,881	7,934	6,676	1,258	136,623
平成27年	130,369	8,010	7,293	717	129,652
令和2年	123,233	8,163	7,277	886	122,347

※流動人口は、市内各地域相互の流入流出を控除して算出している。

資料：国勢調査

# ■ 就 業 者

## 1 産業分類別就業者

(単位：人・%)

	実 数					構 成 比				
	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
第1次産業	7,857	7,656	6,566	6,095	5,598	10.5	10.7	10.0	9.4	9.0
農業	7,299	7,193	6,060	5,667	5,222	9.7	10.1	9.2	8.7	8.4
林業	135	63	147	119	104	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2
水産業	423	400	359	309	272	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4
第2次産業	26,700	22,292	19,645	18,457	17,888	35.6	31.2	29.8	28.5	28.7
鉱業	114	61	61	57	50	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
建設業	9,426	7,324	6,030	5,782	5,492	12.6	10.2	9.1	8.9	8.8
製造業	17,160	14,907	13,554	12,618	12,346	22.9	20.8	20.5	19.5	19.8
第3次産業	40,406	41,463	39,298	39,089	37,544	53.9	57.9	59.6	60.3	60.2
電気・ガス・水道業	389	350	273	333	279	0.5	0.5	0.4	0.5	0.4
運輸・通信業	2,866	2,380	2,494	2,246	2,058	3.8	3.3	3.8	3.5	3.3
卸売・小売業	14,254	11,404	10,014	9,147	8,457	19.0	15.9	15.2	14.1	13.6
金融・保険・不動産	1,955	1,863	1,891	1,871	1,668	2.6	2.6	2.9	2.9	2.7
サービス業	18,481	23,102	22,300	23,439	23,075	24.6	32.3	33.8	36.2	37.0
公務	2,461	2,364	2,326	2,053	2,007	3.3	3.3	3.5	3.2	3.2
分類不能	34	146	478	1,175	1,363	0.0	0.2	0.7	1.8	2.2
合計	74,997	74,557	65,987	64,816	62,393	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

資料：国勢調査

## 2 職業分類別就業者

(単位：人)

平成17年国勢調査の 職業分類	実数	平成22年国勢調査からの 職業分類	実数		
	平成17年		平成22年	平成27年	令和2年
専門的・技術的職業従事者	8,099	専門的・技術的職業従事者	8,261	8,819	8,996
管理的職業従事者	1,450	管理的職業従事者	1,555	1,448	1,336
事務従事者	10,618	事務従事者	9,532	9,710	9,500
販売従事者	8,333	販売従事者	7,279	6,368	5,777
農林漁業作業員	7,440	農林漁業作業員	6,304	5,870	5,395
運輸・通信従事者	2,129	輸送・機械運転従事者	2,230	2,093	1,976
		建設・採掘従事者	3,963	3,695	3,561
生産工程・労務作業員	25,044	運搬・清掃・包装等従事者	3,713	3,892	3,880
		生産工程従事者	13,399	12,316	11,710
保安職業従事者	791	保安職業従事者	833	823	797
サービス職業従事者	7,483	サービス職業従事者	8,456	8,637	8,127
分類不能の職業	170	分類不能の職業	462	1,145	1,338

※平成21年12月に日本標準職業分類を公示し分類が変更された。

資料：国勢調査

## ■ 高校卒業者の就職状況

### 1 就職決定率

(単位：人・%)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
就職希望者		480	448	393	338	317
	男子	304	282	271	200	217
	女子	176	166	122	138	100
就職決定者		478	447	392	336	316
	男子	303	281	270	198	217
	女子	175	166	122	138	99
就職決定率		99.6	99.8	99.7	99.4	99.7
	男子	99.7	99.6	99.6	99.0	100.0
	女子	99.4	100.0	100.0	100.0	99.0

資料：鶴岡公共職業安定所 提供

### 2 産業別就職状況

(単位：人)

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子
農・林・漁業	3	3	0	2	2	0	4	4	0	1	1	0
鉱業	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1
建設業	51	43	8	52	48	4	47	41	6	39	30	9
製造業	213	146	67	154	120	34	167	107	60	169	127	42
電気・ガス・熱供給・水道業	7	7	0	8	6	2	3	1	2	7	7	0
運輸・通信業	21	14	7	24	17	7	7	6	1	14	12	2
卸売・小売業・飲食	60	22	38	49	25	24	41	11	30	42	19	23
金融・保険業	1	0	1	1	1	0	1	0	1	1	0	1
不動産業	2	0	2	1	1	0	2	1	1	1	0	1
サービス業	59	32	27	62	36	26	43	21	22	25	15	10
その他	29	13	16	39	14	25	20	5	15	16	6	10
合計	447	281	166	392	270	122	336	198	138	316	217	99

※職安紹介分のみ

資料：鶴岡公共職業安定所 提供

# ■ 事業所

## 1 産業分類別事業所

(単位：事業所・%)

	実数				構成比			
	平成24年	平成26年	平成28年	令和3年	平成24年	平成26年	平成28年	令和3年
第1次産業	50	60	57	119	0.7	0.9	0.9	1.9
第2次産業	1,333	1,294	1,235	1,076	19.7	19.0	18.8	17.3
鉱業	3	5	4	2	0.0	0.1	0.1	0.0
建設業	778	744	713	628	11.5	10.9	10.9	10.1
製造業	552	545	518	446	8.1	8.0	7.9	7.2
第3次産業	5,398	5,501	5,270	5,037	79.6	80.6	80.3	80.8
電気・ガス・水道業	5	9	8	12	0.1	0.1	0.1	0.2
運輸・通信業	148	145	136	126	2.2	2.1	2.1	2.0
卸売・小売業	1,879	1,805	1,778	1,553	27.7	27.1	27.1	24.9
金融・保険・不動産業	332	307	300	281	4.9	4.5	4.6	4.5
サービス業	3,034	3,175	3,048	3,007	44.7	46.5	46.4	48.3
公務	-	60	-	58	-	0.9	-	0.9
総数	6,781	6,822	6,562	6,232	100.0	100.0	100.0	100.0

資料：平成26年は経済センサス基礎調査、平成24年、28年、令和3年は経済センサス活動調査  
平成24年・28年は公務を除いた数値

## 2 従業者規模別の状況

(単位：事業所・人・%)

	実数		構成比	
	事業所	従業者	事業所	従業者
1～4人	3,728	7,439	59.8	12.7
5～9人	1,136	7,537	18.2	12.9
10～29人	951	15,686	15.3	26.8
30～49人	219	8,238	3.5	14.1
50～99人	99	6,649	1.6	11.4
100人以上	62	12,977	1.0	22.2
派遣のみ	37	-	0.6	-
合計	6,232	58,526	100.0	100.0

資料：令和3年経済センサス活動調査

# ■ 総 生 産 等

## 1 市内総生産

(単位：百万円・%)

	実 数			対前年度増加率		構 成 比	
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度
第 1 次 産 業	16,597	16,199	15,429	-2.4	-4.7	3.0	2.8
農 業	15,408	15,051	14,345	-2.3	-4.7	2.8	2.6
林 業	668	642	588	-4.0	-8.3	0.1	0.1
水 産 業	520	506	496	-2.7	-2.1	0.1	0.1
第 2 次 産 業	245,850	220,801	229,020	-10.2	3.7	40.8	41.9
鉱 業	1,158	1,154	1,161	-0.3	0.6	0.2	0.2
製 造 業	213,775	190,888	197,243	-10.7	3.3	35.3	36.1
建 設 業	30,917	28,759	30,616	-7.0	6.5	5.3	5.6
第 3 次 産 業	302,105	299,358	298,425	-0.9	-0.3	55.4	54.6
電気・ガス・水道・廃棄物処理業	16,955	17,280	20,153	1.9	16.6	3.2	3.7
卸 ・ 小 売 業	40,857	40,271	39,875	-1.4	-1.0	7.4	7.3
運 輸 ・ 郵 便 業	11,635	11,575	11,861	-0.5	2.5	2.1	2.2
宿泊・飲食サービス業	13,038	12,679	11,500	-2.7	-9.3	2.3	2.1
情 報 通 信 業	9,662	9,743	9,472	0.8	-2.8	1.8	1.7
金 融 ・ 保 険 業	18,665	18,945	19,184	1.5	1.3	3.5	3.5
不 動 産 業	53,215	51,629	49,211	-3.0	-4.7	9.6	9.0
専門・科学技術、業務支援サービス業	19,798	19,976	19,837	0.9	-0.7	3.7	3.6
公 務	24,432	24,371	23,966	-0.3	-1.7	4.5	4.4
教 育	26,505	25,643	25,521	-3.3	-0.5	4.7	4.7
保健衛生・社会事業	46,909	47,226	48,046	0.7	1.7	8.7	8.8
その他のサービス	20,433	20,018	19,799	-2.0	-1.1	3.7	3.6
小 計	564,552	536,357	542,874	-5.0	1.2	99.2	99.4
輸入品に課される税・関税	9,309	9,476	9,443	1.8	-0.4	1.8	1.7
(控除)総資本形成に係る消費税	5,432	5,252	6,234	-3.3	18.7	1.0	1.1
市 内 総 生 産	568,429	540,581	546,083	-4.9	1.0	100.0	100.0

資料：令和元年度市町村民経済計算

## 2 1人当たり市民所得の推移

(単位：千円・%)

	実 数			対 前 年 度 増 加 率		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市 民 所 得	2,936	2,894	2,920	9.6	-1.4	0.9
県 民 所 得	2,891	2,893	2,909	6.5	0.0	0.6
国 民 所 得	3,163	3,182	3,181	2.4	0.6	0.0
対 県 格 差	101.6	100.0	100.4	—	—	—
対 国 格 差	92.8	90.9	91.8	—	—	—

資料：令和元年度市町村民経済計算、山形県統計年鑑

### 留意事項

市町村民経済計算は、新年度の推計結果が公表されると、併せて過去の各年度の数値も遡って改訂される。これは、基礎となる県民経済計算が遡及改訂されることや、推計方法の見直しを行っていることなどが要因である。

## ■ 市制施行以来の主なできごと

平成17年10月	南庄内6市町村が合併し、新「鶴岡市」が発足
〃	地域伝統芸能全国フェスティバル開催
平成17年11月	庄内南部地区農免農道「鶴羽橋」開通
平成17年12月	「豪雪対策本部」設置
平成18年2月	旧6市町村単位に「地域審議会」設置
平成18年4月	「松原保育園」・心身障害児通園施設「あおば学園」開園
〃	庄内空港東京便ナイトステイ開始
〃	JAS認定機関（有機農産物）登録受ける（藤島地域）
平成18年6月	鶴岡市先端研究産業支援センター完成
平成18年7月	大雨により温海地域小岩川地区の国道7号及びJR羽越本線で土砂災害発生
〃	国土交通省・厚生労働省の共同プロジェクト「在宅・長寿の我がまちづくり」のモデル地域に指定
平成18年8月	出羽三山世界遺産育成シンポジウム開催
平成18年10月	合併1周年記念式典において、「市民憲章」と「市の木・市の花」披露
〃	合併1周年記念鶴岡市子ども運動会開催
〃	月山レストハウス完成
平成18年11月	榎引南小学校新校舎完成
〃	鶴岡致道大学開学10周年記念公開講座・国際森林シンポジウム開催
平成19年3月	電子申請システム運用開始
〃	山崎誠助氏・北村昌美氏を鶴岡市名誉市民に推戴
〃	鶴岡地区消防事務組合・鶴岡地区衛生処理組合が解散し、市の行政組織として再編される
平成19年12月	鶴岡第二中学校新校舎・体育館完成
平成20年4月	消防団組織を再編し、「鶴岡市消防団」発足
平成20年5月	「鶴岡市景観計画」策定
平成20年7月	「鶴岡市中心市街地活性化基本計画」が国の認定を受ける
平成20年9月	水道料金統一
平成20年10月	大山上池・下池が「ラムサール条約」の登録湿地となる
平成21年1月	「鶴岡市総合計画」策定
平成21年3月	鼠ヶ関小学校新校舎・体育館完成
平成21年4月	鶴岡西部児童館開館
〃	月山水道企業団が解散し、鶴岡市水道事業と統合
平成21年7月	ドイツ・南シュヴァルツヴァルト自然公園協会と友好協定を締結
平成21年12月	朝暘第一小学校新校舎・体育館完成
平成22年4月	総合保健福祉センター開所
〃	藤沢周平記念館開館
平成22年6月	行財政改革推進委員会を設置
平成22年7月	湯野浜上区公衆浴場開場
平成22年10月	市制施行5周年記念式典を挙げる
平成22年11月	ニューブランズウィック市との姉妹都市盟約50周年記念碑を建立
平成23年3月	東日本大震災の発生を受け、鶴岡市災害対策本部を設置。被災者の受入れを行うとともに、被災地への救援物資の搬送を行う
〃	平和都市宣言
〃	「図説鶴岡のあゆみ」を発刊
平成23年4月	消防本部・消防署新庁舎開署
平成23年6月	西郷地区農林活性化センター開所
	日本海沿岸東北自動車道あつみ温泉IC～鶴岡JCT間開通
	羽黒中学校・体育館完成
平成24年4月	自然学習交流館「ほとりあ」開館



平成25年 4月	鶴岡南部児童館開館
〃	消防署中央分署が移転
〃	県内市町村初の住民参加型市場公募債「加茂水族館クラゲドリーム債」を発行
平成25年 5月	日本海沿岸東北自動車道新潟県境区40.8kmの新規事業化が決定
〃	「鶴岡市地域エネルギービジョン」策定
平成25年 6月	由良コミュニティセンター改築
平成25年 7月	「名誉市民丸谷才一先生追悼講演会」開催
平成25年11月	福岡ソフトバンクホークス長谷川勇也選手への鶴岡市スポーツ特別賞授与を決定
〃	「鶴岡市歴史的風致維持向上計画」が国土交通省等3省庁の認定を受ける
〃	荘内病院創立100周年記念式典を挙げる
平成26年 3月	朝暘第四小学校新校舎・体育館完成
平成26年 4月	藤島、東栄、八栄島、長沼、渡前の各地区で地域活動センターが開所
〃	朝日小学校と朝日大泉小学校が統合し、「あさひ小学校」が開校
〃	朝暘第四小学校、湯田川小学校及び田川小学校が統合し、移転新築した「朝暘第四小学校」が開校
〃	暘光児童館開館
〃	「鶴岡市スポーツ推進計画」策定
平成26年 5月	鶴岡公園周辺（鶴岡市シビックコア周辺地区）の景観が平成26年度都市景観大賞（国土交通大臣賞）受賞
平成26年 6月	加茂水族館（クラゲドリーム館）リニューアルオープン
平成26年 8月	鶴岡浄化センター消化ガス発電事業基本協定を締結
平成26年 9月	「鶴岡市地域協働推進事業計画」策定
平成26年12月	ユネスコ創造都市ネットワーク食文化分野で日本初の加盟認定
平成27年 3月	朝日中学校新校舎・体育館完成
平成27年 4月	鶴岡ふるさと寄附金（ふるさと納税）に返礼制度を導入
〃	三瀬小・小堅小・由良小が統合し、「豊浦小学校」が開校
平成27年 8月	加茂水族館リニューアル後の入館者が100万人を突破
〃	市の魚に「クロダイ」を制定
平成27年10月	市制施行10周年記念式典を挙げる
〃	鶴岡浄化センター内で「鶴岡バイオガスパワー」が発電開始
〃	ミラノ国際博覧会やフランスで鶴岡の食文化をPR
平成28年 3月	市制施行10周年記念誌「新編庄内史年表」を発刊
〃	消防署北分署が移転
〃	「鶴岡市国際観光推進行動計画」策定
〃	「鶴岡市地域福祉計画」策定
〃	「鶴岡市地域公共交通網形成計画」策定
〃	「鶴岡市地域コミュニティ推進計画」策定
平成28年 4月	羽黒三小・羽黒四小が統合し、「広瀬小学校」が開校
〃	温海小・五十川小・福栄小・山戸小が統合し、「あつみ小学校」が開校
〃	大網小があさひ小に統合
〃	「自然と信仰が息づく『生まれかわりの旅』～樹齢300年を超える杉並木につつまれた2,446段の石段から始まる出羽三山～」が日本遺産認定
平成28年 7月	鶴岡市、荘内銀行、北茨城市、筑波銀行が観光の振興、地域経済の活性化、地域資源の活用に向け連携協定を締結
平成28年 9月	第36回全国豊かな海づくり大会～やまがた～が開催、放流・海上歓迎行事を鼠ヶ関で開催
〃	天皇皇后両陛下が加茂水族館、松ヶ岡開墾地をご視察、鶴岡アートフォーラムでご会食
平成28年10月	パリ・ユネスコ本部等でインバウンド（訪日外国人旅行）プロモーション事業を展開
平成28年11月	食と農の景勝地に認定
〃	新羽黒庁舎が完成
平成28年12月	消防署羽黒分署が移転
〃	イタリア食科学大学と戦略的連携協定を締結
〃	早稲田大学総合研究機構とまちづくりに関する協定を締結

平成29年 2月	「鶴岡市歯科口腔保健行動計画」策定
平成29年 3月	「鶴岡市立荘内病院中期経営計画」策定
〃	鶴岡市立図書館開館100年記念誌を発刊
平成29年 4月	大山小・加茂小が統合し、「大山小学校」が開校
〃	「鶴岡市都市再興基本計画」策定
〃	国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点「がんメタボロミクス研究室」が開所
〃	「サムライゆかりのシルク 日本近代化の原風景に出会うまち鶴岡へ」が日本遺産に認定
平成29年 5月	辻調理師専門学校とガストロノミー包括連携協定を締結
〃	「鶴岡食文化創造都市推進プラン」策定
平成29年 6月	加茂水族館リニューアル後の入館者が200万人を突破
平成29年 7月	つるおか食文化市場FOODEVER（フーデェヴァー）がオープン
〃	第3回全国メロンサミットin鶴岡が開催
〃	南東北総体（インターハイ）のバドミントン競技が開催
平成29年 9月	文化会館（荘銀タクト鶴岡）が完成
平成29年10月	鶴岡市民歌を制定
〃	東北市長会総会が開催
〃	鶴岡第三中学校新校舎・体育館完成
平成30年 4月	羽黒一小と羽黒二小が「羽黒小学校」として統合
〃	京田小と栄小が「京田小学校」として統合
〃	藤島小と長沼小が「藤島小学校」として統合
平成30年 5月	湯野浜温泉が環境省の「国民保養温泉地」に指定
平成30年 6月	鶴岡市子育て世代包括支援センターを開設
平成31年 3月	「第2次鶴岡市総合計画」策定
令和元年 5月	「加茂港周辺の町並み」など5つの構成文化財が、日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」に追加認定
令和元年 6月	日本海山形県沖地震が発生
〃	世界バドミントンU15庄内国際招待2019を開催
令和元年 7月	DEGAM鶴岡ツーリズムビューローが設立
令和元年10月	あつみ温泉が環境省の「国民保養温泉地」に指定
令和2年 4月	農業経営者育成学校「SEADS」が開校
令和2年 7月	荘内病院と国立がん研究センター東病院が、がん医療に関する診療連携の協定を締結
〃	「SDGs 未来都市」に選定
令和2年10月	市制施行15周年記念式典を挙げる
令和2年11月	国道7号朝日温海道路大岩川トンネルが貫通
〃	主要地方道鶴岡羽黒線「羽黒山バイパス」が全線開通
令和3年 4月	新ごみ焼却施設の供用・ごみ焼却発電が開始
〃	松ヶ岡開墾150年を迎え通年で記念事業を開催
令和3年7～8月	東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンとしてモルドバ・ドイツの選手団を受入れ
令和3年 8月	消防署藤島分署が開署
令和3年10月	一般廃棄物最終処分場の供用を開始
令和3年12月	J A鶴岡ただちゃアリーナが開館
〃	長谷川勇也氏に市民栄誉賞を授与
令和4年 4月	絹織物体験施設「シルクミライ館」が開館
〃	酒井家庄内入部400年を迎え通年で記念事業を開催
令和4年10月	由良温泉が環境省の「国民保養温泉地」に指定
令和4年12月	仙台育英学園高校硬式野球部の斎藤蓉選手に鶴岡市スポーツ奨励賞を授与
〃	西目地内土砂災害が発生
令和5年 3月	「笹巻」が文化庁の「100年フード」に認定
〃	旧東田川郡役所及び郡会議事堂が文部科学省の「国指定史跡」に指定

# ■ 名 誉 市 民 等

## 1 名誉市民

氏 名	推 戴 年 月 日	備 考
まら 相 良 守 峯	昭和44年6月12日 旧鶴岡市推戴	東京大学名誉教授、文学博士 文化勲章受章（昭和60年） 平成元年10月16日逝去
おお 大 瀬 欽 哉	昭和62年5月18日 旧鶴岡市推戴	鶴岡市史編さん会会長 文化庁長官功労者表彰（昭和53年） 平成3年9月6日逝去
すぎ 杉 村 たかし 隆	昭和62年5月18日 旧鶴岡市推戴	国立がんセンター名誉総長、医学博士 文化勲章受章（昭和53年） 勲一等瑞宝章受章（平成10年） 令和2年9月6日逝去
まる 丸 や 谷 才 一	平成7年2月7日 旧鶴岡市推戴	作家、日本芸術院会員 芥川賞受賞（昭和43年） 文化勲章受章（平成23年） 平成24年10月13日逝去
なか 中 ざと 喜 一	平成7年2月7日 旧鶴岡市推戴	元東京都江戸川区長 平成13年1月21日逝去
きか 酒 い 井 た だ 忠 あきら 明	平成11年10月24日 旧鶴岡市推戴	(財)致道博物館名誉館長 宮中歌会始召人（平成15年） 平成16年2月28日逝去
しほ 渋 や 谷 よね た ろう 米 太 郎	昭和44年7月11日 旧藤島町推戴	元三菱商事株式会社常務取締役 昭和46年9月28日逝去
にし 西 か 川 は や 速 み 水	昭和49年9月3日 旧藤島町推戴	(財)荘内館相談役 勲三等瑞宝章受章（大正15年） 昭和57年3月2日逝去
きい 齋 とう 藤 しやう 正 いち 市	昭和59年6月19日 旧藤島町推戴	元藤島町教育委員会教育長 勲五等双光旭日章受章（昭和41年） 昭和62年4月6日逝去
むら 村 か み 上 よ 興 いち 市	昭和59年6月19日 旧藤島町推戴	元藤島町長 勲四等旭日小綬章受章（昭和49年） 平成17年5月3日逝去
たけ 竹 う ち 内 けい 啓 じ 治	昭和59年6月19日 旧藤島町推戴	元住友鋼材工業㈱社長 平成9年3月2日逝去
か 加 とう 藤 や す 康 ろう 郎	平成6年6月21日 旧藤島町推戴	元藤島町長 勲四等旭日小綬章受章（平成3年） 平成10年3月13日逝去
ひ 日 な た 向 こう 康 きち 吉	平成15年3月14日 旧藤島町推戴	東北大学名誉教授 日本学士院賞受賞（平成14年） 瑞宝中綬章受章（平成21年） 平成26年9月13日逝去
ほし 星 の 野 ゆう 勇 ぞう 三	昭和37年6月25日 旧羽黒町推戴	北海道大学名誉教授 紫綬褒章受章（昭和36年） 昭和39年11月2日逝去
いけ 池 の 野 いさむ 勇	昭和49年11月8日 旧羽黒町推戴	医師 日本医師会最高優功賞受賞（昭和45年） 昭和53年3月21日逝去
てら 寺 おか 岡 きん 謹 へい 平	昭和49年11月8日 旧羽黒町推戴	元海軍中将 昭和59年5月2日逝去

氏名	推戴年月日	備考
かん ばやし よ いち ろう 上 林 與 市 郎	昭和58年4月8日 旧羽黒町推戴	元衆議院議員 勲二等瑞宝章受章（昭和57年） 平成5年6月8日逝去
あき もと まさ お 秋 元 正 雄	昭和58年4月8日 旧羽黒町推戴	学校法人羽黒学園理事長 紺綬褒章受章（昭和41年） 平成8年9月24日逝去
と かわ あん しょう 戸 川 安 章	平成9年6月4日 旧羽黒町推戴	羽黒町史編纂調査執筆専門委員長 斎藤茂吉文化賞受賞（昭和47年） 平成18年12月12日逝去
いま い しげ さぶ ろう 今 井 繁 三 郎	平成13年2月9日 旧羽黒町推戴	美術団体「白甕社」委員長 斎藤茂吉文化賞受賞（昭和54年） 平成14年1月9日逝去
と がし つよし 富 樫 剛	平成6年12月1日 旧櫛引町推戴	第47代横綱柏戸 従五位勲四等旭日小綬章受章（平成8年） 平成8年12月8日逝去
と がし みのる 富 樫 実	平成11年12月4日 旧櫛引町推戴	彫刻家 成安造形大学名誉教授 紺綬褒章受章（平成11年） 令和元年11月25日逝去
さ とら げん じ 佐 藤 源 治	平成元年6月27日 旧朝日村推戴	元県立山形南高校長 平成7年6月9日逝去
わた なべ せい さん 渡 部 星 村	平成元年6月27日 旧朝日村推戴	彫刻家 平成6年9月22日逝去
も 森 あつし 敦	平成元年6月27日 旧朝日村推戴	作家 芥川賞受賞（昭和48年） 平成元年7月29日逝去
さい とら ゆう すけ 齋 藤 悠 輔	昭和40年7月1日 旧温海町推戴	元最高裁判所判事 勲一等瑞宝章受章（昭和40年） 昭和56年3月26日逝去
やま ぎき せい すけ 山 崎 誠 助	平成19年3月18日推戴	鶴岡市芸術文化協会会長 斎藤茂吉文化賞受賞（平成元年） 地域文化功労者文部大臣表彰（平成元年） 平成27年7月29日逝去
きた むら まさ み 北 村 昌 美	平成19年3月18日推戴	山形大学名誉教授 日本林学会賞受賞（昭和49年） 瑞宝中綬章受章（平成16年） 平成24年8月13日逝去

(特別顕彰)

氏名	推戴年月日	備考
(故) ふじ さわ しゅうへい 藤 沢 周 平	平成9年5月11日 旧鶴岡市推戴	作家 直木賞受賞（昭和48年） 紫綬褒章受章（平成7年） 平成9年1月26日逝去

## 2 市民栄誉賞

氏名	表彰年月日	備考
ごとう きとる 後藤 悟	平成3年10月1日 旧鶴岡市表彰	立行司28代木村庄之助 平成22年4月1日逝去
のぞき や エ 及位 ヤ エ	平成5年10月1日 旧鶴岡市表彰	(社)日本婦人航空協会理事長 平成17年3月12日逝去
さいとう ろく ろう 齋藤 六郎	平成6年10月1日 旧鶴岡市表彰	全国抑留者補償協議会会長 平成7年12月28日逝去
はせがわ ゆうや 長谷川 勇也	令和3年12月27日表彰	元プロ野球選手

## 3 特別功績賞

氏名	表彰年月日	備考
なかた よし なお 中 田 喜 直	平成6年2月6日 旧鶴岡市表彰	(特別文化功績賞) 日本童謡協会会長 平成12年5月3日逝去
さいとう もとむ 齋藤 求	平成6年10月1日 旧鶴岡市表彰	(特別文化功績賞) 洋画家 平成15年12月24日逝去
いまい しげ さぶ ろう 今 井 繁 三郎	平成8年10月1日 旧鶴岡市表彰	(特別文化功績賞) 洋画家、白甕社委員長 平成14年1月9日逝去
やま さき せい すけ 山 崎 誠 助	平成9年10月1日 旧鶴岡市表彰	(特別文化功績賞) 劇団麦の会代表 平成27年7月29日逝去
(故) さとう とし なお 佐藤 敏 直	平成14年10月1日 旧鶴岡市表彰	(特別文化功績賞) 作曲家 平成14年3月18日逝去
みや し た みつ まさ 宮 下 充 正	平成16年10月1日 旧鶴岡市表彰	(特別スポーツ振興功績賞) 東京大学名誉教授 瑞宝中綬章受章(平成29年)
むら い 井 村 井	平成17年9月27日 旧鶴岡市表彰	(観光特別功績賞) (社)日本煙火協会顧問 平成21年2月24日逝去

# ■ 兄弟・姉妹・友好都市等（国内）

## 1 兄弟都市 鹿児島市

<昭和44年11月7日 旧鶴岡市盟約>

慶応3年、庄内藩は幕府の命により、江戸薩摩藩邸を焼き打ちして戊辰戦争の口火をきり、最後まで官軍に抗戦した。慶応4年9月降伏帰順し、官軍の報復と厳罰を覚悟したが、意外にも、その処分は寛大なものであった。それが西郷隆盛の指揮によるものであることを知った庄内藩では、その偉大で高潔な人格に深い感銘を受け、その年の11月7日藩主酒井忠篤自ら70余名の藩士を率い、西郷のもとに兵学実習に赴くなど、徳による交わりを深めていった。

西南の役で西郷は没したが、庄内では西郷の教えを書きとめた「南州翁遺訓」を編集し、西郷の賊名が解かれた明治22年、全国に頒布してその教えと人となりを広めた。上野の森に立つ「西郷さん」の銅像建設にも酒井忠篤が発起人となっている。

鹿児島市と鶴岡市は西郷の縁によって兄弟の契りを結び、永く「敬天愛人」の教えを伝えている。

## 2 友好都市 江戸川区

<昭和56年5月25日 旧鶴岡市盟約>

昭和19年、第二次世界大戦の戦火にさらされた東京では、学童の集団疎開が始まり、江戸川区の集団疎開学童のほとんどが、中心市街、湯田川温泉、湯野浜温泉、温海温泉、善寶寺、大山の旅館や寺院などに滞在した。窮乏した時代の親元を離れた寂しい毎日であったが、比較的恵まれた疎開生活を過ごすことができた。

終戦とともに東京に戻った学童は、やがて成人するうちに鶴岡の土地と人々を懐かしく思い出すようになり、新潟地震の際の救援や内川への鯉や金魚の放流など、友情が続いてきた。

さらに市民全体に友情の輪を拡げ、平和の尊さを語り継ごうと友好都市の盟約を結び、各分野で交流を深めている。

## 3 姉妹都市 北海道木古内町

<平成元年4月27日 旧鶴岡市盟約>

木古内町は、函館市から約42km、渡島半島の西南部に位置し、江差・松前方面の分岐点として函館市以南の経済圏における中心地となっている。町の総面積221.9km<sup>2</sup>のうち約9割は山林で、豊富な杉を利用した林業をはじめ、農業・漁業を基幹産業としている。昭和63年3月には青函トンネルが開通し、平成28年3月には北海道新幹線が開業するなど、北海道の南玄関口として今後さらに発展することが期待されている都市である。

木古内町との関わりは、明治18年から同19年にかけて旧庄内藩士105戸が開拓のため移住したのが始まりで、その後、昭和39年に同町鶴岡小学校と本市の朝暘第一小学校とが姉妹校の提携を結び、学校同士の交流が続いた。この交流を更に広げ、両都市のきずなを一層強いものにしようと、姉妹都市の盟約を結んだ。

## 4 姉妹都市 北海道名寄市

### <平成8年8月1日 旧藤島町盟約>

明治中期、添川出身の太田豊治を団長とする移住団が、現在の曙地区に開拓を始めた。その後着実な発展を遂げた名寄市では、開基90周年目の平成2年、名寄市開基90周年市制施行35周年記念式典に旧藤島町長が訪問するなどの交流が始まり、平成8年に姉妹都市の盟約が締結された。平成6年からは、少年少女交流事業なども行われている。

名寄市では平成8年に「名寄・藤島交流友の会」が、藤島地域でも平成10年に「藤島町名寄交流友の会」が発足し、友の会では、今後お互いの住民が歴史や文化への理解を深め、更なる交流を続けていくことを再確認している。

## 5 友好都市 東京都新島村

### <昭和59年11月15日 旧羽黒町盟約>

新島村との関わりは、羽黒山中興の祖天宥法印が新島に流島された約350年前に遡る。天宥法印は、一山再興のため尽力されたが、改革に不満を持つ衆徒からあらぬ罪をきせられ新島に流罪となり、81歳の生涯に幕を閉じた。

昭和13年に、天宥法印の墓所が確認されて以来、46年間にも及ぶ墓参講が始まり、この墓参講が契機となり、昭和59年に友好町村盟約を結んだ。盟約締結後は、各種交流事業を通して、友好の輪が広がり、さらに、信頼の輪が重なり、ともに学び合える関係を築いている。

## 6 友好都市 東京都墨田区

### <平成9年7月14日 旧朝日村友好協力協定締結>

墨田区との関わりは、昭和61年に県から都市農村交流事業の指定を受け、交流相手の調査をした結果、墨田区が農村との交流を求めていることから、昭和62年から児童交流を中心に交流が始まった。平成6年からは、小学生によるサッカー交流が始まり、毎年交互に訪問し、交流試合を行うなど交流を深めている。また、「墨田わんぱく雪まつり」では、本市から雪を搬送するなど、イベント（まつり）を通して交流を続けている。

行政レベルでも、災害時に物資等を相互に供給し、職員の派遣及び被災者収容施設の提供等の相互協力、支援を行うため、平成8年7月22日に「防災相互応援協定」を締結し、その翌年に友好協力に関する協定を締結した。

## 7 友好都市 鹿児島県曾於市

### <平成13年10月17日 旧温海町姉妹盟約>

明治元年の戊辰の役、東北戦争の際、旧温海町関川は、島津家重臣・伊勢家の家臣団「岩川私領五番隊」の新政府軍と旧幕府軍の庄内藩とが東北戦争最後の戦いを激しく繰り広げた地であった。先祖が戦争で敵同士になった過去がありながらも、この縁がきっかけで、旧大隅町の「ふるさと歴史探検隊」が訪問したことから交流が始まった。

その後も、各種記念行事を通じた交流や、旧福栄小学校（現あつみ小学校）の児童が毎年雪をプレゼントするなどの交流が続き、平成11年には、旧大隅町岩川郷建設130年記念式典事業において、近所盟約を締結し、平成13年には、友好都市姉妹盟約を締結するに至った。

## ■ 兄弟・姉妹・友好都市等（国外）

### 1 姉妹都市 ニューブランズウィック市（米国ニュージャージー州）

<昭和35年6月10日 旧鶴岡市盟約>

ニューブランズウィックは、ニューヨークに程近い場所に位置し、人口約56,000人、面積14.995 km<sup>2</sup>の美しい大学都市である。慶応3年、庄内藩士の高木三郎は、アメリカの大学への日本人留学生員としてニューブランズウィック市にあるラトガース大学に学んだ。その後、高木三郎は駐米代理公使、サンフランシスコ副領事を経て、ニューヨーク総領事となるなど日米親善に大きく貢献した。彼が留学生時代に寄宿した建物は、現在、ニューブランズウィック市の博物館となり、彼の娘の墓も他の日本人留学生の墓とともに保存されている。

このような機縁をもとに、日米修好百周年にあたる昭和35年、姉妹都市の盟約を締結した。

### 2 友好都市 ラフォア市（フランス領ニューカレドニア）

<平成7年2月9日 旧鶴岡市盟約>

ラフォア市は、南太平洋に浮かぶフランス領の島ニューカレドニアの首都ヌーメア市の北西約115kmにあり、面積は約500km<sup>2</sup>、人口は約3,500人。農業や牧畜が主な産業で、特にジャガイモの生産はニューカレドニア最大を誇り、海岸地帯ではエビの養殖も行われている。また、地域の中心都市として各種の公共機関や教育施設が置かれている。沖合には珊瑚礁に囲まれた美しい島があり、自然豊かな農業都市として、地域の中心都市として発展している。

平成2年に、継続的な交流を希望していたラフォア市長の来鶴をきっかけに、その後、活発な相互交流が展開され、平成7年2月、培った友情をより確かなものにし、今後の一層の交流の促進を期して友好都市の盟約を締結した。

### 3 友好協力都市 尚志市（中国黒龍江省）

<平成12年10月25日 旧温海町調印>

尚志市は、中国東北部ロシアとの国境に接する黒龍江省の省都ハルビン市に位置し、面積は約9,000km<sup>2</sup>、人口は約62万人の地方都市である。平成12年に町長はじめ関係者が訪中して友好協議書を締結した。



# 議 会

## ■ 定数・構成

### 1 定 数

- (1) 定 数 28人
- (2) 現 員 26人

### 2 政党・会派別構成 (令和5年4月1日現在) (単位：人)

	共 産	公 明	国民民主	無所属	計
新 政 ク ラ ブ				10	10
日本共産党鶴岡市議団	4				4
鶴岡市議会公明党		3			3
市民の声・鶴岡				2	2
S D G s 鶴ヶ岡				2	2
市民フォーラム				2	2
無 所 属			1	2	3
合 計	4	3	1	18	26

### 3 年齢別・当選回数別構成 (令和5年4月1日現在) (単位：人)

	～40歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	合計
1 回	1		2	2		5
2 回		1	3	1	1	6
3 回			4	1		5
4 回			1		3	4
5 回		1		2	3	6
合 計	1	2	10	6	7	26

○最年長76歳 ○最年少33歳 ○平均60.7歳

#### 4 議員名簿 (令和5年4月1日現在)

議席 番号	氏名	当選 回数	会派	年齢	住所	所属常任 委員会等
1	遠藤初子	1	市民の声・鶴岡	59	末広町20-20	厚生
2	草島進一	3	〃	58	道田町21-29	○産業建設
3	田中宏	4	SDGs鶴ヶ岡	53	家中新町13-35	厚生
4	南波純	1	〃	62	上畑町9-29	市民文教
5	石井清則	5	市民フォーラム	46	羽黒町手向字院主南143	○総務
6	工藤博	1	〃	62	海老島町13-12	産業建設
7	長谷川剛	2	日本共産党鶴岡市議団	44	日枝字坂本43-10	市民文教
8	坂本昌栄	2	〃	59	稲生二丁目33-47	産業建設
9	菅井巖	3	〃	54	中楯96	◎厚生
10	加藤鑛一	4	〃	70	宝徳字仲田56	総務
11	秋葉雄	5	鶴岡市議会公明党	72	美原町7-27	◎産業建設
12	黒井浩之	2	〃	58	藤島字西川原38	◎市民文教
13	小野由夫	4	無所属	76	添川字湯ノ沢5番地甲	総務
14	中沢深雪	1	〃	33	日吉町7-19	市民文教
15	佐藤久樹	3	〃	51	中清水丁280	総務
16	佐藤麻里	1	新政クラブ	52	大山二丁目35-46	市民文教
17	佐藤博幸	5	〃	73	日出一丁目7-6	総務
18	阿部寛	2	〃	59	谷定字楯の前25	○厚生
19	本間正芳	2	〃	66	錦町4-72	○市民文教
21	佐藤昌哉	2	〃	70	道形町8-4	◎総務
22	五十嵐一彦	3	〃	66	鼠ヶ関乙121-11	厚生
23	尾形昌彦	3	〃	58	加茂字加茂278	産業建設
24	本間信一	4	〃	74	羽黒町川代字中川代245	厚生
26	渋谷耕一	5	〃	74	松根字下松根147	産業建設
27	富樫正毅	5	鶴岡市議会公明党	64	若葉町14-9	☆厚生
28	本間新兵衛	5	新政クラブ	66	山五十川甲571	☆☆総務

☆☆議長 ☆副議長 ◎委員長 ○副委員長

## ■ 歴代議長・副議長

議 長		
歴 代	氏 名	在 任 期 間
1	榎 本 政 規	平成17. 11. 9 ~ 平成19. 11. 7
2	神 尾 幸	平成19. 11. 7 ~ 平成21. 10. 22
3	川 村 正 志	平成21. 11. 5 ~ 平成23. 11. 7
4	野 村 廣 登	平成23. 11. 7 ~ 平成25. 10. 22
5	渋 谷 耕 一	平成25. 11. 5 ~ 平成27. 11. 9
6	佐 藤 文 一	平成27. 11. 9 ~ 平成29. 10. 22
7	齋 藤 久	平成29. 11. 7 ~ 令和元. 11. 11
8	本 間 新 兵 衛	令和元. 11. 11 ~ 令和 3. 10. 22
9	菅 原 一 浩	令和 3. 11. 9 ~ 令和 4. 12. 16
10	本 間 新 兵 衛	令和 4. 12. 16 ~

副 議 長		
歴 代	氏 名	在 任 期 間
1	佐 藤 征 勝	平成17. 11. 9 ~ 平成19. 11. 7
2	齋 藤 久	平成19. 11. 7 ~ 平成21. 10. 22
3	渋 谷 耕 一	平成21. 11. 5 ~ 平成23. 11. 7
4	今 野 良 和	平成23. 11. 7 ~ 平成25. 10. 22
5	五 十 嵐 庄 一	平成25. 11. 5 ~ 平成27. 11. 9
6	上 野 多 一 郎	平成27. 11. 9 ~ 平成29. 10. 22
7	本 間 新 兵 衛	平成29. 11. 7 ~ 令和元. 11. 11
8	佐 藤 博 幸	令和元. 11. 11 ~ 令和 3. 10. 22
9	本 間 信 一	令和 3. 11. 9 ~ 令和 4. 4. 27
10	富 樫 正 毅	令和 4. 4. 27 ~

## ■ 委 員 会

### 1 常任委員会

名 称	定 数	現 員	所 管
総 務 常 任 委 員 会	7人	7人	議会、総務部、企画部、会計課、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会
市 民 文 教 常 任 委 員 会	7人	6人	市民部、消防機関及び教育委員会
厚 生 常 任 委 員 会	7人	7人	健康福祉部及び市立荘内病院
産 業 建 設 常 任 委 員 会	7人	6人	農林水産部、商工観光部、建設部、上下水道部及び農業委員会
議 会 運 営 委 員 会	10人	10人	議会の運営、議会の会議規則、委員会に関する条例等、議長の諮問に関する事項

### 2 特別委員会

名 称	定 数	現 員	所 管
予 算 特 別 委 員 会	全員	26人	予算の審査
決 算 特 別 委 員 会	全員	26人	決算の審査
高 速 交 通 等 会 対 策 特 別 委 員 会	5人	5人	東北横断自動車道酒田線・日本海沿岸東北自動車道の建設促進、庄内空港の運航拡充及び施設整備促進、羽越本線の複線化・高速化、羽越新幹線の整備促進についての調査研究
議 会 改 革 特 別 委 員 会	10人	10人	議会機能の充実・強化及び議会運営の活性化に向けての調査検討
人 口 減 少 ・ 地 域 活 性 化 会 対 策 特 別 委 員 会	7人	7人	地域活性化に向けた人口減少及び過疎化に関する調査研究
皆川治市長の選挙運動費用収支並びに報告書不記載・訂正等問題並びに本市職員に対するパワハラ疑惑に関する調査特別委員会	12人	12人	皆川治市長の選挙運動費用収支報告書不記載・訂正等問題並びに本市職員に対するパワハラ疑惑に関する調査

### 3 その他

名 称	構 成	所 管
議 員 全 員 協 議 会	全員	特に重要な問題の協議
広 報 広 聴 委 員 会	副議長及び各会派等から選出された議員	議会の広報及び広聴に関する協議
会 派 代 表 者 会 議	正副議長及び会派代表者	各会派の相互連絡・調整

## ■ 審議等の状況

### 1 議会の招集状況

	招 集 回 数		会 期 日 数		本 会 議 日 数	
	定例会	臨時会	定例会	臨時会	定例会	臨時会
令和元年	4	4	84	4	25	4
令和2年	4	5	83	5	24	5
令和3年	4	5	81	9	25	7
令和4年	4	6	83	6	23	6

### 2 市長提出議案の審議状況

	件 数	結 果								
		可 決	修正可決	否 決	同 意	承 認	認 定	可決及び認定	継続審査	撤回不承認
令和元年	161	146	1		8	2	2	2		
令和2年	133	115			9	3	2	2	2	
令和3年	120 <sup>※</sup>	104		1	8	3	2	2		
令和4年	97	82			8	3	3	1		

※令和2年から継続審査となっていた2件を含む。

### 3 議員提出議案の審議状況

	事 項	件 数	結 果				
			可 決	修正可決	否 決	撤 回	継続審査(懲罰)
令和元年	条 例						
	決 議	2	2				
	意見書	21	20		1		
	その他	1	1				
令和2年	条 例	1	1				
	決 議	3	3				
	意見書	17	15		2		
	その他						
令和3年	条 例	2	1		1		
	決 議	6	6				
	意見書	9	6		3		
	その他	2	1				1
令和4年	条 例						
	決 議	4	4				
	意見書	15	10		5		
	その他						

#### 4 請願の審議状況

	審査件数		結果						
	受理	継続	採択	みなし採択	不採択	みなし不採択	取り下げ	継続審査	撤回
令和元年	4		2		2				
令和2年	6				6				
令和3年	11		2		9				
令和4年	3		1		1			1※	1※

※3月定例会で継続審査となったが、6月定例会で撤回が承認された同一の請願

#### 5 議会の運営

##### (1) 総括質問・一般質問

- ア 会派持ち時間制（質問・答弁を含む）を採用
- イ 総括質問の順序は会派順、一般質問の順序は会派ごとの輪番制
- ウ 質問事項の通告期限は各定例会招集日の4日前（土・日曜日若しくは祝日は算入しない）の午後1時まで

##### (2) 議員提出議案（意見書・決議）

- ア 提出期限は、各定例会招集日の5日前（土・日曜日若しくは祝日は算入しない）の午後1時まで
- イ なるべく全会一致とするよう、会期中の議会運営委員会で協議し、最終日に上程

##### (3) 請 願

- ア 提出期限は、各定例会招集日の5日前（土・日曜日若しくは祝日は算入しない）の午後1時まで
- イ 採択・不採択の決定分については、葉書で通知

## ■ 議員報酬・議員活動費

### 1 議員報酬

(1) 報酬月額 (単位：円)

	議 長	副 議 長	議 員
平成17.10. 1	510,000	470,000	445,000

### (2) 期末手当

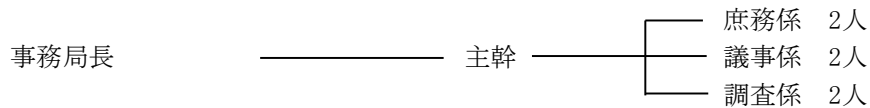
- ア 支給計算基礎額 報酬月額に1.4を乗じて得た額
- イ 支給率 6月 1.625 12月 1.625 合計 3.25

### 2 議員活動費

- (1) 視 察 旅 費 常任委員会研修視察 年額 150,000円以内／人  
個人（会派）研修視察 年額 150,000円以内／人
- (2) 政 務 活 動 費 1人月額30,000円 会派及び無会派議員に交付
- (3) 費 用 弁 償 本会議、常任委員会、議員全員協議会、議会運営委員会、特別委員会及び広報広聴委員会に出席の場合、片道2km以上の議員に対して、交通費実費を支給

# ■ 議会事務局

## 1 機構



## 2 図書・刊行物等

(1) 図書数 1,307冊

(2) 刊行物

ア 会議録

- ① 配付開始 平成17年11月臨時会以降
- ② 発行回数 年4回
- ③ 発行部数 70部
- ④ 会議録検索システム 平成13年3月定例会以降（旧鶴岡市分を含む）

イ 議会報

- ① 発行 平成17年11月臨時会以降
- ② 発行回数 年4回（議員改選がある場合は年5回）
- ③ 発行部数 47,500部

ウ 市政概要

- ① 発行 平成18年以降
- ② 発行回数 年1回

エ 調査資料

- ① 発刊 平成17年11月以降
- ② 発行回数 随時

オ ホームページ

- ① 開設 平成17年10月1日
- ② U R L <https://www.city.tsuruoka.lg.jp/shisei/gikai/>

## 3 議会議員視察来訪（令和4年）

10団体 63人（同一市議会の複数回の受け入れを含む）

臼杵市議会（大分県）	奥州市議会（岩手県）	三島市議会（静岡県）
横手市議会（秋田県）	鎌倉市議会（神奈川県）	大垣市議会（岐阜県）
新発田市議会（新潟県）	鹿屋市議会（鹿児島県）	

# 総務

## ■ 総合計画

### 1 計画期間

2019（平成31）年度～2028（令和10）年度……2019（平成31）年3月策定

### 2 めざす都市像

ほんとうの豊かさを追求する みんなが暮らしやすい 創造と伝統のまち 鶴岡

### 3 まちづくりの基本方針

- 創造と伝統の力で、地域の個性を磨き、資源を活かして、まちの魅力を高めます。
- 市民・企業、行政が力を合わせて、人口減少社会に向き合い、みんなの命が輝くまちを築きます。
- 資源の循環と人や文化の交流を促進し、持続的で多様性のあるまちを創ります。

### 4 施策の大綱

#### 1 暮らしと防災

環境を保全し、一人ひとりが尊重され、心が通い合い、お互いを見守り支え合う、安全で安心して暮らせる地域コミュニティを構築します

- (1) 助け合い、支え合う地域コミュニティづくりの推進
- (2) 地域の防災・防犯力の強化
- (3) 消防・救急体制の充実・強化
- (4) 過疎地域の活性化
- (5) 移住・定住の促進
- (6) 環境の保全・美化活動の推進
- (7) 資源循環型社会の形成
- (8) 持続可能なエネルギーミックスの実現
- (9) 市民に寄り添った窓口サービスの推進

#### 2 福祉と医療

地域の福祉や医療の充実を図り、市民一人ひとりが生涯を通じて安心して健やかに暮らすことができる社会を形成します

- (1) 子どもを産み育てやすい環境の充実
- (2) こころと体の健康づくりの推進
- (3) 安心して暮らし続けられる地域福祉の推進
- (4) 障害者が自立して暮らせる地域共生社会の実現
- (5) 高齢者が健康で生き生きとした地域の実現
- (6) 医療提供体制の充実

### 3 学びと交流

歴史と伝統に育まれた優れた文化のもと、ふるさと鶴岡を愛する、いのち輝く人を育て、歴史や文化でつながる交流を拓げます

- (1) 次代を担う人づくりの推進
- (2) 地域における人づくりの推進
- (3) 文化芸術の振興
- (4) 文化資源の保存・継承・活用
- (5) 市民スポーツの振興
- (6) 学校給食の充実
- (7) 都市交流の推進
- (8) 国際化の推進

### 4 農・林・水産業

人が集い新しいことにチャレンジできる、魅力ある農山漁村を形成し、豊かな食文化を支える農林水産業の生産拡大と所得向上を実現します

- (1) 農業を支える人材の育成・確保
- (2) 地域経済を支える農業生産の拡大
- (3) 農産物の付加価値向上と販路拡大
- (4) 効率的な木材生産と健全で豊かな森林づくり
- (5) 水産物の安定供給と漁村の活性化

### 5 商工と観光

市民の暮らしを潤す力強い産業を振興し、人材を育てながら、国内外との交流を活発化させ、多くの人を惹きつける地域をつくります

- (1) 意欲を喚起し市民の暮らしを支えるはたらく場の確保・振興
- (2) 明るく元気な地域の活力の源となるまちの賑わいの創出
- (3) 本市の産業を支え発展に導くはたらく人の確保・育成
- (4) 高度な研究教育による新産業創出と起業家育成
- (5) 鶴岡ならではの観光の振興

### 6 社会の基盤

自然と都市が調和したコンパクトシティの形成を進め、交通や情報ネットワークの充実により市域内外の交流を促進しながら、誰もが安全で快適に暮らせるまちをつくります

- (1) 快適な都市環境の形成
- (2) 交流・連携の推進と基盤の整備
- (3) 安全・安心な生活基盤の整備
- (4) 計画的な治水強化と市土の保全

### 7 地域の振興

各地域固有の特性や地域資源を最大限に生かし、地域住民が誇りと愛着を持ち、安心して暮らし続けることができる地域づくりを行います

- (1) 鶴岡地域
- (2) 藤島地域
- (3) 羽黒地域
- (4) 櫛引地域
- (5) 朝日地域
- (6) 温海地域



# ■ 広 域 行 政

## 1 庄内の現況

(1) 圏域別面積 (令和5年1月1日現在)

(単位: km<sup>2</sup>)

庄 内	最 上	村 山	置 賜	山 形 県
2,405.27	1,803.23	2,619.40	2,495.24	9,323.14

資料: 国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」

(2) 人口推移

(単位: 人・%)

地域	区分	人 口			増 減 率	
		平成22年	平成27年	令和2年	27/22	2/27
全 県		1,168,924	1,123,891	1,068,027	△ 3.9	△ 5.0
庄 内		294,143	279,497	263,404	△ 5.0	△ 5.8
最 上		84,319	77,895	70,922	△ 7.6	△ 9.0
村 山		563,473	551,524	531,855	△ 2.1	△ 3.6
置 賜		226,989	214,975	201,846	△ 5.3	△ 6.1
庄 内 ( 市 町 村 別 )	鶴 岡 市	136,623	129,652	122,347	△ 5.1	△ 5.6
	(旧)鶴岡市	(95,209)	(91,818)	(87,894)	△ 3.6	△ 4.3
	(旧)藤島町	(11,065)	(10,216)	(9,472)	△ 7.7	△ 7.3
	(旧)羽黒町	(9,059)	(8,529)	(7,912)	△ 5.9	△ 7.2
	(旧)櫛引町	(7,794)	(7,244)	(6,872)	△ 7.1	△ 5.1
	(旧)朝日村	(4,798)	(4,295)	(3,704)	△10.5	△13.8
	(旧)温海町	(8,698)	(7,550)	(6,493)	△13.2	△14.0
	酒 田 市	111,151	106,244	100,273	△ 4.4	△ 5.6
	(旧)酒田市	(93,187)	(89,808)	(85,443)	△ 3.6	△ 4.9
	(旧)八幡町	(6,519)	(5,903)	(5,225)	△ 9.4	△11.5
	(旧)松山町	(4,901)	(4,461)	(4,011)	△ 9.0	△10.1
	(旧)平田町	(6,544)	(6,072)	(5,594)	△ 7.2	△ 7.9
	三 川 町	7,731	7,728	7,601	0	△ 1.6
	庄 内 町	23,158	21,666	20,151	△ 6.4	△ 7.0
	(旧)立川町	(5,976)	(5,302)	(4,613)	△11.3	△13.0
	(旧)余目町	(17,182)	(16,364)	(15,538)	△ 4.8	△ 5.0
	遊 佐 町	15,480	14,207	13,032	△ 8.2	△ 8.3

※ ( ) 内数値は参考値

資料: 国勢調査

(3) 産業別就業人口の推移

(単位: 人・%)

	実 数			構 成 比		
	平成22年	平成27年	令和2年	平成22年	平成27年	令和2年
第 1 次 産 業	14,423	13,717	13,317	10.2	9.8	9.6
第 2 次 産 業	39,877	38,154	38,699	28.1	27.2	28.0
第 3 次 産 業	85,422	84,682	86,129	60.2	60.5	62.3
合 計	141,938	140,070	138,145	100.0	100.0	100.0

※ 合計には、分類不能の産業を含む。

資料: 国勢調査

## 2 広域行政のあゆみ

昭和44年	庄内開発協議会発足
46年	庄内広域行政協議会発足
47年	庄内広域市町村圏計画策定
57年	新庄内広域市町村圏計画策定
58年	地域経済活性化対策推進地域（自治省）指定
62年	庄内産業振興センター開設
63年	庄内情報プラザ及び庄内バイオテクノロジー推進センター開設
平成元年	新地域経済活性化対策推進地域（自治省）指定
4年	第3次庄内広域行政圏計画策定
5年	地方拠点都市地域指定、基本計画知事承認
6年	庄内広域行政協議会を廃止し、庄内広域行政組合発足 ふるさと市町村圏に選定される。地域経済基盤強化対策地域に指定される。
9年	新地域経済基盤強化対策地域に指定される。
11年	食肉流通施設の設置及び管理運営に関する事務の共同処理を実施
14年	第4次庄内広域行政圏計画策定
15年	地域経済活性化対策推進地域（総務省）指定
19年	財団法人庄内地域産業情報化推進プラザ解散（6月30日）
20年	酒田地区広域行政組合（酒田市、庄内町、遊佐町） ※4月1日付けで、酒田地区消防組合と酒田地区クリーン組合が統合

## 3 一部事務組合

昭和27年	鶴岡市外七箇町村伝染病院組合 （鶴岡市・立川町・藤島町・羽黒町・櫛引町・三川町・朝日村・温海町）
36年	赤川上水道組合（藤島町・三川町）
43年	赤川水道企業団 ※赤川上水道組合が名称変更
45年	東田川郡町村組合 （立川町・余目町・藤島町・羽黒町・櫛引町・三川町・朝日町）
47年	鶴岡市ほか六箇町村衛生処理組合 （鶴岡市・藤島町・羽黒町・櫛引町・三川町・朝日村・温海町） 公設庄内青果物地方卸売市場組合（庄内14市町村）
48年	鶴岡地区消防事務組合（鶴岡市・藤島町・羽黒町・櫛引町・三川町・朝日村・温海町）
平成6年	庄内広域行政組合（庄内14市町村） ※公設庄内青果物地方卸売市場組合と庄内広域行政協議会が統合
8年	月山水道企業団 ※赤川水道企業団が名称変更
11年	鶴岡市外七箇町村伝染病院組合解散
17年	東田川郡町村組合解散 鶴岡地区衛生処理組合（鶴岡市・三川町：市町村合併により構成変更） ※鶴岡市ほか六箇町村衛生処理組合が名称変更 鶴岡地区消防事務組合（鶴岡市・三川町：市町村合併により構成変更） 月山水道企業団（鶴岡市・三川町：市町村合併により構成変更） 庄内広域行政組合（庄内5市町：市町村合併により構成変更）
19年	鶴岡地区衛生処理組合、鶴岡地区消防事務組合解散
21年	月山水道企業団解散

#### 4 定住自立圏

本市と三川町、庄内町が庄内南部定住自立圏を形成し、相互に役割分担し連携・協力することにより、圏域の生活圏を維持し、また、圏域全体の活性化を図ることで将来にわたり定住しやすい地域の形成を図るもの。

平成24年10月	中心市宣言、三川町及び庄内町と形成協定の締結
25年3月	庄内南部定住自立圏共生ビジョンの策定
26年3月	庄内南部定住自立圏共生ビジョンの改訂
27年3月	庄内南部定住自立圏共生ビジョンの改訂
28年3月	庄内南部定住自立圏共生ビジョンの改訂 庄内町との形成協定の変更
29年3月	三川町及び庄内町との形成協定の変更
30年2月	庄内南部定住自立圏共生ビジョンの改訂
30年3月	庄内南部定住自立圏共生ビジョン（第2次）の策定
31年3月	庄内南部定住自立圏共生ビジョン（第2次）の改訂
令和2年3月	庄内南部定住自立圏共生ビジョン（第2次）の改訂
3年3月	庄内南部定住自立圏共生ビジョン（第2次）の改訂
4年3月	庄内南部定住自立圏共生ビジョン（第2次）の改訂
5年3月	三川町及び庄内町との形成協定の変更 庄内南部定住自立圏共生ビジョン（第3次）の策定

# ■ 市 有 財 産

## 1 市有財産の状況 (各年度末日現在)

(単位：㎡・立木㎡)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
公 用 財 産	土 地	140,689.47	140,689.47	140,732.43
	建 物	54,578.94	55,060.62	54,469.83
公 共 用 財 産	土 地	4,689,508.43	4,668,333.13	4,688,557.37
	建 物	572,835.47	578,508.48	556,957.35
山 林	土 地	37,270,286.14	37,270,286.14	37,270,286.14
	立 木	731,299.39	731,299.39	731,299.39
普 通 財 産	土 地	3,241,543.32	3,238,223.81	3,235,571.98
	建 物	55,936.88	55,936.88	55,291.02
合 計	土 地	45,342,027.36	45,317,532.55	45,335,147.92
	建 物	683,351.29	689,505.98	666,718.20
	立 木	731,299.39	731,299.39	731,299.39

※公会計基準による固定資産台帳集計値による。

資料：鶴岡市公有財産表

# ■ 財 政

## 1 各会計別予算及び決算

(単位：千円)

	当 初 予 算			令和4年度決算	
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	歳 入	歳 出
一 般 会 計	70,245,000	71,773,000	70,700,000	77,546,187	75,774,885
企 業 会 計	34,465,431	34,630,898	35,365,477	31,184,662	33,690,082
病 院 事 業	16,568,697	17,451,673	18,224,314	17,656,179	17,408,039
水 道 事 業	4,928,128	4,873,556	4,954,487	3,689,903	4,488,973
下 水 道 事 業	12,968,606	12,305,669	12,186,676	9,838,580	11,793,070
特 別 会 計	30,864,853	30,873,516	30,362,578	33,132,448	30,016,474
国 民 健 康 保 険	12,429,336	12,587,868	12,261,313	14,173,044	12,296,175
後 期 高 齢 者 医 療	1,661,069	1,752,659	1,778,797	1,720,216	1,716,890
介 護 保 険	16,704,619	16,468,776	16,257,223	17,171,260	15,948,841
休 日 夜 間 診 療 所	62,269	56,766	57,798	51,211	50,985
墓 園 事 業	7,560	7,447	7,447	16,717	3,583
合 計	135,575,284	137,277,414	136,428,055	141,863,297	139,481,441

## 2 一般会計予算の推移（当初予算）

### (1) 歳入

(単位：千円・%)

	実 数			構 成 比		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
市 税	14,413,868	15,026,814	15,314,560	20.5	20.9	21.7
地 方 譲 与 金	607,720	637,775	628,197	0.9	0.9	0.9
利 子 割 交 付 金	17,981	13,194	3,423	0.0	0.0	0.0
配 当 割 交 付 金	34,030	34,085	63,081	0.0	0.1	0.1
株 式 譲 渡 所 得 割 交 付 金	26,043	37,372	62,612	0.0	0.1	0.1
法 人 事 業 税 交 付 金	105,372	165,433	202,793	0.2	0.2	0.3
地 方 消 費 税 交 付 金	2,786,872	2,867,678	3,191,716	4.0	4.0	4.5
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	6,930	6,979	7,405	0.0	0.0	0.0
自 動 車 取 得 税 交 付 金	-	-	-	-	-	-
環 境 性 能 割 交 付 金	42,784	50,886	53,652	0.1	0.1	0.1
地 方 特 例 交 付 金	542,382	101,224	91,871	0.8	0.1	0.1
新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 対 策 地 方 税 減 取 補 填 特 別 交 付 金	441,882	-	-	-	-	-
地 方 交 付 税	21,123,931	22,207,782	22,385,288	30.1	30.9	31.7
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	21,192	21,870	21,345	0.0	0.0	0.0
分 担 金 及 び 負 担 金	1,166,053	536,203	511,545	1.7	0.8	0.7
使 用 料 及 び 手 数 料	991,180	940,808	929,121	1.4	1.3	1.3
国 庫 支 出 金	8,294,615	9,031,467	8,537,395	11.8	12.6	12.1
県 支 出 金	4,953,819	5,337,806	5,467,743	7.0	7.4	7.7
財 産 収 入	255,487	285,969	262,922	0.4	0.4	0.4
寄 附 金	1,548,063	2,053,092	2,092,074	2.2	2.9	3.0
繰 入 金	1,503,726	2,428,664	2,052,991	2.1	3.4	2.9
繰 越 金	107,500	100,000	100,000	0.2	0.1	0.1
諸 収 入	4,179,052	4,152,099	4,236,466	5.9	5.8	6.0
市 債	7,516,400	5,735,800	4,483,800	10.7	8.0	6.3

### (2) 歳出

(単位：千円・%)

	実 数			構 成 比		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
議 会 費	382,288	376,909	352,650	0.5	0.5	0.5
総 務 費	8,963,094	9,557,024	9,537,673	12.8	13.3	13.5
民 生 費	20,425,317	21,634,350	21,441,388	29.1	30.1	30.3
衛 生 費	8,581,616	6,660,542	6,843,283	12.2	9.3	9.7
労 働 費	102,373	95,039	80,568	0.1	0.1	0.1
農 林 水 産 業 費	3,785,643	4,766,094	3,829,644	5.4	6.6	5.4
商 工 費	4,932,335	5,500,719	4,450,025	7.0	7.7	6.3
土 木 費	5,183,382	5,361,231	5,217,594	7.4	7.5	7.4
消 防 費	2,448,853	2,161,482	2,372,755	3.5	3.0	3.4
教 育 費	6,792,725	6,707,484	7,360,559	9.7	9.4	10.4
災 害 復 旧 費	193,350	97,424	226,393	0.3	0.1	0.3
公 債 費	8,389,024	8,804,702	8,937,468	11.9	12.3	12.6
予 備 費	65,000	50,000	50,000	0.1	0.1	0.1

### 3 一般会計性質別内訳

(単位：千円・%)

	実 数			構 成 比		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
消費的経費	44,062,485	45,123,213	46,188,406	62.7	62.8	65.4
人件費	11,698,043	11,527,916	11,716,595	16.7	16.0	16.7
物件費	8,909,932	9,054,642	9,962,375	12.7	12.6	14.1
維持補修費	1,067,292	1,054,381	1,043,131	1.5	1.5	1.5
扶助費	13,081,377	13,866,993	13,812,594	18.6	19.3	19.5
補助費等	9,305,841	9,619,281	9,653,711	13.2	13.4	13.6
投資的経費	8,130,560	8,187,054	6,069,198	11.6	11.4	8.6
普通建設事業費	7,937,210	8,089,630	5,842,805	11.3	11.3	8.3
災害復旧事業費	193,350	97,424	226,393	0.3	0.1	0.3
その他	18,051,955	18,462,733	18,442,396	25.7	25.8	26.0
公債費	8,389,024	8,804,702	8,937,468	11.9	12.3	12.6
積立金、貸付金、投資及び出資金	4,388,196	4,387,479	4,228,071	6.3	6.1	5.9
繰出金	5,209,735	5,220,552	5,226,857	7.4	7.3	7.4
予備費	65,000	50,000	50,000	0.1	0.1	0.1

### 4 財政力指数等

(単位：千円・%)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
基準財政需要額	32,030,327	32,771,839	33,615,866	34,871,120	35,611,878
基準財政収入額	13,738,928	13,737,523	14,673,938	14,355,024	14,844,997
財政力指数	0.421	0.423	0.428	0.423	0.422
普通交付税	19,807,459	19,566,081	19,275,722	20,571,006	20,740,793
特別交付税	1,937,857	1,960,309	2,054,468	2,477,520	1,937,357
経常収支比率	90.1 (94.6)	92.5 (96.1)	91.3 (94.6)	89.6 (93.7)	94.9 (96.1)
実質公債費比率	6.3	6.1	5.8	6.1	6.7

※ ( ) は減収補填債特例分及び臨時財政対策債を経常一般財源等から除いた比率

### 5 地方債残高 (各年度末現在)

(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
一般会計	74,591,856	78,481,492	81,654,222	79,798,614	76,827,738
特別会計	-	-	-	-	-
企業会計	57,217,788	54,749,825	51,793,528	48,419,673	46,382,102
病院事業	14,578,492	14,130,954	13,261,929	12,202,211	12,315,505
水道事業	4,854,287	4,349,078	3,839,533	3,339,265	2,838,338
下水道事業	37,785,009	36,269,793	34,692,066	32,878,197	31,228,259

## 6 基 金 (各年度末現在)

### (1) 積立基金

(単位：千円・㎡)

	積立種別	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
財 政 調 整	現金	4,466,857	4,481,022	4,675,552	5,040,628
減 債	現金	4,065,491	4,084,527	4,100,984	4,299,745
公 共 施 設 整 備	現金	2,850,083	2,772,689	2,708,691	2,553,157
社 会 福 祉	現金	182,987	165,238	145,238	125,874
池 野 社 会 福 祉	現金	4,699	4,662	4,662	4,662
ふるさと農村地域活性化	現金	10,000	10,000	10,000	10,000
中央工業団地内財産整備	現金	142,556	117,865	138,468	67,850
秋 山 考 案 奨 励	現金	14,608	14,325	14,257	13,887
読 書 奨 励	現金	1,774	1,774	1,774	1,774
文 化 振 興	現金	17,757	17,757	22,327	22,327
ス ポ ー ツ 振 興	現金	7,296	7,296	7,296	7,296
農 業 発 展 奨 励	現金	14,730	14,188	13,197	11,689
ウ ィ ス テ リ ア	現金	13,284	13,395	13,483	13,573
やまぶし温泉ゆぽか整備	現金	3,272	3,277	3,281	3,284
櫛引小中学校整備	現金	1,722	0		
月山ダム周辺環境整備	現金	8,247	6,249	4,193	1,906
人 材 育 成	現金	52,564	52,589	52,589	52,589
都市計画区域事業推進	現金	55,054	55,093	35,277	34,701
地域まちづくり未来	現金	481,066	532,108	542,973	575,766
秋山太一郎科学技術教育振興	現金	18,379	17,411	16,429	15,441
地 域 振 興	現金	3,300,000	3,040,000	3,040,000	2,900,000
過 疎 地 域 活 性 化	現金	10,808	10,785	9,052	8,961
産 業 人 材 育 成	現金	23,051	18,085	13,104	8,117
加茂水族館整備振興	現金	1,380,907	1,342,882	1,244,997	1,241,085
森 林 環 境 譲 与 税	現金	27,292	79,282	124,622	78,065
緊急経済対策金融支援	現金		612,000	408,043	374,737
奨 学 金 返 済 支 援	現金			0	6,000
畜 産 振 興	現金			76,463	84,043
月山山麓地区造成施設整備	現金			3,718	7,719
国民健康保険事業運営	現金	850,447	850,447	850,447	850,447
介 護 給 付 費 準 備	現金	552,027	752,841	753,620	1,154,389
緑 地 等 整 備	現金	105,935	85,160	56,934	21,682
	土地	33,423.53	32,942.53	32,744.90	32,580.42
居 住 促 進	現金	0	0	0	0
	土地	487.04	487.04	600.83	691.57

### (2) 運用基金

(単位：千円・頭)

	積立種別	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
肉 用 牛 振 興	現金	114,992	120,617		
	肉牛	49	38		
育 英 奨 学	現金	163,891	171,388	182,247	193,698
	貸付	77,042	70,528	60,697	49,601
物 品 調 達	現金	4,986	4,670	4,230	5,044
	物品	1,014	1,330	1,770	956

# ■ 市 税

## 1 市税税目別構成

(単位：千円・%)

	当 初 予 算 額			構 成 比		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
市 民 税	5,512,586	5,791,611	6,025,268	38.3	38.5	39.3
個 人	4,755,965	4,964,769	5,181,424	33.0	33.0	33.8
法 人	756,621	826,842	843,844	5.3	5.5	5.5
固 定 資 産 税	6,866,466	7,101,433	7,086,334	47.6	47.3	46.3
軽 自 動 車 税	450,010	467,285	490,546	3.1	3.1	3.2
市 た ば こ 税	756,798	768,040	796,870	5.3	5.1	5.2
特 別 土 地 保 有 税	0	0	0	0.0	0.0	0.0
入 湯 税	87,122	90,160	103,679	0.6	0.6	0.7
都 市 計 画 税	740,886	808,285	811,863	5.1	5.4	5.3
合 計	14,413,868	15,026,814	15,314,560	100.0	100.0	100.0

## 2 市税の収入状況 (決算額)

(単位：千円・%)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予 算 額	15,157,815	15,181,071	15,700,143	14,413,868	15,082,517
調 定 額	15,964,477	15,910,411	16,262,772	15,934,963	16,368,443
収 入 済 額	15,234,823	15,210,008	15,577,334	15,304,971	15,799,255
過 誤 納 金 未 処 理 額	0	0	0	0	4
不 納 欠 損 額	67,531	69,013	83,795	97,086	61,450
未 納 繰 越 額	662,123	631,390	601,643	532,906	507,742
徴 収 率	95.43	95.60	95.79	96.05	96.52%

※徴収率 = (収入済額 - 過誤納金未処理額) / 調定額

## 3 個人市民税の所得種類別課税状況 (令和4年度)

(単位：人・千円)

	納税義務者	総所得金額等	課税標準額	税 額
給 与 所 得 者	45,853	129,945,506	74,745,978	4,205,029
営 業 所 得 者	1,863	7,170,916	4,777,683	271,066
農 業 所 得 者	769	2,837,968	1,593,177	92,358
そ の 他 の 所 得 者	6,949	11,695,210	5,447,774	302,902
分 離 課 税	368	1,897,100	4,062,854	151,333
合 計	55,802	153,546,700	90,627,466	5,022,688
均 等 割	62,713			219,496

## 4 口座振替

(単位：件・千円)

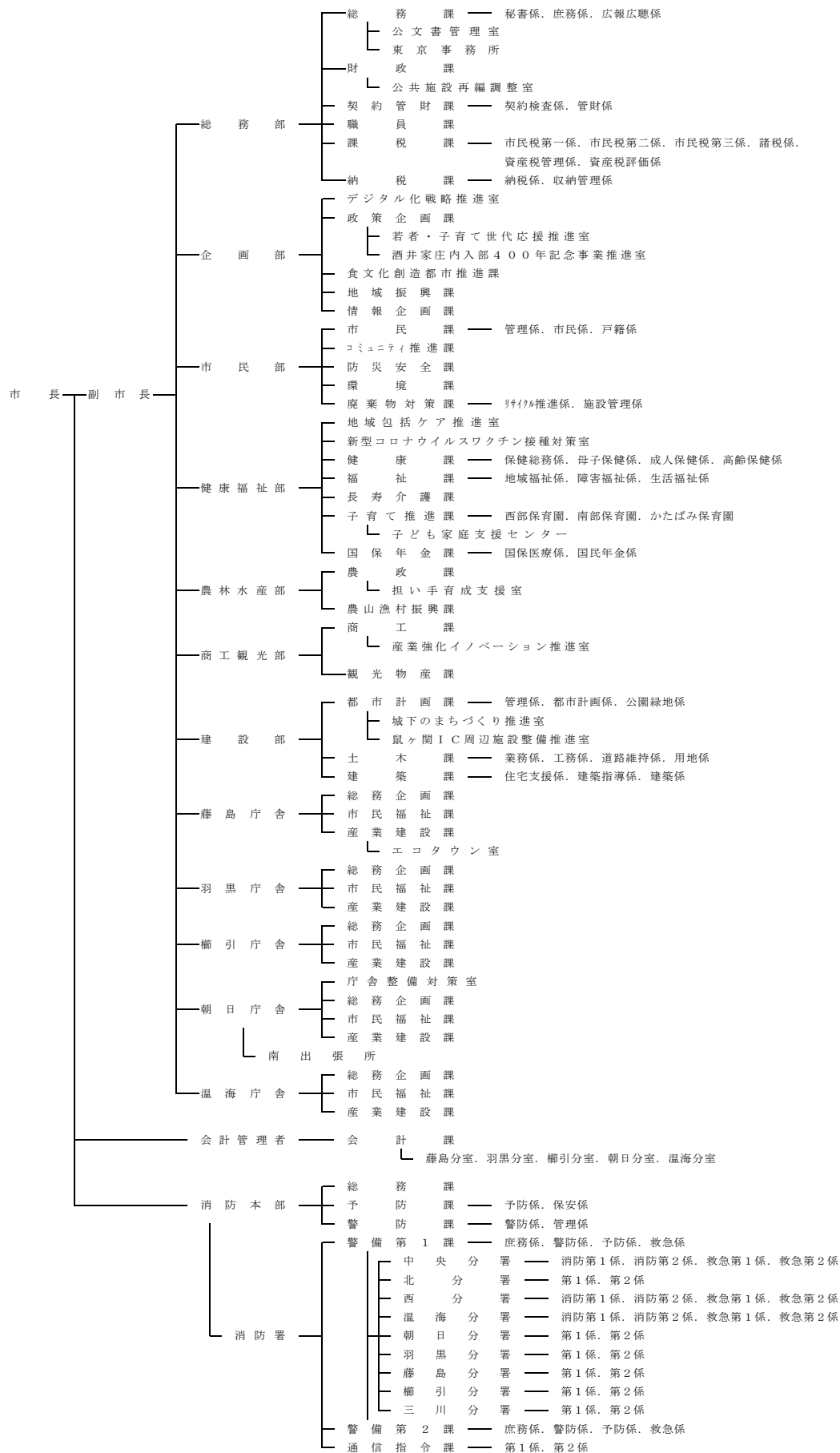
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
件 数	286,642	274,905	286,874	280,128	276,120
市 税 等	214,930	204,962	218,708	213,549	212,002
国民健康保険税	71,712	69,943	68,166	66,579	64,118
納 付 額	6,909,610	6,774,497	7,002,614	6,620,225	7,548,407
市 税 等	5,276,369	5,188,138	5,395,598	5,096,190	6,188,644
国民健康保険税	1,633,241	1,586,359	1,607,016	1,524,035	1,359,763

※市税等の値は、市県民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税及び保育料の合計。  
令和2年度以降は介護保険料及び後期高齢者医療保険料も含む。



# 行政機構・人事

## 1 行政機構図 (令和5年4月1日現在)



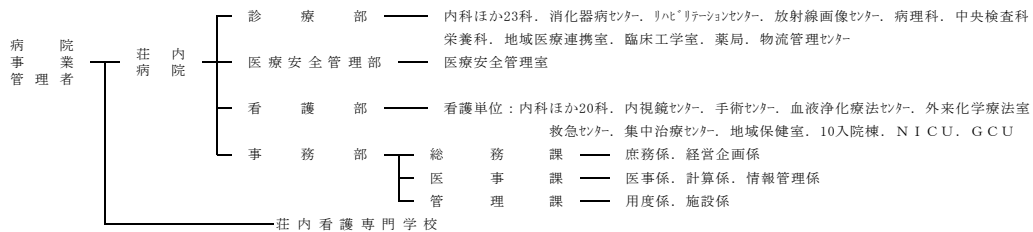
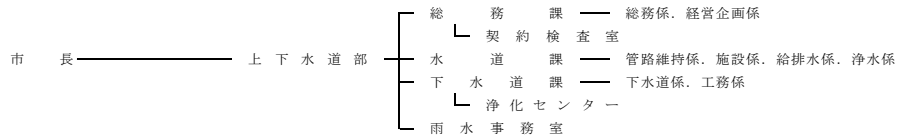
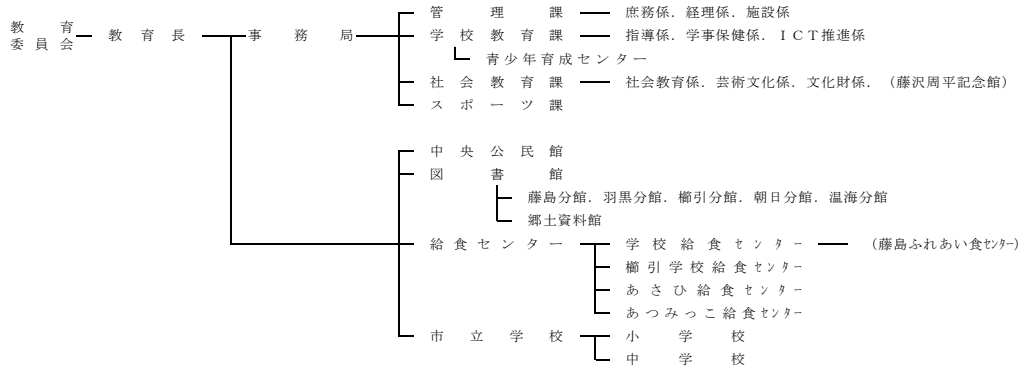
市 議 会 ————— 事 務 局 ————— 庶務係、議事係、調査係

選挙管理委員会 ————— 事 務 局  
└── 藤島分室、羽黒分室、櫛引分室、朝日分室、温海分室

監 査 委 員 会 ————— 事 務 局

農 業 委 員 会 ————— 事 務 局  
└── 鶴岡分室、羽黒分室、櫛引分室、朝日分室、温海分室

固定資産評価審査委員会



## 2 職 員 数

### (1) 部門別職員数

(単位：人)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
普 通 会 計	福 祉 関 係 を 除 く 一 般 行 政	議 会	8	8	8	8	
		総務・企画	218	218	217	215	
		税 務	69	68	68	69	
		労 働	2	2	2	2	
		農 林 水 産	100	98	96	98	
		商 工	38	35	36	38	
		土 木	90	90	88	87	
		小 計	525	519	515	517	
		福 祉 関 係	民 生	134	135	133	133
			衛 生	93	91	94	95
			小 計	227	226	227	228
		一般行政部門計	752	745	742	745	
		教 育	179	171	163	162	
		消 防	207	207	209	210	
	普通会計計	1,138	1,123	1,114	1,117		
公 営 企 業 等 会 計 部 門	病 院	651	666	672	655		
	水 道	29	29	27	29		
	下 水 道	29	29	29	28		
	交 通	0	0	0	0		
	そ の 他	60	59	58	58		
	公営企業等会計部門計	769	783	786	770		
総 合 計		1,907	1,906	1,900	1,887		

※令和4年度より定員適正化計画の部門区分で職員数を表記しているもの

### (2) 職種別職員数

(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一 般 行 政 職	719	709	703	701
税 務 職	78	77	77	78
医 療 技 術 職	5	5	5	5
看 護 ・ 保 健 職	36	35	35	38
福 祉 職	48	47	47	46
消 防 職	204	204	207	208
企 業 職	708	723	727	711
技 能 労 務 職	84	80	72	72
教 育 職	25	26	27	28
合 計	1,907	1,906	1,900	1,887

## ■ 歴 代 三 役

職 名	歴代	氏 名	在 任 期 間
市 長	1	富 塚 陽 一	平17.10.23 ~ 平21.10.22
	2	榎 本 政 規	平21.10.23 ~ 平29.10.22
	3	皆 川 治	平29.10.23 ~
助 役	1	芳 賀 肇	平17.11.11 ~ 平19. 3.31
副 市 長	2	佐 藤 智 志	平19. 4. 1 ~ 平21.10.22
		佐 藤 正 明	平19. 4. 1 ~ 平21.10.22
	3	山 本 益 生	平21.11. 9 ~ 平29.10.22
	4	山 口 朗	平29.11. 9 ~ 令 3.11. 8
	5	阿 部 真 一	令 3.11.11 ~
収 入 役	1	富 樫 毅	平18. 1. 1 ~ 平19. 9.30

## ■ 報 酬 ・ 給 与

### 1 特別職の報酬・給料

(単位：円)

	摘 要	現 行	施行年月日	改 定 前
市 長	月 額	914,000	平成18. 4. 1	980,000
副 市 長	〃	718,000	〃	770,000
病 院 事 業 管 理 者	〃	635,000	平成22. 4. 1	—
教 育 委 員 会 委 員	〃	98,900	平成17.10. 1	—
教 育 長	〃	635,000	平成22. 4. 1	573,000
監 査 委 員 有 識 者 選 出	〃	(非常勤) 222,000	令和2. 4. 1	(常勤) 559,000
議 会 選 出	〃	41,500	平成17.10. 1	—
選 挙 管 理 委 員 会 委 員 長	〃	51,900	〃	—
委 員	〃	33,600	〃	—
農 業 委 員 会 会 長	〃	96,000	平成29. 3.23	94,000
会 長 職 務 代 理 者	〃	52,900	〃	50,900
部 会 長	〃	51,900	〃	49,900
委 員	〃	43,000	〃	41,000
農 地 利 用 最 適 化 推 進 委 員	〃	40,000	〃	—
固 定 資 産 評 価 審 査 委 員 会 委 員	日 額	6,800	平成17.10. 1	—
選 挙 長	〃	10,800	令和元. 6.21	10,600
投 票 管 理 者	〃	12,800	〃	12,600
投 票 立 会 人	〃	10,900	〃	10,700
期 日 前 投 票 管 理 者	〃	11,300	〃	11,100
期 日 前 投 票 立 会 人	〃	9,600	〃	9,500
開 票 管 理 者	1 回	10,800	〃	10,600
選 挙 立 会 人、開 票 立 会 人	〃	8,900	〃	8,800
そ の 他 地 方 公 務 員 法 第 3 条 第 3 項 第 2 号 及 び 第 3 号 の 職 に あ る 者	時 間 額 を も っ て 定 め る 者	時間額2,000円以内で規則で定める額。ただし、規則で定める特別な職にある者については予算の範囲内で規則で定める額		
	日 額 を も っ て 定 め る 者	日額5,300円。ただし、介護認定審査会委員その他規則で定める特別な職にある者については、20,000円以内で規則で定める額		
	月 額 を も っ て 定 め る 者	月額500,000円以内で規則で定める額。ただし、規則で定める特別な職にある者については、予算の範囲内で規則で定める額		
	年 額 を も っ て 定 め る 者	年額700,000円以内で規則で定める額。ただし、規則で定める特別な職にある者については、予算の範囲内で規則で定める額		

## 2 一般職員の給与

(1) 平均給料月額 (令和5年4月1日現在)

(単位：人・百円・歳・年)

	人 員	平 均 給 料	平 均 年 齢	平 均 経 験 年 数
一 般 行 政 職	701	3,344	43.8	22.3
税 務 職	78	3,083	40.8	19.1
医 療 技 術 職	5	3,326	44.8	23.5
看 護 ・ 保 健 職	38	3,292	42.1	19.3
福 祉 職	46	3,816	49.5	28.8
消 防 職	208	3,117	39.4	19.8
企 業 職	711	3,316	40.8	19.0
技 能 労 務 職	72	3,261	52.0	32.7
教 育 職	28	3,735	46.9	24.3
合 計	1,887	3,311	42.5	21.2

(2) ラスパイレス指数

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
101.2	100.8	100.9	100.8	100.8

(3) 初 任 給

(単位：円)

		学 歴 免 許	初 任 給	
一 般 行 政 職	試 験 区 分	上 級	大 学 卒	188,100
		中 級	短 大 卒	169,300
		初 級	高 校 卒	156,300
技 能 労 務 職		高 校 卒	148,500	

## ■ 広報・広聴

### 1 広報事業

#### (1) 広報紙

- ①名称形式 広報つるおか A4判 24頁程度
- ②発行回数・部数 月1回48,000部
- ③配付先・配付方法 住民組織を通じて配付

#### (2) ホームページ

#### (3) フェイスブックページ

#### (4) ツイッター

#### (5) ユーチューブ

#### (6) ライン

### 2 広聴事業

- (1) 市長と語る会 随時
- (2) 市長との対話集会 随時
- (3) 提言はがき 市内公共施設等約100か所に設置
- (4) メール・投稿フォーム 公式ホームページ内

# ■ 電算機の利用

## 1 利用の経過

昭和44年 4月	電子計算機の利用（民間会社へ委託）開始
55年 4月	電子計算組織の運営に係る個人情報の保護条例の施行
8月	個人情報保護対策審議会の設置
56年 7月	新庁舎建設に伴い、委託先における電算処理形態を庁舎内処理形態に改正
59年 6月	本庁において、パソコンの利用を開始
61年 4月	総務部に電子計算室を設置 単独導入、自己処理の検討、漢字化システム及びオンラインシステムの開発に着手
62年 4月	電子計算機の単独導入、自己処理を開始
10月26日	オンラインシステムの初めての稼働（住民情報システム）
63年 4月	OCRの利用を開始
11月	CVC F（無停電電源装置）を設置
平成2年 4月	電子計算機本体を更新
10月	（財）地方自治情報センターより電算優良団体表彰
5年 1月	電子計算機本体を更新
4月	総務部情報統計課に名称を変更、財務会計オンラインシステム稼働
8年 8月	インターネットのホームページを開設
9年 1月	電子計算機本体を更新（LAN敷設）
10年 1月	財務端末機を更新
6月	グループウェア導入
11年 1月	住民記録系端末機を更新
12月	CVC F更新
12年 4月	介護事務処理システム、介護認定支援システム導入
9月	戸籍総合システム導入
13年 1月	電子計算機本体を更新
9月	図書館蔵書のインターネット検索稼働
14年 8月	住基ネット稼働
15年 3月	申請書ダウンロードサービス開始 庁内LAN更新（VLAN、基幹1Gbps）
8月	個人情報保護条例施行、住基ネット第2次稼働、LGWAN稼働
16年 1月	公的個人認証サービス稼働 市民税申告支援システム導入
12月	滞納整理支援システム導入
17年 3月	電子計算機本体を更新、合併のため旧計算機併行稼働
5月	マシン室耐震補強、サーバラックアンカー敷設
8月	合併用庁舎間ネットワーク稼働
10月	新市各システム稼働
18年 3月	介護保険予防システム導入
19年 2月	学校統合ネットワーク一次稼働
3月	電子申請・施設予約システム稼働（県・県内市町村共同運営）
4月	企画部企画調整課（情報担当）に名称を変更
19年10月	財務会計システム（予算編成機能）を更新
20年 3月	住基ネット機器更新
4月	後期高齢者医療市町村システム導入 統合内部事務システム（文書管理・財務会計・電子決裁）導入 学校統合ネットワーク本稼働 企画部情報企画課に名称を変更
12月	住民税システム更新 CVC F更新

平成22年 3月	健康情報管理システム導入
	軽自動車税・法人市民税・収納システム更新
23年 3月	公衆無線LAN「FREESPOT」サービス開始
	固定資産税・国保（税・資格）・国民年金システム更新
24年 3月	下水道受益者負担金業務・住宅管理業務・保育業務の各情報システム更新
	介護事務処理システム・介護認定システム更新
25年 1月	統合内部事務システム（庶務事務）導入
2月	図書館システム更新
3月	地番図システム・家屋評価システム更新
	住基ネット機器更新
25年10月	統合内部事務システム（文書管理・財務会計・電子決裁）を仮想サーバに移行
	インターネットシステム・ネットワーク機器更新
	CVC F（無停電電源装置）を更新
26年 1月	情報資産管理システム導入
3月	LGWAN機器更新（第三次LGWAN）
27年 1月	住民情報システム機器更新
	（住民記録・住民税・軽自動車税・法人市民税・収納・固定資産税・国民健康保険 （税・資格）・国民年金等の各システム）
	学校グループウェア更新
	電子申請・施設予約システム更新（県・県内市町村共同運営）
2月	ホームページ更新
3月	OCRシステム更新
28年 3月	健康情報管理システム更新
	空き家情報システム導入
	団体内統合宛名システム導入
29年 1月	市民税申告支援システム更新
2月	住民票等証明書のコンビニ交付サービス開始
3月	滞納管理システム更新
	市営住宅管理システム更新
	顔認証システム導入
30年 2月	学校統合ネットワーク機器更新
3月	戸籍総合システム機器更新
	介護事務処理システム・介護認定システム機器更新
	後期高齢者医療市町村システム機器更新
	人事給与・庶務事務システム機器更新
	グループウェア機器更新
	図書館システム機器更新
10月	インターネットシステム・ネットワーク機器更新
31年 1月	情報資産管理システム機器更新
3月	統合内部事務システム（文書管理・財務会計・電子決裁）機器更新
	住基ネット機器更新
	林地台帳システム導入
	避難行動要支援者支援システム導入
令和元年 9月	地番図システム・家屋評価システム更新
2年 1月	鶴岡市住民情報システム機器更新
	（住民記録・住民税・軽自動車税・法人市民税・収納・固定資産税・国民健康保険 （税・資格）・国民年金等の各システム）
	総合収納システム導入
3月	OCRシステム更新
	法定外公共物管理システム更新
	各種証明書出先出力システム更新
10月	GIGAスクール用タブレット型パソコン購入・授業支援システム導入



令和3年3月	G I G Aスクールネットワーク導入
11月	L I N E公式アカウント本格導入（機能拡張）
12月	児童家庭相談記録システム導入
4年3月	R P A ・ A I - O C R ツール導入
	統合型校務支援システム導入(中学校)
6月	統合型校務支援システム導入(小学校)
7月	会議録作成支援システム導入
5年2月	滞納管理システム更新
	学校統合ネットワーク機器更新
	C V C F（無停電電源装置）更新
3月	コンビニ交付サービス機器更新
	行政手続オンライン化に係る申請管理システム導入

## 2 電算処理適用業務 (令和5年4月1日)

主 管	業 務	シ ス テ ム	主 管	業 務	シ ス テ ム							
市 民 課	住 民 記 録	住 民 記 録	課 税 課	宛 名	住 登 外							
		印 鑑 登 録			送 付 先							
		住 民 記 録 副 本		国 保	国 保 税							
	戸 籍	住 基 ネ ッ ト		国 保 税 統 計	税 務	税 務	軽 自 動 車 税					
		戸 籍 情 報		附 票 情 報			固 定 資 産 税					
		人 口 動 態 調 査		公 的 個 人 認 証			口 座 振 替					
公 的 個 人 認 証	証 明 書 発 行	公 的 個 人 認 証		住 民 税			申 告 相 談 支 援					
		コ ン ビ ニ 交 付		税 証 明			地 番 函					
		県 震 度 情 報		法 人 市 民 税			家 屋 評 価					
防 災 安 全 課	危 機 管 理	J - A L E R T		情 報 企 画 課			情 報	イ メ ー ジ フ ァ イ リ ン グ				
		E m - N e t						グ ル ー プ ウ ェ ア				
環 境 課	公 害 管 理	公 害 苦 情 処 理						都 市 計 画 課	空 家 管 理	空 家 情 報 シ ス テ ム		
		健 康 情 報 管 理	土 木 課							公 共 物 管 理	公 共 物 管 理	
健 康 課	犬 登 録 管 理	犬 登 録 管 理			土 木 積 算	建 築 確 認 支 援					建 築 設 計 支 援	
			福 祉 課							生 活 保 護		生 活 保 護
福 祉 タ ク シ ー	福 祉 タ ク シ ー	公 営 住 宅 管 理										
障 害 者 福 祉	障 害 者 福 祉											
要 支 援 者 支 援	要 支 援 者 支 援											
長 寿 介 護 課	介 護		介 護 一 次 判 定		農 政 課	農 業 情 報				農 業 地 図 帳		
		介 護 事 務 処 理	農 山 漁 村 振 興 課								林 地 情 報 管 理	林 地 台 帳
		介 護 認 定 支 援										
		介 護 予 防		図 書 館			図 書 館 管 理					
子 育 て 推 進 課	生 活 保 護	生 活 保 護			建 築 設 計	建 築 設 計						
			高 齢 者 福 祉					農 業 情 報	農 業 地 図 帳			
			児 童 手 当							農 山 漁 村 振 興 課	林 地 情 報 管 理	
			児 童 扶 養 手 当	学 校 教 育 課			学 校 授 業 支 援					
			給 食 保 育 業 務									図 書 館
保 育 業 務	農 政 課	農 業 情 報										
フ ェ ミ リ ー サ ポ ー ト			農 山 漁 村 振 興 課		林 地 情 報 管 理							
児 童 家 庭 相 談 記 録						学 校 給 食 セ ン タ ー		給 食 管 理				
国 保 年 金 課				国 保			国 保 資 格		会 計 課	財 務	O C R	
							国 保 統 計					財 務 出 納
	県 単	上 下 水 道 部 総 務 課					上 下 水 道 使 用 料					
	国 保 高 額		下 水 道 課		下 水 道 台 帳							
後 期 高 齢 年 金	議 会 事 務 局			議 会 議 録 検 索								
国 民 年 金						議 会 議 録 画 中 継						
総 務 課		広 報					D T P	議 会 L I V E 中 継				
			ホ ー ム ペ ー ジ		ホ ー ム ペ ー ジ				選 挙 管 理			
	例 規			例 規 管 理						期 日 前 / 不 在 者 / 当 日		
						文 書 管 理					投 票 受 付 管 理	
財 務 管 理		選 挙 開 票 録										
			地 方 債 管 理		選 挙 開 票 録							
	職 員 課			職 員 給 与			臨 職 給 与					
						庶 務 事 務		報 酬 管 理				
報 酬 管 理		R P A										
	納 税 課		税 務	綜 合 収 納 管 理	選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局		選 挙		裁 判 員 制 度			
						滞 納 整 理 支 援		裁 判 員 候 補 者 名 簿 調 製				
			農 業 委 員 会 事 務 局	農 家 台 帳	農 地 基 本 台 帳							

## ■ 東京事務所（鶴岡江戸屋敷）

- 所在地 東京都江戸川区西葛西7-28-7  
TEL 03 - 5696 - 6821 FAX 03 - 5696 - 6822 E-mail : tokyo@city.tsuruoka.lg.jp
- 交通手段 地下鉄東京メトロ東西線 西葛西駅下車 南口から徒歩約10分
- 開設 平成2年4月24日
- 施設内容 敷地面積 143.58㎡（江戸川区所有地を賃借）  
建築面積 150.94㎡  
1階 74.98㎡ 展示・応接室、事務室等  
2階 75.96㎡ 会議室（定員20人）
- 業務内容 ①情報の受発信 ②人材ネットワークの推進 ③友好都市との交流  
④物産・観光のPR ⑤その他、地域と産業の振興に関すること

### 1 来所者数 (単位：人・団体)

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人 数	2,855	3,380	3,382	1,462	2,118	2,312
団 体 数	260	256	230	128	148	139

### 2 友好都市としての交流 (単位：団体)

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
団 体 数	6	5	9	0	1	2

### 3 会議室利用状況 (単位：人・団体)

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人 数	723	796	884	82	178	391
団 体 数	80	85	91	23	39	46

### 4 実施事業（令和4年度）

- (1) 東京事務所主催事業等
  - 庄内米づくり事業（稲の苗配布 37校、オンライン授業 25校）
  - 鶴岡の観光と物産展（西葛西駅前（年4回））、鶴岡寒鱈まつり
  - 鶴岡特産品の注文販売（砂丘メロン、だだちゃ豆、月山ワイン、庄内柿、温海かぶ、地酒）
  - 江戸川区友好団体連絡会、首都圏鶴岡会役員会、総会、事務所内物産販売
- (2) 首都圏イベントへの参加・協力
  - 環境フェア、グリーンパレス物産展、墨田区民まつり、墨田区国内友好都市オンライン交流会

### 5 情報収集活動

- (1) 中央官庁等訪問、説明会・研究会出席
- (2) 他課所管事業の実施支援
  - 酒井家庄内入部400年記念事業、企業訪問、就職セミナー、鶴岡PRイベント対応
- (3) 主な会議等の出席
  - 都市東京事務所長会、東北都市東京事務所協議会、全国市長会理事・評議員合同会議
  - 全国市長会経済委員会、一般財団法人地域活性化センター情報交換会、内外情勢調査会
  - 全国過疎地域自立促進連盟総会、致道博物館東京友の会、各ふるさと会総会等（山形県人東京連合会、首都圏鶴岡会、東京藤島会、首都圏櫛引会、首都圏庄内あさひ会、ふるさと温海会、東京鶴翔同窓会、如松同窓会東京支部、黎明同窓会関東支部、城畔同窓会関東総支部、大綱学校同窓会東京支部）

(4) 友好都市との交流（主なもの）

【江戸川から鶴岡へ】第22回鶴岡江戸川友好交流演奏会（江戸川第九を歌う会）

## 6 広報関係

(1) 定期

江戸川区広報「えどがわ」、FMえどがわ、SNS、メール配信

(2) 記事掲載、取材協力

JCOMケーブルテレビ、荘内日報、アエルデ、葛西新聞、東都よみうり、葛西カタログ  
まいぷれ江戸川区等

# ■ 出羽庄内国際村

## 1 施設の内容

(1) 開設年月日 平成6年4月24日

(2) 施設の概要 敷地総面積 10,715.53㎡  
 建物延床面積 3,198.84㎡ (鉄筋コンクリート一部2階建)  
 事業費総額 19億7,550万円  
 (昭和63年自治省リーディングプロジェクト指定事業)

1階 (2,533.14㎡)	
国際村ホール	講演会やシンポジウム、各種イベントのほか展示会やコンサート等に利用。収容人数350人。床面積：431.79㎡
インフォメーションコーナー	国際交流や語学学習に関する情報提供
図書コーナー	国際交流関係の書籍・雑誌等を配置
交流サロン	軽食喫茶コーナー (韓国料理)
その他	事務室、応接会議室、ロビー、収蔵庫等
2階 (665.70㎡)	
研修室	外国語講座・日本語講座等に利用。収容人数30～40人
小研修室	小グループでの学習会等に利用。収容人数20人
調理実習室	世界各国の民族料理の学習等に利用。調理台3台
和習室	各種日本文化の学習・会議等に利用。50畳
野 外	
交流広場	建物に囲まれた中庭。各種イベント等に利用
駐車場	160台収容。大型バスも駐車可

(3) 管理運営 公益財団法人出羽庄内国際交流財団 (基本財産鶴岡市出捐、理事長鶴岡市長) へ委託

(4) 施設利用状況 (単位：人)

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人 数	34,162	33,415	10,656	14,702	20,329

## 2 主要事業実施状況 (令和4年度)

### (1) 国際交流促進事業

地域住民が国際交流を身近に体験する機会として、関係団体、ボランティアとの連携を図りながら、世界各国の文化・芸能・料理・音楽等を紹介する各種の催しを実施、開催を支援した。

#### ①交流イベント開催・支援事業

- ・ワールドバザール (実行委員会)

6月11日、12日 国際村利用団体等によるステージ発表、世界の民族料理模擬店、フリーマーケットなどに1,400人が参加した (新型コロナウイルス感染予防のため定員を設定)

- ・出羽庄内国際村音楽祭 (実行委員会)

7月23日 ウクライナの伝統楽器の演奏と歌のコンサートに318人が参加した。

- ・新年を祝う会

2月5日 日本語教室、語学講座関係者、ボランティアなど約110人が参加した。

#### ②交流事業の開催支援

- ・コロラド州青年訪問団受入れ事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため日本へ入国や移動が困難なため中止 (例年6月実施)

### ③国際姉妹都市・友好都市との交流の促進

鶴岡ニューブランズウィック友好協会、鶴岡ラフォア友好協会、鶴岡田川地区日中友好協会の事務局業務を担い、市民レベルでの交流促進を図った。

- ・ニューブランズウィック姉妹都市委員会主催の音楽イベントにウェブを活用し参加した。
- ・ニューカレドニアの伝統的な建物「カーズ」の案内板を会員とともにリニューアルした。
- ・中学生・友好協会訪問団受入れ事業(両市)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・春節を祝う会、中国語講座を実施した。訪中団派遣は新型コロナウイルスの影響により中止

## (2) 国際理解促進事業

### ①語学講座の開講

英語、中国語、韓国語の講座、フリートーク型講座のほか、実践的な会話を学ぶ特別講座を開催した。

- ・外国語講座（英語、中国語、韓国語） 参加者 118人
- ・フリートーク型講座（英語、中国語、韓国語、スペイン語、フランス語） 参加者 延べ907人
- ・特別講座（英語、韓国語） 参加者 29人

### ②国際理解講座等の開催

子どもから大人までがそれぞれの興味に応じて参加できるように、料理や体験講座などのカリキュラムを作成し実施した。

- ・せかいの台所：料理講座（6回） 参加者 延べ115人  
日本在住の台湾、メキシコ、ベナン、ボリビア、韓国、ケニア出身者を講師に開催した。
- ・ワールドコミュニケーションクラブ 参加者 延べ124人  
中学生・高校生が英語を使ったクイズやゲーム、おやつ作りに取り組んだほか、指導者の母国であるイギリスやカナダの文化を体験するなど、英語を実践的に学習した。（月1回開催）
- ・太極拳体験講座 参加者 入門コース9人、スキルアップコース12人（前期24回、後期24回開催）
- ・旅する国際村オンラインツアー 参加者 延べ214人  
ニュージーランド（オークランド）、ベトナム（ダナン）、中国（海南）、シンガポール、ルワンダ、ドイツ（ハノーバー）
- ・フレンドシップサロン 参加者 延べ34人  
外国人や海外活動経験者を講師に招き、様々な知識や理解を深め、自由に意見交換できる講座を2回開催した。

### ③コロラド訪問団派遣

山形県と姉妹州であるコロラド州に訪問団を派遣し、ホームステイ等を通して国際感覚の育成、英語実践力の向上、国際理解を深めるもの。

- ・中高生・社会人コロラドスタディツアー
- ・英語教育を学ぶコロラドスタディツアー  
両ツアー、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止（例年夏開催）

## (3) 多文化共生促進事業

在住の外国出身者が地域で安心して暮らせるよう、日本語指導、日本文化体験、生活相談、情報の収集提供などの事業を行った。

### ①日本語教室運営支援事業

- ・日本語教室（共催）

毎週日・水・土曜日及び学習者のニーズに応じて開催を支援した。またオンラインでの受講にも対応した。

日本語指導者ボランティア41人 学習者 112人（27か国・地域）  
アメリカ、イギリス、インドネシア、ウガンダ、エジプト、オランダ、カナダ、カンボジア、ギニア、ケニア、シリア、シンガポール、スペイン、ニュージーランド、パキスタン、フィリピン、ベトナム、ベナン、ペルー、ボリビア、マレーシア、ミャンマー、メキシコ、モンゴル、ルワンダ、韓国、中国

- ・日本語スピーチコンテストin庄内（共催）  
11月6日 出羽庄内国際村を会場に、庄内地域の国際交流関係機関等と連携して実施した。  
発表者 11人（鶴岡7人）、来場者 約70人、Zoom視聴者 約10人
- ・日本料理講座：器の会 参加者 延べ19人  
6月18日、11月26日、ボランティアによる外国人向けの日本の家庭料理講習会を実施した。  
メニュー いなり寿司、枝豆ごはん、にんじんのくるみ和えなど。
- ・お花見・ぶどう狩り 参加者 延べ60人  
4月17日（お花見）、9月24日（ぶどう狩り）日本の季節行事を体験した。
- ・田川地区運動会参加 参加者 約30人  
5月29日、田川地区で開催される地域の運動会に参加し、地域住民との交流を深めるとともに日本文化や習慣を学んだ。
- ・日本語指導ボランティア養成講座（共催） 10月～11月（全4回） 参加者 7人

## ②生活相談業務

生活相談業務担当者として国際交流専門員を配置し、行政や他の機関とも連携し、窓口、電話、SNSによる相談に対応した。また、鶴岡市在住外国人のための防災ハンドブック多言語版（英語、韓国語、ベトナム語、中国語（簡体字）とDEGAM鶴岡商談用パンフレット（英語、タイ語、韓国語、中国語（簡体字、繁体字）の翻訳に協力した。

- ・生活相談窓口の設置  
相談件数 127件  
相談内容 教育・子育て、医療・福祉、生活環境、労働、年金・税金、在留資格など
- ・通訳・翻訳の対応  
依頼件数 69件（通訳47件、翻訳22件）  
依頼主 個人37件、公機関25件、企業4件、その他3件  
依頼内容 医療、生活全般、教育、観光など  
対応言語 英語、中国語、韓国語、ベトナム語、タイ語、モンゴル語
- ・コミュニティ通訳者自主勉強会  
外国出身者も参加し、医療、教育、観光など通訳シミュレーションを行いながら専門用語や適切な表現などを学んだ。（中国語、英語、韓国語の3グループで毎月1回実施 延べ181人）
- ・生活ガイドブック・情報マップの配布  
地域在住の外国出身者向けに生活に必要な基本情報を記載した「生活ガイドブック」「生活情報マップ」を配布した（英語、中国語、韓国語）また、国際村紹介パンフレット「ようこそ出羽庄内国際村へ（5言語記載）」を国際村窓口、市役所窓口等で配布した。

## ③情報収集提供事業

- ・インターネットによる情報提供  
ホームページやフェイスブックで講座やイベントの周知、報告を行った。
- ・会報の発行及びイベント情報などの提供  
「国際村だより」を発行し、イベント情報などを提供した。
- ・インターネットコーナーの設置  
無料で使えるパソコン、インターネットコーナーを設置し、各種情報収集の利便に供した。

# 市 民

## ■ 住民自治組織と行政連絡体制

(令和5年4月1日現在)

庁 舎	組 織	組 織 数	最 多 世 帯 数	最 小 世 帯 数	代 表 者 名 称	交 付 金 額 ( 総 額 )	市からの業務依頼内容
本 所 (市街地)	町内会	102	1,200	40	会 長	組織への交付金 52,501千円	(1) 市広報紙の配付(月1回) (2) 市議会報の配付(年4回) (3) 県広報紙の配付(年6回) (4) 各種通知書の配付、回覧 (5) 各種負担金・募金取りまとめ (6) その他
本 所 (郊外地)	自治会 住民会 町内会	145	450	6	会 長	組織への交付金 47,856千円	(1) 同 上 (2) " " (3) " " (4) " " (5) " " (6) 選挙公報の配付 (7) その他
藤島庁舎	町内会	61	228	10	会 長	組織への交付金 19,581千円	
羽黒庁舎	集落	69	94	5	区 長	組織への交付金 18,036千円	
櫛引庁舎	地区	21	389	24	区 長	組織への交付金 10,750千円	
朝日庁舎	自治会	38	101	2	自治会長	組織への交付金 12,659千円	
温海庁舎	自治会	27	363	6	自治会長	組織への交付金 16,224千円	



# ■ コミュニティ行政

## 1 コミュニティ施設・使用状況

名 称	運営組織 設立年月	施設の概要				地域の人口 (令5. 3. 31現在) (人)	令和4年度 使用状況	
		敷地面積 (㎡)	建物延面積 (㎡)	建築年	態様		回数 (回)	人数 (人)
第一学区コミュニティ 防災センター	昭58. 4	1, 992. 78	935. 68	昭58 (平9, 平14)	新 築 (一部増築)	9, 985	1, 474	15, 633
第二学区コミュニティ 防災センター	〃 59. 4	1, 857. 84	878. 12	昭60	新 築	7, 004	1, 506	16, 572
第三学区 コミュニティセンター	〃 57. 10	総合保健福祉 センターと合築	990. 28	平22	移 転 新 築	12, 355	3, 163	29, 005
第四学区 コミュニティセンター	〃 59. 7	2, 487. 55	839. 31	昭61	新 築	9, 124	1, 763	19, 194
第五学区コミュニティ 防災センター	〃 57. 10	1, 434. 31	853. 97	昭62	移 転 新 築	8, 657	1, 390	16, 090
第六学区コミュニティ 防災センター	〃 59. 6	4, 275. 82	1, 360. 71	平元	新 築	11, 227	2, 225	33, 265
斎コミュニティ 防災センター	〃 52. 7	1, 992. 40	872. 78	平5	移 転 新 築	2, 043	545	8, 981
黄金コミュニティ 防災センター	〃 53. 4	2, 841. 00	975. 06	平8	移 転 新 築	1, 699	467	7, 318
湯田川 コミュニティセンター	〃 54. 4	7, 516. 00	726. 56	昭60 (平29)	改 築 (一部増築)	933	604	6, 059
農村センター	〃 54. 4	4, 712. 42	1, 597. 86	平7	新 築	4, 033	767	12, 113
京田コミュニティ 防災センター	〃 54. 4	4, 432. 01	894. 84	平11	移 転 新 築	1, 840	353	5, 248
栄コミュニティ 防災センター	〃 52. 7	2, 133. 00	745. 81	平3	移 転 新 築	842	329	3, 070
田 川 コミュニティセンター	〃 55. 4	5, 700. 00	1, 589. 05	昭62 (平30)	小学校転用 (一部改修)	733	643	9, 380
上 郷 コミュニティセンター	〃 55. 4	5, 204. 90	1, 556. 14	昭59	移 転 新 築	1, 977	1, 321	19, 075
三 瀬 コミュニティセンター	〃 54. 4	2, 057. 69	901. 04	昭56	移 転 新 築	1, 234	715	9, 354
小 堅 コミュニティセンター	〃 55. 4	3, 673. 70	1, 400. 17	昭57 (令3)	小学校転用 (一部改修)	648	265	4, 155
由 良 コミュニティセンター	〃 54. 4	3, 728. 96	1, 077. 40	平25	改 築	896	700	10, 550
加茂コミュニティ 防災センター	〃 57. 4	5, 736. 25	887. 58	令4	移 転 新 築	932	495	6, 778
湯野浜 コミュニティセンター	〃 55. 4	830. 00	1, 321. 19	平4	移 転 新 築	1, 054	709	10, 869
大 山 コミュニティセンター	〃 51. 9	7, 801. 39	1, 398. 00	昭51	新 築	6, 261	1, 934	22, 980
西郷地区 農林活性化センター	〃 55. 4	20, 292. 40	1, 199. 63	平23	新 築	2, 859	497	9, 306
藤島地区 地域活動センター	平25. 11	4, 640. 00	2, 093. 00	昭53	公民館転用	4, 402	935	19, 046

名 称	運営組織 設立年月	施設の概要				地域の人口 (令5.3.31現在) (人)	令和4年度 使用状況	
		敷地面積 (㎡)	建物延面積 (㎡)	建築年	態様		回数 (回)	人数 (人)
東栄地区 地域活動センター	平25.11	3,740.00	1,477.00	平6	公民館転用	1,526	483	7,260
八栄島地区 地域活動センター	〃 25.11	2,632.00	804.00	平16	公民館転用	820	597	7,382
長沼地区 地域活動センター	〃 25.11	20,521.80	1,923.99	平2、3 (令元)	小学校転用	962	604	7,650
渡前地区地域活動センター (藤島南部地区構造改善センター)	〃 25.10	5,019.00	1,408.34	平3	公民館転用	1,623	513	8,534
手向地区地域活動センター (手向地区ふるさとセンター)	〃 26.9	4,389.00	780.02	平9	公民館転用	1,197	339	4,990
泉地区地域活動センター (羽黒農村環境改善センター)	〃 26.8	16,982.00	2,165.00	昭51、平5、 平12	公民館転用	2,967	1,139	14,900
広瀬地区地域活動センター (羽黒勤労者研修センター)	〃 26.8	3,914.00	917.00	平9	公民館転用	2,733	637	7,396
羽黒第四地区 地域活動センター	〃 26.8	2,562.00	1,022.79	昭40 (平31)	小学校転用 (一部改修)	521	169	2,287
朝日中央コミュニティセンター (朝日山村開発センター)	〃 26.9	9,672.00	2,207.30	昭58	公民館転用	2,840	1,045	13,597
朝日南部 コミュニティセンター	〃 26.8	3,309.90	463.75	平5	公民館転用	418	87	980
大網地区 地域交流センター	〃 26.8	9,963.00	951.69	平31	新 築 (小学校一部転用)	247	164	2,036

※令和5年4月1日以降の名称

※人口は市民課「町別世帯数人口集計表」より

## 2 地域活動関連施設・使用状況

名 称	設置年月	敷地面積 (㎡)	建物延面積 (㎡)	建築年	態様	令和4年度 使用状況	
						回数(回)	人数(人)
羽黒コミュニティセンター	昭57.8	4,894	1,772	平16	増改築	459	12,157
温海温泉林業センター	昭58.8	2,187	1,462	昭58	新築	815	13,335

## 3 コミュニティ施設生涯学習事業開催状況

(1) 補助金交付状況

(単位：円)

地 域	名 称	令和4年度	交付等団体(数)・主な事業内容
鶴 岡	広域コミュニティ組織運営・ 地域づくり交付金	102,456,080	21コミュニティ推進団体 体制整備費、活動費等
藤 島		23,564,400	5コミュニティ推進団体 体制整備費、活動費等
羽 黒		15,068,720	4コミュニティ推進団体 体制整備費、活動費等
朝 日		9,879,840	3コミュニティ推進団体 体制整備費、活動費等

## (2) 主な生涯学習事業 (令和4年度)

(単位:人)

学区・地区	内 容	参加者数	学区・地区	内 容	参加者数
第一	鶴南大学講座(現地研修中止)	163	第二	夏まつり	テイクアウト
	文化祭(展示部門)	215		文化祭	463
	生涯学習推進事業	中止		市施設見学会	中止
	キラリ夏まつり	中止		まんてん健康講座	26
	新年パーティー	79		新春交流会	62
	親子でラジオ体操	479		バスハイク	26
	～鶴岡不思議発見～藤島地区	中止		学区内ウォークラリー大会	49
	ステンドグラス教室(6回コース)	6		世代間交流ボウリング大会	24
	生け花教室(6回コース)	4		麻雀大会	33
	スポ・レク事業(トレッキング3回)	47		成人学習講座 天神祭を知る	23
	ソフトバレー、ボウリング大会	44			
第三	令和まなび塾(10回+平日特別講座2回)	137	第四	文芸講座	181
	文化祭(展示 演芸発表)	397		園芸教室	135
	チビッコ広場(5回のうち1回中止)	35		スマホ教室	18
	ふるさと少年少女教室各学年別	572		ステンドグラス教室	39
	趣味教室(6教室 27回)	283		学区愛好者さつき展	140
	特別教室(4教室 4回)	34		親子料理教室(年2回)	34
	月山ペアリフトで巡る秋の月山散策(1回)	25		夏休み勉強会(2日間)	中止
	いきいき健康講座(3回)	48		七宝焼き教室 冬(夏中止)	5
	ギャラリー展示	562		夏休み作品展	140
	グラウンドゴルフ大会	22		グラウンドゴルフ大会	48
	森林セラピー羽黒の小径	24		コミセン祭り	254
	移動講座	36		ボウリング大会	20
				学区写真愛好者写真展	209
		四小生・四中生書初め展	666		
		生き生き健康講座(3回)	98		
		新年大抽選会	98		
		小学生将棋大会	中止		
		囲碁・将棋・麻雀大会	中止		
		学区民軽スポーツ教室	404		
第五	地域子供会リーダー研修会	中止	第六	楽知六講座	160
	しあわせ学園	179		コミセン・福祉まつり	711
	コミセンまつり	200		だがしや楽校	188
	スポ・レク事業	274		ふれあい健康講座	130
	ジャズのタバ	68		健康体操	82
	文化財めぐり	21		スマホ教室	22
	新春のつどい	67		歌のつどい	20
	子ども映写会	50		ペットボトルロケット飛ばし	中止
	子どもクッキング	32		料理教室	22
				ミニ門松づくり	17
				手芸教室	24
		趣味の園芸	54		
		史跡めぐり	25		
		地引網体験	50		
		グラウンドゴルフ大会	50		
		新春囲碁大会	11		
		新春のつどい	145		

学区・地区	内 容	参加者数	学区・地区	内 容	参加者数
齋	成人講座	128	黄金	成人・元気げんき講座	149
	女性セミナー	26		婦人・女性講座	175
	地区体育祭	中止		その他講座・サークル	127
	健康講座	58		金峯少年教室	46
	生きがい講座	中止		むらづくりのつどい	170
	短歌教室	56		運動会	160
	スポ・レク事業	147		スポ・レク事業	214
	湯田川	成人講座		27	大泉
いきいき健康講座		29	文化財愛護会	105	
地区作品展		308	地域婦人の集い	90	
スポ・レク事業		325	住民作品展	80	
交通教室		25	新春懇談会（講演会）	55	
				スポ・レク事業	190
京田	よがんす京田夏祭り	43	栄	生きがい講座	105
	みんなで来ばいちゃコミセン祭り	200		成人・お達者講座	176
	成人教室	45		生涯スポーツ	55
	女性教室	12		さかえ祭り	260
	土ん土ん体験	69		地域女性交流会	22
	親子読書会	142		婦人・若妻講座	128
	スポ・レク事業	60		健康づくり研修	19
田川	合同七つ祝い	20	上郷	文化祭（作品展示のみ）	一部実施
	田川夏祭り	230		地域づくり住民のつどい・講座	中止
	新春放談会	65		青少年学習事業	48
	育児相談	45		新春祝賀会	中止
	軽スポーツ教室	580		軽スポーツ大会 駅伝大会含む	108
	田川太郎の里づくり	200		せせらぎ健康講座	66
	地区大運動会	250		上郷地区内めぐり&スポーツ教室	24
				グランドゴルフ大会	47
			合同七歳祝い	16	
三瀬	いきいきライブ講座	153	小堅	ふれあい講座	113
	孟宗まつり	200		成人学習講座	103
	子育て講座	17		地域文化展	114
	地区作品展	137		親子お楽しみ会	中止
	高齢者学習事業	71		幼児のつどい・ピョピョクラブ	84
	三瀬地区文化財研修講座	34		スポ・レク事業	279
由良	ふれあい講座	146	加茂	楽遊会（生きがい講座）	95
	成人・婦人学習講座	169		地区作品展	149
	青少年事業	172		スポ・レク事業	144
	スポ・レク事業	388		文化財保護活動事業	20
	ゆらつくす健康講座	44		加茂・生涯学習講座	55
	地域づくり研修会	52			
	合同七才祝い	21			
	地区運動会	450			
	新春のつどい	105			
	地区作品展	130			
湯野浜	ふれあい講座	206	大山	高館山少年教室	284
	文化祭	220		令和おうら大学	363
	スポ・レク事業	170		合同作品展	140
	いきいき体操	340		芸能のつどい	中止
	ロゲイニング大会	中止		合同茶会	中止
	合同七歳祝い	30		地公連球技大会	23
	将棋大会	10		公式ワナゲ大会	35
					合同七才祝

学区・地区	内 容	参加者数	学区・地区	内 容	参加者数
西郷	婦人・高齢者学習会	32	藤島	小学生夏休み宿題支援室	241
	愛郷成人講座	59		小学生書初め教室	45
	敬老会	中止		中学3年生学習支援室	420
	短期講座	87		玄関先除雪サービス	82
	婦人・高齢者軽スポーツ	74		クリーン作戦	150
	球技大会・バレーボール大会	中止		健康講座（ヨガ教室）	42
	地区駅伝	中止		健康講座（男ヨガ）	9
	住民作品展	122		あったかボランティア	125
	夏祭り事業	中止		センターフェスタ	300
	新春のつどい	48		文化講演会	92
	さつき盆栽展	77		学社連携事業	68
	西郷地区市民大運動会	中止		市民運動会	中止
	ボッチャ大会講習会	22		軽スポーツ大会	150
	グラウンドゴルフ大会	42		防災研修会	50
	磯釣り大会	15		防災訓練・安否確認訓練	830
	合同七歳祝い	中止		応急手当講習会	中止
東栄	さわやか健康教室	126	八栄島	やえじま活セン祭り（展示）	100
	学習講座	66		野山見どころ散策	20
	陶芸教室	40		町内会役員防災研修会	12
	いきいき百歳体操	71		学社連携グラウンドゴルフ交流会	中止
	やってみよう料理教室	23		落語鑑賞会	16
	冬期健康教室	95		わらしっこ楽園(5回中1回中止)	160
	春季グラウンドゴルフ大会	35		中学生事業	32
	夏季グラウンドゴルフ大会	38		救急法講習会	14
	寄せ植え講習会	30		市民運動会	中止
	あさひ博	263		老人レク大会(ボッチャ)	31
	アソベンチャー	329		冬季レクリエーション大会	中止
				ローラーワークス教室	8
				雛街道研修視察	15
				花いっぱい活動	38
				高齢者対象 地区講演会	30
				あったかボランティア	13
				町内会三役研修会	14
				さわやかストレッチ(毎月2回)	209
				いきいき百歳体操(毎月2回)	166
				そば打ち体験教室	12
		女性対象研修会	13		
		初心者向けスマホ教室	8		
		親子笹巻き作り教室	15		
		体育部員ボッチャ研修会	21		
		敬老事業(記念品の配布)	20		
		七歳還暦合同祝い	35		

学区・地区	内 容	参加者数	学区・地区	内 容	参加者数
長沼	長沼秋まつり（芸術文化祭）	129	渡前	成人講座（表書き）	72
	里山めぐり	20		成人講座（親子そば打ち体験教室）	11
	ふれあいデー	75		総合研修会	37
	あったかボランティア	24		郷土史セミナー	33
	わら工芸教室	33		市民運動会	275
	そば打ち体験教室	5		ソフトボール大会	32
	グラウンドゴルフペア大会	36		グラウンドゴルフ大会	46
	長沼わんぱく広場	221		ウォーキング教室	12
	夏季書道練成会	97		ボウリング大会	中止
	放課後子ども教室	349		軽スポーツ大会	33
	市民運動会	中止		芸術文化祭	262
	軽スポーツ大会	24		地ふぶき祭り	180
	高齢者レクリエーション大会	68		学社連携（畑活動）	264
	救急救命講習会	10		学社連携（ドリームランド）	165
	中学生事業	中止		ボランティア活動（中学生ボランティア）	13
	ウォーキング大会	52		ボランティア活動（夏休み宿題大作戦）	116
	館内ウォーキング	234		ボランティア活動（あったかボランティア）	46
	健康けん玉教室	30		さくら回廊管理	73
	夏休み宿題塾	20		救命法講習会	24
					地域ビジョン策定事業
手向	秋の音楽交流会	28	泉	除雪機講習会	8
	女性セミナー教室	151		地域ビジョン策定	21
	いきいき百歳体操	936		木のやさしさ工房	30
	ホタル観賞会	58		健幸カラダづくり	23
	にこにこ料理教室	43		グラウンドゴルフ大会	22
	羽黒山杉並木観察会	15		地区文化祭	173
	ツリーイング教室	53		しめ縄飾りづくり	13
	防犯パトロール	22		編み物教室	58
	防災訓練	22		イズミネーション	97
	羽黒山朝山登山	57		グリーン大作戦	100
	地区球技大会	85		高齢者げんき塾	63
	男の料理教室	16		新春健康のつどい	28
	手向門前市・随神門前ポケットパーク	300		いきいき百歳体操	440
	手向門前市・蝦夷館公園	200		交通安全教室	23
	シニアスマホ教室	28		防犯研修会	23
	ボッチャ講習会	12		おやこクッキング	23
	学区運動会（羽黒小）	中止		雪あそび塾	79
				エコクラフト教室	35
				飾り巻き寿司づくり	14
				防災訓練	50
				いずみみんなでウォーキング	42
				スマホ教室	13
				IZUMIの宝発表会	中止
				ミニ門松づくり	中止
				リーダー研修視察	中止
				学区運動会（羽黒小）	中止
		地区レクリエーション大会	中止		
		泉地区敬老会	中止		
		防災研修会	中止		

学区・地区	内 容	参加者数	学区・地区	内 容	参加者数
広瀬	親子ふれあい教室	61	羽黒第四	少年教室	51
	エプロンスクール	141		高齢者健康教室	20
	熟年者いきいき交流	49		趣味の教室	8
	地区文化祭	215		生きがい講座	40
	成人講座	18		いきいき百歳体操	752
	ですかセミナー	29		リーダー研修会	17
	高齢者健康増進教室	48		羽黒第四地区花火大会	80
	高齢者サロン	108		冬季レクリエーション大会	85
	世代間交流	88		料理教室	23
	リーダー研修会	16		スマホ教室	9
	防災訓練・講習会	59		学区運動会（広瀬小）	中止
	雪上レクリエーション大会等	67			
	スマホ教室	24			
	ナイターソフトバレーボール大会	中止			
学区運動会（広瀬小）	中止				
朝日中央	朝日いきいき大学	380	朝日南部	グラウンドゴルフ交流大会	49
	ヨガ教室	113		趣味・出前講座（苔玉・生花・PPバンドサークル）	62
	軽スポーツ大会	122		南部産業文化祭	100
	ポッチャ大会	25		朝日大泉・大鳥地域伝統食をつなぐ会	41
	朝日週末塾	93		南部夏休み塾	74
	にこにこ塾	34		南部冬休み塾	中止
	レコードコンサート	42		冬季軽スポーツ大会	23
	手作り餃子教室	17		大泉花火大会	45
	防災研修会（鶴岡市総合防災訓練）	120		地区運動会	中止
	成人事業（WaGeSho）	80		大泉地区雪季運動会	65
	地区運動会	中止		大鳥地区雪季運動会	27
	夏休み宿題塾	中止		大鳥花火大会（夏）	40
		大鳥花火大会（冬）	20		
朝日東部	長生会研修	28			
	生涯学習講座	88			
	夏季大運動会	中止			
	冬季運動会	中止			
	グラウンドゴルフ大会	40			
	東部地区芸能文化まつり	中止			
	愛郷運動ボランティアデー	20			
	夏・春休み勉強会	28			
	夜空観察&プチ花火大会	12			
	100歳体操体験会	28			
	東部作品展示会	36			
	世代間交流事業東部かまくら祭り	120			
東部ふれあいサロン	155				

#### 4 公民館類似施設整備、支援状況

内 容	令和4年度	
	件数(件)	金 額(円)
公民館類似施設運営・活動費補助金	48	12,046,000
公民館類似施設整備費補助金	4	4,671,000
自治公民館等連絡組織補助金	3	130,000

# ■ 防 災

## 1 自主防災組織結成状況

(令和5年4月1日現在)

地 域	世 帯 数	結 成 町 内 会 数	結 成 率
本 所	37,491	247	100.0%
藤 島 地 域	3,194	61	100.0%
羽 黒 地 域	2,567	69	100.0%
櫛 引 地 域	2,243	21	100.0%
朝 日 地 域	1,260	37	97.4%
温 海 地 域	2,581	27	100.0%
合 計	49,336	462	99.8%

※結成率＝結成町内会数／全町内会数

## 2 災害応援協定の状況

(令和5年4月1日現在)

締結等月日	協 定 概 要	締 結 組 織 名
H 9. 9. 26	大規模災害時における支援等に関する協定書	鶴岡地区危険物安全協会
H 9. 9. 26	大規模災害時における通信確保に関する協定書	アマチュア無線鶴岡クラブ
H17. 11. 1	鶴岡市と墨田区との防災応援相互協定書	墨田区
H19. 1. 10	災害時における応急生活物資供給等の協力に関する協定書	鶴岡市農業協同組合
H19. 1. 10	災害時における応急生活物資供給等の協力に関する協定書	庄内たがわ農業協同組合
H19. 1. 10	災害時における応急生活物資供給等の協力に関する協定書	㈱武田商店
H19. 1. 10	災害時における応急生活物資供給等の協力に関する協定書	山形県生活協同組合連合会
H19. 2. 13	災害時における応急生活物資供給等の協力に関する協定書	NPO法人コリ災害対策センター
H22. 1. 19	災害時における汚水及び浄化槽汚泥等の収集運搬等に関する協定書	庄内環境保全協同組合
H22. 4. 23	災害時における飲料水の供給に関する協定書	仙台ココロラボトリング 庄内営業所 (現：ココロラボトラーズジャパン株式会社)
H22. 5. 24	水道施設の災害に伴う応援協定書	鶴岡管工事協同組合
H22. 7. 1	水道施設の災害時における発動発電機の接続に係る協定書	(有)新興電気設備
H22. 7. 1	水道施設の災害時における発動発電機の貸借に係る協定書	㈱アクティオ
H24. 5. 15	災害時相互応援に関する協定書	兵庫県篠山市
H24. 5. 28	災害時相互応援に関する協定書	新潟県胎内市
H25. 5. 29	地震等大規模災害時における建築物等の解体撤去等に関する協定書	(一社)山形県解体工事業協会
H25. 9. 5	災害時における福祉避難所の指定等に関する協定書	市内 社会福祉施設等11施設
H25. 9. 26	災害時における応急生活物資の供給に関する協定書	㈱ブルボン
H26. 11. 20	災害時における福祉避難所の指定等に関する協定書	市内 社会福祉施設等4施設
H27. 4. 23	大規模災害時における支援協力に関する協定	(一財)山形県建設業協会鶴岡支部
H27. 4. 23	大規模災害時における支援協力に関する協定	藤島建設業会
H27. 4. 23	大規模災害時における支援協力に関する協定	羽黒町建設業会
H27. 4. 23	大規模災害時における支援協力に関する協定	出羽商工会
H27. 12. 25	災害時における応急対策用燃料(液化石油ガス)等の供給応援に関する協定書	(一社)山形県LPガス協会田川支部
H27. 12. 25	災害時におけるガソリン等燃料の供給に関する協定書	山形県石油協同組合鶴岡支部
H28. 4. 28	災害時における被災建築物応急危険度判定業務に関する協定	(一社)山形県建築士会鶴岡田川支部
H28. 11. 18	鶴岡市・日本下水道事業団災害支援協定	地方共同法人日本下水道事業団
H28. 11. 18	災害時における復旧支援協定に関する協定	(公社)日本下水道管路管理業協会
H29. 2. 22	大規模災害時における施設使用に関する支援協定	㈱庄交コーポレーション
H29. 2. 27	鶴岡市と鶴岡市内郵便局との包括連携協定	鶴岡市内郵便局
H29. 4. 1	災害時等応急対策活動に関する協定書	第一環境(株)東北支店



締結等月日	協 定 概 要	締結組織名
H29. 9. 1	大規模災害時における棺及び葬祭用品の供給並びに遺体の搬送等の支援協力に関する協定	山形県葬祭業協同組合
H30. 2. 7	災害時における消防用水等の供給支援に関する協定	庄内生コンクリート協同組合
H30. 7. 4	災害復旧における指導・助言等に関する協定	(一社) 東北地域づくり協会
H30. 8. 30	災害時等における無人航空機による支援活動に関する協定書	山形ドローン協会協同組合
H31. 1. 25	災害に係る情報発信等に関する協定	ヤフー株式会社
R 1. 11. 22	災害時における電気自動車からの電力供給の協力に関する協定書	山形日産自動車販売株式会社
R 1. 11. 22	災害時等における電動車両及び給電装置に関する協力協定	山形三菱自動車販売株式会社
R 2. 1. 8	災害時における福祉避難所の指定等に関する協定書	市内 社会福祉施設等13施設
R 2. 1. 10	災害時等における避難者受入れの協力に関する協定	株式会社電気土木、田代地区自治会（3者協定）
R 2. 2. 19	災害時等における給電装置の貸与に関する協定	(株)高砂製作所
R 2. 4. 1	災害時の協力に関する協定書	東北電力ネットワーク株式会社鶴岡電力センター
R 2. 4. 23	新型コロナウイルス感染症等の対応におけるマスクの供給に関する基本協定	株式会社トガシ技研
R 2. 7. 27	災害時における福祉用具等物資の供給等の協力に関する協定書	一般社団法人 日本福祉用具供給協会
R 2. 9. 11	災害時における隊友会の協力に関する協定	公益社団法人隊友会 山形県隊友会鶴岡田川支部
R 3. 2. 18	災害時における被災者支援に関する協定書	山形県行政書士会
R 3. 2. 18	災害時における被災者支援に関する協定書	山形県土地家屋調査士会
R 4. 9. 30	災害時における支援物資の受入れ及び配送等に関する協定	佐川急便株式会社南東北支店
R 4. 10. 4	災害時等における一時の避難所等に関する協定	つるおかエコ・アース株式会社

### 3 合併後の災害履歴

#### (1) 風水害

発 生 期 日	被 害 状 況
平成18年8月30日 (18. 8. 30集中豪雨)	温海地域で時間雨量50mmを越える雨量となり、暮坪、温海及び湯温海で、床上浸水1棟、床下浸水4棟の浸水被害、農地及び農業施設に1,300千円の被害が発生した。
平成19年6月26日 (19. 6. 26集中豪雨)	庄内南部に大雨洪水警報が発令され、特に鶴岡地域及び温海地域の国道345号沿いは、積乱雲によるゲリラ的な集中豪雨となり、午前6時に中山地内において49.5mmの雨量を観測した。 ・住宅被害：床上浸水3棟、床下浸水35棟、38世帯107人り災 ・住宅の裏山土砂崩れ15か所 ・市道及び河川77箇所、復旧額169,000千円 ・農業被害：水稲、枝豆及び大豆が冠水並びに浸水、被害額50,000千円 ・農林施設被害：林道被害141,000千円、農地26,000千円、水路等26,000千円、農道18,000千円、計211,000千円 ・土木、農業及び農林施設等被害総額430,000千円、その他五十川地区の断水及び河川から海への流木の流出等の被害が発生した。
平成20年8月14日 (大雨)	庄内及び最上地方に前線が長時間にわたり停滞し、藤島地域の長沼から添川の一帯で時間最大雨量が36mmの大雨となり、住家床下浸水10件、非住家浸水48件、農作物等被害484ha等の被害が発生した。
平成21年9月13日 (突風)	午前3時15分頃、温海地域の鼠ヶ関地区及び早田地区において突風が発生し、人的被害で軽傷2人並びに家屋7棟及び農業用施設等に被害が発生した。
平成22年9月7日、11日、12日 ～14日、19日及び22日 (断続的な大雨)	9月7日に、温海地域を中心に時間最大降水量31.5mmの大雨となり、土砂流出等の被害が発生した。 9月11日には、時間最大降水量で朝日42.5mm、鶴岡31.0mmの大雨となり、鶴岡地域で住家の床下浸水等の被害が発生した。 9月12日～14日には、台風10号から変わった低気圧の停滞により、時間最大降水量が鶴岡48mm、櫛引34mm、羽黒26mm、温海38mmの大雨12日から14日まで断続的に続き、住家の床上及び床下浸水等の被害が発生した。 9月19日には、秋雨前線と低気圧の影響で大雨となり、鶴岡地域で住家の床下浸水等の被害が発生した。 9月22日には、秋雨前線と低気圧の影響で、時間最大降水量が鶴岡35mm、温海37mmの大雨となり、土砂崩れ等の道路被害が発生した。
平成23年6月23日～ 7月1日(大雨)	梅雨前線が東北地方に停滞したため、時間最大降水量が鶴岡45mm、朝日47mmの大雨となり、住家床上浸水1件、住家床下浸水9件、非住家浸水4件、道路被害66か所、土砂災害7か所等の被害が発生した。
平成23年8月17日～ 19日(大雨)	朝鮮半島から伸びた前線及び低気圧に暖かく湿った空気が流れ込んだため、時間最大降水量が鶴岡34mm、櫛引44mm、温海44mmの大雨となり、住家床上浸水16件、住家床下浸水50件、道路災害98か所、土砂災害23か所、農地・農業用施設被害109か所、林道施設等被害67か所等の被害が発生した。
平成24年4月3日～4日 (急速に発達する低気圧)	低気圧が日本海沖で急速に発達し北日本を通過したため、最大瞬間風速26.5mの非常に強い風となり、軽傷者4人、建物被害90件、公共施設被害35件、教育施設被害53施設、農業ハウスの損壊1,077棟等の被害が発生し、4日午前7時に災害警戒本部を設置し対応にあたった。
平成25年7月18日(大雨)	日本海にある低気圧の通過に伴い、時間最大雨量が鶴岡64mm、朝日36mmの大雨となり、床上浸水8件、床下浸水42件、土砂災害1か所、自主避難1件、JR羽越本線の運休、庄内空港の出発遅延等の被害が発生した。

発 生 期 日	被 害 状 況
平成25年7月22日(大雨)	梅雨前線が日本海から東北地方に延び、温かく湿った空気が流れ込んだため、時間最大雨量が鶴岡33mm、櫛引55mm、朝日31mm、温海27mmの大雨となり、床下浸水28件、農作物被害761ha、河川護岸の崩落による豚舎の流出等の被害が発生した。
平成28年4月17日(暴風)	急速に発達した低気圧が日本海を東北東に進み、寒冷前線が東北地方を通過したため、最大瞬間風速28.6mの非常に強い風となり、人的被害で重症1人、中等症1人、軽傷1人並びに建物被害40件、公共施設被害35件、農業用施設被害146件等の被害が発生した。
平成28年8月22日～23日(大雨)	台風9号の接近により、時間最大降水量が鶴岡26mm、藤島43mm、羽黒60mm、櫛引40mmの大雨となり、床上浸水1件、床下浸水28件、冠水等の農作物被害234件等の被害が発生した。
平成30年8月5日～31日(大雨) (避難所開設)	急速に発達した低気圧の影響により、30日には72時間の累加雨量が鼠ヶ関で226.5mmを記録。温海、朝日、藤島地域を中心とした市全域で被害発生し、うち、農業用施設被害が710件、8億6千万円、農作物被害が431ha、41百万円、道路河川被害が141件、2億5千万円と全体で11億5千万円を超える被害が発生した。市初の避難勧告を発令。藤島4回延べ14か所、羽黒1回1か所。避難者6世帯104人。避難率2.3%となった。
令和元年10月12日～13日(台風19号) (避難準備・高齢者避難等開始)	台風19号の接近により、最大瞬間風速24.0mの非常に強い風となり建物被害10件、道路被害1件、農作物・農地農業用施設等の被害52件の被害が発生した。災害対策本部は10月12日午後4時30分に設置し「避難準備・高齢者等避難開始」を藤島地区に発令し開設した3つの避難所と市内中学校区単位に1か所設置した36の自主避難所に、32世帯41人が避難した。
令和2年7月28日～30日(令和2年7月豪雨) (避難所開設)	日本付近に停滞した前線の影響により、27日深夜から雨が降り続き、荒沢観測地点では、226.5mm/24hと7月の過去最高降水量を更新した。青龍寺川が湯野沢地区に越水するなど、建物、道路、農地等鶴岡全域で被害が確認された。建物被害71件(非住宅含)、道路・河川被害100件、農作物・農地農業用施設等の被害286件の被害が発生した。災害対策本部は7月28日午後1時45分に設置し「避難指示・避難勧告」を鶴岡、藤島、羽黒地区に発令し開設した6つの避難所に82世帯182人が避難した。また、自主避難所4か所に、8世帯14人が避難した。

(2) 土砂災害

発 生 期 日	被 害 状 況
平成18年7月13日 J R羽越本線法面崩落災害	13日午後8時頃、国道7号小岩川字境沢付近において、J R羽越本線法面の崩落土砂が国道を塞いだため、国道は、約1日半全面通行止め、約8日間片側交互通行、約42時間通行規制となり、7月23日に全面開通した。J R羽越本線は、約27日間運転を見合わせ、8月9日午後4時に復旧した。この土砂災害により鼠ヶ関小学校、温海中学校へのスクールバスの運転停止により、一時自宅待機等の影響が出た。また、幹線輸送路国道7号、J R羽越本線の通行制限により、各方面に与えた経済的影響は大きい。
平成21年2月25日 七五三掛地区地すべり災害	2月25日に朝日地域の大網字七五三掛地内において、住民からの通報により、地すべりが原因と推定される亀裂が確認された。その後雪解けとともに、家屋、道路及び農業用施設への相当な被害が確認されたため、4月9日午後2時に朝日庁舎に地域災害警戒本部を設置し、午後5時に3世帯に自主避難を要請するとともに、現地に現地警戒本部を設置した。また、災害4月17日午後6時にはその地域災害警戒本部を地域災害対策本部に移行するとともに、本所内に市長を本部長とする七五三掛地区地すべり災害対策本部を設置し対応にあたった。被害状況は、住家被害7棟、非住家被害3棟、市道9か所、農道13か所、農道橋1か所、農業用水路21か所、農地30a、水道管破裂1か所の被害が発生した。
令和4年12月31日 西目土砂崩れ災害	12月31日に鶴岡地域の西目地内において、住民からの通報により、地すべりが原因と推定される土砂崩れが確認された。同日、本所内に市長を本部長とする災害対策本部を設置し対応にあたった。4人が生き埋めとなり鶴岡市消防、県消防広域応援隊、警察、自衛隊で救助活動にあたり、同日内に2人を救出したものの1月2日に2人の死亡が確認された。崩落規模は長さ75m、幅70m。住家2棟、非住家29棟全壊。崩落した斜面と連なる斜面にも崩落の危険があるため、最大で8世帯22人に避難指示が出された。

(3) 地震災害

発 生 期 日	被 害 状 況
令和元年6月18日 山形県沖地震	令和元年6月18日午後10時22分、山形県沖を震源とする地震が発生、震源の深さは14km、地震の規模（マグニチュード）は6.7と推定される。最大震度は6強（震度6弱：鶴岡市）。午後10時24分津波注意報が出されたため、午後10時46分避難指示（緊急）を防災行政無線で呼び掛けた。避難指示発令区域は下川全域、加茂全域、由良全域、三瀬全域、小堅全域、温海、湯之里、釜谷坂、暮坪、鈴、五十川、安土、大岩川、鼠ヶ関、早田、小岩川。避難状況は（自治会等への聞き取り調査を行い）避難場所等（一次・二次避難所）数53か所4,075人が避難した。概算被害額37億4千4百万円（令和2年5月20日現在）。人的被害は重傷1人、軽傷17人、家屋被害は半壊7棟を含む1,018棟、道路被害が363件、上下水道被害92件、農林水産業被害112件、商工業被害33社、観光業被害25件の被害が発生した。

# ■ 交 通 安 全

## 1 交通安全教室の開催状況

(単位：回・人)

	令和3年度		令和4年度	
	回数	参加人数	回数	参加人数
かもしかクラブ	159	8,832	188	9,649
小 学 校	46	3,167	61	3,665
老人クラブ等	20	323	13	184
そ の 他	1	18	0	0
合 計	226	12,340	262	13,498

## ■ 総合相談室

(令和4年度)

相談区分	相談件数	主な内容
家族、家庭生活の相談	158	婚姻、夫婦関係、戸籍、扶養、その他の家庭内の諸問題
社会福祉、医療をめぐる相談	412	生活福祉、高齢福祉、障害福祉、寡婦福祉等、医療問題
近隣生活、環境をめぐる相談	250	近所付合、人間関係、騒音、振動、悪臭被害、犬猫等被害
土地、建物をめぐる相談	66	境界、売買、登記、借地借家、賃貸借契約、立退き問題等
相続、遺言をめぐる相談	348	相続に係ること、遺言に係ること
金銭貸借をめぐる相談	32	金銭消費貸借、債務処理、貸金の取立、保証、担保等
商法、取引をめぐる相談	49	割賦売買、訪問販売、解約問題、悪徳商法等、消費生活問題
労働にかかわる相談	36	契約、解雇、賃金、退職金、労働条件、就労に係ること
年金や税金をめぐる相談	23	各種年金、保険の問題、税金の問題
交通事故、その他の事故にかかわる相談	12	交通事故、その他の事故
教育、子育てをめぐる相談	4	不登校、いじめ、行動障害、しつけ、就園就学、進路選択
その他の相談	201	友人関係、人権問題、その他
行政等の相談	17	行政等への苦情・提言・要望
相談窓口の問合せ等	152	紹介業務、担当課、機関との連絡協議
合 計	1,760	

## ■ 消費生活相談

### 1 消費生活に関する苦情・相談件数

(令和4年度)

商品等				役務（サービス等）				その他	合計
食料品	住居品	商品一般	その他	金融保険	運輸通信	保健福祉	その他		
33	13	52	195	34	60	27	96	27	537

# ■ 住 居 表 示

## 1 住居表示の実施状況

実施年月日	実 施 町 名	総面積 (ha)
昭和40. 7. 1	道形町・大宝寺町・末広町・錦町・上畑町・日吉町・宝町・鳥居町・山王町・泉町	201.58
41. 4. 1	本町一丁目・昭和町・大東町・日出町・苗津町・神明町・本町二丁目・三光町・睦町・三和町・千石町・文園町・双葉町	184.95
42. 7. 1	新形町・若葉町・馬場町・家中新町・新海町・みどり町・本町三丁目・美原町・陽光町・稲生町	252.91
43. 8. 1	大山一丁目・大山二丁目・大山三丁目	147.44
44. 4. 1	日出町の一部	0.23
45. 4. 1	青柳町	9.55
46. 1. 1	大宝寺町の一部・苗津町の一部・新海町の一部・みどり町の一部・美原町の一部	6.00
47. 1. 1	日出町の一部・美原町の一部	20.60
48. 5. 1	大西町	25.35
49. 5. 1	新形町の一部	12.29
50. 5. 1	東新斎町・西新斎町・新海町の一部	38.23
52. 6. 1	湯野浜一丁目・湯野浜二丁目・末広町の一部	44.56
52.12. 1	長者町・三和町の一部・千石町の一部	16.07
53. 6. 1	大宝寺町の一部	3.97
53.10. 1	西新斎町の一部	5.04
54.11. 1	友江町	5.70
55.11. 1	大山一丁目の一部（付番変更）	—
56.11. 1	青柳町の一部	2.70
57.10. 1	切添町・朝陽町・大東町の一部・日出町の一部・文園町の一部	62.99
59. 3. 1	砂田町・淀川町・道田町・大西町の一部	47.15
59.11. 1	宝田一丁目・宝田二丁目・道形町の一部・苗津町の一部	100.64
60.11. 1	城北町	24.59
61.11. 1	城南町	19.08
62.11. 1	稲生一丁目・稲生二丁目	14.17
63. 2. 1	宝田三丁目	52.20
63.11. 7	青柳町の一部	10.12
平成元. 2. 6	由良一丁目・由良二丁目・由良三丁目	54.61
元.11. 1	道形町の一部	9.28
元.11. 6	日出一丁目・日出二丁目・東原町	20.86
3. 1.21	大塚町・小真木原町・道田町の一部・稲生一丁目の一部	64.87
4. 1.20	海老島町・大部町・東新斎町の一部・城北町の一部・大西町の一部	28.07
4.11. 9	日和田町・美原町の一部・新形町の一部	20.02
4.11.11	伊勢原町	28.98
5.11. 1	稲生二丁目の一部・文園町の一部	14.09
6.10.24	城南町の一部	5.37
7.10.21	茅原町	22.32
8.10.28	道形町の一部	9.23
9. 7.26	城南町の一部・平成町	8.37
10.10.24	大塚町の一部	14.63
11. 9.25	桜新町・ほなみ町・苗津町の一部・東原町の一部	37.10
12.10.28	稲生一丁目の一部・稲生二丁目の一部	2.86
13. 9.29	余慶町	12.35
14.10. 5	美咲町	43.90
17. 8.27	のぞみ町・千石町の一部	10.64
令和3. 8.28	北茅原町・西茅原町・余慶町の一部	48.70

# ■ 住 民 記 録

## 1 各種届出件数 (令和4年度)

種 別		件 数	種 別		件 数
戸 籍	出 生	865	住 民 登 録	転 入	2,295
	死 亡	2,489		転 居	2,142
	婚 姻	1,023		転 出	2,604
	離 婚	229	印 鑑	登 録	3,152
	転 籍	385		廃 止	1,242
	そ の 他	579	国 保 資 格 得 喪		10,555
旅 券 申 請	514	国 民 年 金 資 格 得 喪		2,070	

## 2 証明書等発行通数 (令和4年度)

種 別	通 数	種 別	通 数
戸 籍 の 全 部 証 明 ( 謄 本 )	17,730	印 鑑 証 明	26,544
戸 籍 の 個 人 証 明 ( 抄 本 )	4,155	納 税 証 明	1,587
原 戸 籍 ・ 除 籍 の 全 部 証 明 ( 謄 本 )	31,612	税 務 証 明	17,595
原 戸 籍 ・ 除 籍 の 個 人 証 明 ( 抄 本 )	102	税 関 閲 覧	3
身 分 証 明	1,199	そ の 他 の 証 明	3,989
戸 籍 関 係 証 明	181	斎 場 使 用 許 可	2,113
附 票 の 全 部 証 明 ( 謄 本 ) ・ 一 部 証 明 ( 抄 本 )	6,284	臨 時 運 行 許 可	887
住 民 票 写 し 謄 本 ・ 抄 本	40,448	軽 自 動 車 納 税 証 明	5,523
住 民 基 本 台 帳 閲 覧	4,946	軽 自 動 車 標 識 弁 償 金	5件
住 民 票 記 載 事 項 証 明	816	マ イ ナ ン バ ー カ ー ド 交 付	31,573
船 員 法 事 務	12	電 子 証 明 書 交 付	35,117

※無料交付及び郵便請求を含む。



3 外国人国籍別人口 (令和5年3月31日現在)

(単位：人)

国 籍	人 口			国 籍	人 口		
	男	女	計		男	女	計
アルゼンチン	1	1	2	パラグアイ	1	0	1
インド	2	2	4	バングラデシュ	3	4	7
インドネシア	26	25	51	フィリピン	53	52	105
ウガンダ	3	1	4	ブラジル	4	5	9
エジプト	2	0	2	フランス	0	3	3
エチオピア	2	0	2	ベトナム	64	151	215
オーストラリア	1	0	1	ベナン	2	0	2
オランダ	2	0	2	ペルー	1	0	1
カナダ	4	1	5	ボリビア	1	0	1
カメルーン	1	0	1	ポルトガル	1	0	1
カンボジア	0	22	22	マレーシア	3	3	6
ギニア	1	0	1	ミャンマー	0	1	1
ケニア	2	1	3	モザンビーク	1	1	2
コンゴ民主共和国	1	0	1	モンゴル	8	7	15
シンガポール	1	0	1	ルワンダ	3	0	3
スペイン	1	0	1	ロシア	3	2	5
セネガル	0	1	1	英国	4	2	6
タイ	2	20	22	韓国	13	48	61
ドイツ	2	0	2	台湾	6	16	22
ナイジェリア	3	0	3	中国	46	129	175
ニュージーランド	1	0	1	朝鮮	2	1	3
ネパール	8	6	14	米国	13	11	24
パキスタン	3	1	4	計	301	517	818

# ■ 清 掃

## 1 収集処理概要

### (1) ごみの収集

- ア ステーション方式による可燃・不燃物別に、曜日・収集回数等を指定した定期収集
- イ ごみステーション数

区 分	箇 所 数
本 所 区 域	1,912
内 燃やすごみ・燃やさないごみ併用	1,739
内 燃やすごみ専用	163
内 燃やさないごみ専用	10
各 庁 舎 区 域 計	610
合 計	2,522

ウ 分別数 5種 + (他 蛍光管・乾電池等、資源ごみ、粗大ごみ)

エ 収集 委託収集 (全域 2事業)

### (2) ごみ収集量等 (鶴岡市)

(単位：t)

区 分	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	燃やすごみ	燃やさないごみ	計	燃やすごみ	燃やさないごみ	計	燃やすごみ	燃やさないごみ	計
委 託	26,127	2,982	29,109	25,606	2,900	28,506	25,301	2,847	28,148
許 可	8,069	0	8,069	8,023	0	8,023	7,973	0	7,973
その他	2,180	19	2,199	2,130	21	2,151	2,393	24	2,417
計	36,376	3,001	39,377	35,759	2,921	38,680	35,667	2,871	38,538

### (3) ごみ処理量 (三川町を含む)

(単位：t)

区 分	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	燃やすごみ	燃やさないごみ	計	燃やすごみ	燃やさないごみ	計	燃やすごみ	燃やさないごみ	計
委 託	27,667	3,121	30,788	27,120	3,040	30,160	26,813	2,982	29,795
許 可	9,363	0	9,363	9,391	0	9,391	9,197	0	9,197
その他	2,383	20	2,403	2,263	22	2,285	2,533	25	2,558
計	39,413	3,141	42,554	38,774	3,062	41,836	38,543	3,007	41,550

### (4) し尿・浄化槽汚泥収集処理状況

(単位：kℓ)

	収集量(鶴岡市)			処理量(三川町を含む)			
	許 可		計	し 尿		汚 泥	
	し尿	汚泥		処理施設	農村還元等	処理施設	農村還元等
令和2年度	2,622	20,443	23,065	2,790	0	22,122	0
令和3年度	2,316	20,146	22,462	2,466	0	21,740	0
令和4年度	2,065	19,736	21,801	2,197	0	21,340	0

## (5) 資源ごみ回収状況

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
集団回収	登録団体数	393件	384件	377件	
	実施回数(平均)	2,475(6.3回)	2,416(6.3回)	2,408(6.3回)	
	回収量	新聞	1,189,060kg	1,156,414kg	1,124,562kg
		雑誌	674,176kg	643,976kg	616,028kg
		ダンボール	768,186kg	768,378kg	791,105kg
		飲料用パック	7,137kg	7,303kg	7,464kg
		雑がみ	19,105kg	13,426kg	12,867kg
		金属類	22,222kg	21,103kg	20,175kg
	小計	2,679,886kg	2,610,600kg	2,572,201kg	
	びん類	45,986本	35,959本	31,239本	
報奨金	実施団体	12,105,132円	11,783,362円	11,605,912円	
	回収業者	8,063,421円	10,436,152円	10,279,689円	
拠点回収	回収量	新聞	24,850kg	21,580kg	21,600kg
		雑誌	26,290kg	25,120kg	29,230kg
		ダンボール	21,860kg	22,670kg	25,720kg
		飲料用パック	195kg	236kg	192kg
		雑がみ	165kg	220kg	358kg
		小型家電	960kg	1,030kg	3,290kg
		小計	74,320kg	70,856kg	80,390kg
	びん類(本数)	0本	0本	0本	

(6) し尿くみ取り手数料の推移(各180当たり) ※許可業者が行っている。

時期	平成16年4月	平成17年10月	平成26年4月	令和元年10月
金額	260円	255円、260円(市町村合併による)	270円	275円

※令和3年4月より仮設トイレは別途基本料金あり。

## 2 処理施設の概要

## (1) ごみ焼却施設

施設区分	建設年度	事業費	稼動年月日
全連続運転焼却式(ストーカ式) 処理能力 160t/24h	平成30~令和2	12,794,760千円	令和3.4.1
運営事業者		運営期間	契約額
S P C (特別目的会社) つるおかエコ・アース		令和3.4.1~令和23.3.31(20年間)	8,528,300千円

## (2) し尿処理施設

施設区分	建設年度	事業費	稼動年月日
標準脱窒素処理方式・高度処理 ・し尿 63kℓ ) 152kℓ/日 ・浄化槽汚泥 89kℓ (集落排水を含む)	平成5~平成7	4,517,419千円	平成7.11.10

(3) 鶴岡市リサイクルプラザ

施設区分	建設年度	事業費	稼動年月日
処理能力 49t/5h	平成15～平成16	2,435,415千円	平成17.4.1
・粗大ごみ 8t/日			
・金属ガラスその他 10t/日			
・びん缶 15t/日			
・ペットボトル 2t/日			
・プラスチック製容器包装 11t/日			
・段ボール 3t/日			

(4) 一般廃棄物最終処分場

施設区分	建設年度	事業費	稼動年月日
埋立容量 133,600m <sup>3</sup>	平成30～令和3	4,698,000千円	令和3.10.1
埋立地………準好気性サンドイッチ・セル方式			

## ■ 公 害

公害等苦情受付件数

(単位：件)

	典型7公害								その他	合計
	大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭	小計		
令和元年度	7	25	0	5	2	0	11	50	97	147
令和2年度	14	32	0	13	1	0	13	73	126	199
令和3年度	11	39	0	9	0	0	7	66	83	149
令和4年度	11	16	0	4	1	0	9	41	89	130

※令和4年度その他の内訳 空き地の管理 52件 生物に関する苦情 15件 その他 22件

# ■ 斎 場

## 使 用 料

	15歳以上	15歳未満	死産児	人体の一部及び 産 汚 物 等
	市 民	5,800円	4,100円	
市 民 以 外	43,000円	32,000円	16,000円	350円

## 1 鶴 岡 斎 場

### (1) 施設の概要

火 葬 炉 : 都市ガス火葬炉 5 基 (平成19年 1 基増設)、汚物炉 1 基  
 待 合 室 : 待合ホール、和室待合室 4 室  
 駐 車 場 : 乗用車45台、大型バス 2 台収容  
 総 事 業 費 : 6 億6,914万円  
 竣 工 : 昭和61年8月25日

### (2) 使用状況

	市 民			市 民 以 外			計		
	死 体	死産児	改 葬	死体	死産児	改葬	死体	死産児	改葬
令和 2 年度	1,601	7	2	87	6	0	1,688	13	2
令和 3 年度	1,874	8	0	84	1	0	1,958	9	0
令和 4 年度	1,805	14	2	96	0	0	1,901	14	2

## 2 藤 島 斎 場

### (1) 施設の概要

火 葬 炉 : 灯油火葬炉 2 基  
 待 合 室 : 待合ホール、和室待合室 2 室  
 駐 車 場 : 乗用車10台  
 総 事 業 費 : 6,570万円  
 竣 工 : 昭和59年2月25日

### (2) 使用状況

	市 民			市 民 以 外			計		
	死 体	死産児	改 葬	死体	死産児	改葬	死体	死産児	改葬
令和 2 年度	160	1	6	24	0	1	184	1	7
令和 3 年度	154	1	0	33	0	0	187	1	0
令和 4 年度	250	0	1	31	0	0	281	0	1

# ■ 墓 園

## 1 鶴 岡 墓 園

### (1) 施設の概要

敷地面積 5,629㎡  
 墓所数 361区画 内訳 4.0㎡（間口2.0m、奥行2.0m）186区画  
 6.0㎡（間口2.0m、奥行3.0m）175区画  
 主な附帯施設 駐車場20台、便所1か所、休憩所1か所、給水所2か所

### (2) 墓地使用許可

（令和5年4月1日現在）

区 分	区画数	使用許可数	墓碑建立数
4㎡墓地	186区画	181件	155基
6㎡墓地	175区画	175件	157基
計	361区画	356件	312基

### (3) 使用料・管理料

墓地の種類	4㎡墓地	6㎡墓地
永代使用料（1回）	155,000円	230,000円
管 理 料（年額）	3,600円	4,800円

## 2 藤 島 墓 園

### (1) 施設の概要

敷地面積 435㎡  
 墓所数 43区画 内訳 4.5㎡（間口1.8m、奥行2.5m）14区画  
 6.0㎡（間口2.0m、奥行3.0m）29区画  
 主な附帯施設 駐車場10台、給水所1か所

### (2) 墓地使用許可

（令和5年4月1日現在）

区 分	区画数	使用許可数	墓碑建立数
4.5㎡墓地	14区画	14件	13基
6.0㎡墓地	29区画	28件	23基
計	43区画	42件	36基

### (3) 使用料・管理料

墓地の種類	4.5㎡墓地	6.0㎡墓地
永代使用料（1回）	150,000円	200,000円
管 理 料（年額）	2,620円	3,150円

# 健康福祉

## ■ 国民年金

### 1 被保険者数

(単位：人)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
被 保 険 者 数	第1号被保険者	11,186	10,803	10,575	10,250	9,904	
	第3号被保険者	4,177	3,939	3,703	3,482	3,176	
	任意加入	60歳未満	13	12	10	11	14
		60歳以上	68	63	65	62	69
	計	15,444	14,817	14,353	13,805	13,163	
免 保 険 者 数	法	1,351	1,345	1,366	1,375	1,375	
	定	3,265	3,275	3,253	3,164	3,060	
	申請	4,616	4,620	4,619	4,539	4,435	
計							

※被保険者数には、不在被保険者を含まず。

### 2 年金受給の状況

(単位：件・千円)

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
老齢	42,882	28,827,621	42,961	29,097,204	43,188	29,476,802	43,054	29,548,577	42,825	29,440,572
障害	2,575	2,207,053	2,558	2,191,017	2,558	2,189,403	2,516	2,147,034	2,498	2,119,827
遺族	294	213,475	308	223,409	304	221,060	309	227,940	307	222,176
老福	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	45,751	31,248,149	45,827	31,511,630	46,050	31,887,265	45,879	31,923,551	45,630	31,782,575

老齢＝老齢年金、通算老齢年金、老齢基礎年金

障害＝障害年金、障害基礎年金

遺族＝遺族基礎年金、遺族福祉年金、母子福祉年金、遺児年金、寡婦年金

老福＝老齢福祉年金

# ■ 保 険

## 1 国民健康保険

(1) 加入状況とその推移 (各年度末現在)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
世帯	総世帯数	48,718	48,927	49,182	49,274	49,336
	加入世帯数	16,945	16,695	16,618	16,325	15,830
	加入率 (%)	34.78	34.12	33.79	33.13	32.09
人口	総人口	126,195	124,697	123,146	121,365	119,599
	被保険者数	27,122	26,381	26,102	25,221	24,094
	加入率 (%)	21.49	21.16	21.20	20.78	20.15

(2) 令和5年度国保会計 (事業勘定) 当初予算のあらまし

(単位：千円)

歳 入		歳 出		
国民健康保険税	2,239,653	総務費	87,762	
使用料及び手数料	745	保険給付費	療養諸費	7,592,090
国庫支出金	299		高額療養費	1,176,469
県支出金	8,894,298		移送費	201
財産収入	1,700		出産育児諸費	30,013
繰入金	1,046,256		葬祭諸費	10,500
繰越金	1		傷病諸費	600
諸収入	34,208		小計	8,809,873
計	12,217,160		国保事業費納付金	3,063,210
		共同事業拠出金	1	
		保健事業費	202,442	
		基金積立金	1	
		公債費	500	
		諸支出金	43,371	
		予備費	10,000	
		計	12,217,160	

(3) 保険税率、賦課割合、課税限度額の推移 (基礎課税額) 令和5年度

賦課割合 (本算定軽減前)			税 率			課税限度額
所得割	均等割	平等割	所得割	均等割	平等割	
52.93%	32.35%	14.72%	7.50%	25,200円	18,400円	65万円

(4) 保険税率、賦課割合、課税限度額の推移 (後期高齢者支援金等課税額) 令和5年度

賦課割合 (本算定軽減前)			税 率			課税限度額
所得割	均等割	平等割	所得割	均等割	平等割	
53.34%	30.41%	16.25%	2.70%	8,400円	7,200円	22万円

(5) 保険税率、賦課割合、課税限度額の推移 (介護納付金課税額) 令和5年度

賦課割合 (本算定軽減前)			税 率			課税限度額
所得割	均等割	平等割	所得割	均等割	平等割	
52.89%	33.26%	13.85%	2.20%	10,800円	5,200円	17万円



## (6) 調定、収入額の状況 (令和4年度)

		現 年 度 分	滞 納 繰 越 分
調 定 額		2,433,251,200	505,569,513
	1 世 帯 当 たり	150,424	31,254
	1 人 当 たり	98,198	20,403
収 納 額		2,341,029,752	86,307,460
収 納 率		96.21%	17.07%

(年平均被保険者数：24,779人、同世帯数：16,176世帯)

## (7) 事業の内容と状況

## ア 療養の給付等及び療養費等給付

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
療 養 の 状 況	受 診 件 数 (件)	490,906	500,839	490,399
	受 診 率 (%)	1,862	1,933	1,972
	療 養 日 数 (日)	550,932	556,023	542,600
	費 用 額 (円)	9,796,933,647	10,201,045,300	10,176,831,003
	1 人 当 たり 費 用 (円)	371,617	393,680	409,152
保 険 者 負 担	療 養 の 給 付 等 (円)	7,160,859,924	7,511,166,868	7,494,424,123
	療 養 費 等 (円)	54,561,407	42,967,291	41,563,104
	計 (円)	7,215,421,331	7,554,134,159	7,535,987,227
	1 人 当 たり (円)	273,695	291,530	302,979

- イ 高額療養費給付 令和4年度支給 19,319件 1,106,789,809円 (1件平均57,290円)
- ウ 出産育児一時金給付 被保険者の出産について出産育児一時金を支給  
令和4年度支給 40件 13,078,633円
- エ 葬祭費給付 被保険者の死亡について、葬祭費を支給  
令和4年度支給 207件 10,350,000円
- オ 傷病手当金 新型コロナウイルス感染症により勤務することができず給与等の支払いを受けられない場合に傷病手当金を支給  
令和4年度支給 24件 444,474円

## 2 後期高齢者医療

(1) 被保険者数の推移 (各年度末現在)

(単位：人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
75歳以上	23,018	22,952	22,683	22,686	22,994
65歳～74歳	639	607	597	566	517
合計	23,657	23,559	23,280	23,252	23,511

(2) 負担区分別被保険者数の推移

(単位：人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1割負担	23,012	22,913	22,630	22,586	19,633
2割負担	負担区分なし	負担区分なし	負担区分なし	負担区分なし	3,175
3割負担	645	646	650	666	703
合計	23,657	23,559	23,280	23,252	23,511

(3) 令和5年度後期高齢者医療特別会計当初予算のあらまし

(単位：千円)

歳入		歳出	
後期高齢者医療保険料	1,246,014	総務費	20,281
使用料及び手数料	142	後期高齢者医療広域連合納付金	1,754,066
繰入金	531,087	諸支出金	1,450
繰越金	1	予備費	3,000
諸収入	1,553		
計	1,778,797	計	1,778,797

(4) 後期高齢者医療保険料 (令和5年度)

所得割率	均等割額	賦課限度額
8.80%	43,100円	66万円

(5) 令和4年度保険料収納状況

(令和5年5月31日現在)

区分	調定額	収納額	収納率
特別徴収	834,870,200円	834,870,200円	100.0%
普通徴収	377,866,500円	375,393,250円	99.3%
合計	1,212,736,700円	1,210,263,450円	99.8%

(6) 療養費及び給付費……前年度の療養費および給付費は7月に確定

療養費<費用額>

(単位：件・千円)

種別	医科入院		医科外来		歯科		診療費計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
令和2年度	14,952	8,697,829	383,603	4,818,420	39,599	525,092	438,154	14,041,341
令和3年度	14,609	8,609,851	378,892	4,752,776	41,486	539,106	434,987	13,901,733
令和4年度	14,606	7,807,502	380,669	4,299,521	43,148	499,165	438,423	12,606,188

(単位：件・千円)

種別	調剤		食事・生活		訪問看護		療養費等		療養費給付計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
令和2年度	287,164	3,506,995	13,856	444,695	1,006	89,284	5,860	73,103	732,184	18,155,418
令和3年度	284,654	3,387,511	13,474	430,662	1,096	103,023	5,467	68,370	726,204	17,891,299
令和4年度	287,240	3,038,431	13,554	188,319	1,134	95,964	5,186	58,398	726,797	15,928,902

給付費

(単位：件・千円)

種別	高額療養費		高額介護合算		葬祭費		保険支給計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
令和2年度	28,972	581,872	1,525	18,660	1,387	69,305	31,884	669,837
令和3年度	28,383	583,812	1,431	15,769	1,612	80,600	31,426	680,181
令和4年度	33,308	636,977	1,500	17,326	1,661	83,050	36,469	737,353

### 3 福祉医療

(1) 重度心身障害(児)者医療給付の状況……重度心身障害(児)者の医療費自己負担分について助成

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
月平均受給対象者数(人)		2,298	2,330	2,363	2,359	2,391
年間	受診件数(件)	63,988	62,792	61,372	60,840	60,913
	給付額(千円)	232,622	233,665	220,801	218,448	208,626
	1件当たり給付額(円)	3,635	3,721	3,598	3,591	3,425
	受診率(%)	2,785	2,695	2,597	2,579	2,548

(2) 子育て支援医療給付の状況……乳幼児及び小中学生の医療費自己負担分について助成

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
月平均受給対象者数(人)		14,219	13,794	13,498	13,160	12,729
年間	受診件数(件)	205,392	196,185	165,157	172,766	177,929
	給付額(千円)	404,754	402,263	330,180	367,420	358,882
	1件当たり給付額(円)	1,971	2,050	1,999	2,127	2,017
	受診率(%)	1,445	1,422	1,223	1,312	1,398

(3) ひとり親家庭等医療給付の状況……ひとり親家庭等の医療費自己負担分について助成

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
月平均受給対象者数(人)		1,637	1,564	1,490	1,417	1,359
年間	受診件数(件)	21,324	20,727	19,376	18,942	18,507
	給付額(千円)	53,873	52,769	50,448	47,287	46,940
	1件当たり給付額(円)	2,526	2,546	2,604	2,496	2,536
	受診率(%)	1,303	1,325	1,300	1,336	1,362

### 4 未熟児養育医療

指定医療機関で養育のために入院を必要とする未熟児に対し、医療の給付を行う。

	給付決定件数	診療実日数	医療給付(円)
令和2年度	18件	1,174日	4,831,776
令和3年度	11件	598日	3,344,833
令和4年度	22件	1,774日	6,905,304

# ■ 保 健 事 業

## 1 母 子 保 健

(1) 妊娠届とハイリスク妊婦数

(単位：人)

	妊娠届	10代	未婚	高齢(35歳以上)	多胎等	外国人
令和2年度	685	13(未婚12)	61(高齢12)	181(外国0)	5	3
令和3年度	644	11(未婚7)	54(高齢9)	171(外国0)	10	8
令和4年度	602	7(未婚6)	58(高齢8)	166(外国1)	11	6

(2) 特定不妊治療費助成組数(平成24年度から事業開始)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
助成組数	実88(延147)	実114(延185)	実67(延82)

(3) 乳幼児健康診査・7か月児健康相談

(単位：人)

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数
4か月児健康診査	710	706	682	677	643	618
1歳6か月児健康診査	663	658	743	738	740	733
3歳児健康診査	790	784	702	698	785	777
7か月児健康相談	755	739	646	634	657	640

※令和3年度より「7か月児健康診査」を「7か月児健康相談」に変更

(4) 乳幼児・母性等健康相談(令和4年度)

- ① 定期相談 574回 3,472件
- ② 不定期相談 546件
- ③ 電話相談 2,279件

(5) 健康教育(令和4年度)

- ① 離乳食指導 48回 1,258人
- ② 離乳食相談 9回 15人
- ③ 育児教室 4回 29人
- ④ 歯科健康教育 83回 2,191人
- ⑤ 元気キッズ教室(肥満予防) 4回 30人
- ⑥ 思春期教育 1回 32人

※令和4年度より「ベビーキッチン」が「離乳食相談」に変更

(6) 家庭訪問指導(令和4年度延人数)

- ① 妊産婦訪問 719人
- ② 新生児訪問(未熟児を除く) 73人
- ③ 未熟児訪問 42人
- ④ 乳児訪問(新生児・未熟児を除く) 566人
- ⑤ 幼児訪問 50人
- ⑥ その他 27人

(7) すこやかな子どもを生ま育てるネットワーク推進事業(令和4年度)

- ① 講演会(オンライン) 1回 145人
- ② 出前子育て懇談会 5回 224人
- ③ 広報誌発行 1回
- ④ 推進委員会 2回

(8) 養育支援訪問事業（家事支援）（令和4年度から事業開始）

利用件数 4件 延18回

(9) 新生児聴覚検査助成事業（令和4年度から事業開始）

新生児聴覚検査受験者数 599人(内 償還払い21人)

(10) 出産・子育て応援金事業（令和5年2月から事業開始）

出産応援金給付者数 898人

子育て応援金給付者数 548人

## 2 予防接種事業

(1) 結核予防事業

乳幼児のBCG、一般住民のレントゲン撮影（令和4年度）

BCG接種者 637人

レントゲン撮影受診者 19,153人 精密検診受診者 130人

結核発見 0人

## (2) 定期予防接種 (令和4年度)

種 別	対 象 者	接種者数		医 療 機 関 数	
		実人数	延人数		
百日せき・ジフテリア・ 破傷風・ポリオ (4種混合)	1期初回	3か月～7歳6か月に至るまで	—	1,879	19
	1期追加	1期初回終了後～ 7歳6か月に至るまで	622	622	
ジフテリア・破傷風 (2種混合)	2期	11歳～13歳未満	857	857	28
麻 風 症	1期	1歳～2歳に至るまで	643	643	22
	2期	5歳～7歳未満で 小学校就学前の1年間にある者	773	773	25
日 本 脳 炎	1期初回	6か月～7歳6か月に至るまで (特例対象者含む)	—	1,654	27
	1期追加	初回完了後～7歳6か月に至るまで (特例対象者含む)	1,020	1,020	
	2期	9歳～13歳未満 (特例対象者含む)	1,327	1,327	31
B C G		1歳に至るまで	637	637	11
ヒ ブ 感 染 症	1期初回	2か月～5歳未満	—	1,858	15
	1期追加		627	627	
小 児 球 菌 用 菌 肺 炎	1期初回	2か月～5歳未満	—	1,858	14
	1期追加		632	632	
子宮頸がん (HPV)	1回目	定期接種 小学6年～高校1年相当の女子	412	412	24
	2回目		384	384	
	3回目		288	288	
	1回目	キャッチアップ接種 平成9年4月2日～ 平成18年4月1日生まれの女性	390	390	
	2回目		333	333	
	3回目		204	204	
水 痘	初回	1歳～3歳に至るまで	633	633	20
	追加	初回終了後3か月後～ 3歳に至るまで	607	607	
B 型 肝 炎	1回目	1歳に至るまで	614	614	15
	2回目		621	621	
	3回目		640	640	
ロ タ ウ イ ル ス 症 感 染 症	1価	1回目	386	386	9
		2回目	381	381	
	5価	1回目	226	226	9
		2回目	228	228	
		3回目	235	235	
		3回目	235	235	

※特例対象者 ①H7.4.2～H19.4.1生で20歳未満の者は、未接種分を定期接種として受けることができる。

②H19.4.2～H21.10.1生は、9～13歳未満の間に1期末接種分を定期接種とみなし受けることができる。

※日本脳炎予防接種は、高校3年生、小学4年生及びワクチンの不足により令和3年度に積極的接種勧奨を差控えていた小学5年生、1期追加接種完了から5年経過した特例対象者へ積極的接種勧奨を実施した。

※子宮頸がん予防接種は、平成25年6月から積極的接種勧奨が差し控えられていたが、国の方針により令和2年11月に対象者へ情報提供を実施、令和4年4月から積極的接種勧奨が再開となった。また、積極的接種勧奨が差し控えられていた期間中に定期接種対象者であった方へ接種の機会(キャッチアップ接種)が設けられ、積極的接種勧奨を実施した。

(3) 高齢者インフルエンザ予防接種（令和4年度）

接種者 26,335人（接種率59.6%）

(4) 高齢者肺炎球菌定期予防接種（令和4年度）

接種者 1,944人（接種率32.5%）

(5) 風しん予防接種費用助成事業（令和4年度）

抗体価検査 63人

麻しん風しんワクチン接種 19人

風しんワクチン接種 30人（内、償還払2人）

(6) 風しん抗体検査及び風しんの第5期の定期接種（令和4年度）

抗体検査 584人 接種者 125人

(7) 子宮頸がん任意接種費用償還払事業（令和4年度から事業開始）

償還払 59人 延94回

(8) 新型コロナウイルスワクチン接種事業（令和4年度）

（単位：人、%）

接種区分		全体	うち65歳以上	うち小児 (5～11歳)	うち乳幼児 (生後6か月～4歳)
人口		122,203	43,571	6,392	3,637
接種者数	1回目	107,239	41,236	2,446	214
	2回目	106,780	41,134	2,412	209
	3回目	93,103	40,199	1,351	175
	4回目	70,650	37,578	178	—
	5回目	38,784	30,627	—	—
接種率	1回目	87.8	94.6	38.3	5.9
	2回目	87.4	94.4	37.7	5.7
	3回目	76.2	92.3	21.1	4.8
	4回目	57.8	86.2	2.8	—
	5回目	31.7	70.3	—	—

※人口は、令和4年1月1日現在の住民基本台帳人口（上記の全体の人口は、0歳以上の全人口）

※接種者数は、令和5年3月31日現在の状況

### 3 成人保健

#### (1) 保健衛生推進員組織育成事業（令和4年度）

##### ①各地区保健衛生推進員組織の活動支援と組織育成

	鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海
名称	保健衛生推進員会	保健推進員	保健推進員	保健福祉推進員	保健委員	保健推進員
会員数	649人	85人	69人	28人	35人	41人

##### ②鶴岡市保健衛生推進員会連合会の活動支援と組織育成（本所）

リーダー研修の開催（連合会研修会・ステップアップ講座） 年3回実施 参加者 127人

#### (2) 食生活改善推進事業（令和4年度）

##### ①各地区食生活改善推進員数

	鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海
会員数	226人	68人	36人	23人	16人	30人

##### ②食生活改善推進活動

推進員数	集会		対話・訪問		総数	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
399	695	4,789	200	943	895	5,732

#### (3) 生活習慣病予防事業

##### ①特定健診（国保特定健診、後期高齢者特定健診、健康増進事業健診）

（単位：人）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
受診者数	国民健康保険	9,670	9,830	9,538
	後期高齢者医療保険	7,591	7,359	7,489
	健康増進事業	117	130	132
	計	17,378	17,319	17,159
階層化	積極的支援	259	260	244
	動機づけ支援	742	731	683

※階層化については、国民健康保険の健診のみにおいて実施

※令和2、3年度は法定報告値、令和4年度は翌年4月受付分までの人数

##### ②各種検診受診状況

（単位：人）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
大腸がん検診 （40歳以上）	受診者数	17,829	18,411	18,177
	がん発見者数	40	45	29
胃がん検診 （40歳以上）	受診者数	13,148	13,551	13,288
	がん発見者数	40	48	38
子宮がん検診 （20歳以上）	受診者数	8,587	8,745	8,631
	がん発見者数	3	3	4
肺がん検診 （40歳以上）	受診者数	18,768	19,397	19,153
	がん発見者数	10	10	12
乳がん検診 （40歳以上の偶数年齢）	受診者数	4,018	3,945	4,040
	がん発見者数	6	9	10

※がん発見者数は、令和5年5月末日現在



## (4) 集団健康教育実施状況

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	活動回数	参加延人数	活動回数	参加延人数	活動回数	参加延人数
歯 周 疾 患	3回	33人	8回	166人	9回	207人
ロコモティブシンドローム※	70回	1,229人	69回	1,357人	89回	1,166人
病 態 別	33回	1,002人	14回	347人	54回	1,337人
薬	3回	122人	0回	0人	0回	0人
一 般	251回	5,190人	166回	2,445人	330回	5,135人
認 知 症 予 防	34回	778人	22回	547人	40回	736人

※運動器症候群

## (5) 健康相談実施状況

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	活動回数	参加延人数	活動回数	参加延人数	活動回数	参加延人数
重 点 健 康 相 談	553回	938人	308回	386人	725回	1,016人
総 合 健 康 相 談	796回	12,280人	440回	6,506人	326回	8,702人
合 計	1,349回	13,218人	748回	6,892人	1,051回	9,718人

## (6) 訪問指導実施状況

(単位：人)

	40歳～64歳		65歳以上		計	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
要 指 導 者	41	42	195	227	236	269
閉じこもり予防	2	2	0	0	2	2
介 護 家 族 者	0	0	0	0	0	0
ね た き り 者	0	0	0	0	0	0
認 知 症 高 齢 者	4	4	10	10	14	14
そ の 他	9	11	16	18	25	29
合 計	56	59	221	255	277	314

※保健師及び看護師による訪問指導

## (7) がん患者医療用ウィッグ・乳房補整具購入費助成事業

助成金の額：医療用ウィッグ(2万円)、乳房補整具(1万円)又は購入経費の2分の1の額のいずれか低い額

助成件数		令和2年度	令和3年度	令和4年度
	医療用ウィッグ		54	52
乳房補整具		3	1	5

※乳房補整具は令和2年度から助成

## (8) 中学生胃がん予防事業

対象者：中学2年生

一次検査：学校定期健康診断の尿検査を活用したピロリ菌抗体検査

二次検査：一次検査陽性者の医療機関受診による尿素呼気試験

除菌治療：二次検査陽性者の内服治療

成功確認検査：尿素呼気試験による除菌治療の成功、不成功の確認

(令和5年3月31日現在)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
対 象 者 (人)	1,113	1,042	1,014
同 意 者 (人)	939	938	843
同 意 率 (%)	84.4	90.0	83.1
一 次 検 査 陽 性 者 (人)	43	60	48
二 次 検 査 陽 性 者 (人)	24	29	22
除 菌 治 療 実 施 者 (人)	24	29	22
除 菌 成 功 者 (人)	23	27	20

## 4 高齢保健

(1) よい歯の長寿賞表彰事業（令和4年度）

表彰者163人

(2) こころの健康づくり推進事業(令和4年度)

### ①個別ケア

- ・こころの健康相談 実人数：32人 延べ人数：電話 1人 来所 50人
- ・若者ひきこもり相談 実人数：27人 延べ人数：電話 4人 来所120人 訪問 1人
- ・市保健師による相談 延べ人数：電話 216人 来所97人 訪問54人

### ②普及啓発

- ・全市講演会 1回 164人（来場88人 オンライン76人）
- ・重点地区での健康教室（第三学区、田川地区、由良地区、加茂地区、西郷地区）  
17回 345人
- ・こころの健康づくり出前講座 5回 179人
- ・上記以外の健康教育 31回 783人
- ・自殺予防週間・自殺対策強化月間にポケットティッシュ等の啓発用品、チラシの配布

### ③ネットワーク構築

- ・鶴岡市自殺予防対策ネットワーク会議 2回 参加委員 延29人

## ■ 死因別死亡者数

### 1 主要死因別死亡者数

(単位：人)

	平成30年	令和元年	令和2年
悪性新生物	492	496	432
心疾患	253	305	308
脳血管疾患	160	160	130
肺炎・気管支炎	112	131	101
老衰	199	229	202
不慮の事故	41	11	48
自殺	21	22	30
腎不全	37	35	30
肝疾患	15	11	15
高血圧性疾患	4	8	5
糖尿病	13	14	10
その他	456	519	464
合計	1,803	1,941	1,775

資料：県保健福祉統計年報

# ■ 救 急 医 療

## 1 鶴岡市休日夜間診療所（令和4年度予算額 45,422千円）

- 救急医療対策の一環として、昭和49年7月14日に休日診療所を開所した。
- 夜間の救急医療体制確立のため、昭和58年4月3日に休日の夜間診療を開始した。
- 市民の要望に応え、平成16年10月3日に小児科医による診療を開始した。
- 平成19年4月1日に、祝日及び12月31日についても午前中の診療を開始した。
- 平成22年4月1日に鶴岡市総合保健福祉センター内に移転、レントゲン室及び隔離待合室を新設するとともに、患者の利便性を考慮して薬の処方を院内処方へと変更した。
- 平成22年10月12日に平日（月曜日～土曜日）の夜間診療を開始した。

所在地：鶴岡市泉町5番30号（平成22年4月1日 馬場町8番22号から移転）  
 開所日：「休日」 日曜、祝日（振替休日を含む）、12月31日、1月1～3日  
 「平日」 休日除く月曜日～土曜日

診療時間及び診療科：

「休日」 午前9時～正午 内科、小児科、外科  
 （4月～11月休診） 午後1時30分～午後5時 内科、小児科、外科  
 午後6時～午後9時 内科、小児科、外科  
 「平日」（4月～11月、火～金休診） 午後7時～午後9時30分 内科、小児科、外科

従事者：医師1～2人、薬剤師1～2人、看護師2～3人、事務員2～4人

管理運営：（一社）鶴岡地区休日夜間診療協議会に委託（平成24年度～）

事業開始年度：昭和49年度

患者数の状況

（単位：日・人）

	区分	開所日数	患者数				住民別			1日平均患者数
			内科	小児科	外科	計	市内	県内	県外	
令和2年度	休日	70	767	371	218	1,356	1,231	107	18	19.4
	平日	295	265	142	13	420	392	28	0	1.4
令和3年度	休日	70	483	515	48	1,046	1,011	20	15	14.9
	平日	213	115	57	8	180	180	0	0	0.8
令和4年度	休日	70	519	531	12	1,062	1,012	14	36	15.2
	平日	164	68	27	1	96	90	3	3	0.6

## 2 鶴岡市休日歯科診療所（令和4年度予算額 5,874千円）

- 救急医療対策として、平成22年4月1日、鶴岡市総合保健福祉センター内に鶴岡市休日歯科診療所を開設した。これに伴い、当番医制での休日歯科診療は廃止した。

所在地：鶴岡市泉町5番30号

開所日：日曜、祝日（振替休日含む）、年末年始（12月31日～1月3日）

利用時間：午前9時～正午、午後1時～午後3時

診療科：歯科

従事者：歯科医師、歯科衛生士、事務員各1人

管理運営：（一社）鶴岡地区休日夜間診療協議会に委託

事業開始年度：平成22年度

患者数の状況

（単位：日・人）

	開所日数	患者数	住民別			1日平均患者数
			市内	県内	県外	
令和2年度	70	340	276	58	6	4.9
令和3年度	70	312	279	26	7	4.5
令和4年度	70	307	242	57	8	4.4

## ■ 医療施設・保健医療従事者数

(1) 医療関係施設数 (令和5年3月31日現在)

(単位：人)

		鶴岡市	庄内保健所 管内合計
病	院	6	14
一	般 診 療 所	103	217
歯	科 診 療 所	49	106
歯	科 技 工 所		
施	術 所		
合	計	158	337
許 可 病 床 数	一 般	761	1,697
	療 養	276	744
	精 神	214	650
	結 核	0	0
	感 染 症	0	4
	診 療 所	104	169
	(療 養)	18	28

資料：庄内総合支庁保健福祉環境部

「データでみる庄内地域の健康・福祉・環境」

(2) 保健医療従事者数 (令和2年12月31日現在)

(単位：人)

		鶴岡市	庄内保健所 管内合計
医	師	221	531
歯	科 医 師	73	168
薬	劑 師	216	476
保	健 師	68	166
助	産 師	43	87
看	護 師	1,182	2,633
准	看 護 師	490	1,000
合	計	2,293	5,061

資料：庄内総合支庁保健福祉環境部

「データでみる庄内地域の健康・福祉・環境」  
山形県地域医療対策課

「保健師、助産師、看護師及び准看護師の  
業務従事者届」

# ■ 国民健康保険直営診療所 (令和5年度予算額 44,153千円)

## 1 鶴岡市国民健康保険上田沢診療所

○開業医の死亡により無医地区となったことから、一次医療を提供する施設として昭和59年に開設し、嘱託医師により週2回（火、金曜日の午後）の診療を開始した。

○昭和62、63年度は常勤医師により診療を行う。

○昭和64年から嘱託医師により週4回（月、火、木、金曜日の午後）診療を行う。

○平成7年から受診者数の減少により、週3回（月、水、金曜日の午後）診療を行う。

○平成29年から、週1回（金曜日の午後）診療を行う。

所在地：鶴岡市上田沢字下中島25番地

開所日：金曜日（祝休日を除く）

利用時間：午後1時～午後4時

診療科：内科、小児科

従事者：医師1人、看護師1人、事務員2人

管理運営：鶴岡市

事業開始年度：昭和59年度

患者数の状況

(単位：日・人)

	開所日数	利用者数	1日平均利用者数
令和2年度	50	322	6.4
令和3年度	48	271	5.6
令和4年度	50	270	5.4

## 2 鶴岡市国民健康保険大網診療所

○無医地区の医療確保を図るため、一次医療を提供する施設として昭和38年に開設し、常勤医師により週2回（火、金曜日の午後）の診療を開始した。

○昭和40年10月から嘱託医師により週3回（月、水、金曜日の午後）診療を行う。

所在地：鶴岡市大網字興屋69番地1

開所日：月、水、金曜日（祝休日を除く）

利用時間：午後1時～午後3時30分

診療科：内科、小児科

従事者：医師1人、看護師1人、事務員1人

管理運営：鶴岡市

事業開始年度：昭和38年度

患者数の状況

(単位：日・人)

	開所日数	利用者数	1日平均利用者数
令和2年度	147	1,164	7.9
令和3年度	143	1,080	7.6
令和4年度	147	1,032	7.0

# ■ 高齢者福祉

## 1 介護保険

(1) 要介護（要支援）認定者数（令和5年3月31日現在）

（単位：人）

	要支援1	要支援2	要支援計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護計	合計
第1号被保険者数	777	936	1,713	1,600	1,368	1,097	1,087	892	6,044	7,757
65歳以上75歳未満	93	105	198	115	137	113	82	103	550	748
75歳以上	684	831	1,515	1,485	1,231	984	1,005	789	5,494	7,009
第2号被保険者数	6	21	27	19	28	17	18	25	107	134
総数	783	957	1,740	1,619	1,396	1,114	1,105	917	6,151	7,891

(2) 居宅介護（介護予防）サービス受給者数（令和5年3月月報値：令和5年2月審査分）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者数	281	514	1,194	1,037	632	476	339	4,473
第2号被保険者数	4	10	16	24	11	17	7	89
総数	285	524	1,210	1,061	643	493	346	4,562

(3) 地域密着型（介護予防）サービス受給者数（令和5年3月月報値：令和5年2月審査分）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者数	7	18	272	278	278	195	134	1,182
第2号被保険者数	0	0	2	3	2	3	4	14
総数	7	18	274	281	280	198	138	1,196

(4) 施設介護サービス受給者数（令和5年3月月報値：令和5年2月審査分）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
介護老人福祉施設	0	0	3	3	173	315	314	808
第1号被保険者数	0	0	3	2	172	315	312	804
第2号被保険者数	0	0	0	1	1	0	2	4
介護老人保健施設	0	0	51	97	102	144	131	525
第1号被保険者数	0	0	51	97	101	141	128	518
第2号被保険者数	0	0	0	0	1	3	3	7
介護療養型医療施設	0	0	0	0	0	0	0	0
第1号被保険者数	0	0	0	0	0	0	0	0
第2号被保険者数	0	0	0	0	0	0	0	0
介護医療院	0	0	2	1	3	4	3	13
第1号被保険者数	0	0	2	1	2	4	3	12
第2号被保険者数	0	0	0	0	1	0	0	1
総数	0	0	56	101	275	462	447	1,341

※各介護度の施設介護サービスの受給者数の合計と総数（実数）は一致しないことがある

## (5) 令和5年度介護保険特別会計予算のあらまし

(単位：千円)

歳 入		歳 出	
介護保険料	3,432,821	総務費	136,391
使用料及び手数料	168	保険給付費	15,366,424
国庫支出金	4,004,913	地域支援事業費	738,094
支払基金交付金	4,232,658	介護予防事業費	406,734
県支出金	2,286,310	包括的支援事業・任意事業費	331,360
事業収入・財産収入	2,309	保健福祉事業費	5,091
繰入金	2,288,869	財政安定化基金拠出金	1
繰越金	3,500	公債費・基金積立金	2,409
諸収入	5,675	諸支出金	3,813
		予備費	5,000
計	16,257,223	計	16,257,223

## (6) 保険料の額 (65歳以上の方/第1号被保険者)

(令和5年度)

対象者		区分	保険料年額
生活保護受給者			
本人市民税非課税	世帯市民税非課税 次のいずれかに当てはまる方 ●高齢福祉年金受給者 ●本人の前年の合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下の方	第1段階 (基準額×0.5)	39,480円
		軽減後 (基準額×0.3)	23,690円
	本人の前年の合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円超120万円以下の方	第2段階 (基準額×0.65)	51,320円
		軽減後 (基準額×0.5)	39,480円
	本人の前年の合計所得金額と課税年金収入額の合計が120万円を超える方	第3段階 (基準額×0.7)	55,270円
	課税	本人の前年の合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下の方	第4段階 (基準額×0.9)
第4段階に該当しない方		第5段階 (基準額)	78,960円
本人市民税課税	本人の前年の合計所得金額が125万円未満の方	第6段階 (基準額×1.25)	98,700円
	本人の前年の合計所得金額が125万円以上190万円未満の方	第7段階 (基準額×1.5)	118,440円
	本人の前年の合計所得金額が190万円以上290万円未満の方	第8段階 (基準額×1.75)	138,180円
	本人の前年の合計所得金額が290万円以上400万円未満の方	第9段階 (基準額×1.8)	142,130円
	本人の前年の合計所得金額が400万円以上700万円未満の方	第10段階 (基準額×1.85)	146,080円
	本人の前年の合計所得金額が700万円以上1,000万円未満の方	第11段階 (基準額×1.9)	150,020円
	本人の前年の合計所得金額が1,000万円以上の方	第12段階 (基準額×1.95)	153,970円

※第6段階～12段階の「合計所得金額」とは、収入から公的年金控除や給与所得控除、必要経費を控除した後で、基礎控除や人的控除等の控除をする前の所得金額をいいます。租税特別措置法に規定される長期譲渡所得または短期譲渡所得のいずれかに係る特別控除額がある場合は、その特別控除額を控除した額で計算されます。1～5段階については、合計所得金額から「公的年金等に係る雑所得」を控除した額を用います。給与所得と公的年金所得の双方がある方については、税制改正による令和3年度からの控除額引き下げの影響がないよう、所得金額調整控除額を差し引いて得た額を用います。

## (7) 第1号被保険者保険料段階別分布状況 (令和5年4月18日現在)

段 階	人数 (人)	割合 (%)
第 1 段 階	5,425	11.98
第 2 段 階	3,997	8.83
第 3 段 階	3,558	7.86
第 4 段 階	5,698	12.58
第 5 段 階	9,568	21.13
第 6 段 階	8,641	19.08
第 7 段 階	4,131	9.12
第 8 段 階	2,296	5.07
第 9 段 階	877	1.94
第 10 段 階	652	1.44
第 11 段 階	185	0.41
第 12 段 階	254	0.56
	45,282	100.00

## (8) 介護保険サービス事業者

(令和5年4月1日現在)

サービス種別	事業所数
<b>【居宅サービス】</b>	
①-1 訪問介護 (ホームヘルプ)	29
①-2 訪問型サービス (介護予防・日常生活支援総合事業)	24
② 訪問入浴介護/介護予防訪問入浴介護	3
③ 訪問看護/介護予防訪問看護	11
④ 訪問リハビリテーション/介護予防訪問リハビリテーション	4
⑤-1 通所介護 (デイサービス)	41
⑤-2 通所型サービス (介護予防・日常生活支援総合事業)	44
⑥ 通所リハビリテーション/介護予防通所リハビリテーション	9
⑦ 福祉用具貸与/介護予防福祉用具貸与	6
⑧ 短期入所生活介護/介護予防短期入所生活介護	16
⑨ 短期入所療養介護/介護予防短期入所療養介護	7
⑩ 居宅介護支援	34
⑪ 特定施設入居者生活介護/介護予防特定施設入居者生活介護	1
<b>【地域密着型サービス】</b>	
① 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	4
② 認知症対応型通所介護/介護予防認知症対応型通所介護 (認知症対応型デイサービス)	15
③ 小規模多機能型居宅介護/介護予防小規模多機能型居宅介護	12
④ 認知症対応型共同生活介護/介護予防認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	24
⑤ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	6
⑥ 地域密着型通所介護	9
<b>【施設サービス】</b>	
① 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	12
② 介護老人保健施設 (老人保健施設)	7



## 2 福祉サービスの概要

### (1) 日常生活用具給付事業

制度内容：火災警報機、自動消火器、電磁調理器を給付する

対象者：満65歳以上のひとり暮らし高齢者等

実施状況（令和4年度）：火災警報器 1台、自動消火器 0台、電磁調理器 2台

### (2) 地域包括支援センター

制度内容：介護予防ケアマネジメント事業、総合相談支援事業、権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント支援事業、認知症関連事業

対象者：一般高齢者、虚弱、寝たきりや認知症高齢者とその高齢者を介護する方等

実施状況（令和4年度）：センター数 11か所、相談実績 28,014件

### (3) 紙おむつ等購入費助成事業

制度内容：寝たきり等高齢者に対する紙おむつ購入費の助成

対象者：満65歳以上又は第2号被保険者で、排泄に全介助を要する方であり、市民税非課税の方（生活保護世帯を除く）

支給内容：65歳以上の方は本人の介護保険料段階に応じて、65歳未満の方は本人及び世帯の課税状況により助成限度額を決定

65歳以上 介護保険料段階	65歳未満（第2号被保険者） 本人及び世帯の課税状況	助成限度額
第1段階	市民税非課税世帯かつ、助成対象者の課税年金収入額と合計所得金額の合計から年金収入に係る雑所得を控除した額が80万円以下	月額7,000円
第2・3段階	上記以外の市民税非課税世帯	月額5,000円
第4・5段階	助成対象者が市民税非課税	月額2,000円

実施状況（令和4年度）：助成限度額7,000円 延1,300人

助成限度額5,000円 延1,103人

助成限度額2,000円 延2,913人

### (4) あんしん見守りコールの設置

制度内容：住居に発信装置を設備し、相談、安否確認、緊急事態への対応を支援する

対象者：緊急時において身体虚弱のため機敏な行動の困難なひとり暮らし高齢者等

実施状況：令和5年4月1日現在66台設置

### (5) 高齢者住宅等整備資金融資あっせん

制度内容：高齢者専用居室等増改築費融資あっせん（限度額300万円）と利子補給（年利2.3%を上限に120か月以内）

対象者：満60歳以上の高齢者もしくは高齢者と同居する世帯（障害者については別掲）

実施状況（令和4年度）：0件

### (6) 老人マッサージ等施術費助成

制度内容：はり、きゅう、マッサージ等の施術費の一部を助成する助成券を交付する

対象者：満70歳以上

助成内容：施術1回につき1,000円、1人年6回（10月以降の申請は3回）

実施状況（令和4年度）：交付者630人 実利用者519人

### (7) 家族介護者慰労金

制度内容：中重度要介護高齢者等を在宅で介護している家族に対し、慰労金(10万円)を支給

対象者：要介護3以上または相当と思われる高齢者等を、介護サービスを一年間利用せず継続して介護している家族等

実施状況（令和4年度）：2件

#### (8) 家族介護者交流支援事業

制度内容：在宅で要介護状態の高齢者を介護している家族等を対象にした、リフレッシュ・情報交換・相互交流・介護相談等の機会の提供

実施状況（令和4年度）：実施回数11回 参加者数127人

### 3 養護老人ホーム

（令和5年4月1日現在）

施設名	設置主体	所在地	定員	鶴岡市の委託人員
ともえ	(福)恵泉会	北茅原町17-1	70人	63人
思恩園	(福)思恩会	馬町字枇杷川原23	30人	29人
かたばみの家	(福)かたばみ会	酒田市北千日堂前字松境16	50人	2人
山静寿	(福)恩賜財団済生会支部 山形県済生会	山形市大字沼木字下河原1133-1	50人	1人

### 4 ケアハウス

施設名	設置主体	所在地	定員
鶴が丘	(福)めぐみ会	茅原町26-27	50人

### 5 地域包括支援センター

（令和5年4月1日現在）

施設名	設置主体	所在地
地域包括支援センターかたりあい	(福)鶴岡市社会福祉協議会	西新斎町14-26
地域包括支援センターなえづ	(福)鶴岡市社会福祉協議会	ほなみ町3-1
地域包括支援センターくしびき	(福)鶴岡市社会福祉協議会	三千刈字藤掛1
地域包括支援センターつくし	(一社)鶴岡地区医師会	馬場町1-34 (鶴岡地区医師会館内)
健康園地域包括支援センター	(福)一幸会	陽光町9-20
永寿荘地域包括支援センター	(福)恵泉会	宝田二丁目7-29
鶴岡西地域包括支援センター	(福)思恩会	馬町字枇杷川原23
地域包括支援センターふじしま	(福)ふじの里	藤の花一丁目18-1
地域包括支援センターはぐろ	(福)羽黒百寿会	羽黒町荒川字前田元89 (鶴岡市羽黒庁舎内)
地域包括支援センターあさひ	(福)朝日ぶなの木会	下名川字落合1 (鶴岡市朝日庁舎内)
地域包括支援センターあつみ	(福)あつみ福祉会	温海戊577-1 (鶴岡市温海庁舎内)

### 6 老人福祉センター等

事業所名	設置主体	所在地
鶴岡老人福祉センター	(福)鶴岡市社会福祉協議会	馬場町13-2
藤島老人福祉センター	〃	藤島字笹花75-6
羽黒老人福祉センター	〃	羽黒町荒川字白山56-1
櫛引老人福祉センター	〃	三千刈字藤掛1

### 7 生きがい対策

#### (1) 老人クラブ補助（令和4年度実績）

クラブ数 94クラブ、会員数 2,818人、補助総額 505万円

#### (2) 高齢者作品展、高齢者指導者研修会の開催、老人福祉センター運営補助金の交付

#### (3) シルバー人材センター補助

昭和56年7月発足（平成18年3月統合） 令和4年度市補助予算 1,014万円

令和4年度受託7,458件、契約金額3億1,806万円

## ■ 障害（児）者福祉

### 1 制度の概要

制度(事業)名	対象者	制度内容	令和4年度 実施状況
移動支援事業	身体障害者の手帳等所有者	外出・社会参加の際、適当な付き添いが得られない場合の、公的機関、会議等への付き添い。	登録者数 144人 延利用回数 383人
声の広報発行	身体障害者手帳の所有者で視覚障害者	録音（カセットテープ、CD）した「広報つるおか」・「市議会だより」を配付（委託）	テープ、 CD配付14人
重度心身障害（児）者福祉タクシー、給油利用補助	身体障害者手帳1～3級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級の方 ※給油券については自動車税の減免を受けている方	障害者の社会参加を進めるために、対象者にタクシー利用費又は給油費の一部を助成する助成券を交付 タクシー券 36枚 給油券 18枚	タクシー券 1,560人 給油券 1,020人
山形県心身障害者扶養共済	知的障害者及び身体障害者（1～3級）等を扶養する満65歳未満の方	障害者を扶養している方を加入者とし、毎月掛金を払い込んでいただき、加入者が死亡、又は、高度障害者となった場合、残された障害者に対し生涯にわたり年金を支給 月額2万円（1口の場合）	加入者数 29人 年金受給者 70人
紙おむつ等購入費助成	重度障害（児）者で、常時失禁状態にある方。生計中心者の所得税額が6万円未満の世帯	生計中心者が所得税非課税で次の(1)(2)に該当する世帯 (1) 市民税非課税世帯 月額7,000円 (2) 市民税 課税世帯 月額5,000円 (3) 所得税6万円未満課税（(1)(2)に該当する世帯を除く） 月額2,000円	支給実員 66人
巡回相談	新規で身体障害者手帳の交付を受けたい方、程度の変更をしたい方、補装具の交付・修理を希望する方	手帳申請、補装具の交付・修理の申請の巡回相談。（年3回）	53人
人工透析患者通院交通費支給	人工透析療法を受けるために交通機関（自家用車を含む）を利用して通院している方で、本人及び同居世帯の生計中心者が所得税を課されていない方	通院距離（往復）に応じて、基準額又は実費のいずれか低い額 15km未満 月額 1,500円 15km以上30km未満 月額 2,000円 30km以上 月額 3,000円	25人
日常生活用具の給付	身体障害者手帳の交付を受けている方（交付種目に応じて手帳等級の制限あり）	特殊寝台・歩行支援用具・入浴補助用具・吸引器・吸入器・ストマ用装具等の給付又は貸与。用具にはそれぞれ基準額が定められており、原則1割が自己負担となる。	2,019件 18,107,606円
補装具の給付・修理	身体障害者手帳の交付を受けている方及び難病の方	盲人安全つえ、義眼、補聴器、義手、義足、車いす等の用具の交付及び修理。1割の自己負担があるが、税額により負担上限が設けられている。	251件 24,999,706円

制度(事業)名	対象者	制度内容	令和4年度 実施状況
身体障害者 手帳交付	身体に永続的な障害があり、その障害程度が身体障害者障害程度等級表に該当する方	障害の内容に応じて、各種福祉制度が利用できる。	別掲
療育手帳	児童相談所又は知的障害者更生相談所庄内支所において知的障害(児)者と判定された方	障害の内容に応じて、各種福祉制度が利用できる。	障害の程度 A : 446人 B : 764人 計1,210人
精神障害者 保健福祉手帳	精神障害のために長期にわたり日常生活又は社会生活への制約があり、一定の精神障害の状態にあると認定された方	各種の制度を受けやすくする。税金の減免等。	障害の程度 1 : 111人 2 : 407人 3 : 250人 計 768人
自立支援医療(更生医療・育成医療)給付	心臓、じん臓、肢体等の障害を軽減するための医療が必要な方	1割の自己負担があるが、税額により負担上限が設けられている。	別掲
自立支援医療(精神通院)制度	精神障害及び精神障害に付随する軽易な傷病に対し、入院しないで行われる医療を受ける方	医療費を医療保険と公費で負担し、自己負担を1割とする。(税額により負担上限あり)	受給者数 1,348人
特別障害者手当	精神又は身体に著しく重度の障害があり、日常生活において常時特別の介護を必要とする程度の障害状態にある20歳以上の方	支給要件：福祉施設入所者又は3か月以上入院している場合を除く(所得制限有り) 支給額：月額27,980円 支給月：2月、5月、8月、11月	受給者数 166人
障害児福祉手当	精神又は身体に重度の障害があり、日常生活において常時介護を必要とする程度の状態にある20歳未満の方	支給要件：福祉施設入所者を除く(所得制限有り) 支給額：月15,220円 支給月：2月、5月、8月、11月	受給者数 77人
福祉手当	従来の福祉手当の受給者のなかで、特別障害者手当の支給要件に該当せず、かつ障害者基礎年金も支給されない方	支給要件：福祉施設入所者を除く(所得制限有り) 支給額：月額15,220円 支給月：2月、5月、8月、11月	受給者数 2人

## 2 身体障害者手帳交付者数 (各年度末現在)

	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そ しゃく機能障害	肢体不自由	内部障害	合計
平成30年度	319	527	98	3,011	1,431	5,386
令和元年度	311	553	94	2,900	1,491	5,349
令和2年度	313	563	89	2,823	1,518	5,306
令和3年度	295	584	84	2,709	1,448	5,120
令和4年度	280	562	82	2,504	1,477	4,905

### 3 自立支援医療（更生医療）給付（各年度末現在）

（単位：円）

		件数	公費負担	社会保険	自己負担	合計
令和3年度	聴覚	4	15,372	53,797	42,085	111,254
	そしゃく	18	33,930	118,755	16,965	169,650
	肢体	3	72,491	2,313,940	81,869	2,468,300
	心臓	53	2,270,896	83,053,468	434,553	85,758,917
	じん臓	496	49,527,307	48,671,133	1,090,050	99,288,490
	肝臓	10	219,941	548,184	14,995	783,120
	免疫	34	5,739,929	3,831,451	55,000	9,626,380
	総計	618	57,879,866	138,590,728	1,735,517	198,206,111
令和4年度	聴覚	8	175,623	3,689,056	31,311	3,895,990
	そしゃく	10	28,266	98,931	14,133	141,330
	肢体	10	475,701	11,661,367	166,942	12,304,010
	心臓	63	3,035,680	132,852,982	683,348	136,572,010
	じん臓	626	50,658,537	54,967,870	1,392,837	107,019,244
	肝臓	8	194,006	499,261	19,963	713,230
	免疫	13	2,286,138	1,966,112	22,500	4,274,750
	総計	738	56,853,951	205,735,579	2,331,034	264,920,564

### 4 自立支援医療（育成医療）給付（各年度末現在）

（単位：円）

		件数	公費負担	社会保険	自己負担	合計
令和3年度	視覚	1	75,566	233,014	5,000	313,580
	聴覚	0	0	0	0	0
	そしゃく	51	390,194	3,393,240	75,736	3,859,170
	肢体	3	126,279	5,115,709	5,722	5,247,710
	心臓	13	489,926	9,325,485	41,729	9,857,140
	じん臓	0	0	0	0	0
	その他内臓	0	0	0	0	0
	総計	68	1,081,965	18,067,448	128,187	19,277,600
令和4年度	視覚	2	76,296	227,929	5,405	309,630
	聴覚	0	0	0	0	0
	そしゃく	27	182,480	848,654	33,486	1,064,620
	肢体	9	405,530	6,521,625	38,095	6,965,250
	心臓	3	256,629	11,492,803	24,478	11,773,910
	じん臓	0	0	0	0	0
	その他内臓	5	236,512	2,551,459	26,199	2,814,170
	総計	46	1,157,447	21,642,470	127,663	22,927,580

## 5 障害（児）者自立支援給付状況

（令和4年度実績）

サービス名	サービス内容	件数	給付費（円）
居宅介護	自宅で入浴、排せつ、食事等の介護、家事の援助を行う。	2,246	126,964,914
重度訪問介護	重度の肢体不自由者で常に介護を要する人に自宅で、入浴、排せつ、食事等の介護、家事の援助を行う。	69	6,012,242
同行援護	移動困難な視覚障害に外出時の移動の援護を行う。	42	847,439
療養介護	医療と常時介護を必要とする人に、医療機関で機能訓練、療養上の介護等を行う。	259	65,248,680
生活介護	常時介護を要する人に、昼間、入浴、排せつ、食事等の介護を行うとともに創作的な活動、生産活動の機会の提供などを行う。	4,648	897,360,825
短期入所	介護者が病気、事故等により、一時的に介護できなくなった場合、短期間入所させ、入浴、排せつ及び食事等の介護を行う。	1,119	43,989,266
施設入所支援	施設に入所する人に入浴、排せつ、食事の介護を行う。	2,504	326,697,083
自立訓練（機能訓練）	自立した日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、身体機能の向上のために必要な訓練を行う。	0	0
自立訓練（生活訓練）	自立した日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、生活能力の向上のために必要な訓練を行う。	521	80,513,193
宿泊型自立訓練	家事等の日常生活能力を向上させるための支援、生活等に関する相談及び助言その他の必要な支援を行う。	7	683,720
就労移行支援	一般企業等への就職を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のための必要な訓練を行う。	284	44,369,775
就労継続支援A型	一般企業等での就労が困難な人に、働く場を提供するとともに知識及び能力の向上のための必要な訓練を行う。	930	168,109,999
就労継続支援B型	上記A型の非雇用型	7,268	953,416,979
就労定着支援	一般企業等に新たに雇用された障害者の就労定着を図るため、本人や企業、医療機関等との連絡調整や指導、助言等の支援を行う。	84	2,928,370
共同生活援助	夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の支援を行う。	2,686	339,585,227
地域移行支援	施設入所者や入院している精神障害者等に、住居の確保等、地域生活に移行するための活動に関する相談その他の必要な支援を行う。	2	81,836
地域定着支援	常時の連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等に相談その他必要な支援を行う。	70	961,740
相談支援事業	障害者（児）に訪問し、福祉サービス計画の作成等の援助を行う。	4,188	64,841,474
児童発達支援	日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等を行う。	393	61,405,203
居宅訪問型児童発達支援	重度の障害等により通所支援を受けるために外出することが著しく困難な児童等の居宅を訪問し、日常生活における基本的な動作の指導等、必要な支援を行う。	1	102,840
放課後等デイサービス	心身に障害のある児童に対し、日常生活における基本的指導、集団生活への適応訓練等を行う。	3,432	385,094,274
障害児相談支援	障害者（児）や家族に訪問し、福祉サービス計画の作成等の援助を行う。	1,279	16,645,090
合計		32,032	3,585,860,169

※ 特定障害者特別給付費、高額障害福祉サービス、高額障害児通所給付費は除く

## ■ 母子・父子・寡婦福祉

### 1 制度の概要

制度(事業)名	対象者	制度内容	令和4年度実施状況
母子・父子自立支援員による母子・父子・寡婦相談	母子・父子・寡婦家庭	母子・父子自立支援員によるひとり親家庭等の自立支援・相談 母子・父子寡婦福祉資金貸付相談	生活相談件数 7件 児童相談件数 3件 生活援護相談件数 173件 婦人相談件数 73件 その他 0件 合計 256件
児童扶養手当	父母の離婚などにより、父又は母と生計を同じくしていない児童(18歳未満)を養育している人(所得制限あり)	月額 (全部支給) 第1子 44,140円 第2子 10,420円加算 第3子以降(1人につき) 6,250円加算  (一部支給) 第1子 10,410円～44,130円 第2子 5,210円～10,410円加算 第3子以降(1人につき) 3,130円～6,240円加算	認定者 840人

### 2 母子・父子・寡婦福祉資金の貸付状況

年度	区分	修学		就学支度	就職支度	修業	技能習得	計
		大学等	高校					
令和2年度	母子	1	0	1	0	1	0	3
	父子	0	0	0	0	0	0	0
	寡婦	0	0	0	0	0	0	0
令和3年度	母子	0	0	0	0	0	0	0
	父子	0	0	0	0	0	0	0
	寡婦	0	0	0	0	0	0	0
令和4年度	母子	2	0	0	0	0	0	2
	父子	0	0	0	0	0	0	0
	寡婦	0	0	0	0	0	0	0

# ■ 児 童 福 祉

## 1 制度の概要

(手当関係)

制度(事業)名	対 象 者	制 度 内 容	令和4年度実施状況
児 童 手 当	中学校修了前までの子どもを養育している人	3歳未満 月額 15,000円 小学校修了前 (第1子2子) 月額 10,000円 (第3子以降) 月額 15,000円 中学生(一律) 月額 10,000円 所得制限1子につき 月額 5,000円	受給者数 6,933人 支給対象児童数11,687人 (R5.2月末現在)
特別児童扶養手当	精神又は身体に障害を有する児童(満20歳未満)を養育している人	児童1人につき 1級 月額 53,700円 2級 月額 35,760円	障害等級 1級 82人 2級 180人 (R4.12月末現在)

(相談・その他)

制度(事業)名	対 象 者	制 度 内 容	令和4年度実施状況
子ども家庭支援センター事業	児童のいる家庭	児童に関する相談全般、子育て支援事業、サークル支援、発達障害児支援、児童虐待対応等(相談件数に「子ども総合相談窓口」での対応件数含む)	相談件数 3,992件 講座等 57回 支援サークル数 25サークル
地域子育て支援センター事業	乳幼児のいる家庭	保育園等内に子育て支援センター(13か所)を設け、子育てに関する相談、育児講座、サークル支援等の各種事業を実施	相談件数 1,699件 講座等 738回 支援サークル数 11サークル
ファミリー・サポート・センター事業	育児援助の依頼と協力に関し、あらかじめ登録している会員(年齢、資格要件等なし)	会員相互の援助活動の仲介業務のほか、会員を対象にした講習会・交流会等を開催 援助基本報酬 1時間 600円	会員数 192人 仲介 768回 (実回数)
一時預かり事業	家庭での保育が一時的に困難となる家庭(6か月～就学前児童)	月12回を限度に、保育園13か所で保育を実施 (保育料【給食費含む】) 3歳未満 日額 2,600～3,200円 3歳以上 日額 1,500～2,200円	利用延人数 1,172人
子育て短期支援事業	保護者が疾病や冠婚葬祭などで養育が一時的に困難となった児童(小学生以下)	1週間を限度に下記施設で養育実施(所得に応じ利用者負担あり) 2歳未満 鶴岡乳児院 2歳以上 七窪思恩園	利用延人数 19人 利用延日数 26日
病児保育事業	生後2か月から小学6年生までの児童で医師が利用を認めた者	病中・病後にあって、集団保育が困難かつ自宅での保育もできない期間、専門の看護師と保育士のいる施設で、一時的に児童を保育する。 (課税状況により減免あり) 利用料日額 2,000円	令和4年度末登録者 1,021人 利用実人数 101人 利用延件数 161件



## 2 児童福祉施設等の設置状況

### (1) 保育所等

#### ア 認可保育所

(令和5年4月1日現在)

施設名	所在地	経営主体	認可年月日	定員	現員
かたばみ保育園	家中新町	鶴岡市	昭和23. 7. 1	100人	82人
西部保育園	新海町	〃	〃 52. 4. 1	100	70
南部保育園	陽光町	〃	〃 48. 4. 1	140	120
市 経 営 計 (3)				340	272
東部保育園	日出一丁目	社会福祉法人恵泉会	昭和25. 4. 1	120	116
松原保育園	宝町	〃	平成18. 4. 1	110	114
荘内教会保育園	本町三丁目	社会福祉法人地の塩会	昭和23. 11. 22	60	46
常念寺保育園	睦町	社会福祉法人和順会	〃 28. 2. 9	120	117
常念寺保育園分園	睦町	〃	〃 28. 2. 9	30	15
道形保育園	道形町	社会福祉法人道形保育会	平成18. 3. 31	80	73
由良保育園	由良一丁目	由良保育園運営委員会	昭和42. 4. 1	45	24
大山保育園	大山二丁目	社会福祉法人大山仏教慈善団	〃 23. 8. 17	150	124
大山保育園分園	大山二丁目	〃	〃 23. 8. 17	40	39
栄保育園	播磨	社会福祉法人栄保育会	〃 43. 12. 2	50	48
大泉保育園	白山	社会福祉法人大泉保育会	〃 48. 12. 1	90	92
湯田川保育園	藤沢	社会福祉法人湯田川保育会	〃 49. 2. 14	50	39
民田保育園	民田	社会福祉法人民田保育会	〃 53. 4. 1	40	42
小堅保育園	堅苔沢	社会福祉法人恵泉会	〃 56. 4. 1	20	13
上郷保育園	みずほ	社会福祉法人上郷保育会	〃 57. 3. 3	50	43
田川保育園	田川	社会福祉法人田川保育会	〃 58. 3. 3	30	20
黄金保育園	青龍寺	社会福祉法人黄金保育会	〃 62. 3. 3	70	65
ひばり保育園	下川	社会福祉法人湯野浜・松並保育会	平成 9. 3. 31	70	59
ほなみ保育園	高田	社会福祉法人京田保育会	〃 11. 3. 30	90	94
藤島こりす保育園	藤の花一丁目	社会福祉法人ふじの里	〃 16. 4. 1	170	107
藤島くりくり保育園	藤島	〃	昭和45. 4. 1	90	59
大東保育園	羽黒町手向	社会福祉法人羽黒百寿会	〃 43. 4. 1	45	17
貴船保育園	羽黒町後田	〃	〃 44. 4. 1	120	101
いずみ保育園	羽黒町市野山	〃	平成 9. 3. 31	120	79
くしびき保育園	上山添	社会福祉法人鶴岡市社会福祉協議会	〃 9. 3. 31	60	46
くしびき東部保育園	黒川	〃	〃 22. 3. 31	40	38
くしびき西部保育園	上山添	〃	〃 24. 3. 29	80	77
くしびき南部保育園	東荒屋	〃	〃 24. 3. 29	50	43
朝日保育園	下名川	社会福祉法人朝日ぶなの木会	昭和52. 4. 1	120	52
あつみ保育園	温海	社会福祉法人あつみ福祉会	〃 41. 4. 1	60	58
鼠ヶ関保育園	鼠ヶ関	〃	〃 47. 4. 1	40	38
民 間 経 営 計 (29)				2,310	1,898
合 計 (32)				2,650	2,170

#### イ 認可保育所の年齢別児童数

(令和5年4月1日現在)

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
77人	362人	370人	442人	445人	474人	2,170人

## ウ 認定こども園

(令和5年4月1日現在)

類型	施設名	所在地	経営主体	認可年月日	利用定員	現員
幼連携型 保型	城南幼保園	のぞみ町	学校法人鶴岡城南学園	平成27. 4. 1	120人	96人
幼連携型 保型	りっしょう子ども園	西新斎町	社会福祉法人立正会	平成27. 4. 1	90	92
幼連携型 保型	美咲こども園	美咲町	社会福祉法人恵愛会	平成30. 3. 20	95	79
幼連携型 保型	ちわら菜の花 こども園	茅原	社会福祉法人道形保育会	令和 2. 3. 30	105	90
幼連携型 保型	大宝幼稚園	大宝寺町	学校法人 羽陽学園	令和 2. 3. 30	135	105
幼連携型 保型	ちとせはぐくみ園	稲一丁目	社会福祉法人はぐくみ会	令和 2. 3. 30	75	78
幼連携型 保型	若葉幼稚園	若葉町	学校法人キリスト教 若葉学園	令和 3. 3. 31	45	38
幼連携型 保型	マリア幼稚園	馬場町	学校法人双葉学園	令和 3. 3. 31	150	115
幼連携型 保型	三瀬保育園	三瀬	社会福祉法人三瀬保育会	令和 2. 3. 30	75	60
幼連携型 保型	新形こども園	新形町	社会福祉法人新形愛育会	令和 4. 3. 29	105	74
幼稚園型	鶴岡幼稚園	泉町	学校法人鶴岡学園	平成28. 3. 2	130	89
幼稚園型	和光幼稚園	我老林	学校法人いつき学園	平成30. 3. 2	35	26
幼稚園型	いなば幼稚園	藤島	学校法人いなば学園	平成27. 3. 31	25	21
幼稚園型	みどり幼稚園	大塚町	学校法人齋藤学園	令和 4. 3. 29	160	107
保育所型	美咲の森こども園	美咲町	社会福祉法人恵愛会	令和 3. 3. 31	95	78
保育所型	にしごう保育園	下川	社会福祉法人湯野浜・ 松並保育会	平成27. 3. 31	35	26
合 計(16)					1,475	1,174

## エ 地域型保育施設

(令和5年4月1日現在)

類型	施設名	所在地	経営主体	認可年月日	利用定員	現員
小規模	ニチイキッズつるお か駅前保育園	大宝寺町	株式会社ニチイ学館	平成28. 3. 31	19人	14人
小規模	ニチイキッズつるお か天神保育園	大東町	株式会社ニチイ学館	令和 2. 3. 31	19	15
小規模	ベビー&キッズルー ムばあば・ぱぱ	千石町	一般社団法人GLEAP	平成28. 3. 31	9	8
事業所内	鈴の音保育園	苗津町	社会福祉法人恵泉会	平成28. 3. 31	12	10

オ 届出保育施設等（認可外保育施設・企業主導型保育施設）

（令和5年5月1日現在）

施設名	所在地	経営主体	職員数	児童数	保育料
ベビー&キッズルームばあば・ママ	苗津町	個人	1人	0人	一時預かりのみ700円～
鶴岡幼稚園（幼稚園付随保育機能）	泉町	（学）鶴岡学園	5	11	22,000円
みどり幼稚園（幼稚園付随保育機能）	大塚町	（学）齋藤学園	4	9	25,000円
やまのこ保育園 home	大宝寺	Spiber株式会社	17	12	4,000円～40,000円
やまのこ保育園	北京田	〃	14	33	4,000円～40,000円

（2）児童館

（令和5年4月1日現在）

施設名	所在地	経営主体	許可年月日	児童厚生員	館長
中央児童館	苗津町	（福）鶴岡市社会福祉協議会	平成12. 2. 1	4人	1人
鶴岡西部児童館	淀川町	〃	〃 21. 4. 1	3	1
鶴岡南部児童館	文園町	〃	〃 25. 4. 1	5	1
暘光児童館	柳田	〃	〃 26. 4. 1	3	1
大山児童館	大山三丁目	〃	〃 17. 4. 1	2	1
藤島児童館	藤島	（学）いなば学園	昭和41. 10. 1	2	1

### 3 放課後児童クラブ (学童保育所)

(令和5年5月1日現在)

学区等	施設名	所在地	経営主体	登録児童数	保育料(※)
第一学区	第一学区学童保育所	文園町	(福)鶴岡市社会福祉協議会	223 <sup>人</sup>	11,600 <sup>円</sup>
第二学区	第二学区学童保育所	苗津町	〃	86	11,600
〃	ばあばままキッズ	苗津町	(一社)GLEAP	15	10,000
第三学区	第三学区学童保育所	若葉町	第三学区学童保育の会	213	12,000
〃	SORAI放課後児童クラブ	北京田	YAMAGATA DESIGN(株)	116	12,000
第四学区	第四学区学童保育所 太陽の子	柳田	(福)鶴岡市社会福祉協議会	208	11,600
第五学区	虹っ子クラブ	切添町	(特非)にじいろbase	39	12,000
〃	風っ子クラブ	朝陽町	〃	50	12,000
〃	おひさまクラブ	朝陽町	〃	33	12,000
〃	あおぞらクラブ	切添町	〃	51	12,000
第六学区	第六学区学童保育所 ゆりのき	小淀川	第六学区学童保育所ゆりのき 運営委員会	83	11,000
〃	鶴岡西部放課後児童クラブ ひまわり	淀川町	(福)鶴岡市社会福祉協議会	118	10,600
〃	斎 放課後児童クラブ いっつき	我老林	斎地区社会福祉協議会	80	7,000
京田	京田きらき よいこの家	高田	京田小学校学区 学童保育所運営委員会	75	7,000
黄金	黄金放課後児童クラブ	青龍寺	(福)民田保育会	44	4,000
大泉	大泉学童保育所	白山	大泉学童保育会	55	11,000
大山	大山放課後児童クラブ	大山三丁目	(福)鶴岡市社会福祉協議会	108	10,600
藤島	藤島児童クラブ	藤島	(学)いなば学園	144	10,000
羽黒	泉学童保育所	羽黒町荒川	(福)羽黒百寿会	57	9,000
〃	広瀬学童保育所	羽黒町後田	〃	46	9,000
櫛引	櫛引西学童保育所 ポケットクラブ	上山添	(福)櫛引福寿会	54	9,000
〃	櫛引東学童保育所 ランドセルクラブ	黒川	〃	34	9,000
朝日	朝日学童保育所	下名川	(福)朝日ぶなの木会	56	8,000
温海	温海放課後児童クラブ あつみっこクラブ	温海	(福)あつみ福祉会	43	6,500
合 計				2,031	

※1～3年生の児童の基本的な月額保育料

# ■ 生活保護

## 1 生活保護の推移

(単位：世帯・%・人)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
被保護世帯数		1,064	1,087	1,125	1,359	1,149	1,140
被保護人員		1,270	1,304	1,352	1,377	1,351	1,328
1,000人当りの保護率		9.9	10.0	10.7	10.9	11.0	11.1
(同、山形県)		(6.9)	(7.1)	(7.3)	(7.3)	(7.4)	(7.3)
扶 助 別 世 帯 数	生活扶助	930	952	974	972	965	950
	住宅扶助	773	786	812	828	822	816
	教育扶助	28	33	34	34	27	23
	介護扶助	338	357	377	378	382	372
	医療扶助	917	933	963	970	984	979
扶 助 別 人 員	生活扶助	1,109	1,142	1,172	1,158	1,139	1,111
	住宅扶助	932	951	985	996	978	954
	教育扶助	48	55	57	58	46	38
	介護扶助	351	368	385	383	386	378
	医療扶助	1,054	1,070	1,102	1,092	1,105	1,091
保護開始世帯		10	14	12	12	13	12
保護廃止世帯		10	10	10	11	13	13

(福祉行政報告例：年度平均値、停止世帯除く)

※保護開始、廃止世帯数は月平均値

※令和4年度山形県保護率は4年度生活保護の実施状況（令和5年2月分）

## 2 世帯別、就労別被保護世帯の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
高 齢 者 世 帯	500	499	530	545	574	626
母 子 世 帯	30	32	30	27	23	24
傷 病 障 害 世 帯	342	349	342	331	324	324
そ の 他 の 世 帯	192	208	223	241	229	167
就 労 者 の い る 世 帯	202	202	201	199	199	198
就 労 者 の い な い 世 帯	862	886	924	945	949	944

(福祉行政報告例：年度平均値)

## 3 生活保護費扶助別支出状況

(単位：千円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
生 活 扶 助 費	557,493	556,241	573,492	561,280	554,372	545,931
住 宅 扶 助 費	233,636	240,561	255,934	260,960	263,182	261,876
教 育 扶 助 費	6,572	7,229	6,972	7,508	5,806	4,433
介 護 扶 助 費	93,406	82,449	80,970	75,139	71,519	70,193
医 療 扶 助 費	981,921	930,655	1,102,927	1,054,701	1,054,678	1,100,424
出 産 扶 助 費	0	197	0	492	249	193
生 業 扶 助 費	3,284	4,008	3,341	3,970	3,770	1,972
葬 祭 扶 助 費	2,393	2,126	4,462	2,914	3,832	2,749
小 計	1,878,705	1,833,466	2,028,106	1,966,964	1,944,717	1,987,771
施 設 事 務 費	28,444	27,197	28,336	27,022	28,226	33,663
合 計	1,907,149	1,860,663	2,056,442	1,993,986	1,972,943	2,021,434

## ■ 災害一時援護

制度(事業)名	対 象 者	制 度 内 容	令和4年度実施状況
災害見舞金	災害により被害を受けた世帯の世帯主	全壊、全焼、全流出 1世帯50,000円 半壊、半焼、床上浸水 1世帯20,000円	全焼・全壊 5件 半焼・半壊 1件 部分焼 0件 床上浸水 0件
災害死亡者弔慰金	災害により死亡した人の遺族	1人につき30,000円	1人

## ■ 中国残留邦人等支援給付

現 況 (令和5年3月現在)

・ 特定中国残留邦人等 3世帯 5人

## ■ 民生委員児童委員

定 員 : 349人

令和4年度の活動状況

相 談 ・ 支 援 件 数					
内 容 別	在 宅 福 祉	312	分 野 別	高 齢 者 に 関 す る こ と	4,769
	介 護 保 険	219		障 害 者 に 関 す る こ と	352
	健 康 ・ 保 健 医 療	412		子 ど も に 関 す る こ と	794
	子 育 て ・ 母 子 保 健	92		そ の 他	1,150
	子 ど も の 地 域 生 活	473		計	7,065
	子 ど も の 教 育 ・ 学 校 生 活	183	そ の 他 の 活 動 件 数		
	生 活 費	148	調 査 ・ 実 態 把 握	5,329	
	年 金 ・ 保 険	24	行 事 ・ 事 業 ・ 会 議 へ の 参 加 ・ 協 力	5,415	
	仕 事	56	地 域 福 祉 活 動 ・ 自 主 活 動	8,918	
	家 族 関 係	185	民 児 協 運 営 ・ 研 修	9,337	
	住 居	101	証 明 事 務	943	
	生 活 環 境	414	要 保 護 児 童 の 発 見 の 通 告 ・ 仲 介	128	
	日 常 的 な 支 援	2,792	訪 問 回 数	96,388	
	そ の 他	1,654	連 絡 調 整 回 数	12,203	
計	7,065	活 動 日 数	44,727		

## ■ その他の福祉資金制度

(令和5年4月1日現在)

資金（制度）名	生活福祉資金貸付	たすけあい資金貸付
貸付対象	低所得・障害者・高齢者世帯、生活保護世帯で他から必要な援助・融資を受けることが困難な世帯（所得制限あり）※貸付対象経費により異なる	低所得世帯で他から必要な援助・融資を受けることが困難で一時的な生活困窮世帯（所得制限あり）
資金使途	総合支援資金（生活支援費、住宅入居費、一時生活再建費）福祉資金（福祉費、緊急小口資金）、教育支援資金（教育支援費、就学支度費）不動産担保型生活資金	次の収入までの、必要最低限度の生活費
貸付限度	資金の種類により異なる	5万円以内で必要と認められる金額
貸付利率	○総合支援資金、福祉資金（福祉費）は連帯保証人あり⇒無利子、連帯保証人なし⇒年利1.5% ○福祉資金（緊急小口資金）、教育支援資金は無利子 ○不動産担保型生活資金は年利3%か長期プライムレートのうち低い方	無利子
償還期間及び方法	償還 資金の種類により異なる 据置期間 2か月～6か月以内 償還期間 おおむね1年～20年以内 償還方法 年賦、半年賦、月賦による元利均等	状況に応じ10か月以内の月賦又は一括償還
担保・保証人	原則県内在住の連帯保証人（65歳未満）1人以上	原則市内在住の連帯保証人（65歳未満）1人以上

# 病 院

## ■ 市立荘内病院の概要

### 1 施 設

敷地面積 31,842.41㎡ 建物延面積 54,728.13㎡

### 2 沿 革

大正 2年 6月	東田川郡、西田川郡組合立の病院として外来診療開始（内科、外科、産婦人科）	昭和61年11月	医療用ライナック（放射線治療機器）を導入
〃 11年 4月	郡組合解散、病院を鶴岡町に引き継ぐ	〃 62年 4月	呼吸器外科、心臓血管外科を標ぼう
〃 13年10月	市制施行により、鶴岡市立荘内病院となる	〃 63年10月	透析給食を開始
		〃 63年11月	来院者駐車場を有料化 C Tを更新、1台増設
昭和20年 7月	日本医科大学が鶴岡に疎開 荘内病院は同大学へ経営を委託し、日本医科大学附属荘内病院となる	平成元年 6月	病棟、外来待合室に冷房設備を新設
〃 22年11月	病院経営を市直営に復する	〃 元年 7月	給食の選択メニューを部分的に開始
〃 25年 3月	甲種看護婦養成所を開設	〃 元年 7月	病院前駐車場を拡張
〃 26年 4月	甲種看護婦養成所を荘内病院高等看護学院とする	〃 2年 4月	経営企画室を設置 市立荘内看護専門学校の入学定員を15人から20人に改正する 市立荘内看護専門学校、創立40周年を迎える
〃 32年 7月	総合病院の指定		病床変更 475床 → 477床
〃 33年不明	未熟児養育医療機関の指定	〃 2年 8月	基準看護特3類 3病棟132床承認実施
〃 36年不明	原子爆弾被爆者一般疾病医療機関の指定	〃 2年10月	内科外来の予約制を実施
〃 39年10月	基準寝具を実施	〃 3年 4月	MR I（磁気共鳴撮影診断装置）を導入
〃 43年 7月	中央カルテ方式を採用	〃 3年 9月	病棟を増設し529床に増設承認実施
〃 44年 4月	救急告示病院の指定	〃 4年 3月	シネアンギオ（心臓血管連続撮影装置）を導入 基準看護特3類 4病棟187床承認実施
〃 46年 5月	病理科を新設	〃 5年 6月	週休2日制を完全実施
〃 47年 7月	特類看護を実施	〃 6年 4月	事務部業務課を医事課に変更 訪問看護室を設置
〃 50年 4月	特2類看護を実施	〃 6年12月	結核病床5床を廃止し、一般病床数を529床に
〃 51年 4月	医療社会事業室を開設、ケースワーカーを配置 高等看護学院を改組し、市立荘内看護専門学校となる	〃 7年 3月	特3類基準看護 全病棟承認実施
〃 53年 1月	人工透析を開始（12台）	〃 8年 4月	事務部医事課業務の一部委託を実施 新病院建設準備室・地域医療室・臨床工学室を設置
〃 54年 5月	全身用C Tスキャナシステム設置稼動を開始	〃 8年 6月	物品管理システムを導入、医薬分業を実施（小児科・耳鼻科・形成外科・産婦人科）
〃 55年 2月	業務課窓口計算事務及びレセプト作成事務の電算化を実施	〃 8年11月	全科で予約診療を開始
〃 55年 7月	夜間透析を開始		
〃 56年 9月	重症者の看護及び収容の基準実施承認（20床）		
〃 57年10月	食療科優良集団給食施設として厚生大臣表彰 業務課の電算機器を更新し、医事請求事務を全面自己処理に改善する		



平成 8年不明	エイズ治療拠点病院の指定	平成29年 4月	医療安全管理部を設置
〃 9年 4月	看護部に物流管理室を設置 医療部薬剤科を薬局に変更 産婦人科で不妊治療としての「体外受精」を開始		消化器病センターを設置
〃 9年 6月	「医薬分業」を全診療科で実施	令和元年 9月	MRI(1.5T)を更新
〃 10年 4月	庶務課に企画財政係、医事課に情報管理係を新設	〃 2年 3月	MRI(3.0T)を更新
〃 10年 7月	新看護2：1体系の全病棟承認実施	〃 2年 7月	国立がん研究センター東病院と医療連携協定を締結
〃 11年12月	伝染病床廃止に伴い7床を一般病床に転換 529床 → 536床	〃 2年11月	がん相談外来開始
〃 12年 3月	災害拠点病院（地域災害医療センター）の指定を受ける	〃 2年12月	遺伝子検査室を設置
〃 12年 4月	市立荘内看護専門学校、創立50周年を迎える	〃 3年10月	漢方内科外来を新設
〃 15年 3月	新病院本体が完成する。	〃 4年 1月	病院機能評価認定 （一般病院2 3rdG:Ver2.0）
〃 15年 7月	新病院を開院（24診療科、病床数520床）  事務部庶務課を総務課に変更 電子カルテを中心とした統合医療情報システムを導入	〃 4年 5月	統合医療情報システム更新
〃 15年10月	臨床研修病院の指定	〃 4年12月	遠隔アシスト手術を実施
〃 16年 4月	急性期入院加算の取得	〃 5年 4月	事務部に管理課を設置
〃 17年 4月	事務部に経営対策室を設置		
〃 17年10月	市町村合併により、新たに開設許可を受ける		
〃 18年 4月	一般病床10対1入院基本料承認実施		
〃 19年 1月	病院機能評価認定（Ver.4.0）		
〃 20年 4月	緩和ケアサポートセンター設置 厚生労働省よりDPC（包括評価）の指定を受ける  医療安全管理室を設置		
平成20年11月	外来化学療法室を設置		
〃 20年12月	地域医療支援病院の承認		
〃 22年 4月	地方公営企業法全部適用 鶴岡市病院事業管理者を置く 周産期母子医療センターを設置 山形県地域周産期母子医療センターの認定		
〃 22年10月	山形県がん診療連携指定病院の指定		
〃 24年 4月	病院機能評価認定（Ver.6.0）		
〃 24年 6月	一般病床7対1入院基本料承認実施		
〃 25年 3月	山形DMAT指定病院の指定		
〃 25年 6月	創立100周年を迎える		
〃 26年 5月	病床変更 520床→521床		
〃 27年 5月	統合医療情報システム更新		
〃 27年 6月	新医師公舎完成（馬場町）		
〃 29年 1月	病院機能評価認定 （一般病院2.3rdG:Ver1.1）		
〃 29年 3月	医療用ライナック（放射線治療機器）を更新		

### 3 診療圏

診療圏は、立地条件及び患者の利用状況からみて、当市及び近隣の2町（人口約14.2万人）が主診療圏で、他の庄内一円と、新潟県村上市の一部（旧山北町）を含む2市1町が準診療圏である。診療圏及びその医療機関の状況は次のとおりとなっている。

（令和5年3月31日現在）

区 分		主 診 療 圏	(うち、鶴岡市)
医療機関	病 院	8	6
	診 療 所	117	103
	計	125	109
病 床 数		1,873	1,355

※病床数は、病院と診療所の合計数（歯科を除く）

### 4 財政状況（令和4年度）

（1）収益的収支

（単位：千円）

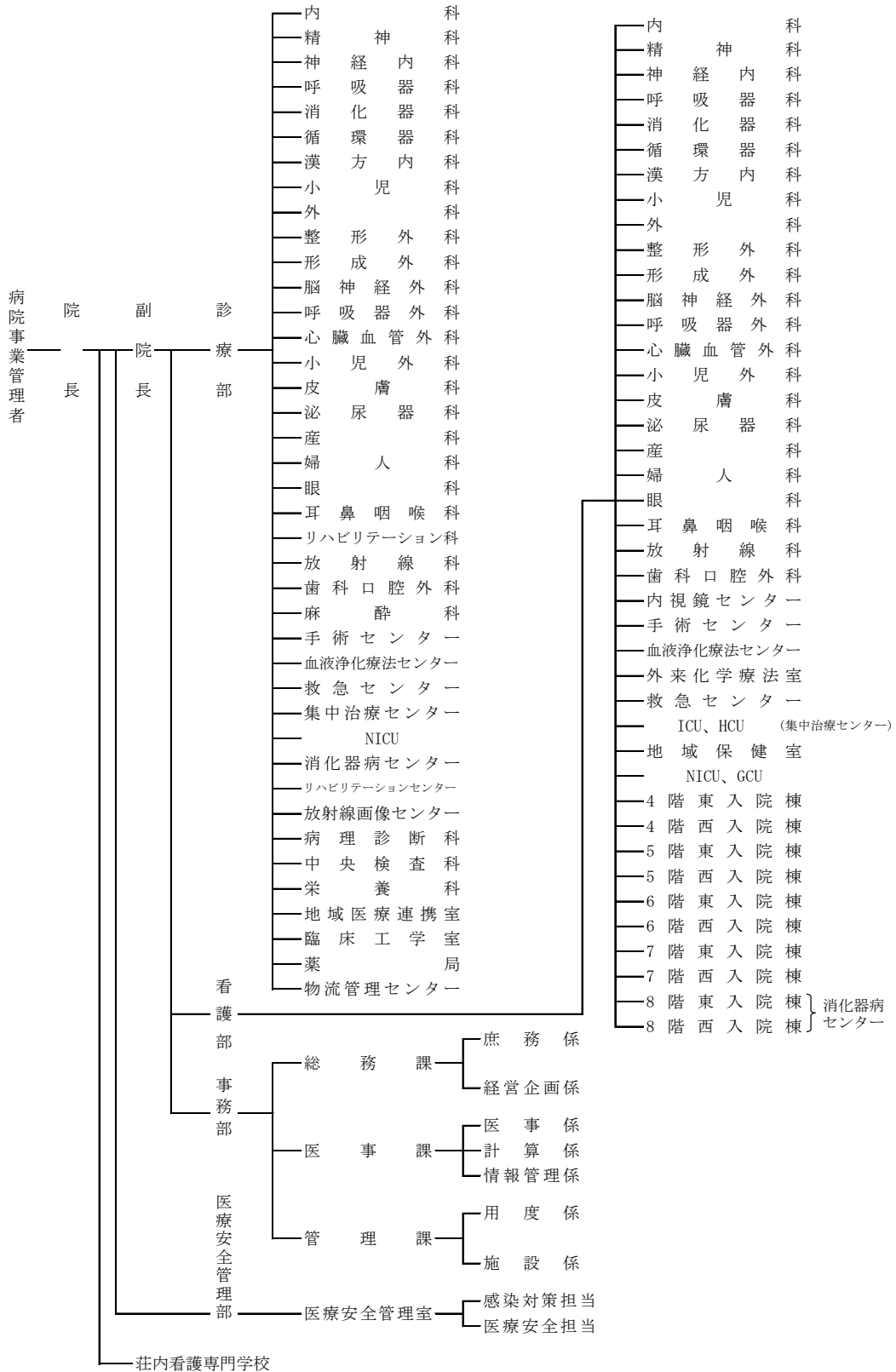
収 益	医 業 収 益	10,997,475	費 用	医 業 費 用	12,167,514
	医 業 外 収 益	2,436,720		医 業 外 費 用	713,045
	看 護 学 校 収 益	109,891		看 護 学 校 費 用	109,891
	特 別 利 益	214,956		特 別 損 失	0
	計	13,759,042		計	12,990,450
事 業 損 (△) 益				768,592	

（2）資本的収支

（単位：千円）

収 入	企 業 債	1,524,500	支 出	建 設 改 良 費	1,529,026
	国 県 補 助 金 等	11,586		企 業 債 償 還 金	1,325,638
	負 担 金	859,607		長 期 貸 付 金	10,000
	そ の 他	2,000		そ の 他	55,008
	計	2,397,693		計	2,919,672

# 5 組織機構



## 6 職員数

(令和5年4月1日現在)

職員数 合計 841人 (175人)	医師 75人 (14人)	内科 6、神経内科 2、呼吸器科 1、消化器科 3、循環器科 4、小児科 7、外科 6、整形外科 7、脳神経外科 2、小児外科 4、皮膚科 1、泌尿器科 2、産科・婦人科 4、眼科 4(1)、耳鼻咽喉科 1、歯科口腔外科 4、麻酔科 3(2)、病理科 3(2)、放射線科 2、研修医 8(8)、中央検査科 1(1)
	医療技術員 117人 (4人)	薬剤師 19、診療放射線技師 17、臨床検査技師 28(3)、理学療法士 15、作業療法士 6、言語聴覚士 4、管理栄養士 7(1)、視能訓練士 2、歯科衛生士 2、臨床工学技士 16、臨床心理士 1
	看護職員 492人 (53人)	看護師 486(47)、准看護師 6(6)
	その他 157人 (104人)	事務職員 66(29)、ケースワーカー 5、看護助手 58(58)、その他 16(15)、看護学校 12(2)

※ ( ) 内は会計年度任用職員

## 7 業務の状況

(1) 病床数等

① 病床数 合計521床

(単位：床)

一般病床					
I C U	6				
H C U	9	5階東入院棟	50	6階西入院棟	50
救急ベッド	8				8階東入院棟 51 (消化器病センター)
4階東入院棟	36	5階西入院棟	50	7階東入院棟	51
					8階西入院棟 50 (消化器病センター)
N I C U	6				
G C U	6	6階東入院棟	50	7階西入院棟	51
4階西入院棟	37				人間ドック 10

② 取扱患者数(年間) (ドック、健康診断除く)

(単位：人)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
外 来	168,262	167,060	161,719	173,726	180,758
入 院	155,397	143,775	130,126	131,527	132,462
計	323,659	310,835	291,845	305,253	313,220

③ 入院料加算額

特 別 個 室	1日	16,500円
個 室	1日	6,600円
個室的3床室	1日	2,200円

(2) 人工透析の状況(昭和53年1月17日開始)

① ベッド数 46台

② 従事職員

医師：更正医療(じん臓に関する医療)担当医師、内科医師全員

その他の職員：23人

③ 患者数

(単位：人)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
透 析 患 者 数	148	141	137	134	129
延透析患者数	21,921	21,402	20,729	19,996	19,413

(3) 人間ドックの状況

① 人間ドックの受診者数

(単位：人)

区 分	入 院	外 来	合 計
平成30年度	399	1,446	1,845
令和元年度	389	1,405	1,794
令和2年度	260	1,388	1,648
令和3年度	325	1,483	1,808
令和4年度	315	1,514	1,829

② 主な検査項目

入院ドック（1泊2日）

食道・胃・十二指腸検査、心電図、血圧、胸部X線撮影、血糖検査、糖尿病検査、腹部超音波、代謝系検査、尿便検査、肝機能検査、B・C型肝炎検査、血液検査、腎機能検査、眼科検診、婦人科検診、腫瘍マーカー前立腺検査(PSA)、身体計測、内科診察

外来ドック

食道・胃・十二指腸検査、心電図、血圧、尿便検査、糖尿病検査、血液検査、肝機能検査、B・C型肝炎検査、胸部X線撮影、代謝系検査、眼科検診、腎機能検査、血糖検査、腫瘍マーカー前立腺検査(PSA)、身体計測、内科診察

(4) 救急業務の状況

① 救急告示月日 昭和44年4月1日

② 荘内病院では、地域の中核病院として救急患者に対応するため、医師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師を配置し緊急体制を整えている。

## ■ 市立荘内看護専門学校

学生の推移

(単位：人・倍)

区 分	入学定員	受験者数	倍 率	入学者数	1年修了者数	2年修了者数	卒業者数
平成30年度	20	32	1.60	20	20	21	15
令和元年度	20	33	1.65	18	15	17	21
令和2年度	20	34	1.70	21	21	14	17
令和3年度	20	37	1.85	20	19	20	14
令和4年度	20	26	1.30	18	17	17	19

# ■ 市立湯田川温泉リハビリテーション病院の概要

平成13年3月1日、国立療養所湯田川病院の経営移譲を受けて開設した。病院の管理運営は、地方自治法第244条の2第3項に基づき、一般社団法人鶴岡地区医師会を指定管理者としている。(平成18年4月1日～)

## 1 施設

敷地面積 44,905.36㎡ 建物延面積 7,479.32㎡

## 2 沿革

昭和26年10月 国立庄内療養所発足（鶴岡市大字藤沢）  
〃 52年 4月 国立療養所湯田川病院と改称  
〃 52年 7月 現在地（鶴岡市大字湯田川）に開設  
〃 61年 1月 国立病院・療養所の再編成計画発表  
国立療養所湯田川病院は地方自治体等への経営移譲対象施設となる  
〃 61年 6月 鶴岡市議会に国立療養所湯田川病院存続対策委員会設置  
平成12年 9月 国立療養所湯田川病院の経営移譲に係る関係者会談開催  
（厚生省、山形県、鶴岡市、鶴岡地区医師会）  
〃 13年 2月 国立療養所湯田川病院経営移譲に関する基本協定及び譲渡契約締結  
鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院管理委託契約締結  
〃 13年 3月 鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院開設  
〃 14年 1月 通所リハビリテーション事業開始  
〃 15年12月 MR I 共同利用施設設備事業開始  
〃 17年10月 市町村合併により新たに開設許可を受ける  
〃 18年 4月 管理運営の指定管理者として社団法人鶴岡地区医師会を指定（平成20年度まで）  
〃 19年 9月 介護保険適用病床を医療保険適用病床に転換  
〃 21年 4月 一般社団法人鶴岡地区医師会を指定管理者に指定（平成25年度まで）  
〃 26年 4月 一般社団法人鶴岡地区医師会を指定管理者に指定（平成30年度まで）  
〃 31年 4月 一般社団法人鶴岡地区医師会を指定管理者に指定（令和5年度まで）

## 3 病床数

療養病床 51室 120床

上記の病室のうち、個室が28室、4床室が23室

個室のうち特別室2室（1日5,500円）、一般個室17室（1日1,650円）が入院料加算額対象病室

## 4 患者数（令和4年度）

延入院患者数 34,792人

外来患者数 8,478人

## 5 病院の性格と機能

診療科：内科、脳神経外科、リハビリテーション科

脳血管障害、骨折などの疾患で急性期病院での治療後、症状が安定した患者に対して、集中的なリハビリテーション医療を提供し、低下した機能の回復を目指す。

また、急性期病院での治療後、引き続きリハビリ、医学管理等の医療を必要とする患者や在宅療養中で症状が悪化し一時的に入院が必要となった患者などに対し、在宅復帰に向けた医療や支援を提供するとともに、在宅療養中の患者の家族を支援するため、短期予定入院（レスパイト入院）の受け入れを行う。

# 商工・観光

## ■ 商 工 業

### 1 事業所数及び従業者数の推移（民営のみ）

区 分	平成24年		平成26年		平成28年		令和3年	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
全 産 業	6,781	56,277	6,663	54,715	6,545	54,958	6,079	53,749
第 一 次 産 業	50	612	54	525	63	707	114	1,161
第 二 次 産 業	1,333	18,931	1,293	17,871	1,234	17,694	1,076	16,983
鉱 業	※ <sup>1</sup> <sub>3</sub>	※ <sup>1</sup> <sub>15</sub>	※ <sup>1</sup> <sub>5</sub>	※ <sup>1</sup> <sub>54</sub>	※ <sup>1</sup> <sub>5</sub>	※ <sup>1</sup> <sub>52</sub>	※ <sup>1</sup> <sub>2</sub>	※ <sup>1</sup> <sub>46</sub>
建 設 業	778	5,463	744	5,239	709	5,027	628	4,793
製 造 業	552	13,453	544	12,578	520	12,615	446	12,144
第 三 次 産 業	5,398	36,734	5,316	36,319	4,766	36,557	4,889	35,605
電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 ・ 熱 供 給 業	5	163	6	176	6	171	9	196
運 輸 ・ 通 信 業	※ <sup>2</sup> <sub>148</sub>	※ <sup>2</sup> <sub>2,088</sub>	※ <sup>2</sup> <sub>145</sub>	※ <sup>2</sup> <sub>1,941</sub>	※ <sup>2</sup> <sub>138</sub>	※ <sup>2</sup> <sub>1,710</sub>	※ <sup>2</sup> <sub>126</sub>	※ <sup>2</sup> <sub>1,655</sub>
卸 ・ 小 売 業	1,879	10,608	1,805	10,171	1,773	10,039	1,553	9,594
金 融 ・ 保 険 業	128	1,539	125	1,537	122	1,650	105	1,416
不 動 産 業	※ <sup>3</sup> <sub>204</sub>	※ <sup>3</sup> <sub>643</sub>	※ <sup>3</sup> <sub>182</sub>	※ <sup>3</sup> <sub>623</sub>	※ <sup>3</sup> <sub>177</sub>	※ <sup>3</sup> <sub>541</sub>	※ <sup>3</sup> <sub>176</sub>	※ <sup>3</sup> <sub>628</sub>
サ ー ビ ス 業	3,034	21,693	3,053	21,871	2,550	22,446	2,920	22,116

※1：鉱業・採石業・砂利採取業 ※2：運輸・郵便・通信業 ※3：不動産・物品賃貸業

資料：経済センサス

## ■ 商 業

### 1 商業の概況

(1) 卸・小売業の店舗数・従業員数・年間販売額

(単位：店・人・百万円)

種 類 別	商 店 数			従 業 者 数			年 間 販 売 額		
	平成27年	令和3年		平成27年	令和3年		平成27年	令和3年	
	実数	実数	伸び率(%)	実数	実数	伸び率(%)	実数	実数	伸び率(%)
総 数	1,546	1,420	-8.0	8,603	8,383	-2.6	212,717	197,459	-7.2
卸 売 業	283	253	-10.6	1,757	1,719	-2.2	87,306	79,346	-9.1
小 売 業	1,263	1,167	-7.6	6,846	6,664	-2.7	125,411	118,113	-5.8

(2) 小売業の産業分類別推移

(単位：店・人・百万円)

商 店 数	年 次	各 種	衣 服	食 料 品	自 動 車	家 具	そ の 他	計
		平成25年	0	142	422	113	27	445
従 業 者	平成27年	4	140	443	119	27	456	1,189
	令和3年	5	110	381	109	28	427	1,060
年 販 売 額	平成25年	0	488	2,712	789	88	2,379	6,456
	平成27年	36	503	2,728	733	82	2,496	6,578
	令和3年	17	359	2,762	704	79	2,313	6,234
年 販 売 額	平成25年	0	5,803	39,665	19,550	557	53,693	119,268
	平成27年	1,003	6,120	43,723	15,615	745	51,899	119,105
	令和3年	262	4,593	37,967	15,743	556	50,431	109,552

資料：平成28・令和3年-経済センサス 平成26年-商業統計調査

## 2 大型店の概要 (店舗面積1,000㎡超)

(令和5年4月1日現在)

大規模小売店名	店舗面積(㎡)	開店年月	備考
大和	1,409	S43. 7	
池田	3,748	S52. 3	
主婦の店美原店	1,006	S53. 4	
チャンピオン	2,354	S54. 9	
くしびきショッピングプラザ	5,987	H 4. 4	ヤマザワ2,997㎡、サンデー2,979㎡他
武田商店中央店	1,485	H 5. 10	
庄内観光物産館	1,345	H 5. 10	
藤島ショッピングセンター	4,514	H 6. 8	マックスバリュ2,163㎡、サンデー2,351㎡、
マックスバリュ白山店	1,342	H 7. 3	
コメリ鶴岡店・こびあ	5,470	H 7. 7	コメリ3,500㎡
コメリハード&グリーン藤島店	1,186	H 8. 8	
S C ボ イ ス	6,496	H 9. 11	ましま3,066㎡他
鶴岡南 S C	10,750	H10. 7	ホームマックス5,800㎡、マックスバリュ2,488㎡他
庄内アーケプラザ	13,069	H12. 4	ホームセンタームサシ9,490㎡
		H12. 12	ヤマザワ2,479㎡、しまむら1,100㎡
ウエストモールパル	6,109	H12. 4	主婦の店2,708㎡、ダイソー1,498㎡他
J A庄内たがわ・ふじしま共同店舗	1,213	H12. 7	
S - M A L L (エスマール)	11,424	H14. 10	
セイムス鶴岡大塚店	1,276	H16. 6	
鶴岡ファッションモール	1,997	H16. 9	
カワチ薬品鶴岡インター店	2,470	H17. 12	カワチ薬品2,110㎡
主婦の店新斎店	1,672	H18. 5	
お宝中古市場	2,669	H19. 3	
イオンタウンあつみ	4,034	H20. 9	マックスバリュ1,872㎡、サンデー1,308㎡他
主婦の店新駅前店	1,513	H21. 3	既存店の建替えにより店舗面積拡大
カワチ薬品鶴岡東店	2,001	H22. 4	
くらしのセンターコープ千石	1,405	H26. 6	既存店の建替えにより店舗面積拡大
サウスモールミーナ	3,370	H26. 11	主婦の店2,066㎡、セイムス・ミーツ1,304㎡
		H29. 10	クラスオン1,949㎡ (R1.5閉店)
ヤマダ電機テックランド鶴岡店	2,983	H27. 6	
ジェイ・マルエー鶴岡店	1,684	H30. 3	
鶴岡市上畑町商業施設	1,275	H30. 10	
ヤマザワ鶴岡茅原ショッピングセンター	7,642	R 2. 3	ヤマザワ1,726㎡、ダイユーエイト5,054㎡他
ケーズデンキ鶴岡店	2,830	R 2. 11	既存店の建替えにより店舗面積拡大
ジェイ・マルエー鶴岡南店	3,206	R 4. 1	
計	122,883		

※上記は大店立地法及び大店法による届出書のデータを基に作成



### 3 金融制度一覧

#### (1) 長期安定資金Ⅱ

- 融資(保証)対象者 : 申込前(申込月の前月又は前々月までの)3か月(建設業は6か月)の総売上額又は売上総利益が前年又は前々年の同期に比べ10%以上減少し、経営の安定に支障がある者
- 資金使途 : 運転資金
- 融資(保証)限度額 : 2,000万円  
(1,000万円を超える部分の利用は1事業者1回限り。)
- 融資(保証)期間 : 10年以内  
(据置2年以内。ただし、信用保証協会利用の場合は1年以内)
- 貸付利率 : 貸付時の長期プライムレートマイナス0.5%の変動金利。(下限0.45%)
- 信用保証料 : 上限を年1.90%とする料率の60%を市が補助

#### (2) 活性化推進支援資金

##### ①新事業進出支援資金

- 融資(保証)対象者 : 企業経営の活性化を図るため次に掲げる事業を行う者  
・新たな製品の開発や製造  
・新たな商品、サービスの提供
- 資金使途 : 設備資金、運転資金
- 融資(保証)限度額 : 2,000万円(運転資金は1,000万円が限度)
- 融資(保証)期間 : 設備10年以内 運転5年以内  
(据置2年以内。ただし、信用保証協会利用の場合は1年以内。)
- 貸付利率 : 貸付時の長期プライムレートで固定金利又は貸付時の長期プライムレートマイナス0.5%の変動金利。ただし、0.45%を下限とする。
- 信用保証料 : 上限を年1.90%とする料率の60%を市が補助

##### ②創業支援資金

- 融資(保証)対象者 : 信用保証協会の「創業関連保証」及び「創業等関連保証」を利用する創業者で市税を完納している者
- 資金使途 : 設備資金、運転資金
- 融資(保証)限度額 : 2,000万円  
(運転資金は1,000万円が限度。ただし、信用保証協会の保証額を限度とする。)
- 融資(保証)期間 : 設備7年以内 運転5年以内  
(据置1年以内。)
- 貸付利率 : 貸付時の長期プライムレートで固定金利又は貸付時の長期プライムレートマイナス0.5%の変動金利。ただし、0.45%を下限とする。
- 信用保証料 : 上限を年1.90%とする料率の60%を市が補助

##### ③人材対応支援資金

- 融資(保証)対象者 : 人手不足に対応するため次に掲げる事業を行う者  
・労働環境改善のための新規人員増  
・省力化設備等を導入する場合の設備導入、労働環境改善のための工場棟の改修及び従業員の福利厚生施設等の整備
- 資金使途 : 設備資金、運転資金
- 融資(保証)限度額 : 2,000万円(運転資金は1,000万円が限度)
- 融資(保証)期間 : 設備15年以内 運転10年以内  
(据置2年以内。)
- 貸付利率 : 貸付時の長期プライムレートで固定金利又は貸付時の長期プライムレートマイナス0.5%の変動金利。ただし、0.45%を下限とする。
- 信用保証料 : 上限を年1.90%とする料率の60%を市が補助

(3) 近代化資金

- 融資(保証)対象者 : 他の事業者との連携や事業の共同化等により、経営の近代化・基盤強化などに  
取り組む組合
- 資金用途 : 設備資金
- 融資(保証)限度額 : 2,000万円
- 融資(保証)期間 : 10年以内(据置1年以内)
- 貸付利率 : 設定なし
- 信用保証料 : 上限を年1.90%とする料率の60%を市が補助
- ※利子補給制度あり

(4) 産業立地促進資金

- 融資(保証)対象者 : 本市産業の高度化に資することが期待できる者であって、次のいずれかに該当  
する者  
(1)市内の工業団地等に立地しようとする者  
(2)市内に大規模な立地を行う者または県外から新たに市内に立地する者(た  
だし、新たに市内に立地する者は製造業又は山形県企業立地促進補助金を受け  
て物流関連施設を立地する者若しくは本社機能を移転する者に限る)  
(3)市内の工業団地等に立地している者若しくは(2)を活用して市内に立地  
を行った者であって、増設・増築を行う者
- 資金用途 : 設備資金、運転資金
- 融資(保証)限度額 : 20億円(県脱炭素社会推進資金第3号との合計で30億円以内)
- 融資(保証)期間 : 設備20年以内 運転15年以内  
(据置3年以内)
- 貸付利率 : 0.7%(ただし、短期プライムレートが変動した場合、その変動幅に合わせ、既  
往の融資を含め融資利率を変動させる。)
- 信用保証料 : 上限を年1.90%とする料率の20%を市が補助

(5) 勤労者生活安定資金(鶴岡市勤労者生活安定資金融資要綱)

- 目的 : 企業に働く勤労者の生活資金を低利で融資することにより生活の維持向上を図  
る。
- 融資対象者 : 本市に在住し、同一事業所に1年以上継続して働いている勤労者で、ろうきんブ  
レスト倶楽部の会員又は労働金庫の会員である労働組合に所属しており、返済  
能力を有する者。

融資内容

資金用途	融資限度額	融資期間	融資利率
生活資金	100万円	7年以内	年2.75%
教育資金	300万円	10年以内	年1.55%
福祉資金	200万円	7年以内	年1.25%
自動車資金	200万円	7年以内	年1.55%

- 保証人 : 労働金庫の定めるところによる
- 債務保証 : 労信協の債務保証

# ■ 工 業

## 1 業種別状況

(1) 事業所数 (従業者4人以上の事業所)

類型	産 業 種		事 業 所 数			構 成 比 (%)	
	業 種		令和元年	令和2年	増減率 (%)	令和元年	令和2年
基礎素材型	木	材	9	8	-11.1	3.3	3.1
		紙	3	3	0.0	1.1	1.1
	化	学	1	1	0.0	0.4	0.4
	石	油	1	1	0.0	0.4	0.4
		プラスチック	11	9	-18.2	4.0	3.4
		ゴム	1	1	0.0	0.4	0.4
		土石	16	16	0.0	5.9	6.1
		鉄鋼	3	3	0.0	1.1	1.1
		非鉄	1	1	0.0	0.4	0.4
		金属	19	19	0.0	7.0	7.3
加工組立型	は	ん用	3	3	0.0	1.1	1.1
	生	産用	34	36	5.9	12.5	13.7
	業	務用	4	4	0.0	1.5	1.5
	電	子	18	18	0.0	6.6	6.9
	電	機	20	22	10.0	7.4	8.4
	情	報	4	4	0.0	1.5	1.5
	輸	送	9	9	0.0	3.3	3.4
生活関連型等	食	料	53	49	-7.5	19.5	18.7
	飲	料等	9	9	0.0	3.3	3.4
	織	維	33	29	-12.1	12.1	11.1
	家	具	4	5	25.0	1.5	1.9
	印	刷	9	6	-33.3	3.3	2.3
	皮	革	-	-	-	-	-
	その他	7	6	-14.3	2.6	2.3	
合 計			272	262	-3.7	100	100

資料：令和元年-令和元年工業統計調査、令和2年-令和2年工業統計調査

(2) 従業者数 (従業者4人以上の事業所)

類型	産 業 種		従 業 者 数			構 成 比 (%)	
	業 種		令和元年	令和2年	増減率 (%)	令和元年	令和2年
基礎素材型	木	材	136	137	0.7	1.1	1.2
		紙	47	44	-6.4	0.4	0.4
	化	学	131	128	-2.3	1.1	1.1
	石	油	5	5	0.0	0.0	0.0
		プラスチック	376	338	-10.1	3.1	2.9
		ゴム	23	23	0.0	0.2	0.2
		土石	251	248	-1.2	2.1	2.1
		鉄鋼	166	166	0.0	1.4	1.4
		非鉄	29	25	-13.8	0.2	0.2
		金属	264	330	25.0	2.2	2.8

産 業		従 業 者 数			構 成 比 (%)	
類型	業 種	令和元年	令和2年	増減率 (%)	令和元年	令和2年
加工組立型	はん用	67	64	-4.5	0.6	0.5
	生産用	1,269	1,213	-4.4	10.5	10.3
	業務用	251	290	15.5	2.1	2.5
	電子	2,881	2,934	1.8	23.7	24.9
	電機	1,348	1,308	-3.0	11.1	11.1
	情報	268	282	5.2	2.2	2.4
	輸送	1,494	1,264	-15.4	12.3	10.7
生活関連型等	食料	1,400	1,368	-2.3	11.5	11.6
	飲料等	120	120	0.0	1.0	1.0
	繊維	1,244	1,166	-6.3	10.3	9.9
	家具	54	62	14.8	0.4	0.5
	印刷	132	114	-13.6	1.1	1.0
	皮革	-	-	-	-	-
その他	161	161	0.0	1.3	1.4	
合計		12,117	11,790	-2.7	100	100

資料：令和元年-令和元年工業統計調査、令和2年-令和2年工業統計調査

(3) 製造品出荷額等（従業者4人以上の事業所）

産 業		製 造 品 出 荷 額 等 ( 万 円 )			構 成 比 (%)	
類型	業 種	令和元年	令和2年	増減率 (%)	令和元年	令和2年
基礎素材型	木材	209,311	173,748	-17.0	0.6	0.5
	紙	54,247	52,284	-3.6	0.2	0.1
	化学	×	×	×	×	×
	石油	×	×	×	×	×
	プラスチック	372,295	353,313	-5.1	1.1	0.9
	ゴム	×	×	×	×	×
	土石	398,979	404,476	1.4	1.1	1.1
	鉄鋼	×	×	×	×	×
	非鉄金属	415,831	498,458	19.9	1.2	1.3
加工組立型	はん用	74,950	71,945	×	×	×
	生産用	5,048,057	3,639,409	-27.9	14.3	9.5
	業務用	409,176	508,823	24.4	1.2	1.3
	電子	16,831,293	21,927,653	30.3	47.8	57.4
	電機	3,016,631	2,676,348	-11.3	8.6	7.0
	情報	554,307	527,476	×	1.6	1.4
	輸送	2,686,677	2,331,441	-13.2	7.6	6.1
生活関連型等	食料	2,717,866	2,757,066	1.4	7.7	7.2
	飲料等	212,622	211,191	-0.7	0.6	0.6
	繊維	745,890	683,007	-8.4	2.1	1.8
	家具	76,955	85,277	10.8	0.2	0.2
	印刷	138,070	126,112	-8.7	0.4	0.3
	皮革	-	-	-	-	-
その他	218,877	202,287	-7.6	0.6	0.5	
合計		35,190,379	38,206,607	8.6	100	100

〔×〕：秘匿保持上公表を控えたもの

資料：令和元年-令和元年工業統計調査、令和2年-令和2年工業統計調査

## 2 工業団地の概要

(令和5年6月1日現在)

団地名	鶴岡中央工業団地	鶴岡東工業団地	鶴岡鉄工団地	鶴岡西工業団地	鶴岡大山工業団地
所在地	鶴岡市宝田一丁目地内	鶴岡市宝田三丁目地内	鶴岡市下清水地内	鶴岡市大宝寺地内	鶴岡市大山地内
事業計画年	昭和45年4月	昭和48年4月	昭和43年4月	昭和63年4月	平成8年3月
着工年月	昭和46年10月	昭和49年4月	昭和45年1月	平成2年12月	平成8年12月
竣工年月	昭和49年3月	昭和51年3月	昭和46年4月	平成4年7月	平成10年9月
事業実施主体	山形県	(一財)鶴岡市開発公社	鶴岡市	(一財)鶴岡市開発公社	(一財)鶴岡市開発公社
総面積	62.4ha	25.6ha	16.8ha	15.2ha	28.5ha
地域指定	農工法に基づく工業等導入地区、都市計画法に基づく工業地域	農工法に基づく工業等導入地区、都市計画法に基づく工業専用地域	なし	農工法に基づく工業等導入地区、都市計画法に基づく工業地域	農工法に基づく工業等導入地区、工場立地法に基づく工場適地、都市計画法に基づく工業地域
団地内企業数(うち県外資本)	17社(14社)	30社(12社)	15社(5社)	10社(5社)	13社(4社)
団地内従業員数	3,600	1,209	476	680	547
主要業種	輸送用機械 電気機械 繊維製品	輸送用機械 電気機械 食料	一般機械 農業用機械	電気機械 一般機械	電気機械 一般機械
団地入居企業の組織	鶴岡中央工業団地 管理組合	鶴岡東工業団地 連絡協議会	鶴岡鉄工団地 管理組合	無	設立計画有

団地名	藤島南工業団地	赤川工業団地	庄内南工業団地	櫛引東工業団地	櫛引西工業団地	庄内あさひ産業団地
所在地	鶴岡市藤浪一丁目及三丁目	鶴岡市羽黒町赤川地内	鶴岡市丸山添地内丸岡地内	鶴岡市田代地内	鶴岡市上山添地内丸岡地内中田地内	鶴岡市越中山地内
事業計画年	平成3年3月	平成4年9月	昭和47年4月	昭和50年10月	昭和47年4月	平成11年9月
着工年月	平成4年9月	平成4年10月	昭和47年4月	昭和50年10月	昭和47年4月	平成12年6月
竣工年月	平成11年5月	平成4年10月	昭和50年3月	昭和51年3月	昭和50年3月	平成14年12月
事業実施主体	旧藤島町土地開発公社	旧羽黒町	旧櫛引町	旧櫛引町	旧櫛引町	旧朝日村
総面積	8.7ha	9.9ha	24.1ha	4.3ha	9.3ha	5.2ha
地域指定	都市計画法に基づく工業地域	農工法に基づく工業等導入地区	農工法に基づく工業等導入地区	農工法に基づく工業等導入地区	農工法に基づく工業等導入地区	農工法に基づく工業等導入地区、過疎法に基づく過疎地域、山村振興法に基づく振興山村
団地内企業数(うち県外資本)	12社(0社)	1社(1社)	21社(10社)	3社(1社)	3社(3社)	2社(2社)
団地内従業員数	229	490	474	51	190	61
主要業種	鋼材加工 一般機械	菓子製造業	輸送用機械 一般機械	鉄製建具 プラスチック製品	繊維製品 一般機械	金属製品
団地入居企業の組織	無	無	櫛引工業団地 振興会	櫛引工業団地 振興会	櫛引工業団地 振興会	無

### 3 工業団地立地企業 注 ○印は県外資本企業

〈鶴岡中央工業団地〉

(令和5年4月1日現在)

番号	企業名	資本金 (百万円)	敷地面積 (㎡)	従業員数 (人)	主要製品
①	マーレエンジン コンポーネンツジャパン(株)	1,250	99,185	822	内燃機関用ピストン
②	ソニーセミコンダクタ マニュファクチャリング(株)	100	95,858	884	CMOSイメージセンサ
③	ティービーアール(株)	300	68,733	277	商用車用ブレーキ・エンジン部品
④	OKIサーキットテクノロジー(株)	480	20,000	325	プリント配線板
⑤	オリエンタルモーター(株) 鶴岡中央事業所	4,100	29,951	211	DCブラシレスモーター、制御用電子回路
⑥	(株)JVCケンウッド山形	10	26,598	186	業務用無線機・アマチュア無線機、業務用音響機器
⑦	TDKエレクトロニクス ファクトリーズ(株)鶴岡東工場	200	24,401	233	薄膜電源コイル
⑧	(株)シンクロン	73	17,390	142	真空装置・真空機器
⑨	(株)高研	150	17,205	168	医療機械器具
⑩	(株)共栄	49	13,068	164	婦人服
⑪	近物レックス(株)	800	9,400	63	特別積合貨物自動車運送
⑫	新潟運輸(株)	81	6,296	42	貨物運送
13	秋山鉄工(株)	64	6,243	29	真空用薄膜形成装置の部分品
⑭	(株)サトーゴセー	88	4,846	45	電線結束バンド
15	鶴岡酒造(協)	15	4,534	1	清酒醸造用精米
16	(株)鶴岡鉄工所	10	2,906	8	一般産業用機械部品
⑰	トヨタカローラ山形(株)	80	1,717	0	中古自動車の販売

〈鶴岡大山工業団地〉

(令和5年4月1日現在)

番号	企業名	資本金 (百万円)	敷地面積 (㎡)	従業員数 (人)	主要製品
①	TDKエレクトロニクス ファクトリーズ(株)鶴岡西工場	200	49,409	406	電子部品製造
②	(株)ナシバ	10	6,605	13	家電・自動車・カメラ・事務用機器等の試作部品の精密加工
③	エア・ウォーター東日本(株)	2,000	4,339	3	高圧ガス
4	ウイズ環境(株)	20	6,000	38	燃料用木材チップ製造、段ボール等梱包処理
5	社会福祉法人月山福祉会	100	3,300	2	農産物・畜産物の加工品製造
⑥	(株)電硝エンジニアリング	265	3,285	3	半導体及びLCD関連製造装置のメンテナンス等
7	農事組合法人庄内産直センター	99	2,904	4	米の玄米・精米販売 米穀検査、農産物販売
8	(株)庄内溶接	10	2,300	9	鋼構造物工事業
9	山形科学薬品(株)	10	1,644	6	理化学機器類、試験及び測定機器類の販売
10	(株)大山架設	3	1,642	4	機械搬入・据付、各種架設工事
11	(株)出羽工業	10	1,620	7	冷凍冷蔵用圧力容器
12	(株)庄内クリエート工業	44	11,471	10	産業用省力化機械製造、医療機器製造販売
13	(株)有賀組	10	10,001	42	建設仮設資材製造メンテナンス

<鶴岡東工業団地>

(令和5年4月1日現在)

番号	企業名	資本金 (百万円)	敷地面積 (㎡)	従業員数 (人)	主要製品
①	株式会社 庄内ヨロズ	100	31,706	144	自動車部品
②	株式会社 庄内オリエンタルモーターテック	100	24,948	72	ステーター
③	株式会社 丸善食品工業	100	17,066	150	天然調味料、缶詰・レトルト食品
④	株式会社 高砂製作所	120	15,751	99	システム電源他
5	株式会社 鶴岡ガス	72	15,510	68	都市ガス
6	株式会社 コンマ製作所	150	10,493	36	農業機械・除雪機・自動専用リフター
⑦	株式会社 サンテック	30	9,564	86	ターボ分子ポンプ用部品
⑧	株式会社 ニシカワ	49	9,573	56	液晶・半導体露光装置
9	株式会社 光洋	20	7,939	74	半導体製造装置筐体・部品
⑩	株式会社 ヤマト運輸	50,000	6,643	48	貨物自動車運送
11	株式会社 東北ハム	96	6,556	49	ハム・ソーセージ
12	鶴岡市コンポストセンター	-	5,953	4	下水汚泥肥料
13	株式会社 東北冷蔵製氷	90	5,645	18	倉庫業
⑭	株式会社 東和絞工業	50	4,437	24	金属精密加工
15	株式会社 テックス	19	3,967	17	小型直流モーター、理化学機器
16	株式会社 鶴岡発條	10	3,322	41	スプリング
⑰	株式会社 ユニオンダイキャストینگ	10	3,277	34	アルミダイカスト部品鋳造・加工
18	株式会社 グリーンメタル	48	2,615	50	圧電部品、弱電部品、省力化機械部品
19	株式会社 山形総販	20	2,582	6	アルミ製品加工・取付け
⑳	株式会社 松本ESテック	30	2,524	8	電磁鋼帯加工
㉑	株式会社 東横化学	90	2,274	21	高圧ガス
22	北日本ウエルディング(有)	10	1,983	7	継手溶接
㉓	株式会社 三機工業	8,105	1,834	5	建設設備
24	株式会社 庄内ミート	45	1,502	22	畜産副産物
25	(有) 庄内アルミ	10	1,500	8	アルミ建材・加工・販売
26	(有) 達商	28	1,323	15	菓子
27	(有) 地主商店	5	1,201	3	食料品
28	株式会社 環境管理センター	10	1,056	28	一般・産業廃棄物の収集運搬・処理
29	鈴木石材本店	39	1,008	1	墓石
30	株式会社 庄内リネンサプライズ	20	988	15	リネンサプライ

<鶴岡鉄工団地>

(令和5年4月1日現在)

番号	企業名	資本金 (百万円)	敷地面積 (㎡)	従業員数 (人)	主要製品
1	株式会社 スズモト	50	32,717	110	自動車部品及び電子・電機部品
2	株式会社 新池田	55	15,606	25	建築、土木、製造業向け鋼材卸売
3	協 鶴岡鉄工共同工場	46	14,829	133	機械部品・モーター部品加工・シェル中子製造
4	株式会社 五十嵐工業所	30	12,838	25	精密機械部品
⑤	株式会社 高良	10	12,195	-	古紙等再生資源の卸売
6	株式会社 佐藤工務	70	10,160	-	土木工事、建設工事
7	株式会社 テクマン工業	51	8,969	21	生産設備設計、製造・プラスチックペレット選別機
8	株式会社 山形不動産サービス	10	8,264	-	不動産業、倉庫業
9	株式会社 ニッタ	48	7,917	9	非鉄金属子殻屑売買
⑩	株式会社 山形クラッチ鍛造工場	25	7,164	6	熱間鍛造部品
⑪	株式会社 佐藤商事	1,319	7,147	9	鉄鋼・非鉄金属機械の販売
⑫	株式会社 東北電力	251,441	4,795	-	電柱等資材の保管
13	株式会社 大山機械	25	2,745	80	小型精密モーター部品 一般産業用機械部品
14	(有) 畑田鐵工所	5	2,119	50	農業用機械製造業
15	株式会社 南東北クボタ鶴岡南営業所	160	2,075	8	農業機械販売

〈鶴岡西工業団地〉

(令和5年4月1日現在)

番号	企業名	資本金 (百万円)	敷地面積 (㎡)	従業員数 (人)	主要製品
①	オリエンタルモーター(株) 鶴岡西事業所	4,100	66,170	415	精密小型ACモーター用ギヤヘッド
②	スタンレー電気(株)山形製作所	30,514	32,968	68	発光ダイオード素子、受光素子
3	松岡(株)	100	10,064	2	アクチュエーター部品
④	(株)新菱	500	6,410	55	半導体製造装置部品の精密洗浄
5	秋山鉄工(株)	64	6,270	6	真空用薄膜形成装置の部分品
6	ワテック(株)	59	3,369	20	CCD監視カメラ
7	(有)日本国機工	5	3,316	7	精密機械部品
⑧	(株)ミラノ・サンラインガーメント	23	3,309	99	コート、ジャケット
⑨	(株)ニシカワ	49	1,633	4	半導体装置、液晶露光装置
10	(株)シリカ高研	50	890	4	生体モデル、シリコン成形品

〈藤島南工業団地〉

(令和5年4月1日現在)

番号	企業名	資本金 (百万円)	敷地面積 (㎡)	従業員数 (人)	主要製品
1	(株)岩浪木材センター	20	16,996	20	一般木材製品、新建材、住宅設備機器、銘木類
2	(株)小松商事藤島営業所	60	10,906	21	一般貨物自動運送
3	(株)庄内クリエート工業	33	10,421	37	X線検査装置等一般産業用機械、医療機器
4	(株)マルミチ	20	7,890	-	一般貨物運送
5	東北イートップ(株)	10	9,154	45	半導体製造装置保守、産業用機器保守
6	菅井工業(有)	10	5,065	8	各種コンベヤ等
7	(有)イカラシ	6	2,957	9	カウンター、収納棚、建具
8	藤島ふれあい食センター	-	3,682	19	公立施設の給食
9	(株)シリカ高研	50	3,043	42	医療用器具
10	(株)庄内シャーリング	80	2,937	20	銅板溶断、溶接H形銅
11	十屋	-	2,004	8	和・洋菓子製造小売業
12	斎藤建築	-	1,802	-	建築業

〈赤川工業団地〉

(令和5年4月1日現在)

番号	企業名	資本金 (百万円)	敷地面積 (㎡)	従業員数 (人)	主要製品
①	(株)ブルボン鶴岡工場	1,037	98,157	490	食料品製造



〈庄内南工業団地〉

(令和5年4月1日現在)

番号	企業名	資本金 (百万円)	敷地面積 (㎡)	従業員数 (人)	主要製品
1	学校法人羽黒学園事業部	—	7,168	19	アルミ部品加工
②	東北資材工業(株)	100	30,811	14	発泡スチロール製品
③	山形クラッチ(株)本社	25	28,190	175	自動車用クラッチ
④	高島産業(株)	42	20,248	75	ブラシ・機械製造
5	(株)武田商店	30	25,440	11	日用雑貨小売及び卸売
⑥	(株)永瀬留十郎工場	10	15,104	16	球状黒鉛鋳鉄
⑦	(株)鶴岡バイオマス	20	24,838	10	木質バイオマス発電
⑧	羽越木材(協)	12		10	木質バイオマス、製材品
⑨	和光機械工業(株)	50	12,108	16	LEDバルーン照明機、投光機、ダイオキシン対応型クリーン焼却炉、小型建設機械、環境関連機械等
10	櫛引農村工業農業協同組合連合会	106	7,023	36	漬物、みそ、しょうゆ
⑪	国分東北(株)山形支店庄内営業所	500	6,872	4	酒類・食品の卸売
⑫	神奈川ダイカスト工業(株)	10	4,604	5	自動車部品
13	(株)佐藤工作所	10	3,311	14	コンクリート二次製品用鋼製型枠
14	(有)山内木工所	8	3,300	8	木製建具・家具
15	(株)サンエー	20	2,892	21	チョークコイル、トランス
⑬	(株)南東北クボタ田川南営業所	160	2,640	8	農業用機械の販売・修理
17	遠藤製作所(株)	10	2,515	19	金属機械部品、プラント・治水設備
18	(株)東北技研工業	6	2,272	4	金属加工品
19	山米商事(株)	60	1,653		肥料、農薬、飼料
20	(株)高橋工業	0	1,159	1	工業用ブラシ製造
21	(有)トガシ機械	3	925	8	除雪機械、建設機械 販売、整備

〈櫛引東工業団地〉

(令和5年4月1日現在)

番号	企業名	資本金 (百万円)	敷地面積 (㎡)	従業員数 (人)	主要製品
1	(株)渡会電気土木田代工場	41	21,131	20	木質ペレット
②	B X 東北鐵矢(株)	47	14,463	25	スチールドア
3	(株)三立	10	3,702	6	プラスチック製品

〈櫛引西工業団地〉

(令和5年4月1日現在)

番号	企業名	資本金 (百万円)	敷地面積 (㎡)	従業員数 (人)	主要製品
①	松文産業(株)	250	62,057	92	繊維製品
②	(株)NDYエンジニアリング	10	14,233	62	産業用ロボット関連
③	(株)サンテック	30	9,885	36	ターボ分子ポンプ用部品

〈庄内あさひ産業団地〉

(令和5年4月1日現在)

番号	企業名	資本金 (百万円)	敷地面積 (㎡)	従業員数 (人)	主要製品
①	(株)アサヒニイズマ	10	11,537	52	精密機械加工
②	大滝成形工業(株)	10	10,297	9	鋼製OA二重床

# ■ 観 光

## 1 鶴岡市のみどころ（観光・温泉）

### （1）鶴岡地域

#### <鶴岡公園・鶴ヶ岡城址、荘内神社、大宝館>

鶴岡公園は市の中心部にあり、本丸、二の丸を囲む濠や、石垣、樹齢数百年の老杉が庄内藩14万石酒井家の居城であった鶴ヶ岡城址の風格を伝えている。園内の桜は710本に及び、平成元年、「日本さくら名所100選」に選ばれており、桜の季節にはぼんぼりが設置され、夜桜の風情も味わうことができる。

本丸跡には藩主の先祖を祀る荘内神社があり、神社内の宝物殿には古の武具や甲冑、古典雛、五月人形などが季節に合わせて展示されているほか、10月6日に開催される荘内大祭では参勤交代を模した大名行列が市街地を練り歩く。

また、大正初期の洋風建築大宝館（市指定有形文化財）には、作曲家・中田喜直など、鶴岡ゆかりの先人たちの資料が展示されている。公園内にはこのほか、鶴岡が生んだ明治の文豪高山樗牛の胸像と碑のほか、詩碑や記念碑（「雪の降るまちを」記念モニュメントなど）が点在している。

#### <鶴岡市立藤沢周平記念館（鶴岡公園内）>

日本を代表する時代小説家・藤沢周平作品の魅力を深く味わう拠点として、2010年4月に開館。自筆原稿や創作資料等が展示され、また、多くの物語が生まれた自宅書斎が愛用品を配して移築・再現されている。館内のサロンでは、藤沢周平著作本や関連する郷土書籍などを自由に読めるほか、藤沢周平の映像や音声、さらには、庄内弁が登場する作品の朗読などが視聴できる。

#### <庄内藩校 旧致道館>

庄内藩主酒井家9代忠徳公が、士風の刷新を図り藩政振興の基礎とするために創立した学校で、東北で唯一現存する藩校建築物である。聖廟、講堂、御入間、表御門、東・西御門が保存され、一般にも公開している。このほか、教科書を印刷するために使用した版木などの品々が展示されている。（国指定史跡、日本遺産構成文化財）

文化2年（1805年）開校 明治6年（1873年）廃校

#### <致道博物館>

元々は庄内藩主酒井家の御用屋敷だったものを博物館として公開している。明治の擬洋風建築「旧西田川郡役所」（国指定重要文化財、日本遺産構成文化財）、「旧鶴岡警察署庁舎」（国指定重要文化財）と田表俣の多層民家「旧渋谷家住宅」（国指定重要文化財、日本遺産構成文化財）といった貴重な歴史的建築物が移築されており、東北地方で稀にみる典型的な書院造りの「酒井氏庭園」は国指定名勝となっている。

旧庄内藩主御隠殿（日本遺産構成文化財）には酒井家に伝わる資料や庄内竿などが展示されているほか、「重要有形民俗文化財収蔵庫」には、ぼんどり、木製酒器、大宝寺焼、仕事着、くりもの、漁労具、米作り用具など、この地方の生活文化を物語る多くの民俗資料が保存・展示されている。

平成30年6月に旧鶴岡警察署庁舎の保存・修理工事が完了し、一般公開されている。

#### <旧風間家住宅「丙申堂」>

風間家は、鶴ヶ岡城下の五日町で庄内藩の御用商人として呉服、太物屋を営み、幕末には城下随一の豪商となった家である。丙申堂は、明治29年に建築されたもので、広大な板の間と大黒柱、蔵や座敷など商家の特徴をよく残しているとともに、約4万個の石を乗せた杉皮葺石置屋根や薬医門様式の武家門などの貴重な様式が残されている。（国指定重要文化財、日本遺産構成文化財）

#### <風間家旧別邸「無量光苑 釈迦堂」>

良質の杉材を使った数奇屋風建築。明治43年、風間家別邸として建てられ、主に来客の接待などに使われた。庭園には、ソメイヨシノ、山桜、枝垂れ桜、ツツジ、モミジ林など数多くの花木があり、特に築山に沿って、ツツジが一斉に咲く5月中旬が最も華やかで美しい。（国登録有形文化財、日本遺産構成文化財）

### <菅家庭園>

幕末から明治にかけて活躍し、維新の雄“西郷隆盛”とも親交のあった庄内藩の重鎮“菅実秀”が藩主より譲り受けた屋敷の庭園で、江戸時代中期の作庭様式がそのまま残されている。園内には、樹齢350年の老松や枝垂れ桜、ツツジなどが配されているほか、池泉の周囲を回遊できる。

### <鶴岡カトリック教会天主堂>

明治期に、外国人神父によって設計されたロマネスク様式の建造物（国指定重要文化財）で、赤い尖塔と白亜の聖堂に窓絵が映える。この窓絵は、薄い紙に描かれた聖画を2枚のガラスで挟んだものであり、フランスから贈られた黒いマリア像とともに日本で唯一のものである。

### <つるおか食文化市場FOODEVER>

ユネスコ食文化創造都市鶴岡の情報発信拠点として、平成29年7月、「つるおか食文化市場FOODEVER」が鶴岡駅前にオープンした。「食の都庄内」親善大使である奥田政行氏と土岐正富氏がそれぞれプロデュースする料理店をはじめ、鶴岡が誇る食や地酒などを堪能できる飲食店や市の観光案内所などがあり、鶴岡の食文化が体感できる場所である。

### <南岳寺>

真言宗智山派のお寺で、庄内に6体ある即身仏のうち1体(鉄竜海上人)を安置している。

### <大山公園 尾浦城址>

大山公園は鶴岡市の西方、高館山東の峰の突き出した丘陵で、麓に灌漑用水を湛えた上池と下池がある。このエリア一帯は、植物の種類も多く、野鳥、水鳥、昆虫の棲息も学会から注目されており、特に上池・下池は冬季間、コハクチョウなど2万羽以上の水鳥を抱えることから、国際的に重要な湿地として平成20年にラムサール条約に登録された。平成24年には、鶴岡市自然学習交流館「ほとりあ」が開館した。この公園は、今から約450年前、武藤氏が居城を築き、戦国時代にかけて上杉氏、最上氏の重要城塞であった城跡である。

### <高館山>

加茂港を西裾に抱えこんだ273mの山で、珍しい動植物が繁茂棲息している。加茂から山頂に観光道路が開発され、さらに遊歩道が峰づたいに湯野浜温泉まで続き、西に日本海、北に鳥海山と砂丘、東に庄内平野を望むことができる。山頂には6基のテレビ塔と展望台が建ち、中腹には大正の宰相 原敬の“吹く風に とまりかねてや 秋の蝶”の句碑がある。昭和49年10月25日に自然休養林の指定を受け、昭和61年4月には、羽黒山の杉並木とともに、「全国森林浴の森百選」に選ばれた。

### <出羽ノ雪酒造資料館>

酒の町としても栄えてきた大山地区の伝統を受け継ぎ、江戸時代からの酒造り方式や貴重な道具類、美術品類、米づくり関連資料などを展示しているほか、利き酒コーナーもある。

### <善寶寺>

善寶寺は今から約1,100年前、龍華妙達上人という修行僧によって開かれた。山号を龍澤山といい、曹洞宗大本山、鶴見の総持寺の直末で、関東、東北でも屈指の名利である。全山を老松、古杉が覆い、海の守護神として漁民の信仰を集めている。寺院に、菱田春草作の「絹本著色王昭君図」（国指定重要文化財）がある。また、五重塔のほか五つの建造物が国指定登録有形文化財の指定を受けている。

本堂	昭和34年竣工、室町時代の様式を取り入れた南部ヒバ材の白木造り
山門	文久2年（1862年）の再建で、楼上に十六羅漢を安置
五重塔	明治16年起工、同26年竣工、高さ38m
龍王殿	天保4年（1833年）再建、龍道大龍王・戒道大龍女を祀る

### <加茂水族館>

平成26年6月にリニューアルオープンした県内唯一の水族館。世界最大級5mのクラゲ大水槽が最大の見どころ。平成24年3月にはクラゲ展示種類数が世界最多として、ギネス記録に認定されたことがある。現在の展示種類数は80種類以上。

水中を優雅に舞うクラゲの姿は幻想的で、訪れる人の心を癒す。レストラン「魚匠ダイニング沖海月」では名物のクラゲアイス、クラゲ定食のほか日本遺産北前船寄港地にちなんだ御膳などが食べられる。アシカの生態紹介なども子供たちに大人気である。

### <金峯山>

金峯山は、朝日山系の最北端にあつて庄内平野に突き出ている標高458mの山で、国指定の名勝地である。中世から修験の山として栄え、参道を覆う老杉と木の根坂は有名で、参道の両側には1,000余の供養塔が立ち並び、この山の古い歴史を物語っている。登山口にある大フジは、県指定の天然記念物になっている。山麓には県立の少年自然の家があり、庄内平野や日本海を望む景観と、動植物の種類が豊富であることなどから、青少年の野外教育の場として、また、市民のハイキングコースとして親しまれている。

### <庄内海浜県立自然公園とおぼこおけさライン>

日本海に面した酒田市袖浦から鶴岡市を縦断して新潟県境の鼠ヶ関に至る海岸地帯で、その特色は中央に位置する湯野浜温泉を境にして、北は砂丘と松林が無限に広がり、南は奇岩・怪岩の偉観を呈している。

この公園を貫く国道7号は、おぼこおけさラインと愛称され、沿線には温海、由良、湯野浜、湯田川の温泉郷があり、暮坪の立岩、塩俵岩、由良の白山島、八乙女の秘境、湯野浜ゴルフ場、善寶寺、大山公園、高館山、金峯山等見どころが多い。また、「県民の海・プール スパール」があり、海水浴・釣り・ドライブ・ハイキングなど四季を通じて楽しめる快適な観光ラインである。

### <湯野浜温泉>

昔から奥羽三楽郷の一つに数えられ、落日の大観、松林が続く大砂丘と秀峰鳥海山、奇岩怪岩の磯が印象的な海の温泉である。紺碧の海を眼下に近代的な旅館が建ちならび、温泉に入りながら日本海を眺めることができ、夏は海水浴客でにぎわう県内有数の温泉郷であり、「日本夕陽百選」に選ばれている。平成30年5月23日、国民保養温泉地に指定された。

今から約950年前の天喜年間に、1人の漁夫が湯あみしている亀を見つけたのがこの温泉の発見といわれ、もとは亀の湯と称し、今でも湯神として亀を御神体としている。

### <湯田川温泉>

国指定名勝地金峯山の山のふところに包まれた静かなたたずまいの温泉地で、開湯1,300年の歴史のある温泉。和銅年間に傷ついた1羽の白鷺が湯あみしていたことから温泉を発見したと伝えられている。平成13年11月13日、国民保養温泉地に指定された。

鶴岡の奥座敷として親しまれ、孟宗汁や山菜料理も人気がある。背後の山には東北一の梅林公園があり、四季折々の草木の間を散策することができる。近年は、作家・藤沢周平ゆかりの温泉としても知られ、藤沢文学のファンが全国から訪れる。

### <由良温泉>

東北の江の島といわれる白山島を中心に、日本海沿岸では珍しい遠浅に恵まれた海水浴場を持つ新しい温泉地であり、民宿が多い。由良海岸は平成8年には『日本の渚百選』、平成10年には『日本の水浴場55選』（現在は「快水浴場百選」）に選定されている。令和4年10月7日、国民保養温泉地に指定された。

海洋釣堀、ふれあい広場等の施設もあり、朱塗りの橋が架かる白山島のシルエットと日本海に沈む夕陽のコントラストは絶景。夜は白山島と橋がライトアップされている。

## (2) 藤島地域

### <藤島歴史公園>

平成4年に「中央公園(歴史公園)」基本構想が策定され、平成22年から始まった藤島元町地区(第2期)都市再生整備計画により本格的に着手し、基本計画策定ワークショップを経て、藤にこだわった公園として平成27年7月に開園となった。公募により決定した愛称の「Hisu花(ヒスカ)」には、歴史と花があふれるユートピアのような公園として多くの人に愛されながら歴史を刻んでほしいという願いが込められている。園内では900㎡の大藤棚をはじめ、トンネル型やスクリーン型に仕立てられた4品種の藤を楽しむことができる。また、八重桜や河津桜の他、様々な樹木も植栽されている。藤が見頃を迎えるまでは数年かかると思込まれているが、将来的にはふじの花まつりのメイン会場とするほか、各種の取組を展開し、イルミネーションやライトアップによる賑わいの創出など、通年楽しめる公園を目指している。

### <東田川文化記念館>

旧東田川郡役所、旧東田川郡会議事堂、旧東田川電気事業組合倉庫の3棟で構成されている。平成7年度に復元工事を完成し、東田川郡の歴史や藤島地域の伝統芸能・工芸品を常設展示しているほか、企画展示やコンサート、芸術文化の学習会・サークル活動が行われている。

#### ・旧東田川郡役所及び郡会議事堂(国指定史跡：令和5年3月20日指定)

旧東田川郡役所と旧東田川郡会議事堂に加え、旧東田川電気事業組合倉庫とそれに隣接する土蔵を含めた敷地全体が指定。敷地の規模が建設当時と変わらず、明治時代から大正時代にかけての郡制の様子を具体的に示す貴重な遺跡として高く評価されている。

#### ・旧東田川郡役所(県指定有形文化財：昭和63年4月12日指定)

明治11年郡区町村編成法により藤島に郡役所がおかれ、建設された。火災で焼失後、明治20年に再建されたもので、中庭回廊式のロ字型平面で、大正15年郡役所廃止後は東田川郡農会等の事務所となり、昭和18年から昭和59年まで藤島町役場として使用されていた。

#### ・旧東田川郡会議事堂(県指定有形文化財：昭和63年4月12日指定)

初代の建物は明治19年までに建設。明治36年再建。郡役所とは対照的な洋風建築である。1階は落ち着いた和風で、市立図書館藤島分館として使用されている。2階は旧議事堂でシャンデリア、カーテンなど明治の雰囲気があるまま濃厚に漂い、現在は「明治ホール」の愛称でコンサートなどに利用されている。

#### ・旧東田川電気事業組合倉庫

郡制が廃止され、旧郡会議事堂に東田川電気事業組合が事務局を置いた大正15年以降に資材倉庫として建築された。藤島地域から出土された県指定文化財で国内最大級の独木舟(まるきぶね)が展示されている。

### <伝統芸能>

古くから藤島は獅子郷と呼ばれ現在でも添川、東堀越、大川渡・谷地興屋、渡前、八色木などの集落にそれぞれ獅子踊りが保存・伝承されている。なかでも添川両所神社御獅子舞(おんししまい)は市の無形民俗文化財に指定され、8月18日の神社例祭時、毎年欠かさず奉納されている。

神楽では、長沼八幡神社神楽、六所神社神楽、古郡神楽が保存・伝承され、古郡地区に伝わる古郡神楽は市の無形民俗文化財に指定されており、毎年8月15日の池神社例大祭の際に奉納されている。

### <温泉>

・湯ノ澤温泉 羽黒山の麓に位置し、開湯以来千数百年を経た古湯。霊験あらたかな地蔵の湯として知られている。泉質は塩化物泉で、皮膚病・神経痛などに効果がある。

・長沼温泉 昭和24年開湯の長沼地区にある田園温泉。近隣在住の老若男女に親しまれてきた。平成12年に日帰り温泉「ぼっぼの湯」がオープンし、市民の憩いの場として利用されている。地域農産物を振興する直売施設を併設しながら、農村における交流促進や市民の健康増進を図る事業を行っている。

### (3) 羽黒地域

#### <磐梯朝日国立公園>

昭和25年9月5日に指定されたこの国立公園は、東北地方の中南部、山形・新潟・福島の三県にまたがり、北は出羽三山から南は猪苗代湖に至る細長い地域で、“出羽三山と朝日連峰”“荒川溪谷と飯豊連峰”“吾妻安達太良峰と磐梯山”“猪苗代湖とその周辺”の4地区からなり、その広さは国立公園中、北海道の大雪山に次ぐ、本州最大の規模(19万ha)を誇っている。このうち山形県内の面積は38%の7万2,000haであり、そのうち5万5,000haを出羽三山と朝日連峰が占めている。

#### <出羽三山>

出羽三山は月山・羽黒山・湯殿山によって構成され、出羽丘陵の南限にあつて西に庄内平野、東に新庄、村山盆地をひかえ、山形県のほぼ中央部に位置している。

平成28年4月、「自然と信仰が息づく『生まれかわりの旅』～樹齢300年を超える杉並木につつまれた2,446段の石段から始まる出羽三山～」が日本遺産に認定された。

#### 月 山 (1,984m)

「日本百名山」のひとつ。降雪量が豊富なことから各所に万年雪を作り、3,000m級の中部山岳地帯の山々に匹敵する高山植物が咲き競い、数多くの動物が棲息している。

山頂には月読命を祀る月山神社があり、8合目までバス道(県道月山公園線)が開通しており、8合目の弥陀ヶ原からは、仏生池を経て徒歩で約3時間で登頂できる。

#### 羽 黒 山 (414m)

東北地方でもっとも早く宗教色をおび、約1,400年前に能除太子(蜂子皇子)によって開山されたと伝えられている。羽黒修験の修行地として栄え、今でも山伏姿が見られる。

国宝・羽黒山五重塔、国指定特別天然記念物・羽黒山の杉並木、国指定重要文化財・三神合祭殿及び鐘楼、建治の大鐘などがある。

#### 湯 殿 山 (1,500m)

「出羽三山総奥の院」とされ、中腹に鎮座する湯殿山神社は、昔から「語るなかれ」「聞くなかれ」と言われた神秘の境域で、霊湯の湧き出る霊巖が御神体で「古来人工を加えず」と言われ、御社殿がない珍しい神社である。

#### 芭蕉の三山句

雲の峰 幾つ崩れて 月の山

涼しさや ほの三日月の 羽黒山

語られぬ 湯殿にぬらす 袂かな

#### <国指定名勝 玉川寺庭園>

出羽三山の麓玉川集落にある玉川寺は、およそ700余年前の鎌倉時代了然法明禅師によって開山されたと伝えられる。聖観世音菩薩を祀り近郷に多くの末寺をもつ曹洞宗寺院である。国指定名勝とされている庭園を現在の姿に改築したのは江戸時代初期で、羽黒山第50代別当天宥が、この地の自然に心をひかれて作庭したと伝えられている。様式は池泉廻遊式蓬莱庭園といわれ、池の中に三つの島があり、それぞれ橋でつながっている。また、四季折々花に囲まれ「花の寺」とも呼ばれ、5月中旬から6月初旬には九輪草の群落が見頃となる。

#### <国指定史跡 松ヶ岡開墾場>

明治5年(1872)、旧藩士族約3千人が刀を鋤に持ちかえ、月山西麓・後田山をはじめとする広大な山林荒蕪地を開墾した。開墾地は松ヶ岡と名付けられ、翌6年(1873)までに311ヘクタールを拓いて桑園の整備を進め、明治8年から10年には10棟の蚕室を建設して一大養蚕地となった。

現在、当時の蚕室5棟のほか、貯桑土蔵、開墾の本部であった本陣等が残されており、松ヶ岡開墾の歴史を紹介する松ヶ岡開墾記念館や、本市の絹産業の歴史と文化に触れる体験型施設シルクミライ館、蚕室建築見学施設、陶芸教室、クラフトショップ等に活用されている。

平成29年には、松ヶ岡開墾場を中心とした「サムライゆかりのシルク 日本近代化の原風景に出会うまち鶴岡へ」が日本遺産に認定された。

### <いでは文化記念館>

出羽三山の歴史、羽黒修験道の特徴や文化を、貴重な歴史資料や映像で紹介している施設。

羽黒山五重塔の内部の写真展示や、全国の国宝五重塔のパネルコーナーがあり、それぞれの特徴が比較できるほか、出羽三山に関するクイズコーナー、日本遺産「自然と信仰が息づく『生まれかわりの旅』」の魅力を発信するインフォメーションブース等が設置されている。常設展示のほかにテーマを設けた企画特別展示も随時行っている。

また、観光案内所が併設されており、いでは観光ガイドを予約すれば、国宝五重塔コース、石段山頂コースなど羽黒山内の説明を聞きながら周ることができる。

### <月山ビジターセンター>

月山ビジターセンターは、自然に親しむための施設として、出羽三山の景観や地形、気候の特色、動植物の生態などを、写真パネルや映像などで解説している。

バードウォッチングや自然観察会など、自然にふれあう四季折々のイベントも開催しており、パークボランティアが周辺の自然をわかりやすく解説してくれる。センター前の二夜の池は水芭蕉の群生地で、遊歩道を散策できる。

### <やまぶし温泉ゆぼか>

出羽三山のふもとに位置する日帰り温泉施設。泉質はナトリウム・カルシウム塩化物泉で、神経痛、筋肉痛、関節痛、冷え性などに効能がある。大浴場のほか、露天風呂や家族風呂、サウナ室があり、ゆったりと温泉を楽しむことができる。また、施設内には、食堂や休憩室、地物の農産物を販売するミニコーナーがあり、温泉に入った後も食事をしたり、地域交流の場として利用されている。小部屋やカラオケルームがあり、宴会も受付している。

### <羽黒山スキー場>

出羽三山神社（羽黒山山頂）の南斜面に位置し、コースは6つ、ペアリフトが2基ある。ゲレンデは面積9.5haで、最長600mのコースがあり霊峰月山を望みながら滑走が楽しめる。ファミリーゲレンデとチビッコ専用ゲレンデのほか、中・上級者向けのコースがあり、大会会場としても利用されるなど本格的なスキーも楽しめる。また、休暇村庄内羽黒が隣接しており、宿泊しながらスキーと温泉を楽しむことができる。

#### (4) 櫛引地域

##### <黒川能(国指定重要無形民俗文化財)>

黒川地区に伝わる「黒川能」は、世阿弥が大成したあとの猿楽能の流れを汲んでいる。その意味では、現存の五流(観世、金春、宝生、金剛、喜多)の能と同系であるが、いずれの流儀にも属さず独自の伝承を続け、現五流には滅びてしまった演目や演式も数多く残している。いわゆる民俗芸能という規模を遥かに超えた、貴重な文化財である。しかも、このような高度な芸能が、少なくとも500年以上もの間、春日神社の信仰を支えに氏子である農民の手によって生活の中で伝えられてきた。

##### (黒川能の年間行事)

2月	1日～2日	春日神社・王祇祭
3月	23日	春日神社・祈年祭
5月	3日	春日神社・例大祭
11月	23日	春日神社・新嘗祭

##### ○真夏の夜を彩る薪能 黒川能野外能楽「水焰の能」

黒川能の中で、夏に演能されるのが、薪能形式で開催される黒川能野外能楽「水焰の能」。櫛引総合運動公園に特設した水上野外ステージで繰り広げられる幽玄の舞。30年以上続く櫛引地域の真夏のイベントとして定着している。(7月最終土曜日開催)

##### ○原点にもどり「ろうそく」の明かりだけで能を演じる蠟燭能

氏子の中堅、若手が中心となって実行委員会を組織し、ろうそくの明かりだけで能を演じようという試みから始まったもので、現在では地元黒川の手作りイベントとしてすっかり定着している。第1部では能1番と狂言1番が演じられ、柔らかく揺らめく炎に映しだされる舞は、五百有余年前の先人が観たであろう光景と変わらぬ姿を見せてくれる。

第2部の交流会では、王祇祭で振舞われる料理・王祇膳を味わっていただきながら、役者や実行委員との交流で盛り上がる。

##### ○春日神社と上座・下座

重要無形民俗文化財・黒川能は、黒川地区の鎮守、春日神社の神事能としてすべての氏子たちによって受け継がれてきた。神社の氏子が上座と下座の二つの宮座に分かれ能座を形成して、能太夫でもある座長を中心に運営されている。

##### ○黒川能の里王祇会館

王祇会館では、能装束など展示をはじめ人形やプロジェクターによる黒川能の紹介を行っている。コミュニティ機能も有しており、研修室・多目的ホール・調理実習室としても利用できる。希望により観光ガイドによる案内も行っている。(要予約)また「切り絵葉書」「絵葉書」などの黒川能グッズも販売している。

##### <勇将・加藤清正公ゆかりの里>

櫛引丸岡地区の天澤寺は、戦国時代の武将加藤清正公ゆかりの地として知られている。

肥後熊本54万石の大名加藤清正公は、知・仁・勇の三徳兼備の名将として知られ、江戸時代の儒学者頼山陽をして「勇猛は夜叉の如く、慈悲は菩薩の如し」と絶賛されている。清正は、慶長16年(1611年)熊本城で死去。子の忠廣が後を継いで藩主になると、徳川幕府の外様大名取り潰し政策から領地を没収され、庄内藩預りとなって丸岡に配流された。忠廣は、城とは名ばかりの館で悲運を嘆きながら丸岡で亡くなり、母親である清正夫人もやはり丸岡で亡くなった。

この夫人が熊本を去る際に清正公の遺骨と鎧を持ってきて、丸岡に保持し菩提を弔い、身をもって保護し奉ったと伝えられている。

地元の人々から「セイショウコウサマ」の愛称で呼ばれる清正公墓碑は、隣接する丸岡城跡とともに、昭和38年に県の史跡に指定され、毎年丸岡の人々によって7月24日の命日に近い土曜日には前夜祭、翌日の日曜日には清正公祭が行われている。

天澤寺の南側に外堀を挟んで県指定史跡「丸岡城跡」があり、現在は史跡公園として整備され、発掘された建物基礎石遺構や庭園池の復元、石敷き道路、水路跡などを露出展示し往時の丸岡城を偲ばせている。また、市指定有形文化財「日向家住宅」を復元した「楽朋館」では清正・忠廣・丸岡城などに関連するパネルを設置し、当時の状況や時代背景を紹介している。



### <横綱柏戸記念館>

大相撲第47代横綱柏戸・鏡山親方（本名：富樫剛）は、昭和30年代から40年代半ばにかけ、角界に柏鵬時代を築き、全国の大相撲ファンに夢と感動を与えつづけ、鶴岡市名誉市民、山形県県民栄誉賞等数々の賞を受賞した。

横綱柏戸記念館はこうした柏戸・鏡山親方の偉業を顕彰し、再び当時の感動を多くの人々と共有し後世に伝えるために建設された施設である。

施設の特徴は、東京江戸川区にあった旧鏡山部屋の稽古土俵と上がり座敷をそのまま移築し、現在では、ビル化ですっきり姿を消した伝統様式の相撲部屋を復元したもので、大相撲文化史からも貴重な施設と期待されている。施設内には、柏戸の栄光の証や秘蔵資料を展示し、日本相撲協会提供による迫力ある取り組み映像や地元民放やケーブルテレビによる番組なども放映している。

### <くしびき温泉ゆ〜Town>

「効能豊か、源泉かけ流し、あったまりの湯」くしびき温泉ゆ〜Town。温泉水はナトリウム塩化物・硫酸塩温泉で、神経痛や疲労回復、切り傷、やけど、慢性皮膚病、慢性婦人病などの効能。1階は、地下約580mから湧き出す源泉100%のお湯、2階は鉄分を除いた透明なお湯。2階浴室での庄内平野を眺めながらの入浴は、心も体もリラックス。浴室内に階段があり、1階2階を自由に行き来できる。施設内にあるお食事処「味街道ゆ〜Town店」も好評である。

### <フルーツタウン櫛引・観光果樹園>

県下随一の多品種栽培を誇る櫛引には、多くの観光果樹園がある。初夏の味覚さくらんぼに始まり、桃・ぶどう・和なし・りんごなど春から秋にかけて新鮮な果物を堪能できる。もぎたての美味しさと収穫する楽しさを家族・グループで体験することができる。

### <産直あぐり・食彩あぐり>

地元の新鮮な野菜や果物、漬物や加工品などの特産品を直売する人気の施設。農産物は生産者名を入れて責任を持って販売している。国道112号沿いにあり、手頃な価格と新鮮さで多くの人々が訪れる。食彩あぐりの美味しい料理も好評。また、店内には、くしびき観光果樹園紹介所、鶴岡市見どころ案内所、櫛引観光協会を併設し、情報発信の拠点にもなっている。

### <ふるさとむら宝谷・宝谷そば>

標高250mほどの宝谷地区に整備されたグリーンツーリズム施設「ふるさとむら宝谷」。地元宝谷産のそば「でわ宝」を使ったそば打ち体験ができるほか、ふれあい広場はキャンプ場としても利用されている。

隣接する「宝谷そば」では、豊かな自然に育まれたそばの実が、挽きたて、打ちたて、茹でたての三たてに真心が込められて振舞われている。営業日は、4月から11月までの土日祝日限定となっているが、平日は5人以上の予約（3日前まで要予約）があれば年間を通じていつでも利用できる。

### <櫛引たらのきだいスキー場>

アクセスの良さとナイター照明完備のスキー場として、初級者から上級者、子どもから年配の方まで幅広い世代が楽しめるスキー場。天気の良い日には日本海を眺望することができる。食堂や休憩室も充実しており、団体利用にも適している。

### <富樫実作品シンボルロード ～空にかけける階段（石柱モニュメント）～>

櫛引が生んだ日本を代表する彫刻家 富樫実 氏。（1931. 1. 2—2019. 11. 25。鶴岡市名誉市民。1999紺綬褒章受章。）

富樫氏は京都市に住居とアトリエを構え、生涯のテーマである「空にかけける階段」シリーズの数多くの作品を制作し、教鞭をとった大学がある京都市から絶大な評価を受けて京都市内を中心に数多くの石柱モニュメントを建立してきた。そして、故郷である櫛引地域には、三千刈地内の温泉公園内（ゆ〜Town脇）に石柱モニュメントを設置して以降、旧櫛引町及び町立小中学校などの依頼を受けて丸岡地内の国道112号バイパス十字路（ヤマザワ櫛引店前）から黒川橋までの市道沿いに数多く建立してきた。母校である櫛引西小学校と県立山添高等学校のほか櫛引中学校、櫛引庁舎、横綱柏戸記念館、赤川沿いのやすらぎ公園まで作品が点在しており、通行する人々の目を楽しませている。

## (5) 朝日地域

### <注連寺>

作家の森敦が小説「月山」の舞台として描き芥川賞を受賞したことで知られる。湯殿山が戦後まで女人禁制であった時代は、女性たちの遥拝所として栄えた。庄内に6体ある即身仏のうち1体「鉄門海上人」の即身仏が安置され、境内には樹齢約200年と言われている「七五三掛桜（しめかけざくら）」（市天然記念物、日本遺産構成文化財）がある。伝説では、湯殿山を開山して願いを果たした弘法大師は、山を下ってここまで来ると、身につけていた注連（しめ）を外して桜の木に掛け、その下に寺を建てたという。桜は七五三掛桜と呼ばれ、寺は注連寺となった。

### <大日坊>

大同2（807）年弘法大師が唐（中国）から戻った翌年に開基したと伝えられている。庄内に6体ある即身仏のうち1体「真如海上人」の即身仏が安置され、高さ27m樹齢1800年（推定）の「皇壇ノスギ」（県指定天然記念物、日本遺産構成文化財）、また、仁王門（県指定有形文化財、日本遺産構成文化財）などがある。注連寺と同様に湯殿山が女人禁制だった時代、女性の遥拝所として栄えた。徳川家三代将軍の座をめぐって、家光の乳母の春日局が祈願したことでも知られ、寛永17（1640）年に春日局により再建されたという記録が残る。

### <本明寺>

創建は文禄元年（1592）で、心月上人によって開かれたのが始まりとされている。戦国時代末期から江戸時代初期の兵火により焼失して荒廃した同寺を再興した元庄内藩士の本明海上人の即身仏が安置されている。境内には、本堂、即身仏堂、鐘楼、本明海上人入定の遺址の他、数多くの石碑や石仏がある。

### <多層民家>

田麦侯には、築200年近い「旧遠藤家住宅」（県指定有形文化財、日本遺産構成文化財）と民宿「かやぶき屋」の二軒の多層民家が残っている。昭和40年代には一棟が致道博物館に移築復元され「旧渋谷家住宅」（国指定重要文化財）として保存されている。当初の多層民家は寄棟造りだったが、明治に入って養蚕が行われるようになると、茅葺屋根のゆるやかな反りと輪郭が美しい独特の風格を持つ「兜造り」に変化していった。内部は家族が居住する1階から、養蚕が行われた天井裏の3～4階まで四層構造になっている。昭和30年代には総戸数54戸のうち32戸の多層民家があったと記録が残る。

### <六十里越街道>

1,200年の歴史を有する街道で、鶴岡市街から十王峠を越えて田麦侯に入り、さらに西川町、寒河江市を通り山形城下へ至る旧街道の呼び名である。最も古い説では、出羽国が設置された和銅5（712）年に旧藤島町の周辺に置かれた出羽国府と、最上と置賜の郡役所を結ぶ官道として開かれたという。その他にも、庄内浜で作られた塩を内陸に運ぶ物資輸送道路として、また、湯殿山と月山への参詣道として生まれたとも伝えられている。六十里越街道は当時の姿が原形のまま残されており、四季折々の古道歩きが楽しめる。（日本遺産構成文化財）

### <道の駅「月山」月山あさひ博物村>

朝日地域の観光案内や六十里越街道の拠点施設として機能する「文化創造館」、気軽にボルダリングが楽しめる「梵字の蔵」、朝日地域特産の月山ワイン、山ぶどう原液などの展示販売や試飲が楽しめる「山ぶどう研究所」、朝日地域産そば粉を使用し香りと風味にこだわった手打ちそばが楽しめる古の里「そば処大梵字」などがある。4月中旬から下旬まではかたくり園、7月から11月にかけて昆虫の特別企画展等が開催され、9月中旬から10月中旬まで観光栗園がオープンするなど、大勢の家族連れでにぎわう。

あさひむら観光協会、鶴岡市見どころ案内所を併設し、庄内地方の玄関口として、きめ細やかな観光情報の発信を行っている。

### <あさひ自然体験交流施設>

#### ○湯殿山スキー場

豊富な雪量と雪質に優れた庄内地方最大のスキー場。最長滑走距離2,000mの雄大なゲレンデを備え、9コースで構成されている。第2ロマンスリフトをリニューアルして令和4年度シーズンから運行を開始し、スノーボーダーに人気のR形状の壁が複数あるR天国や雪遊び広場なども設置され、設備が充実している。

また、経験豊富なスタッフがレッスンにあたる湯殿山スキー&スノーボードスクールが常設され、初級者から上級者まで楽しめる。

### ○あさひ家族キャンプ村

アクセスが良く、広大なブナ林を背後に持つ湯殿山スキー場に隣接したオートキャンプ場。オートキャンプサイトは50区画で、炊事場・トイレ・シャワー・コインランドリーを完備したサニタリーハウスと管理棟があり、気軽な日帰りキャンプから本格的な長期滞在まで快適なアウトドアライフを楽しむことができる。

登山・トレッキング・海水浴や周辺観光地めぐりの拠点として、県内外から多くのお客様が訪れ、広々としたキャンプサイトには色とりどりのテントがぎっしりと立ち並ぶ。

### <朝日連峰 以東岳・大鳥池>

磐梯朝日国立公園の中でも朝日連峰エリアは、本格的な登山者の訪れる山岳路として知られている。

朝日連峰縦走路の起点、終点となる以東岳（標高1771.4m）は、朝日連峰北端に鎮座する雄峰で大鳥池を眼下に大展望、カメラ必携の山。以東岳を南に、三角峰と化穴山を相對させ、それぞれが切り立つ三方の山々とブナの原生林に囲まれた山上の湖「大鳥池」は、「幻の巨大魚タキタロウ」で人気があり、釣りの名所でもある。以東岳と大鳥池には、それぞれ避難小屋が設けられている。

朝日地域には、朝日連峰、湯ノ沢岳、摩耶山、月山の登山口があり、地元住民が中心となって登山道を管理している。

### <下田沢かたくり園>

山の麓に春の訪れを知らせる「かたくり」の花。万葉集にも登場し古来より親しまれ、7年もの歳月をかけて発芽するかたくりは、わずか数日間という短い期間だけ花を咲かせる。4月下旬からゴールデンウィークまでが花の見頃であり、川にかかるつり橋を渡ると約2haの敷地に可憐なかたくりの薄紫色のじゅうたんが広がる東北有数のかたくり園である。

### <タキタロウ館>

朝日連峰・以東岳の麓、神秘の湖・大鳥池には、「幻の巨大魚タキタロウ」が棲むと伝えられている。

「タキタロウ館」は山々に囲まれた、溪流のせせらぎが聞こえてくる場所にあり、タキタロウを紹介する資料展示やイワナの釣り堀、食堂があり、地域特産物の販売も行っている。

### <七ツ滝>

磐梯朝日国立公園内にあり、「日本の滝百選」として選定された滝。幾筋にも分かれた流れが、やがて一本の流れとなって滝壺に下る直瀑で、周囲の大自然とも相まって圧巻の姿を見せる。高さは90m、落差は上方50m、下方40m。新緑と紅葉の名所であり、江戸時代に湯殿山・月山への参詣道として栄えた「六十里越街道」沿いにある。

## (6) 温海地域

### <あつみ温泉> (旅館など7軒 1,610人収容)

あつみ温泉は、日本海に程近く、温泉街を清流・温海川が流れ、山懐に抱かれた閑静な温泉地で、令和3年には開湯1,200年を迎えた。東北屈指の名湯として、与謝野晶子や横光利一など多くの文人墨客も訪れている。令和元年10月4日、国民保養温泉地に指定された。

温泉街には、温泉情緒が味わえる3個所の足湯「あんべ湯」「もっけ湯」「もっしえ湯」や飲泉所、ばら園や大清水公園、温海川河畔の休憩施設などが整備され、官民一体となった「そぞろ歩きの楽しい温泉街」を目指している。

### <足湯カフェ Chitto Motché (チットモツシェ)>

この地方の方言で「ちょっとおもしろい」という意味がカフェの名の由来となっている。

施設前面には、開放的なウッドデッキに足湯「もっしえ湯」が併設され、川のせせらぎを耳にしながら、のんびりとカフェを楽しむことができる。室内は、古民家の古材を使った落ち着いた雰囲気ギャラリー風に仕上げられており、地元で活躍するしな織作家などの工芸作品を鑑賞しながら静かな時間を過ごすことができる。他にも地域の紹介や観光情報の提供も行っており、足湯カフェ以外のお客様でも気軽に立ち寄りできる施設となっている。(入館無料)

### <あつみ温泉ばら園>

熊野神社境内にあるばら園には、約90種、3,000本のばらが色鮮やかに咲き誇り、多くの観光客を魅了する。

ばらの見頃 … 6月中旬～10月上旬 (入園無料)

### <あつみ温泉朝市>

260年以上の歴史がある名物朝市は4月1日から11月30日まで温泉街の中心部にある朝市広場で毎朝開かれている。

### <道の駅「あつみ」しゃりん>

海に浮かぶ舟をモチーフに、旧温海町時代の町の木「杉」をふんだんに用い建てられたユニークな外観は、日本海を望む風景にぴったりマッチしている。

とれたての新鮮な魚介類を味わえる食堂をはじめ、本市及びその周辺の特産品や農林水産物などを販売するコーナーもある。海側に散策路が設けられ、磯遊びもできるので、ドライブの際の休憩施設としてファミリー客にも人気がある。また、敷地内には24時間対応の電気自動車用急速充電器があり、ドライバーにとっても安心できる施設である。

山形県の玄関口として、鶴岡市見どころ案内所を併設し、きめ細やかな観光情報の発信を行っている。

### <鼠ヶ関の関所>

古代の関所は新潟県との県境付近にあり、「白河の関」「勿来の関」と並んで奥羽三大古関の一つに数えられている。その昔、源義経が兄の頼朝の追討を逃れ、北陸から奥州平泉へ向う途中に通った関所として知られ、この関所を通る際、下級山伏に姿を変えた義経を弁慶が杖で打ち、難を逃れたと「義経記」には記されている。現在の関所址は、後に移転されたもので(年代不明)、江戸時代(1622年)以後に整備されたといわれている。(市指定史跡)

### <弁天島>

昔は、鼠ヶ関の浜から西に飛び石つたいに弁天島に達していたが、今は港湾工事の進捗とともに埋め立てられ、地続きとなっている。樹齢数百年の自然松が島をおおい、西側に灯台がある景勝は、特に夕陽の観賞スポットとしても人気がある。現在は、灯台までの遊歩道も整備されている。

### <鼠ヶ関灯台(恋する灯台)>

平成28年7月12日に、一般社団法人日本ロマンチスト協会と日本財団が共同で実施している「恋する灯台プロジェクト」において、鼠ヶ関灯台が「恋する灯台」に、立地している鶴岡市が「恋する灯台のまち」として認定され、同年8月29日鶴岡市に認定書が贈呈された。(当時全国で21の灯台を認定、県内では唯一)

弁天島の先に位置する鼠ヶ関灯台は、日本海を一望でき、また、眼下の赤い鳥居との景観は特徴的である。日本海に沈む夕陽と灯台のシルエットは、鼠ヶ関のビュースポットの一つである。

### <マリナーパークねずがせき>

海洋レクリエーションの拠点として、平成9年にオープンした。市民や観光客が気軽に海に親しむための施設で、川砂利を敷詰め、濁りの少ない遠浅の海水浴場や、多目的に使えるイベント広場、芝生広場、スポーツ広場、トイレ・シャワー棟、駐車場が完備されている。平成18年には環境省の「快水浴場百選」にも選定されている。令和2年8月には車椅子専用のスロープが完成し、車椅子でも波打ち際まで行き、海水浴を楽しむ事が出来るバリアフリービーチとして整備された。

### <鼠ヶ関マリーナ>

平成4年に「べにばな国体」ヨット競技の会場となった鼠ヶ関マリーナは、日本海側屈指の規模を誇り、マリンスポーツのメッカとしてシーズン中には大勢の人で賑わいを見せる。セールいっぱい潮風を受け自由自在に大海原を駆ける気分は開放感と爽快感にあふれ、鼠ヶ関の風物詩となっている。

### <念珠の松庭園>

元村上屋旅館の盆栽の黒松を地植えし、約400年前から代々庭師が手入れをしたものが、他に類を見ない巨大な臥龍型の松になった。現在は、県の天然記念物に指定され、庭園として整備されている。主幹は高さ4.2m、幹周1.2m、枝は東北方向に7mほど地を這うように伸び、全長約20mに及ぶ。

### <摩耶山>

摩耶山（標高1,019m）は「磐梯朝日国立公園の大展望台」として登山愛好者に親しまれており、登山口は旧温海町側に越沢口、関川口の2か所と旧朝日村側に倉沢口の1か所ある。標高の割にきつい登山道と、山頂の卓越した眺望で登山者には人気がある。

5月下旬に山開きが行われ、10月下旬頃まで登山が楽しめる。特に、紅葉の美しい10月下旬が最高の登山時期である。

平成28年度には、県の「やまがた百名山」に選定された。（県指定名勝）

### <温海岳>

あつみ温泉の北東に位置し、標高736mの山である。東北自然歩道（新・奥の細道）にも指定されており、温泉街から頂上まで約2時間のトレッキングコースがある。途中清らかな溪流や滝、ブナ林を通るコースは登山愛好者にも人気がある。頂上から鳥海山、庄内浜、佐渡ヶ島を眼下におさめる眺望は雄大で、秋の紅葉の時期は特に美しい。

5月中旬に山開きが行われ、10月下旬頃まで登山が楽しめる。

平成28年度には、県の「やまがた百名山」に選定された。

### <日本国>

日本国（標高555m）は、新潟県境に位置し、登山口は鶴岡市小名部の中の俣口と、村上市側の小俣口、蔵王堂口がある。日本海や朝日連峰の眺望が美しく、標高が555mという珍しさや、日本国という名前から登山者に人気がある。

平成28年度には、県の「やまがた百名山」に選定された。

### <関川しな織センター>

新潟県との県境に位置する関川集落には、しなの木の樹皮繊維を糸にして織る日本三大古代布の一つに数えられている「しな織」の伝統が受け継がれている。平成29年8月にリニューアルした関川しな織センターでは、しな織の製作見学や製品の展示・販売、しな織り体験が行われている。平成17年9月22日に、国の伝統的工芸品「羽越しな布」に指定されている。

## 2 鶴岡市の物産

絵ろうそくや御殿まりなど、江戸時代以来の伝統・文化を受け継ぐ数々の民芸品や、海・山・平野でとれる自然の恵み、四季折々の旬の味など、多くの特産品がある。

- \* 民芸品 鶴岡シルク (kibiso)、しな織、いづめこ人形、御殿まり、絵ろうそく、竹塗漆器、庄内竿
- \* 味 覚 山菜、孟宗筍、月山筍、民田なす、だだちゃ豆、焼畑あつみかぶ、南禅寺豆腐、さくらんぼ、庄内砂丘メロン、月山高原ブルーベリー
- \* 銘 菓 おきつねはん、からからせんべい、とちもち、きりさんしょ、雛菓子、元禄餅 ほか
- \* 酒 地酒、ワイン

## 3 観光客入込数

(1) 地域毎の観光入込客総数

(単位：百人)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
鶴岡	31,391	32,041	29,818	15,499	16,765	18,706
藤島	2,091	2,065	1,922	1,184	1,422	1,671
羽黒	9,975	10,958	10,849	5,859	7,747	8,386
榎引	7,405	6,791	6,904	6,101	6,148	6,403
朝日	5,266	4,916	4,415	2,338	2,808	2,676
温海	6,999	6,933	6,256	2,691	3,441	4,965
合計	63,127	63,704	60,164	33,672	38,331	42,807

(2) 類型別の観光入込客総数

(単位：百人)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
名所・旧跡等	47,765	48,331	46,278	25,472	28,690	32,759
温泉地	9,720	9,580	8,720	4,572	4,660	6,413
海水浴場	3,851	3,896	3,479	2,623	3,632	2,272
スキー場	664	728	610	644	686	808
山岳	1,127	1,169	1,077	361	663	555
合計	63,127	63,704	60,164	33,672	38,331	42,807

# 農林水産業

## ■ 農業委員会

### 1 農業委員（令和5年4月1日現在）（単位：人）

委員会	東部農地部会	西部農地部会
20	10	10

### 2 農地利用最適化推進委員（令和5年4月1日現在）（単位：人）

委員会	鶴岡1	鶴岡2	鶴岡3	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海
31	5	4	4	4	4	4	3	3

### 3 農地調整事務実績

	農地法第3条		農地法第4条		農地法第5条		農地法第18条（届出）	
	農地の所有権移転及び権利の設定		農地の転用		農地の転用に伴う所有権の移転及び権利の設定		賃貸借の解約	
	件数	面積（㎡）	件数	面積（㎡）	件数	面積（㎡）	件数	面積（㎡）
平成29年度	146	1,754,033	21	20,633	93	115,978	320	2,435,031
平成30年度	159	2,320,792	26	6,829	94	102,697	460	2,830,919
令和元年度	167	2,056,094	28	42,019	88	155,186	363	2,395,107
令和2年度	139	1,489,330	32	14,094	67	96,914	348	1,960,979
令和3年度	131	1,478,075	25	85,459	64	84,330	332	2,006,722
令和4年度	129	1,584,061	3	1,348	86	88,465	344	2,183,707

### 4 農業者年金

（1）加入者数の状況（加入開始 昭和46年度）（単位：人）

令和3年度末 加入者総数	令和4年度		令和4年度末 加入者総数
	加入	喪失	
325	12	35	302

※平成14年1月1日の農業者年金制度改正後の加入者

（2）経営移譲年金受給決定者数の状況（旧：S51年度～ 新：H14～）（単位：人）

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
旧制度	10	14	8	5	3	0
新制度	15	13	11	13	5	8

### 5 農業経営基盤強化促進法利用権設定

区分	貸借権設定		所有権移転	
	件数	面積（ha）	件数	面積（ha）
平成29年度	950	826	74	38
平成30年度	1,053	905	80	46
令和元年度	1,050	842	69	32
令和2年度	1,003	809	56	27
令和3年度	957	765	79	40
令和4年度	1,019	868	78	35

# ■ 農 業

## 1 概 況

本市は、庄内平野の南部に位置し、作物の生育に適した気候と豊かな土壌に恵まれたため、水稻を中心に農業が発展し、国内有数の米の産地となった。また、各地域で異なる風土を生かし、在来作物などの特徴ある作物が育てられている。

本市の農業は、先人達の弛まぬ努力と研鑽により、技術の進歩を重ねながら、近代的な高い生産技術が培われてきており、日本有数の穀倉地帯として、農業が他産業の発展も導きつつ、人々の暮らしを支え続けている。

また、生産者自身が加工、販売、観光農園などを手がける6次産業化や、食品加工業などの他業種と連携する農商工観連携など、農産物の価値を高める取組みも見られる。

農業産出額については、需給調整や米価変動の影響を受ける米の生産を維持しながら、園芸作物の生産拡大を推進し、令和3年においては全国で34位、東北で4位となる282.2億円となっている。

一方で、担い手の減少や高齢化が進んでおり、農業を担う人材の育成・確保が大きな課題となっている。本市においては、基幹的農業従事者が年間約163人(H28～R2平均)離農しているが、新規就農者は増加傾向ではあるものの、年間約39人(H30～R4平均)に留まっている。そうした現状を踏まえ、平成31年1月に「農業の人材育成・確保に関する協定」を締結し、産学官が連携してそれぞれの知見を出し合い、将来の地域農業の担い手の育成・確保に向けたプロジェクトを推進している。

令和5年4月にプロジェクトの中核である市立農業経営者育成学校「SEADS（シーズ）」が開校4年目を迎えた。今年度は研修を修了した9人が就農し、2年生6人、1年生7人が座学と実習の研修を行っている。出身や経歴が多彩な研修生が本市農業の活性化に与える影響は非常に大きいものと期待している。

今後も、地元農業者に対する各種支援や、SEADS研修生を中心とした移住者の定住・就農支援等を強化しながら、より多くの将来の「地域の担い手」を育成・確保していき、農業を起点とした地方創生が実現できるよう、引き続き市を挙げて取り組んでいく。

## 2 農業振興の基本方向

### (1) 農業を支える人材の育成・確保

- 親元就農や農外からの新規参入など多様な人材の確保に取り組むほか、年間を通じた雇用の受け皿となる企業的な経営体を育成する。また、安定した生産を支える働き手(労働力)の確保にも取り組む。
- 市立農業経営者育成学校「SEADS」は、有機農業をはじめ持続可能な農業の技術・経営について座学と実習で学び滞存する場である。SEADSで学ぶ研修生を獲得し経営感覚に優れた農業経営者を育成する。

### (2) 地域経済を支える農業生産の拡大

- 米生産の収益性の向上や園芸作物の生産拡大、農業生産と畜産との連携や生産、流通、消費が地域内で循環する持続可能な農業を目指す。
- 中山間地域では、地域の資源と特色を生かした永続できる農業経営を実現し、交流人口の拡大による地域の活性化に取り組む。

### (3) 農産物の付加価値向上と販路拡大

- ユネスコ食文化創造都市の強みを活かした農産物のブランド化と情報発信により販売力の強化を図る。
- 農業の6次産業化や農商工観連携による付加価値向上と直売所や学校給食向けの少量多品目の生産支援などにより地産地消を推進する。



### 3 農業生産基盤の整備

国営及び附帯県営かんがい排水事業による基幹水利施設の整備、県営及び団体営ほ場整備事業によるほ場の一次整備がほぼ完了し、30a程度以上のほ場整備率は83.7%となっている。今後、中山間地域等の未整備ほ場の整備や、大区画化や用排水路の管路化などの再整備がさらに必要であり、事業実施に向けた合意形成や調査事業を推進している。

また、水田を有効に活用して園芸作物等との複合経営の確立を目指し、県営水田畑地化基盤強化対策事業により地下かんがい排水施設等の基盤整備を実施し、水田の汎用化を図ってきた。平成13年度から全市にわたって整備を進め、令和2年度で本市における県の水田畑地化対策としての事業は終了した。

さらに、農業者等が行う国又は県の補助事業の採択基準に満たない小規模な土地改良事業については、市単独での支援を行っており、平成30年度からはこれまでの3割補助に加え、新たに補助率を5割とするメニューを追加し拡充している。

主な農業農村整備事業（県営事業）

事業名	地区名	事業内容	総事業費 (百万円)	令和4年度 事業費(百万円)	予定工期
水田農業低コスト・高付加 価値化基盤整備事業	金森目2期	ほ場整備 65ha	1,278	160	H31～R 8
	岡山	ほ場整備 51ha	1,189	210	R 3～R12
	宝谷	ほ場整備 24ha	643	210	R 3～R10
	一本松	ほ場整備 37ha	954	210	R 3～R10
	中楯	ほ場整備 38ha	910	74	R 4～R11
	笹川左岸上流	ほ場整備 87ha	1,837	118	R 4～R11
	井岡1期	ほ場整備 61ha	1,634	—	R 5～R12
かんがい排水事業	長沼堰	用水路工 6,591m	562	84	H31～R 8
	黄金1期	管水路工 13,860m	751	51	R 2～R 9
	黄金2期	管水路工 15,875m	877	125	R 2～R10
	黄金3期	管水路工 13,805m	578	16	R 3～R11
基幹水利ストック マネジメント事業	渡前	揚水機場整備・補修	275	100	R 3～R 6
農村地域防災減災事業 (ため池整備事業)	五斗畑	ため池改修	701	80	H27～R 5
	大沢	ため池改修	930	480	R 2～R 6
農村地域防災減災事業 (用排水施設等整備事業)	京田川	排水機場 5箇所、 排水路 3,110m	2,660	128 鶴岡工区分	H26～R 5
	黒岩堰	用水路工 3,380m	557	80	H27～R 5
地域用水環境整備事業	笹川	小水力発電施設整備	482	200	H29～R 6

※令和4年度事業費は負担金ベース（次年度への繰越分を含む）

## 4 生産と流通

### (1) 稲作

本市の稲作は、農業産出額では全体の4割強を占め、本市農業の基幹作物として位置づけられており、県内最大の作付面積を有している。

本市は、米づくりに最適な気候条件を有するとともに、農業者による卓越した栽培技術の継承と積極的な新技術の導入、それを支える関係機関によるきめ細かな営農指導体制により、長年、高品質生産と安定供給を維持している。

近年は、全国トップブランドの「つや姫」とともに、平成30年に本格デビューした「雪若丸」の作付面積が着実に増加している。また、消費者の「食の安全・安心」への関心が高まっていることから、平成18年度から市が有機・特別栽培農産物の認定・認証機関となり事業を実施している。

引き続き良質米の生産推進を図るとともに、有機・特別栽培等により安全・安心な農産物の生産や直播栽培の普及促進等による省力化や低コスト化を推進する。

#### 稲作の状況

年度	作付面積 (ha)	反収 (kg/10a)	収穫量 (t)	1等米比率 (%)
令和元年度	11,000	614	67,500	91.5
令和2年度	11,000	618	68,000	94.7
令和3年度	10,900	620	67,600	94.5
令和4年度	10,700	597	63,900	95.1

資料：農林水産省統計（1等米比率は県平均（水稲うるち玄米）の数値）

#### 品種別作付比率(%)

年度	はえぬき	つや姫	ひとめぼれ	雪若丸	コシヒカリ	その他
令和元年度	56.1	20.3	9.0	4.1	4.2	6.3
令和2年度	54.8	21.0	8.3	5.9	4.0	6.1
令和3年度	55.0	21.4	7.5	7.2	3.6	5.3
令和4年度	55.7	21.9	6.0	7.7	3.6	5.1

資料：市農政課調査

#### 栽培体系別作付面積(ha)

年度	慣行栽培	特別栽培	有機栽培
令和元年度	5,985	3,399	65
令和2年度	5,954	3,414	73
令和3年度	5,739	3,412	63
令和4年度	5,315	3,443	71

※主食用米のみ

資料：市農政課調査

### (2) 園芸作物

本市は経営耕地面積15,501haのうち7.1%の1,107haが畑地、3.3%の504haが樹園地となっている。（2020農林業センサス）

広大な面積に平地・平野部から砂丘地、中山間・山間地など変化に富んだ地形・土壌がある中で、これらの地域特性を生かした多様な園芸作物を生産している。

主力園芸品目としては、水はけの良い砂丘畑で栽培する「庄内砂丘メロン」、平地の転作田を利用した全国的に知名度の高い「だだちゃ豆」などの枝豆、市内全域で幅広く栽培している「庄内柿」などがあげられる。

また、地域の特性に合った品目を選定して全国有数の園芸産地の形成を目指し、「ミニトマト」「きゅうり」等については、園芸施設の団地化に取り組んでいるほか、軟白ねぎ、里芋、花きなどの冬期間の生産拡大による周年農業の普及を図っている。

その他にも、さくらんぼ、ぶどう、ブルーベリー、なし、りんご等の多種多様な果実、中山間地の斜面や転作田を利用した山菜や醸造用ぶどう、アスパラガス、ニラの栽培にも力を入れている。

(3) 畜産

畜産農家の高齢化と後継者不足、環境対策への投資負担、飼料価格の高止まりによる収益性悪化など、畜産を取り巻く環境は厳しさを増し、本市の畜産農家及び飼養頭数は年々減少している。

一方で、有機・特別栽培等の農産物に対する志向の高まりに伴う畜糞由来の堆肥による地力増進の必要性や、自給飼料の確保等、耕畜連携の観点から畜産の振興を図る必要がある。

そのため、畜産振興基金を活用した優良種導入をはじめ、地域内における耕畜連携の取組み、放牧場運営及び畜産生産拡大のための支援をしている。

(4) 令和5年度の主要事業

・農業人材育成確保事業	事業費	160,129千円
・農業経営者育成学校管理運営事業	事業費	49,114千円
・経営所得安定対策推進事業	事業費	56,175千円
・園芸作物生産支援事業	事業費	3,096千円
・園芸産地つるおかプロジェクト事業	事業費	7,917千円
・循環型農業拡大推進事業	事業費	25,314千円
・畜産経営基盤強化支援事業	事業費	8,929千円
・環境保全型農業直接支援事業	事業費	68,445千円
・農業6次産業化推進事業	事業費	9,071千円
・農商工観連携推進事業	事業費	2,588千円
・鶴岡産農産物消費拡大事業	事業費	10,976千円
・地域計画策定推進事業	事業費	10,019千円

## 5 市 場

(1) 公設庄内青果物地方卸売市場設立の経過

生鮮食料品の流通情勢が大きく変化するなかで、経済圏の広域化に伴う経済活動の急速な活発化に対応するため、卸売業界の整理統合を推進し流通機構の改善を図り、近代的、能率的な統合市場を建設し、青果物の流通の円滑化、一般消費者の食生活の安定と地方生産出荷者の利益に役立てるため、公設の青果物卸売市場の開設が計画された。昭和47年2月に庄内広域行政協議会において庄内地方における広域行政の根幹事業として、庄内14市町村の一部事務組合が開設者となって市場を開設することが決定され、昭和48年12月に旧国道7号沿いの酒田・鶴岡の中間に位置する現在地に開場した。

(2) 市場の機構

職 員	： 4人（食肉流通施設事務所職員と兼務） 青果市場管理事務所長一青果市場管理事務所職員3人（兼務）
開 設 者	： 庄内広域行政組合（一部事務組合）
所 在 地	： 山形県東田川郡三川町大字押切新田字茨谷地50番地
面 積	： 62,700㎡
供 給 人 口	： 約280千人
卸 売 業 者	： 青果部2社
仲 卸 業 者	： 4社
買 受 人	： 92人
関 連 事 業 者	： 9社

(3) 市場の施設

卸 売 場	4,445㎡	卸 売 業 者 事 務 所	1,264㎡
（うち低温売場 200㎡、冷蔵庫 120㎡）		仲 卸 業 者 事 務 所	818㎡
仲 卸 売 場	836㎡	関 連 事 業 者 店 舗	195㎡
買 荷 保 管 所	148㎡	管 理 事 務 所	181㎡
冷 蔵 庫	436㎡	車 庫 ・ 変 電 室	98㎡
倉 庫	722㎡	駐 車 場	20,135㎡
パ ナ ナ 加 工 施 設	1,043㎡	集 配 セ ン タ ー 及 び 加 工 施 設	2,561㎡

(4) 品目別取扱高  
(野菜)

区 分		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
取	扱 量	24,510 t	23,733 t	23,381 t	22,984 t	21,912 t
取	扱 高	5,066,537千円	4,792,612千円	4,883,382千円	4,920,068千円	4,913,390千円
主要品目取扱量比率	たまねぎ	17.2%	16.7%	18.7%	13.1%	13.6%
	だいこん	11.7	9.7	8.8	9.3	7.8
	キャベツ	9.0	9.7	11.1	12.8	10.8
	にんじん	4.9	4.9	5.3	6.6	6.6
	ばれいしょ	6.2	6.6	5.4	4.7	6.6
	はくさい	3.2	3.4	3.4	3.5	3.5
	きゅうり	4.0	4.1	4.5	4.8	4.6
	ねぎ	3.1	2.9	2.6	3.2	3.2
	レタス	2.5	2.8	2.9	3.1	3.3
	トマト	1.9	2.0	2.2	2.5	2.5
その他	36.3	37.2	35.1	36.4	37.5	
産地別比率	庄内産	33.5	34.7	30.1	31.0	28.9
	北海道産	19.1	7.5	9.2	14.4	17.7
	外国産	1.1	1.4	1.6	0.9	1.0
	千葉産	6.8	4.1	5.0	7.2	6.5
	他国内産	39.5	52.3	54.1	46.5	45.9

(果 実)

区 分		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
取	扱 量	10,155 t	10,412 t	10,182 t	9,484 t	9,215 t
取	扱 高	2,983,743千円	2,919,287千円	3,056,942千円	3,140,900千円	3,070,644千円
主要品目取扱量比率	温州みかん	12.4%	12.0%	13.3%	13.4%	12.2%
	平核無(柿)	10.4	10.4	9.8	9.4	11.0
	バナナ	9.8	9.9	10.6	11.9	10.9
	グレープフルーツ	2.1	1.7	1.9	1.3	1.1
	アンデスメロン	5.9	5.8	5.5	5.9	5.5
	ふじ(りんご)	6.8	6.8	9.6	8.3	7.6
	すいか(大玉)	7.9	9.2	7.0	9.8	10.0
	ラ・フランス	2.7	2.5	2.5	2.2	2.7
	オレンジ	2.6	2.0	2.8	1.4	1.1
	いちご	2.2	2.1	2.0	2.4	2.3
その他	37.2	37.6	35.0	34.0	35.6	
産地別比率	庄内産	35.0	32.1	32.4	30.9	34.0
	外国産	18.8	13.8	12.1	19.1	17.2
	山形産	18.0	23.5	24.4	18.3	20.0
	愛媛産	4.4	3.0	2.8	4.2	4.1
	他国内産	23.8	27.6	28.3	27.5	24.7

(5) 庄内広域行政組合負担金(令和5年度 青果市場分)・・・12,925千円

## 6 庄内食肉流通センター

### (1) 庄内食肉流通センター設置の経過

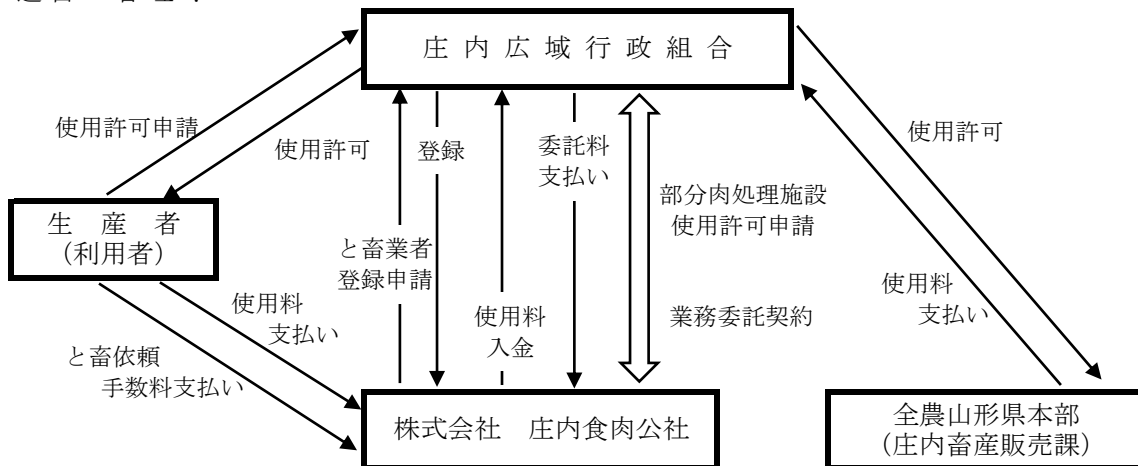
〇-157による食中毒が問題となった平成8年当時の鶴岡市・酒田市の両施設は、老朽化・狭隘化しており、衛生管理上の問題も指摘されていたことから、県の指導や補助採択基準などの関係もあり、公設民営により両施設を統合した新食肉処理施設を、部分肉処理施設を併設したと畜場として旧余目町（現庄内町）の「庄内臨空工業団地あまるめ」地内に建設することについて、平成10年8月までに庄内14市町村や関係者の合意が得られた。

庄内広域行政組合が事業主体となって建設を行うため、平成10年度に組合規約変更等の手続きを行い、平成11年4月から組織・人員体制の拡充を図り、設計及び建設工事に本格的に着手した。

平成12年8月に施設の名称を「庄内食肉流通センター」と決定し、平成13年8月には施設が完成、10月3日から供給を開始し、その運営には10月1日に設立した株式会社庄内食肉公社があたり現在に至っている。

### (2) 庄内食肉流通センターの機構

職 員：4人（青果市場管理事務所職員と兼務）  
 食肉流通施設事務所長—食肉流通施設事務所職員3人（兼務）  
 設 置 者：庄内広域行政組合（一部事務組合）  
 所 在 地：山形県東田川郡庄内町家根合字中荒田21番地の2  
 面 積：40,114㎡（うち普通財産2,020.148㎡：民間工場建設用地）  
 運 営・管 理：



### (3) 施設概要（床面積）

処 理 工 場 棟：10,260.26㎡  
 と畜部門（と畜解体・内臓処理及び枝肉の冷蔵保管）：7,918.52㎡  
 部分肉処理部門（枝肉の脱骨・整形）：2,341.74㎡  
 汚水処理・焼却炉：841.83㎡  
 ポンプ室：206.34㎡  
 浄水設備・脱水機室等：111.23㎡  
 そ の 他：162.64㎡

### (4) 施設能力

区 分	繋留所	と畜解体	枝肉冷却	内臓ボイル	頭・足処理	部分肉処理
小動物	600頭	1,050頭	2,100頭	1,050頭/日	1,050頭/日	400頭/日
大動物	20頭	20頭	90頭	20頭/日	20頭/日	10頭/日

## (5) と畜・解体処理実績

(単位：頭)

	豚		牛		子牛	めん羊 ・山羊	計	
		うち鶴岡分		うち鶴岡分				
平成16年度	221,225	52,180	1,625	678	5	124	222,979	
平成17年度	236,098	44,714	1,289	590	5	99	237,491	
平成18年度	249,274	45,969	1,147	609	11	96	250,528	
平成19年度	261,173	46,104	1,070	521	9	117	262,369	
平成20年度	265,262	45,264	1,170	524	7	105	266,544	
平成21年度	272,392	47,658	906	437	26	109	273,433	
平成22年度	271,826	50,893	731	431	26	107	272,690	
平成23年度	273,937	49,915	700	447	37	109	274,783	
平成24年度	269,509	47,547	626	382	26	83	270,244	
平成25年度	262,160	40,122	517	345	18	79	262,774	
平成26年度	255,498	41,852	466	333	43	78	256,085	
平成27年度	259,434	40,163	364	253	34	104	259,936	
平成28年度	265,587	41,666	247	150	23	110	265,967	
平成29年度	261,919	40,890	284	140	12	91	262,306	
平成30年度	267,682	42,179	336	178	21	118	268,157	
令和元年度	267,471	41,999	266	116	14	87	267,838	
令和2年度	268,036	43,401	285	122	5	72	268,398	
令和3年度	267,725	41,061	280	137	0	88	268,093	
令和4年度	252,860	41,296	269	96	3	103	253,235	
対 前 年 比	平成17年度	106.7%	85.7%	79.3%	87.0%	100.0%	79.8%	106.5%
	平成18年度	105.6%	102.8%	89.0%	103.2%	220.0%	97.0%	105.5%
	平成19年度	104.8%	100.3%	93.3%	85.6%	81.8%	121.9%	104.7%
	平成20年度	101.6%	98.2%	109.3%	100.6%	77.8%	89.7%	101.6%
	平成21年度	102.7%	105.3%	77.4%	83.4%	371.4%	103.8%	102.6%
	平成22年度	99.8%	106.8%	80.7%	98.6%	100.0%	98.2%	99.7%
	平成23年度	100.8%	98.1%	95.8%	103.7%	142.3%	101.9%	100.8%
	平成24年度	98.4%	95.3%	89.4%	85.5%	70.3%	76.1%	98.3%
	平成25年度	97.3%	84.4%	82.6%	90.3%	69.2%	95.2%	97.2%
	平成26年度	97.5%	104.3%	90.1%	96.5%	238.9%	98.7%	97.5%
	平成27年度	101.5%	96.0%	78.1%	76.0%	79.1%	133.3%	101.5%
	平成28年度	102.4%	103.7%	67.9%	59.3%	67.6%	105.8%	102.3%
	平成29年度	98.6%	98.1%	115.0%	93.3%	52.2%	82.7%	98.6%
	平成30年度	102.2%	103.2%	118.3%	127.1%	175.0%	129.7%	102.2%
	令和元年度	99.9%	99.6%	79.2%	65.2%	66.7%	73.7%	99.9%
	令和2年度	100.2%	103.3%	107.1%	105.2%	35.7%	82.8%	100.2%
令和3年度	99.9%	94.6%	98.2%	112.3%	0.0%	122.2%	99.9%	
令和4年度	94.4%	100.6%	96.1%	70.1%	0.0%	117.0%	94.4%	

(6) 庄内広域行政組合負担金(令和5年度 庄内食肉流通センター分)・・・46,284千円

## 7 農業統計

(1) 農業振興地域・区域 (令和4年4月1日現在)

(単位: ha)

行政区域	農業振興地域	農用地区域						合計
		田	畑	樹園地	採放牧地	農業用地 施設用地	その他	
131, 151.0	35, 467.2	15, 922.7	1, 806.0	829.0	0.0	79.2	83.1	18, 720.0

(2) 耕地種別状況

(単位: ha)

区分	総面積	田	畑
平成24年	18, 400	15, 700	2, 650
平成25年	18, 300	15, 700	2, 660
平成26年	18, 400	15, 700	2, 680
平成27年	18, 400	15, 700	2, 670
平成28年	18, 200	15, 500	2, 670
平成29年	18, 200	15, 500	2, 650
平成30年	18, 200	15, 500	2, 650
令和元年	18, 200	15, 500	2, 650
令和2年	18, 100	15, 500	2, 630
令和3年	18, 000	15, 400	2, 560
令和4年	17, 800	15, 300	2, 540

資料: 農林水産省「作物統計調査」

(3) 専業兼業別農家数

(単位: 戸/経営体)

区分	農家数	専業農家数	兼業農家数		
			第1種兼業	第2種兼業	計
昭和50年	10, 970	489	4, 807	5, 674	10, 481
昭和55年	10, 398	469	4, 167	5, 762	9, 929
昭和60年	9, 483	547	3, 559	5, 377	8, 936
平成2年	7, 641	506	2, 722	4, 416	7, 135
平成7年	6, 801	411	2, 374	4, 016	6, 390
平成12年	6, 138	406	1, 689	4, 043	5, 732
平成17年	5, 444	463	1, 658	3, 323	4, 981
平成22年	4, 538	577	1, 187	2, 774	3, 961
平成27年	3, 838	760	912	2, 166	3, 078
令和2年	3, 115				

※平成12年以前は合併前の旧6市町村の集計値

資料: 農林業センサス

※令和2年調査では専業別の調査は廃止

※昭和60年以前は総農家、平成2年以降は販売農家の数値

(4) 主副業別販売農家数

(単位: 戸/経営体)

区分	計	主業	準主業	副業的
平成12年	6, 138	1, 873	2, 312	1, 953
平成17年	5, 444	1, 771	1, 849	1, 824
平成22年	4, 538	1, 393	1, 642	1, 503
平成27年	3, 838	1, 167	1, 136	1, 535
令和2年	3, 184	1, 014	608	1, 562

※平成12年は合併前の旧6市町村の集計値

資料: 農林業センサス

※令和2年は個人経営体の数値

# ■ 林 業

## 1 概 況

本市の行政区域内における林野面積は、市域の73%にあたる95,939haの広大な面積を占め、そのほとんどの地域が林業生産活動にとって適地とされている標高800m以下の比較的低い山地にある。また、民有林の人工林面積は20,613haで民有林全体の45%を占め、県平均の39%を上回っている。

## 2 林野面積

(単位：ha)

地 域	総 数	民 有 林 総 数	民 有 林 内 訳				国 有 林
			公 有 林	森 林 整 備 セ ン タ ー	やまがた森林と 緑の推進機構	私 有 林	
鶴岡市全域	95,939	45,939	3,839	644	2,150	39,306	50,000

資料：令和3年度山形県林業統計

## 3 民有林森林資源面積

(単位：ha)

区 分	人 工 林			天 然 林			そ の 他	合 計
	針 葉 樹	広 葉 樹	計	針 葉 樹	広 葉 樹	計		
鶴岡市全域	20,452	161	20,613	79	21,803	21,883	3,444	45,940

資料：令和3年度山形県林業統計

## 4 経営規模別林業経営体数

平 成 27 年			令 和 2 年		
区分	林業経営体数	構成比(%)	区分	林業経営体数	構成比(%)
保有山林なし	1	0.4	保有山林なし	0	0.0
～ 3ha	1	0.4	～ 3ha	1	1.1
3 ～ 5ha	47	21.1	3 ～ 5ha	8	9.1
5 ～ 10ha	58	26.0	5 ～ 10ha	21	23.9
10 ～ 20ha	60	26.9	10 ～ 20ha	24	27.3
20 ～ 30ha	20	9.0	20 ～ 30ha	12	13.6
30 ～ 50ha	20	9.0	30 ～ 50ha	8	9.1
50 ～ 100ha	8	3.6	50 ～ 100ha	10	11.3
100 ～ 500ha	5	2.2	100 ～ 500ha	2	2.3
500ha以上	3	1.4	500ha以上	2	2.3
計	223	100	計	88	100

※林業経営体：次のいずれかに該当する事業を行う者

資料：2020年農林業センサス

- ①個人保有山林面積が1ha以上の林業
- ②権限に基づいて育林又は伐採を行うことができる山林の面積が3ha以上の規模の林業
- ③委託を受けて行う育林若しくは素材生産又は立木を購入して行う素材生産の事業

## 5 林道の整備状況

区 分		令 和 2 年 度		令 和 3 年 度		令 和 4 年 度	
区 分	車道幅員	路線数	延長(m)	路線数	延長(m)	路線数	延長(m)
1 級	4.0m以上	3	36,294	3	36,294	3	36,294
2 級	3.0m以上	91	179,851	91	179,727	91	179,789
3 級	2.0m以上	57	87,332	57	87,332	57	87,332
自動車道計		151	303,477	151	303,353	151	303,415
軽 車 道		26	19,846	26	19,846	26	19,846
		177	323,323	177	323,199	177	323,261

資料：林道台帳



## 6 森林組合等

	組合員所有森林面積	組合員数	出資金
出羽庄内森林組合	18,107ha	5,425人	149,854千円
温海町森林組合	12,141ha	1,546人	99,337千円

資料：令和3年度山形県森林組合統計

生産森林組合は18組合（組合員数1,141人、経営森林面積1,367ha）あり、連絡協議会を組織し、研修・情報交換等を行っている。

## 7 市有林

<令和4年度市有林保有状況>

市有林面積 (ha)							計	森林全体に占める割合
鶴岡地域	藤島地域	羽黒地域	櫛引地域	朝日地域	温海地域			
947	9	284	137	2,235	157	3,769	3.9%	

<令和4年度林地利用状況>

直営林		部分林		官行造林 県営林		森林整備センター		やまがた森林と 緑の推進機構	
	構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
3,255ha	86.3%	60ha	1.6%	124ha	3.3%	185ha	4.9%	146ha	3.9%

資料：市有林台帳

○市有林管理整備事業

直営林総面積3,255haの内訳は、人工林828ha、天然林2,307ha、その他120haとなっている。

人工林の大部分に杉を植栽しており、搬出間伐を主体とした施業に努めている。

<整備実績>

整備の内容	除・間伐	作業道
平成30年度	0.67 ha	123 m
令和元年度	0.00 ha	0 m
令和2年度	15.53 ha	1,986 m
令和3年度	0.6 ha	0 m
令和4年度	0.22 ha	161 m

# ■ 水 産 業

## 1 概 況

山形県管理漁港4港、市管理漁港8港、地方港湾2港を有する本市の漁業は、本県海面漁業における漁獲量の58.8%、生産額の50.9%（令和4年度漁協統計）を占めている。

## 2 統 計

(1) 主な漁業種別漁獲量の推移 (単位：t)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
底曳網漁業	1,279	1,124	1,125	1,101
刺網漁業	48	32	27	32
一本釣漁業	71	195	42	146
はえ縄漁業	108	103	91	76
定置網漁業	363	678	408	333
採貝藻漁業	87	85	76	57
その他漁業	574	471	497	479
計	2,530	2,688	2,266	2,224

資料：山形県漁協統計

(2) 主な魚種別漁獲高の推移 (単位：千円)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
タ イ	133,176	85,962	83,841	116,607
カ レ イ 類	44,418	31,454	29,785	34,039
タ ラ	92,330	60,809	58,919	72,688
ス ル メ イ カ	60,651	134,931	111,682	178,767
イ ワ ガ キ	13,274	10,741	15,140	12,702

資料：山形県漁協統計

(3) 漁業就業者数の推移 (単位：人)

平成20年度			平成25年度			平成30年度		
鶴岡地区	温海地区	計	鶴岡地区	温海地区	計	鶴岡地区	温海地区	計
139	176	315	130	131	261	106	116	222

資料：漁業センサス

## 3 漁業振興対策

(1) 漁業生産基盤の整備

県との協調によるオーダーメイド型補助事業で漁業者の意欲的な取組を支援している。平成29年度から県が実施しているイワガキ増殖施設整備に負担金を支出し、イワガキの増殖を図っている。

(2) 漁港の整備促進

泊地浚渫や漁港施設の維持管理修繕等の整備を行い、安全で効率的な漁業活動の確保を図っている。

(3) 栽培漁業の推進

沿岸漁業の振興を一層積極的に進め、漁業経営の安定的発展を図るための方策として栽培漁業を推進しており、山形県漁協が行うアワビ、ヒラメ、トラフグの種苗放流に対して助成している。

(4) 担い手の育成・確保

高齢化の進行と新規就業者の減少により漁業就業者数が減少しているため、独立経営希望者の漁船や資材購入の資金借入への利子補給、浜の担い手漁船リース事業で漁船を取得した中核的漁業者の資金借入への信用保証料補給、漁業研修時の転居費や家賃の補助を実施し、担い手の確保を図っている。

#### 4 魚食の普及と消費拡大

##### (1) お魚教室、お魚出前教室の実施

魚離れにより水産物の消費量が減少している中、幼児期から魚食に慣れ親しむ機会を設け、魚食の普及と水産物の消費拡大を図るため、保育園や幼稚園、認定子ども園向けに「お魚教室」、小学生向けに「お魚出前教室」を実施している。また、家庭での魚食普及を図るため、保護者を対象とした料理教室を実施する。

年度	実施回数	実施場所及び内容
令和元年度	お魚教室 5回 お魚出前教室 4回	お魚教室【くしびき西部保育園、朝日保育園、りっしょう子ども園、いなば幼稚園】 お魚出前教室【朝日小、黄金小、齋小、鼠ヶ関小】 ※すべてマダラを使用
令和2年度	お魚出前教室 1回	お魚出前教室【泉地区自治振興会（タラ）】 ※コロナの影響により1回のみの実施
令和3年度	お魚教室 2回 お魚出前教室 3回	お魚教室【やまのこ保育園、貴船保育園】 お魚出前教室【ゆきやなぎ、広瀬小学校、庄内小国川鮭生産組合】
令和4年度	お魚教室 2回 お魚出前教室 3回	お魚教室【田川保育園、松原保育園】 お魚出前教室【あつみ小学校、山王町町内会、湯野浜地区自治会】

# 建設

## ■ 都市計画

### 1 都市計画区域

#### (1) 鶴岡都市計画区域

法適用年月日 : 昭和 3年 9月10日

当初決定年月日 : 昭和 5年 2月17日

最終決定年月日 : 平成25年 4月12日

(令和5年3月31日現在)

行政区域		都市計画区域						人口集中地区 (DID地区)	
面積 (ha)	人口 (人)	指定面積 (ha)	用途地域	用途 地域外	人口 (人)	用途地域	用途 地域外	面積 (ha)	人口 (人)
131, 151	121, 365	25, 281	2, 327	22, 954	111, 153	73, 844	37, 309	1, 506	57, 238

※人口集中地区は令和2年度国勢調査

### 2 地域地区

#### (1) 用途地域

当初決定年月日 : 昭和 7年 7月13日

最終決定年月日 : 平成29年 4月24日

区分	地区	面積 (ha)						建ぺい率	容積率
		鶴岡	大山	湯野浜	藤島	温海	計		
第一種低層住居 専用地域		224.6	—	—	—	—	224.6	5/10	6/10, 8/10
		絶対高さ制限 (高さの制限) 10m 外壁の後退距離 1 m							
第二種低層住居 専用地域		—	—	—	8.5	—	8.5	6/10	10/10
		絶対高さ制限 (高さの制限) 12m 外壁の後退距離 1 m							
第一種中高層住 居専用地域		225.8	14.1	—	16.0	2.1	258.0	6/10	20/10
第二種中高層住 居専用地域		382.3	85.8	19.9	20.0	7.0	515.0	6/10	20/10
第一種住居地域		102.3	—	—	83.0	11.0	196.3	6/10	20/10
第二種住居地域		249.8	49.1	25.4	6.4	44.1	374.8	6/10, 8/10	20/10
準住居地域		—	—	—	—	—	—	—	—
近隣商業地域		40.5	9.0	—	26.6	—	76.1	8/10	30/10, 20/10
商業地域		92.9	—	20.4	—	24.0	137.3	8/10	40/10
準工業地域		226.7	20.2	—	9.5	29.0	285.4	6/10	20/10
工業地域		115.7	43.0	—	32.0	4.2	194.9	6/10	20/10
工業専用地域		56.7	—	—	—	—	56.7	6/10	20/10
計 (B)		1, 717.3	221.2	65.7	202.0	121.4	2, 327.6		
都市計画区域に 占める割合 (%)		6.8	0.9	0.3	0.8	0.5	9.2		

#### (2) 防火地域・準防火地域

準防火地域 当初決定 : 昭和25年10月24日

面積 : 159.7ha

(3) 臨港地区

ア 加茂港

種 別 : 地方  
 最終決定年月日 : 平成16年6月 1日  
 面 積 : 約8.0ha

イ 鼠ヶ関港

種 別 : 地方避難  
 最終決定年月日 : 平成26年4月10日  
 面 積 : 約15.2ha

(4) 市街地再開発促進区域

地区名	面積(ha)	事業化の有無	当初決定年月日	最終決定年月日
鶴岡駅前 B街区	0.6	有	S58. 2.28	—

(5) 高度利用地区

地区名	面積(ha)	容積率の限度	建ぺい率	建築面積最低限度(m <sup>2</sup> )	壁面後退距離(m)	当初決定年月日
鶴岡駅前地区	2.4	15/10~40/10	8/10	200	一部区間2.0	S58. 2.28

(6) 高度地区

種別	面積(ha)	高さの最高限度(m)	用途地域等	当初決定年月日	最終決定年月日
第1種高度地区	約1,012	15	第一、二種中高層住居専用地域 第一、二種住居地域 歴史文化ゾーン内の近隣商業地域、商業地域	H16. 12. 9	H30. 9. 13
第2種高度地区	約456	20	近隣商業地域・商業地域 準工業地域、工業地域、工業専用地域 (一部適用除外あり)		
第3種高度地区	約23	35	駅前ゾーン内の商業地域		

※高度地区は鶴岡市街地（大山・湯野浜市街地を除く旧鶴岡市の用途地域）に定めている。

(7) 特別用途地区

種別	用途地域	面積(ha)	当初決定年月日	最終決定年月日	指定の目的	当初条例施行年月日	最終条例施行年月日
第1種集客施設制限地区	準工業地域	約285	H20. 4. 1	H30. 9. 13	大規模な集客施設の立地制限	H20. 4. 1	—
第2種集客施設制限地区	工業地域	約195	H20. 4. 1	H30. 9. 13	大規模な集客施設の立地制限	H20. 4. 1	—

※特別用途地区は鶴岡市街地、藤島市街地、温海市街地の一部の用途地域に定めている。

### 3 地区計画（鶴岡都市計画区域）

#### （1）伊勢横内地区地区計画（平成2年11月28日都市計画決定）

位置：伊勢原町（一部除く）

面積：約25.1ha

##### ア 地区計画の目標

土地区画整理事業効果の維持・増進と、緑豊かで潤いのある良好な市街地の形成を図る。

##### イ 地区整備計画

地区内の建築物については、次の制限を設けている。

##### ① 建築物の敷地面積

230㎡以上でなければならない。

##### ② 建築物の壁面位置

区分	業務地区	住宅地区
道路境界線からの離れ	1.0m以上	1.5m以上
隣地境界線からの離れ	1.0m以上	1.2m以上

##### ③ その他、「広告物とその内容」と「かき又はさくの構造」についても制限を設けている。

#### （2）茅原地区地区計画（平成5年11月30日都市計画決定）

位置：茅原町、大字茅原字草見鶴の各一部

面積：約6.1ha

##### ア 地区計画の目標

土地区画整理事業効果の維持・増進と、ゆとりある良好な市街地の形成を図る。

##### イ 地区整備計画

地区内の建築物については、次の制限を設けている。

##### ① 建築物の用途

マージャン屋、パチンコ屋、カラオケボックス、射的場、ゲームセンター及びこれに類するものは、建築してならない。

##### ② 建築物の敷地面積

230㎡以上でなければならない。

##### ③ 建築物の壁面位置

道路境界線からの離れ 1.5m以上

隣地境界線からの離れ 1.2m以上

##### ④ その他、「広告物とその内容」と「かき又はさくの構造」についても制限を設けている。

#### （3）南部地区地区計画（平成7年12月1日都市計画決定）

位置：苗津町、東原町、長者町の各一部、桜新町、ほなみ町

面積：約40.1ha

##### ア 地区計画の目標

土地区画整理事業効果の維持・増進と、健全で魅力ある市街地の形成を図る。

##### イ 地区整備計画

地区内の建築物については、次の制限を設けている。

##### ① 建築物の用途

マージャン屋、パチンコ屋、カラオケボックス、射的場、ゲームセンター、及びこれに類するものは、建築してならない。

##### ② 建築物の敷地面積

230㎡以上でなければならない。

##### ③ 建築物の壁面位置

道路境界線からの離れ 1.5m以上

隣地境界線からの離れ 1.2m以上

##### ④ その他、「広告物とその内容」と「かき又はさくの構造」についても制限を設けている。

(4) 大山向町地区地区計画（平成7年12月1日都市計画決定）

位置：平成町（一部除く）

面積：約6.3ha

ア 地区計画の目標

土地区画整理事業効果の維持・増進と、緑豊かでゆとりある良好な市街地の形成を図る。

イ 地区整備計画

地区内の建築物については、次の制限を設けている。

- ① 建築物の敷地面積  
230㎡以上でなければならない。
- ② 建築物の壁面位置  
道路境界線からの離れ 1.5m以上  
隣地境界線からの離れ 1.2m以上
- ③ その他、「広告物とその内容」と「かき又はさくの構造」についても制限を設けている。

(5) 西部地区地区計画（平成10年7月16日都市計画決定、平成13年8月24日最終変更）

位置：美咲町（一部除く）

面積：約34.4ha

ア 地区計画の目標

土地区画整理事業効果の維持・増進と業務施設の誘導を図りつつ、良好な住宅環境を保全し、職住近接型の緑あふれるまちの創出を目指す。

イ 地区整備計画

地区内の建築物については、次の制限を設けている。

- ① 建築物の用途（以下の建物を建築することができない）
  - ・シンボルロード地区  
風営法第2条第6項第4号に定める施設に紛うホテルまたは旅館、マージャン屋、パチンコ屋、射的場、勝馬投票券発売所、場外車券発売所その他これらに類するもの、カラオケボックスその他これに類するもの、キャバレー、ナイトクラブ、ダンスホールその他これらに類するもの、自動車教習所、床面積が15㎡を超える畜舎、（都市計画道路苗津大山線の境界から25mについては）住宅、兼用住宅、共同住宅、寄宿舎、下宿
  - ・業務地区、住宅地区  
風営法第2条第6項第4号に定める施設に紛うホテルまたは旅館、マージャン屋、パチンコ屋、射的場、勝馬投票券発売所、場外車券発売所その他これらに類するもの、カラオケボックスその他これに類するもの、キャバレー、ナイトクラブ、ダンスホールその他これらに類するもの、自動車教習所、床面積が15㎡を超える畜舎
- ② 建築物の敷地面積（以下の面積以上でなければならない）  
シンボルロード地区…500㎡以上  
業務地区、住宅地区…230㎡以上
- ③ 建築物の壁面位置  
道路境界線からの離れ 1.5m以上  
隣地境界線からの離れ 1.2m以上
- ④ その他、「広告物とその内容」、「かき又はさくの構造」、1,000㎡以上の土地に対する「緑化の規定」を設けている。

(6) 遠賀原地区（平成14年11月19日都市計画決定）

位置：千石町の一部、のぞみ町の各一部

面積：約9.1ha

ア 地区計画の目標

土地区画整理事業効果の維持・増進と、緑あふれる市街地の創出を目指す。

イ 地区整備計画

地区内の建築物については、次の制限を設けている。

- ① 建築物の用途（以下の建物を建築することができない）  
風営法第2条第6項第4号に紛うホテル・旅館、マージャン屋、パチンコ屋、射的場、勝馬投票券発売所、場外車券発売所その他これらに類するもの、カラオケボックスその他これに類するもの、自動車教習所、床面積が15㎡を超える畜舎

- ② 建築物の敷地面積 230㎡以上でなければならない。
- ③ 建築物の壁面位置
  - 道路境界線からの離れ 1.5m以上
  - 隣地境界線からの離れ 1.2m以上
- ④ その他、「かき又はさくの構造」、「広告物とその内容」を設けている。

(7) 北部地区（平成17年4月7日都市計画決定、平成20年7月1日最終変更）

位置：大宝寺字日本国の一部

面積：約7.2ha

ア 地区計画の目標

健全で良好な住環境を形成・保全し、ゆとりとやすらぎのある市街地の創出を目指す。

イ 地区整備計画

地区内の建築物については、次の制限を設けている。

- ① 建築物の用途
  - A地区 一戸建ての専用住宅は建築できない。建築物の1階部分は店舗又は事務所としなければならない。
- ② 建築物の敷地面積
  - A・D地区… 300㎡以上でなければならない。
  - B・C地区… 230㎡以上でなければならない。
- ③ 建築物の壁面位置
  - 道路境界線からの離れ 1.5m以上
  - 隣地境界線からの離れ 1.2m以上
- ④ その他、「かき又はさくの構造」、「広告物とその内容」、A・D地区では300㎡以上の土地に対する「緑化規定」を設けている。

(8) 小真木原地区（平成17年11月14日都市計画決定、平成28年10月27日最終変更）

位置：日枝字小真木原

面積：約4.4ha

ア 地区計画の目標

美しい街並みと、ゆとりとやすらぎのある市街地の創出を目指す。

イ 地区整備計画

地区内の建築物については、次の制限を設けている。

- ① 建築物の敷地面積
  - 業務地区、住宅地区…230㎡以上でなければならない。
- ② 建築物の壁面位置
  - 道路境界線からの離れ 1.5m以上
  - 隣地境界線からの離れ 1.2m以上
- ③ その他、「広告塔とその内容」、「かき又はさくの構造」、業務地区では1,000㎡以上の土地に対する「緑化の規定」を設けている。

(9) 茅原北地区（平成30年4月16日都市計画決定）

位置：茅原字中谷地、茅原字草見鶴、茅原字西茅原、茅原町、文下字広野の各一部

面積：約35.3ha

ア 地区計画の目標

健全で良好な住宅環境を形成・保存し、「福祉・医療・商業が共存する、出会いと交流のまちづくり」を目指す。

イ 地区整備計画

地区内の建築物については、次の制限を設けている。

- ① 建築物の敷地面積
  - 業務地区、住宅地区…200㎡以上でなければならない。
- ② 建築物の壁面位置
  - 道路境界線からの離れ 1.5m以上
  - 隣地境界線からの離れ 1.2m以上



③ その他、「広告塔とその内容」、「かき又はさくの構造」、1,000㎡以上の土地に対する「緑化の規定」を設けている。

## 4 都市計画施設

### (1) 都市計画道路

#### 都市計画道路総括表

種類	路線数	計画延長 (m)	改良済延長 (m)	概成済延長 (m)	進捗率 (%)
自動車専用道路	2	33,630	15,943	0	47.4
幹線道路	56	103,330	58,720	17,140	56.8
区画道路	3	1,970	1,600	0	81.2
特殊道路	2	630	630	0	100.0
合計	63	139,560	76,893	17,140	55.1

※計画延長は10m単位

※概成済延長…おおむね計画幅員の2/3以上又は4車線以上の幅員を有する区間

※改良済延長、概成済延長については県の基準に合わせた見直しをしている。

#### 都市計画道路一覧表

道路区分 (幅員別)	番号	名称	幅員	車線数	計画	改良済	概成済	整備率(%) 改良済/計画	計画決定年月日	
									当初	最終
自専道	1・3・1	温海鶴岡線	24	4	26,920	13,460	0	50.0	H8.12.10	H11.6.8
	1・5・1	鼠ヶ関温海線	14	2	6,710	2,483	0	37.0	H24.12.25	H25.8.23
	小計	—	—	—	33,630	15,943	0	47.4	—	—
幹線街路 (40~30m)	3・2・1	道形櫛引線	35	4	6,010	1,600	0	26.6	S47.3.31	H21.9.29
	3・2・2	宝田本田線	30	4	1,900	1,900	0	100.0	H11.3.26	—
	小計	—	—	—	7,910	3,500	0	44.2	—	—
幹線道路 (30~22m)	3・3・1	文下清水線	28	4	8,060	7,240	0	89.8	S54.10.15	H11.3.26
	3・3・2	鶴岡三川線	28	4	2,860	2,030	0	71.0	H1.12.22	H11.3.26
	3・3・3	外内島井岡線	28	4	3,470	2,700	0	77.8	H3.7.12	H21.9.29
	小計	—	—	—	14,390	11,970	0	83.2	—	—
// (22~16m)	3・4・2	鶴岡駅櫛引線	18	2	4,150	940	1,330	22.7	S9.4.13	H21.9.29
	3・4・3	羽黒橋加茂線	18	2	5,080	2,260	2,660	44.5	S9.4.13	H21.9.29
	3・4・4	美原町湯田川線	16	2	1,420	1,420	0	100.0	S40.3.17	H25.3.1
	3・4・5	苗津大山線	16	2	5,470	3,820	700	69.8	S40.3.17	H11.6.8
	3・4・6	鳥居町新斎部線	16	2	1,820	230	0	12.6	S30.3.17	H11.6.8
	3・4・7	大宝寺狩川線	16	2	930	930	0	100.0	S9.4.13	H21.9.29
	3・4・8	道形面野山線	16	2	2,090	1,630	460	78.0	S30.11.24	H11.3.26
	3・4・9	鶴岡駅外内島線	20	2	3,620	2,920	390	80.7	S9.4.13	H12.3.31
	3・4・10	友江二才山線	16	2	2,020	2,020	0	100.0	S35.1.30	H21.9.29
	3・4・12	北大山公園線	16	2	450	160	0	35.6	S26.9.15	H12.3.31
	3・4・13	南町馬町線	16	2	2,250	740	0	32.9	S35.1.30	H21.9.29
	3・4・14	大山駅安良町線	16	2	700	0	600	0.0	S35.1.30	H21.9.29
	3・4・15	山田善宝寺線	16	2	3,550	2,500	800	70.4	S54.10.15	H21.9.29
	3・4・16	鶴岡駅錦町線	16	2	570	200	150	35.1	S58.2.28	H12.3.31
	3・4・17	苗津斎場線	16	2	510	510	0	100.0	S63.2.26	H12.3.31
	3・4・18	荒田伊勢横内線	16	2	490	490	0	100.0	S63.2.26	H12.3.31
	3・4・19	山王町本町線	18	2	1,290	460	0	35.7	S63.2.26	H27.9.17
	3・4・20	菅原土手鳥居町線	16	2	820	820	0	100.0	S9.4.13	H12.3.31
	3・4・21	布目平京田線	18	2	510	510	0	100.0	H8.5.21	H12.3.31
	3・4・22	鶴岡駅茅原線	18	2	2,210	1,580	330	71.5	S40.3.17	H11.4.12
3・4・31	笹花学校前線	16	2	350	350	0	100.0	S51.3.29	H25.8.23	
3・4・32	山ノ前下町線	20	2	1,770	190	1,260	10.7	S51.3.29	H25.8.23	

道路区分 (幅員別)	番 号	名 称	幅員	車線数	計画	改良済	概成済	整備率(%) 改良済/計画	計画決定年月日	
									当初	最終
幹線道路 (22~16m)	3・4・33	上藤島山ノ前線	18	2	970	310	80	32.0	S51.3.29	H25.8.23
	3・4・34	藤島下町線	18	2	480	0	0	0.0	S51.6.2	H25.8.23
	3・4・35	古郡下町線	18	2	1,600	0	0	0.0	S51.3.29	H25.8.23
	3・4・36	藤島早田線	20	2	510	510	0	100.0	S51.6.2	H25.8.23
	3・4・41	温海線	18	2	1,150	190	0	16.5	H8.12.10	H25.8.23
	小計	—	—	—	46,780	25,690	8,760	54.9	—	—
〃 (16~12m)	3・5・1	蛾眉橋豊浦線	15	2	7,350	6,720	630	91.4	S30.11.24	H11.3.26
	3・5・2	十三軒町大泉線	12	2	2,400	0	1,800	0.0	S9.4.13	H2.3.9
	3・5・3	三瀬楮浜線	13	2	1,960	1,960	0	100.0	S43.4.23	H21.9.29
	3・5・4	鶴岡駅新斎部線	12	2	2,840	90	200	3.2	S40.3.17	H12.4.6
	3・5・6	荒町三川橋線	12	2	460	0	300	0.0	S30.11.24	H12.4.6
	3・5・8	上栄町南町線	12	2	540	420	0	77.8	S35.1.30	H12.4.6
	3・5・11	道田漁港線	13	2	430	430	0	100.0	S43.4.23	H12.4.6
	3・5・12	川原田楮浜線	13	2	260	0	0	0.0	S43.4.23	H12.4.6
	3・5・13	土手下紙漉町線	12	2	350	350	0	100.0	S47.12.20	H12.4.6
	3・5・14	南銀座通線	15	2	410	280	130	68.3	S63.2.26	H12.4.6
	3・5・15	神明町海老島線	12	2	1,190	580	40	48.7	S9.4.13	H25.3.1
	3・5・31	藤島駅笹花線	13	2	810	800	0	98.8	S51.3.29	H25.8.23
	3・5・32	上藤島古郡線	12	2	730	0	0	0.0	S51.6.2	H25.8.23
	3・5・33	藤島駅上藤島線	12	2	1,080	350	50	32.4	S51.6.2	H25.8.23
	3・5・41	荻田岳ノ腰線	12	2	1,560	0	1,080	0.0	S46.3.29	H25.8.23
	3・5・42	湯温海荻田線	12	2	1,080	290	0	26.9	S48.4.23	H25.8.23
	3・5・43	弁天島線	15	2	600	290	0	48.3	S46.3.29	H25.8.23
	3・5・44	鼠ヶ関駅前通り線	13	2	200	80	120	40.0	S46.3.29	H25.8.23
	3・5・45	葉月橋通り線	15	2	110	110	0	100.0	S57.5.31	H25.8.23
	小計	—	—	—	24,360	12,750	4,350	52.3	—	—
〃 (12~8m)	3・6・1	道形黄金線	12	2	6,550	2,770	2,730	42.3	S9.4.13	H22.11.30
	3・6・6	馬場町五日町線	8	2	570	310	260	54.4	S9.4.13	H12.4.6
	3・6・41	湯温海川岸線	8	2	340	240	100	70.6	S46.4.6	H25.8.23
	3・6・42	天魄線	11	2	1,360	1,360	0	100.0	H8.11.27	H25.8.23
	小計	—	—	—	8,820	4,680	3,090	53.1	—	—
〃 (8m未満)	3・7・1	湯野浜七窪線	7	2	1,070	130	940	12.1	S25.7.15	H12.4.6
	小計	—	—	—	1,070	130	940	12.1	—	—
区画街路	7・5・1	錦町公園新道線	12	2	90	90	0	100.0	S58.2.28	H12.4.6
	7・5・2	苗津八ツ興屋線	12	2	1,050	680	0	64.8	H5.6.3	H12.4.6
	7・6・1	畑福大場川原線	9	2	830	830	0	100.0	S63.2.26	H12.4.6
	小計	—	—	—	1,970	1,600	0	81.2	—	—
特殊街路	8・5・1	銀座通線	15	—	540	540	0	100.0	S63.2.26	—
	8・7・1	鶴岡駅中央工業団地線	6	—	90	90	0	100.0	S58.2.28	—
	小計	—	—	—	630	630	0	100.0	—	—
合 計					139,560	76,893	17,140	55.1		

(2) 都市計画公園  
都市計画公園総括表

種別	計画決定公園		左のうち開設公園		開設率 (%)	一人当たり 面積 (㎡)
	箇所数	面積 (ha)	箇所数	面積 (ha)		
街区公園	58	11.08	56	10.71	96.7	0.97
近隣公園	4	6.90	4	6.90	100.0	0.62
総合公園	1	12.80	1	12.00	93.8	1.09
運動公園	1	22.90	1	22.60	98.7	2.05
特殊公園	2	15.10	1	7.40	49.0	0.67
合計	66	68.78	63	59.61	86.7	5.43

※1人当たり面積は令和5年3月31日現在、都市計画区域内人口（109,731人：推計値）から算定

都市計画公園一覧表

(A：D I D区域内 B：D I D区域外縁から市街化区域内縁までの区域 C：市街化調整区域)

種別	名 称		位 置	区域	計画面積 (ha)	開設面積 (ha)	当初決定 年月日	最終決定 年月日
	番号	公 園 名						
街区	2・2・1	東 部 公 園	大 東 町	A	0.17	0.17	S28.1.29	S46.4.13
	2・2・2	※欠番	—	—	—	—	—	—
	2・2・3	駅 前 公 園	末 広 町	A	0.14	0.14	S28.5.16	S46.4.13
	2・2・4	南 部 公 園	睦 町	A	0.13	0.13	S30.4.12	S46.4.13
	2・2・5	錦 町 公 園	錦 町	A	0.25	0.25	S34.10.2	S46.4.13
	2・2・6	鳥居町北公園	鳥 居 町	A	0.13	0.13	S49.8.1	H10.7.16
	2・2・7	杉の子公園	鳥 居 町	A	0.24	0.24	S49.8.1	—
	2・2・8	鳥居町南公園	鳥 居 町	A	0.13	0.13	S49.8.1	H10.7.16
	2・2・9	舞 台 公 園	神 明 町	A	0.33	0.33	S49.8.1	—
	2・2・10	みどり町公園	み どり 町	A	0.15	0.15	S49.8.1	—
	2・2・11	ひまわり公園	平京田字屋敷廻	B	0.09	0.09	S49.8.1	—
	2・2・12	美原町公園	美 原 町	A	0.17	0.17	S52.3.25	—
	2・2・13	天保恵公園	大 山 一 丁 目	B	0.15	0.15	S52.3.25	—
	2・2・14	大山東公園	友 江 町	B	0.33	0.33	S52.3.25	—
	2・2・15	新形公園	新 形 町	A	0.10	0.10	S53.10.3	—
	2・2・16	新海町公園	新 海 町	A	0.20	0.20	S53.10.3	H10.7.16
	2・2・17	長者町東公園	長 者 町	A	0.13	0.13	S53.10.3	—
	2・2・18	長者町西公園	長 者 町	A	0.15	0.15	S53.10.3	—
	2・2・19	大宝地公園	大 宝 寺 町	A	0.09	0.09	S53.10.3	—
	2・2・20	北田公園	稲 生 二 丁 目	A	0.19	0.19	S53.10.3	—
	2・2・21	船渡公園	朝 暘 町	A	0.13	0.13	S54.10.8	—
	2・2・22	日の出公園	日 出 一 丁 目	A	0.15	0.15	S54.10.8	—
	2・2・23	さいわい公園	青 柳 町	A	0.13	0.13	S54.10.8	—
	2・2・24	日枝公園	日 枝 字 海 老 島	B	0.13	0.13	S57.3.4	—
	2・2・25	西新斎町公園	西 新 斎 町	A	0.15	0.15	S57.3.4	—
	2・2・26	荒田公園	日 出 二 丁 目	A	0.08	0.08	S57.3.4	—
	2・2・27	茅原公園	茅 原 町	A	0.16	0.16	S57.3.4	—
	2・2・28	大西町公園	大 西 町	A	0.13	0.13	S58.2.28	—
	2・2・29	大塚公園	大 塚 町	A	0.26	0.26	S59.12.6	—
	2・2・30	大部公園	大 部 町	A	0.52	0.52	S59.12.6	—
	2・2・31	八坂公園	大 東 町	A	0.12	0.12	S62.6.8	—
	2・2・32	城南町公園	城 南 町	A	0.17	0.17	S62.6.8	—
	2・2・33	道形公園	道 形 町	A	0.20	0.20	H1.6.14	—
	2・2・34	砂田公園	砂 田 町	A	0.14	0.14	H1.6.14	—
	2・2・35	おおひがし公園	東 原 町	A	0.12	0.12	H1.6.14	—

※2・2・2は旧内川公園。平成2年度に内川河川緑地に変更したもので現在の「内川ほっとパーク」

種別	名 称		位 置	区域	計画面積 (ha)	開設面積 (ha)	当初決定 年月日	最終決定 年月日	
	番 号	公 園 名							
街区	2・2・36	伊勢横内公園	伊勢原町	A	0.35	0.35	H2.6.8	—	
	2・2・37	みずき公園	伊勢原町	A	0.25	0.25	H2.6.8	—	
	2・2・38	ふれあい公園	伊勢原町	A	0.20	0.20	H2.6.8	—	
	2・2・39	日和田公園	日和田町	A	0.15	0.15	H2.11.28	H3.2.28	
	2・2・40	道田公園	道田町	A	0.18	0.18	H2.11.28	—	
	2・2・41	新形北公園	新形町	A	0.17	0.17	H4.3.31	—	
	2・2・42	とりのす公園	城北町	A	0.19	0.19	H4.3.31	—	
	2・2・43	日吉町公園	日吉町	A	0.15	0.15	H5.6.3	—	
	2・2・44	やすらぎ公園	茅原町	A	0.19	0.19	H6.9.30	—	
	2・2・45	文園町公園	文園町	A	0.18	0.18	H6.9.30	—	
	2・2・46	向町公園	平成町	B	0.19	0.19	H6.9.30	—	
	2・2・47	やつこうや公園	ほなみ町	A	0.20	0.20	H6.9.30	H10.7.16	
	2・2・48	なえづ公園	東原町	A	0.17	0.17	H6.9.30	H10.7.16	
	2・2・49	ふじわら公園	桜新町	A	0.20	0.20	H6.9.30	H10.7.16	
	2・2・50	城南西公園	城南町	A	0.20	0.20	H7.12.1	—	
	2・2・51	新町公園	新海町	A	0.20	0.20	H8.12.9	—	
	2・2・52	布目東通公園	美咲町	A	0.25	0.25	H10.7.16	—	
	2・2・53	宝町公園	宝町	A	0.26	0.26	H10.7.16	—	
	2・2・54	平成公園	平成町	B	0.15	—	H10.7.16	—	
	2・2・55	西茅原公園	茅原字西茅原	A	0.22	—	H13.8.24	—	
	2・2・56	茅原あねちゃ広場	北茅原町	A	0.25	0.25	R4.9.20		
	2・2・57	茅原ただち広場	北茅原町	A	0.50	0.50	R4.9.20		
	2・2・61	笹花公園	藤島字笹花	B	0.20	0.20	S61.12.10	H25.8.23	
	2・2・62	藤島駅前公園	上藤島字備中下	B	0.22	0.22	S61.12.10	H25.8.23	
	計 58か所				A計	9.62	9.40		
					B計	1.46	1.31		
合計					11.08	10.71			
近隣	3・3・1	湯田川公園	湯田川字中田、外	C	2.40	2.40	S33.9.4	S46.3.29	
	3・3・2	鶴岡東公園	朝陽町	A	1.00	1.00	S54.10.5	—	
	3・3・3	鶴岡南部公園	ほなみ町	A	1.50	1.50	H6.9.30	—	
	3・3・4	鶴岡西部公園	美咲町	B	2.00	2.00	H10.7.16	—	
	計 4か所				A計	2.50	2.50		
B計					2.00	2.00			
C計					2.40	2.40			
合計					6.90	6.90			
総合	5・5・1	鶴岡公園	馬場町、本町三丁目	A	12.80	12.00	S23.3.31	H11.12.14	
	計 1か所					12.80	12.00		
運動	6・5・1	小真木原公園	小真木原町、 日枝字小真木原	A	22.90	22.60	S50.3.26	H11.3.26	
	計 1か所					22.90	22.60		
特殊	7・4・1	大山公園	大山三丁目	C	7.40	7.40	S49.11.8	S57.2.26	
	8・4・1	都沢公園	大山三丁目、外	C	7.70	—	H11.4.12	—	
	計 2か所					15.10	7.40		

種別	名 称		位 置	区域	計画面積 (ha)	開設面積 (ha)	当初決定 年月日	最終決定 年月日
	番 号	公 園 名						
緑地	1	中央工業団地緑地	宝田二丁目	B	0.2	0.2	S57. 3. 4	—
	2	虹の広場緑地	宝田一丁目	A	0.3	0.3	S57. 3. 4	H30. 1. 17
	3	いこいの広場緑地	宝田三丁目	A	0.4	0.4	S59. 12. 6	—
	4	赤川河川緑地	大宝寺字大宝地	C	138.8	52.1	S61. 2. 21	H27. 3. 31
			字中野					
			字立野					
			伊勢横内字大場川原					
			字前川原					
			字堀場					
			齋藤川原字石川端					
			我老林字東川原					
			勝福寺字根木瀬					
	字八朗右エ門畑							
	字福島							
黒川字大杉川原								
5	庄内空港緩衝緑地	茨新田字砂山	C	6.5	6.5	S63. 11. 18	H2. 3. 9	
6	内川河川緑地	本町一丁目、外	A	2.6	0.2	H3. 3. 1	—	
計 6か所				A計	3.3	0.9		
				B計	0.2	0.2		
				C計	145.3	58.6		
				合計	148.8	59.7		

都市公園一覧（都市計画決定をしていない公園）

（A：DID区域内 B：DID区域外縁から市街化区域内縁までの区域 C：市街化調整区域）

種別	名称	位置	面積(ha)	開設年月日	区域
街区	神楽橋公園	三光町	0.09	S23. 10. 23	A
	箴橋公園	美原町	0.05	S55. 3. 28	A
	睦町公園	睦町	0.05	S42. 10. 13	A
	三光町公園	三光町	0.05	S44. 8. 30	A
	青柳町公園	青柳町	0.09	S46. 4. 1	A
	新形東公園	新形町	0.07	S57. 4. 8	A
	おんがわら公園	のぞみ町	0.25	H18. 9. 1	B
	本町二丁目広場	本町二丁目	0.16	H30. 4. 1	A
	藤島南部児童公園	箕升新田字大谷地	0.36	S63. 4. 1	C
	藤島こども広場	藤島字向楯跡	0.47	S63. 4. 1	B
	藤島町河川公園	藤島字川向	0.17	H3. 4. 1	B
	村前第一公園	藤島字村前	0.08	H10. 4. 1	B
	村前第二公園	藤島字村前	0.05	H10. 4. 1	B
	下山添公園	下山添字中通	0.43	H18. 4. 1	C
	小計	14か所	2.37		
近隣	藤島歴史公園	藤島字山ノ前	2.41	H23. 3. 31	B
	温海公園	湯温海字湯温海	0.40	S39. 4. 1	B
	大清水公園	湯温海字獄之腰	0.04	S39. 4. 1	B
	小計	3か所	2.85		
緑地	西工業団地緑地	大宝寺字日本国	0.51	H6. 3. 31	B
	空にかける階段緑地	美咲町	0.21	H14. 11. 1	B
	日本国公園	大宝寺字日本国	0.40	H19. 3. 30	B
	小計	3か所	1.12		
合 計		20か所	6.34		

## (3) 都市計画駐車場

番号	駐車場名	計画		開設		階層／構造	最終決定年月日
		面積(ha)	台数(台)	面積(ha)	台数(台)		
1	鶴岡駅前再開 発ビル駐車場	0.66	768	0.66	768	地上6階7層 (自走・機械併用式)	S62.6.8
2	鶴岡駅前公共自 転車駐車場	0.04	自転車 420	0.04	自転車 400	地上2階	S58.2.28
計		0.70	自動車 768 自転車 420	0.70	自動車 768 自転車 400		

## (4) 河川 (鶴岡、酒田、三川都市計画区域)

番号	名称	幅員(m)	計画延長(m)	当初決定年月日	最終決定年月日	備考
1	赤川	150～480	約 28,970	S63.12.16	H25.8.23	

## (5) 都市計画火葬場

番号	名称	位置	面積 (㎡)	当初決定年月	最終決定年月日	処理能力
1	鶴岡市火葬場	伊勢原町	約10,000	S25.7.29	S60.3.7	12体/日

## (6) 都市計画ごみ焼却汚物処理場

番号	名称	位置	面積 (㎡)	当初決定年月日	最終決定年月日	処理能力
1	鶴岡市 ごみ焼却汚物 処理場	宝田三丁目	約27,900	S63.2.26	H30.1.17	ごみ焼却処理施 設：165 t / 日 汚物処理施設： 152k1/日
2	鶴岡市ほか六箇 町村衛生処理組 合ごみ中間処理 施設「リサイク ルプラザ」	水沢字水京	約9,800	H14.8.7	H16.6.1	55 t / 日

## (7) 都市計画学校

番号	名称	位置	面積 (㎡)	当初決定年月日	最終決定年月日
1	東北公益文科大学大学院・ 慶應義塾先端環境科学研究センター棟 (校舎棟、厚生棟、研修棟) (仮称)	馬場町	約9,900	H11.12.14	—

## (8) 土地区画整理事業実施状況

地区名	町名	施行面積	施行者	事業年度	認可告示日	換地処分告示日	摘要
金沢	金沢	0.6ha	組合	S25～26	S25	S26	
駅前	末広町	2.8	市	26～29	S27.5.6	S29.3.5	耕地整理法
連乗寺前	錦町	12.4	〃	31～35	S32.1.25	S36.2.28	
荒町東第一	鳥居町	8.3	〃	34～41	S34.12.25	S41.3.2	
新斎部	みどり町	5.3	組合	36～38	S37.1.22	S38.6.14	
切添	鳥居町	9.0	市	38～42	S38.8.16	S43.2.21	
一小前	睦町	2.4	組合	39～42	S40.1.18	S42.9.16	
大下	美原町	0.8	〃	40～41	S40.4.5	S41.3.30	
三光町	三光町	1.8	〃	43～44	S43.5.6	S44.8.4	
天保恵	大山一丁目	5.3	〃	46～55	S46.10.27	S55.10.31	
舞台南	三和町・千石町	20.0	〃	46～53	S46.12.20	S52.11.30	
東部	切添町・朝陽町・ 日出一丁目	42.6	市	47～57	S48.12.25	S57.9.30	
友江	友江町	11.3	組合	48～54	S48.11.26	S54.11.24	
大宝地	大宝寺町	3.0	〃	49～53	S49.9.9	S53.5.31	
新町南	新海町	4.4	〃	52～56	S53.1.4	S56.10.31	
城南	城南町	4.0	〃	56～61	S56.8.21	S61.10.31	
道形東部	道形町	6.7	〃	58～H元	S58.6.21	H1.10.31	
大東	日出一丁目・東原町	1.2	〃	58～62	S58.11.11	S63.2.26	
新地	大東町	0.6	〃	60～63	S61.2.12	S63.12.2	
伊勢横内	伊勢原町	26.6	〃	63～H4	S63.11.29	H4.11.10	
茅原	茅原町	6.1	〃	H4～8	H4.11.27	H7.10.20	
南部	苗津町・東原町・ ほなみ町・桜新町	40.1	〃	5～11	H5.11.24	H11.9.24	
大山向町	平成町	6.3	〃	6～9	H6.7.15	H9.7.25	
西部	美咲町	34.5	〃	8～14	H8.10.4	H14.10.4	
遠賀原	千石町・のぞみ町	8.2	〃	13～17	H13.6.19	H17.8.26	
笹花	中町	1.3	共同	S59～61	S60.3.7	S61.7.22	
温海	温海温泉	13.6	旧町	S26～29	S26.8.1	S29.11.16	
茅原北	茅原字草見鶴・茅原字中谷 地・茅原町・文下字広野	25.0	組合	H27～R5	H27.10.30	—	施行中

# ■ 都市再開発事業

## 1 鶴岡駅前地区計画

- (1) 施行者の名称 鶴岡市  
 (2) 施行地区の区域 鶴岡市末広町の1. 3. 4. 5番の一部  
 (3) 施行地区の面積 約1.7ha  
 (4) 施行地区の地域地区  
     ア 商業地域     イ 準防火地域  
 (5) 事業の概要  
     公共施設計画

名 称	幅 員 (従前)	延 長	面 積
3・4・2 鶴岡駅御引線	22m (15.0)	約 61m	1,377.1m <sup>2</sup>
3・4・9 鶴岡駅外内島線	16 (7.0)	約 90	654.3
3・4・16 鶴岡駅錦町線	16 (8.5)	約 62	600.9
7・6・1 錦町公園新道線	10 (6.0)	約 90	534.3
市道A-056 末広町4号線	6 (3.0)	約 13	47.8
〃 A-057 〃 5号線	6	約 36	217.4
鶴岡駅中央工業団地線	6	90.2	480.9
鶴岡駅前公共自転車駐車場			422.4
駅前広場			6,500.1

### 施設建築物計画

	敷地面積(m <sup>2</sup> )	建築面積(m <sup>2</sup> )	延床面積(m <sup>2</sup> )	主要用途(現行)
西棟	3,165	2,354	10,775	店舗 452m <sup>2</sup> 公益施設 2,555m <sup>2</sup> 事務所 1,267 共用部分 3,141 ホテル 3,360 (S88 T16 D8室)
東棟	3,746	3,105	15,586	店舗 4,151m <sup>2</sup> 公益施設 1,184m <sup>2</sup> 共用部分 3,872 駐車場 6,379 (297台)
合計	6,911	5,459	26,361	店舗 4,603m <sup>2</sup> 公益施設 3,739m <sup>2</sup> 事務所 1,267 共用部分 7,013 ホテル 3,360 駐車場 6,379

- (6) 事業施行期間 昭和57年～昭和62年

- (7) 資金計画

総額 88億3,081万円	}	国補助金	9億6,726万円
		県補助金	11億8,880万円
		市債	17億1,567万円
		国鉄等負担金	3,130万円
		その他	9億1,003万円
		保留床処分金	40億1,755万円



- 2 鶴岡駅前A街区計画** ※平成18年4月20日 施設建築物解体撤去済み
- (1) 施行者の名称 鶴岡駅前A地区第一種市街地再開発個人施行者
- (2) 施行地区の区域 鶴岡市末広町7番の一部
- (3) 施行地区の面積 約0.55ha
- (4) 施行地区の地域地区  
ア 商業地域 イ 準防火地域
- (5) 事業の概要  
公共施設計画

区分	名称		幅員(従前)	延長	面積	備考
幹線街路	3・4・2	鶴岡駅櫛引線	22(15)m	57m	421㎡	都市計画決定済み
	3・4・9	鶴岡駅外内島線	16(4~9)	59	188	都市計画決定変更
区画街路	市道A-062	末広町10号線	6(4)	45	221	
	〃 A-057	〃 5号線	6(4)	74		
合 計					830	

施設建築物計画 ※平成18年4月20日 施設建築物解体撤去済み

- (6) 事業施行期間 昭和57年~60年
- (7) 資金計画

総額 28億5,815万円	補助金 3億3,222万円 保留床処分金 3,389万円 その他 24億9,204万円	国 1億6,611万円 県 8,108万円 市 8,503万円
---------------	---	---------------------------------------

**3 鶴岡駅前B街区計画**

- (1) 施行者の名称 鶴岡駅前B地区第一種市街地再開発個人施行者
- (2) 施行地区の区域 鶴岡市末広町14番、15番
- (3) 施行地区の面積 約0.57ha
- (4) 施行地区の地域地区  
ア 商業地域 イ 準防火地域
- (5) 事業の概要  
公共施設計画

区分	名称		幅員(従前)	延長	面積	備考
幹線街路	3・4・9	鶴岡駅外内島線	16(4~9)m	67m	538.4㎡	都市計画決定変更
区画街路	市道A-059	末広町7号線	9(5)	87	614.5	現況
合 計					1,152.9	

施設建築物計画

敷地面積	建築面積	延床面積	用途等
4,287㎡	2,273.7㎡	13,375.4㎡	店舗1F、事務所1F、駐車場1~6F(471台)

- (6) 事業施行期間 昭和59年~61年
- (7) 資金計画

総額 12億8,090万円	補助金 1億1,803万円 保留床処分金 2,343万円 その他 11億3,944万円	国 5,832万円 県 2,847万円 市 3,124万円
---------------	---	-------------------------------------

# ■ 住 宅

## 1 建築確認申請受付件数

(単位：件)

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市	229	219	251	267	242	288	280
指定確認検査機関	279	292	338	328	328	317	244
合 計	508	511	589	595	570	605	524

※4号建築物等に係る確認申請（計画通知及び工作物を含み、計画変更を除く）

## 2 市 営 住 宅

### (1) 住宅別管理戸数

城南住宅	16戸	七窪住宅	6戸	} 合計 822戸
ちわら住宅	80戸	ふじなみ住宅	47戸	
美原住宅	148戸	荒川住宅	10戸	
稲生住宅	96戸	下名川住宅	22戸	
東部住宅	80戸	紅葉岡住宅	80戸	
みどり住宅	48戸	柳原住宅	40戸	
大西住宅	96戸	荒川特公賃住宅	7戸	
大山住宅	42戸	名川特公賃住宅	4戸	

### (2) 入居申込状況

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入居募集戸数	91	102	99	81	83	102	74
申 込 件 数	51	56	46	42	42	57	49
倍 率	0.56	0.55	0.46	0.52	0.51	0.56	0.66

## 3 鶴岡市住宅リフォーム支援補助事業

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利 用 件 数	370	367	280	331	300
補助額（千円）	79,149	82,388	56,710	80,909	74,343
対象工事費(千円)	1,209,326	1,188,339	1,006,749	927,479	1,097,455

## 4 鶴岡市木造住宅耐震診断・耐震改修補助事業

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
耐震診断利用件数	15	5	9	6	10	7	3
耐震改修利用件数	3	3	2	1	5	1	2

# ■ 道路・橋梁

## 1 市道の状況

(各年4月1日現在)

年	路線数 (路線)	道路延長 (m)	舗装道		砂利道	
			延長(m)	率(%)	延長(m)	率(%)
平成22年	3,461	1,501,969	1,354,178	90.2	147,791	9.8
平成23年	3,475	1,505,452	1,358,607	90.2	146,844	9.8
平成24年	3,484	1,507,878	1,362,467	90.4	145,411	9.6
平成25年	3,491	1,510,599	1,366,018	90.4	144,740	9.6
平成26年	3,499	1,511,482	1,367,459	90.5	144,182	9.5
平成27年	3,509	1,512,653	1,368,967	90.5	143,848	9.5
平成28年	3,513	1,513,418	1,369,728	90.5	143,852	9.5
平成29年	3,525	1,515,202	1,371,636	90.5	143,724	9.5
平成30年	3,534	1,517,474	1,374,182	90.6	143,295	9.4
平成31年	3,535	1,517,515	1,374,752	90.6	142,846	9.4
令和2年	3,547	1,521,149	1,378,454	90.6	142,777	9.4
令和3年	3,585	1,523,652	1,381,358	90.7	142,294	9.3
令和4年	3,589	1,528,078	1,385,783	90.7	142,294	9.3
令和5年	3,594	1,528,031	1,385,737	90.7	142,294	9.3

## 2 橋梁の状況 (令和5年4月1日現在)

永久橋	838か所	12,403.7m
木橋	3か所	56.2m
混合橋	1か所	9.2m

## 3 道路・橋梁・河川整備

			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
道路維持補修	原材料	敷砂利	52m <sup>3</sup>	10m <sup>3</sup>	29m <sup>3</sup>	22m <sup>3</sup>
		常温合材	1,738袋	1,414袋	2,260袋	2,783袋
		側溝蓋	64枚	205枚	183枚	226枚
補修	市道補修工事		15件 2,710万円	10件 1,869万円	7件 1,287万円	10件 1,889万円
	区画線工事		3件 862万円	2件 733万円	2件 955万円	2件 1,000万円
道路舗装新設補助			1件 72.9m 187.2m <sup>2</sup> 96.3万円	2件 90.2m 177.1m <sup>2</sup> 88.2万円	1件 54.0m 75m <sup>2</sup> 74.2万円	2件 44.1m 73.7m <sup>2</sup> 61.9万円
共同下水溝整備補助			0件 0m 0万円	0件 0m 0万円	1件 16.6m 20万円	0件 0m 0万円
市道改良			28か所 814m 4億9,818万円	17か所 1,700m 4億8,550万円	17か所 933m 3億5,148万円	38か所 2,794m 6億5,946万円
舗装新設改良			0か所 0m <sup>2</sup> 0万円	0か所 0m <sup>2</sup> 0万円	0か所 0m <sup>2</sup> 0万円	0か所 0m <sup>2</sup> 0万円
溝渠新設改良			6か所 80m 5,489万円	1か所 18m 624万円	1か所 6m 731万円	0か所 0m 0万円
側溝新設改良			5か所 310m 4,228万円	12か所 474m 5,590万円	10か所 911m 9,169万円	6か所 529m 4,524万円
表層改良			5か所 6,599m <sup>2</sup> 3,681万円	2か所 3,350m <sup>2</sup> 1,902万円	5か所 3,625m <sup>2</sup> 1,573万円	4か所 2,379m <sup>2</sup> 1,356万円

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
橋 梁 整 備	16カ所 130.9m 3億7,572万円	6カ所 157.6m 5億1,678万円	2カ所 30.0m 2億216万円	22カ所 563.6m 3億2,862万円
河 川 改 良	0カ所 0m 0万円	0カ所 0m 0万円	0カ所 0m 0万円	0カ所 0m 0万円
市単独災害復旧（請負工事）	2件 774万円	1件 362万円	0件 0万円	0件 0万円
公 共 災 害 復 旧	17カ所 936m 1億8,007万円	4カ所 64.4m 6,700万円	0カ所 0m 0万円	2カ所 18m 3,356万円

#### 4 除雪の状況

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
道路	路線数	3,124路線	3,150路線	3,154路線	3,164路線
	計画延長	1,132.9km	1,137.5km	1,138.4km	1,140.9km
歩道	路線数	145路線	146路線	146路線	148路線
	計画延長	103.6km	105.0km	105.1km	105.4km
道路除雪日数		52日	85日	104日	109日
歩道除雪日数		11日	35日	44日	33日
排雪日数		0日	49日	64日	63日
除雪対策費		4億4,278万円	14億9,595万円	21億5,427万円	13億7,467万円
最大積雪深	鶴岡公園	29cm	94cm	102cm	41cm
	大 網	103cm	311cm	302cm	252cm
凍結防止剤 (25kg/袋)		塩化ナトリウム 3,009袋	塩化ナトリウム 11,140袋	塩化ナトリウム 14,180袋	塩化ナトリウム 9,290袋

# 上下水道

## ■ 水道事業

※鶴岡市水道事業は、平成21年4月1日に月山水道企業団と事業統合し、鶴岡市と三川町、村上市の一部を給水区域として業務を行っている。

### 1 水道施設

区 分	鶴 岡 市 水 道 事 業
水 源 の 種 別	浄水受水、地下水、湧水、伏流水、表流水
水 源 数	庄内南部広域水道用水及び自己水源37か所
配 水 方 式	自然流下
発 電 設 備	6台 合計 277.5KVA (庁舎、高坂、豊浦、大針、温海、五十川)
配 水 池 容 量	高坂配水池 25,800m <sup>3</sup> その他の配水池 26,384m <sup>3</sup>

### 2 業務実績

項 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
総 人 口 (人)	130,507	128,743	126,824	
計 画 給 水 人 口 (人)	145,580	145,580	145,580	
現 在 給 水 人 口 (人)	130,018	128,184	126,160	
普及率	対 総 人 口 (%)	99.6	99.6	99.5
	対 計 画 給 水 人 口 (%)	89.3	88.1	86.7
給 水 戸 数 (戸)	51,475	51,590	51,614	
給 水 栓 数 (栓)	57,188	57,300	57,366	
年 間 総 給 水 量 (m <sup>3</sup> )	16,177,575	16,079,450	16,187,228	
一 日 最 大 給 水 量 (m <sup>3</sup> )	48,284	49,018	58,753	
一 日 平 均 給 水 量 (m <sup>3</sup> )	44,322	44,053	44,349	
年 間 総 有 収 水 量 (m <sup>3</sup> )	14,012,240	13,825,311	13,665,027	
有 収 率 (%)	86.6	86.0	84.4	
導・送・配水管延長(km)	1,376	1,382	1,383	
職 員 数 (人)	36	36	37	

※総人口は、行政区域外（三川町・新潟県村上市山北）の給水人口を含む。

### 3 年度別財政状況

(1) 収益的収支

(単位：千円) (消費税込)

		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(当初予算)
収 益	営 業 収 益	3,204,660	3,177,419	3,128,030
	営 業 外 収 益	470,703	450,207	416,207
	特 別 利 益	16,353	0	1
	計	3,691,716	3,627,626	3,544,238
費 用	営 業 費 用	3,010,447	3,095,609	3,164,441
	営 業 外 費 用	154,247	135,777	120,988
	特 別 損 失	1,705	101	735
	予 備 費	0	0	6,000
	計	3,166,399	3,231,487	3,292,164
事 業 損 ( △ ) 益		525,317	396,139	252,074

## (2) 資本的収支

		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(当初予算)
収	入	89,555	62,277	695,444
支	出	1,365,988	1,257,485	1,662,323
差	引	△ 1,276,433	△ 1,195,208	△ 966,879

## 4 拡張事業の経緯と事業認可(統合)

			認可年月	工 期	計 画	
					給水人口(人)	1日最大給水量(m <sup>3</sup> )
鶴岡地域	鶴岡上水道	創 設	昭和 6.12	(給水開始)昭和 8.11	40,000	5,000
		第一期拡張事業	昭和27. 6	昭和27.10~31. 3	45,000	10,800
		第二期拡張事業	昭和37. 1	昭和37. 4~43. 3	60,000	16,200
		第三期拡張事業	昭和50. 3	昭和50. 4~56. 3	96,000	50,800
		第四期拡張事業	平成 8. 2	平成 8. 4~23. 3	106,400	72,700
羽黒地域	羽黒上水道	創 設	昭和29. 8	(給水開始)昭和30. 1	850	110
		第一次拡張事業	昭和53. 6	昭和53. 6~53. 9	6,700	2,680
		第二次拡張事業	平成 6. 3	平成 6. 7~13. 3	10,200	6,483
櫛引地域	櫛引上水道	創 設 (2簡易水道事業を統合)	平成10. 3	(給水開始)平成10. 4	8,600	5,000
		たらのき代簡易水道	創 設	昭和38. 7	(給水開始)昭和38.11	370
朝日地域	朝日上水道	第一期拡張事業	平成 3. 3	平成 3. 6~ 4.10	420	103
		創 設 (5簡易水道事業を統合)	平成 5.10	(給水開始)平成13.10	5,400	3,226
	大鳥簡易水道	創 設 (2簡易水道事業を統合)	昭和59. 3	(給水開始)昭和60. 2	240	68
	大網簡易水道	創 設 (3簡易水道事業を統合)	平成 8. 4	(給水開始)平成11. 4	560	282
	田麦俣簡易水道	創 設	昭和50. 7	(給水開始)昭和51. 3	240	66
温海地域	温海上水道	創 設	昭和26. 1	(給水開始)昭和27. 7	7,000	1,400
		第一期拡張事業	昭和39. 7	昭和40. 7~40.12	10,000	3,600
		第二期拡張事業	昭和48. 3	昭和48. 7~53. 3	10,000	6,600
		第三期拡張事業	平成 7. 3	平成 7. 6~14. 3	7,700	8,000
	越沢簡易水道	創 設	昭和28. 3	(給水開始)昭和27.12	900	135
	山五十川簡易水道	創 設	昭和36. 5	(給水開始)昭和36.12	1,500	225
	一霞簡易水道	創 設	昭和37. 5	(給水開始)昭和37.12	230	35
		第一期拡張事業	平成 2. 7	平成 2. 7~ 2.12	140	80
	戸沢簡易水道	創 設	昭和38. 6	(給水開始)昭和38.12	600	90
	五十川簡易水道	創 設	昭和43. 8	(給水開始)昭和44. 7	960	144
	木野俣簡易水道	創 設	昭和46. 4	(給水開始)昭和46.12	420	78
	小名部簡易水道	創 設	昭和48. 5	(給水開始)昭和49. 3	740	115
	小国簡易水道	創 設	昭和52. 6	(給水開始)昭和52.11	530	106
		第一期拡張事業			357	165
	温海川簡易水道	創 設	昭和54. 5	(給水開始)昭和54. 3	400	80
第一期拡張事業				210	87	
関川簡易水道	創 設	昭和55. 3	(給水開始)昭和55.12	220	44	
菅野代簡易水道	創 設	昭和55. 3	(給水開始)昭和56.12	350	70	
鍋倉簡易水道	創 設	昭和57. 3	(給水開始)昭和57.12	110	22	

			認可年月	工 期	計 画	
					給水人口 (人)	1日最大 給水量(m <sup>3</sup> )
藤島 地域・ 三川 町	月山水道企業 団上水	創設 第一次 第二次 拡張 事業	昭和36.12	(給水開始)昭和39.4 昭和53.7 平成8.3	17,000	2,830
			昭和53.7		16,000	6,400
			平成8.3		21,400	12,600

事業区分	認可年月	計画期間	計 画	
			給水人口	1日最大給水量
鶴岡市水道事業 (5上水道、17簡易水道及び月山水道企業団上水道との事業統合)	統 合 平成21.4	平成21.4～ 令和11.3	113,875人	51,154m <sup>3</sup>

## 5 水道料金

(税込)

メーター口径	基本料金	従量料金 (1m <sup>3</sup> につき)	
13ミリメートル	1,100円	1m <sup>3</sup> ～10m <sup>3</sup> まで	70円40銭
20ミリメートル	1,716円	11m <sup>3</sup> ～20m <sup>3</sup> まで	209円
25ミリメートル	2,299円	21m <sup>3</sup> ～	221円10銭
30ミリメートル	5,412円	221円10銭	
40ミリメートル	8,096円		
50ミリメートル	15,136円		
75ミリメートル	45,067円		
100ミリメートル	71,379円		
150ミリメートル	193,688円		
200ミリメートル	222,178円		

※令和元年10月1日最終改定

## 6 加入金

(税込)

メーター口径	金 額
13ミリメートル	66,000円
20ミリメートル	77,000円
25ミリメートル	132,000円
30ミリメートル	220,000円
40ミリメートル	385,000円
50ミリメートル	594,000円
75ミリメートル	1,452,000円
100ミリメートル	2,420,000円
150ミリメートル	5,280,000円
150ミリメートル超	市長が定める

# ■ 下水道事業

## 1 下水道施設

公共下水道事業	9 処理区	(鶴岡 3、藤島 1、羽黒 1、櫛引 1、朝日 1、温海 2)
集落排水事業	22 処理区	(鶴岡 4、藤島 6、羽黒 5、櫛引 2、朝日 3、温海 2)
浄化槽事業	管理基数	506 基 (藤島 7、櫛引 39、朝日 132、温海 328)

## 2 汚水処理業務実績

		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
行政人口	(a)	123,146	121,365	119,599
整備済区域内①	人口(b)	115,241	114,040	113,115
	戸数	46,351	46,600	46,888
接 続 ②	人口	107,313	106,395	105,594
	戸数	43,440	43,784	44,175
普及率	b/a	93.6%	94.0%	94.6%
接続率② / ①	人口	93.1%	93.3%	93.4%
	戸数	93.7%	94.0%	94.2%
認可面積	ha	5,220	5,243	5,288
整備面積	ha	4,491	4,505	4,526
管渠延長	m	983,926	988,159	997,818
総処理水量	m <sup>3</sup>	14,394,462	14,372,764	14,308,437
一日平均処理水量	m <sup>3</sup>	39,437	39,377	39,201
有収水量	m <sup>3</sup>	11,870,664	11,918,992	11,834,983
一日平均有収水量	m <sup>3</sup>	32,522	32,655	32,425
有収率	%	82.5%	82.9%	82.7%

## 3 事業別汚水処理業務実績

		公共合計	集排合計	浄化槽合計
事業計画	面積ha	3,898	1,390	基数 —
	人口※1	96,800	24,766	—
	汚水量※2	(日最大) 48,573	(日平均) 7,981.7	—
設置済	基数	—	—	429
	人口	—	—	1,093
事業費等	総事業費※3	150,011,585	33,195,504	506,358
行政人口	(a)	119,566	—	—
整備済区域内①	人口(b)	96,408	15,614	1,093
	戸数	41,267	5,192	429
接 続 ②	人口	89,530	14,971	1,093
	戸数	38,782	4,964	429
普及率	b/a	80.6%	13.1%	0.9%
接続率② / ①	人口	92.9%	95.9%	100.0%
	戸数	94.0%	95.6%	100.0%
認可面積	ha	3,898	1,390	—
整備面積	ha	3,217	1,310	—
管渠延長	m	754,277	243,541	—

※1 計画人口に観光人口、流入人口は含まず ※2 汚水量の単位はm<sup>3</sup>

※3 総事業費は令和4年度末までの経費を計上、単位は千円



#### 4 年度別財政状況

##### (1) 収益的収支

(単位：千円) (消費税込)

		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(当初予算)
事業収益	営業収益	3,430,978	3,016,888	2,962,035
	営業外収益	2,475,783	2,410,071	2,576,394
	特別利益	4,764	14	7
	計	5,911,525	5,426,973	5,538,436
事業費用	営業費用	5,414,324	4,795,553	5,065,119
	営業外費用	568,192	463,306	469,110
	特別損失	0	0	7
	予備費	0	0	4,200
	計	5,982,516	5,258,859	5,538,436
事業損(△)益		△70,991	168,114	0

##### (2) 資本的収支

(単位：千円) (消費税込)

		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(当初予算)
収入		4,122,230	4,411,608	4,813,503
支出		5,711,984	6,534,211	6,648,240
差引		△1,589,754	△2,122,603	△1,834,737

※平成27年度から公営企業会計に移行

#### 5 コンポストセンター施設概要及び生産・販売状況

処理能力(t/日)		生産能力(t/日)		生産状況	販売状況
全体計画	認可計画	全体計画	認可計画		
10.00	10.00	5.85	5.85	令和4年度548t (昭和61年度生産開始)	令和4年度販売総量586t (昭和62年度販売開始)

#### 6 鶴岡浄化センター消化ガス発電事業施設概要及び発電状況

発電施設概要	消化ガス売却量	電気事業者への売電量
民設民営方式によるPPP事業 施設名 鶴岡バイオガスパワー 25kWバイオガスエンジン×12台 (発電容量300kW)	令和4年度 1,030,914Nm <sup>3</sup>	令和4年度売電総量 1,825,018kWh

#### 7 公共下水道、集落排水及び浄化槽事業の使用料金体系

(単位：円(税込)/m<sup>3</sup>)

事業名	公共・集落排水		浄化槽	
	一般用	湯屋用	一般用	
基本使用料	880円	8,360円	220円	
従量使用料 (1m <sup>3</sup> につき)	1~10		93円50銭	
	11~20		206円80銭	
	21~30		231円	
	31~50		250円80銭	
	51~100		276円10銭	
	101~200		308円	308円
	201~500			
501~	321円20銭	44円	321円20銭	

※令和元年10月1日最終改定

## 8 雨水処理の概要

	整備面積 (ha)	整備排水区数	雨水管渠布設状況 (m)		
			幹線延長	枝線延長	合計
鶴岡処理区	1,544	66排水区	8,169.69	8,840.97	17,010.66
湯野浜処理区	88	6排水区	1,588.69	1,081.13	2,669.82
合計	1,632	72排水区	9,758.38	9,922.10	19,680.48

## 9 受益者負担金・分担金・加入金制度

公共下水道・集落排水・浄化槽事業により下水道等が整備された土地の所有者や権利者が、整備費用の一部を負担する制度。負担金・分担金・加入金の額や納付期間、納期限は整備区域により異なる。

## 10 排水設備等の設置資金補助金と融資あっせん制度

	設置資金補助金	融資あっせん制度
制度概要	接続工事費用の一部（最大3万円）を補助	金融機関への低利での融資あっせん及び利子補給
対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市税や下水道受益者負担金等を滞納していない者</li> <li>・下水道等が使えるようになった日（供用開始の日）から3年以内に既設の汲取り便所や浄化槽を廃止して下水道に接続する者（新築は対象外）</li> </ul>	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両制度の同時利用は不可</li> <li>・融資あっせん制度は供用開始後3年以降も利用可（利子補給なし）</li> </ul>	

# 消 防

## ■ 消 防

### 1 機構、人員配置状況 (令和5年4月1日現在)

消 防 本 部	25人	(派遣2人含む)		
消 防 署	185人			
警 備 第 1 ・ 2 課	45人	朝 日 分 署	14人	
通 信 指 令 課	10人	羽 黒 分 署	14人	
中 央 分 署	18人	藤 島 分 署	14人	
北 分 署	14人	櫛 引 分 署	10人	
西 分 署	18人	三 川 分 署	10人	
温 海 分 署	18人	(消 防 事 務 受 託 )		
		合 計	210人	

### 2 種類別自動車等保有台数 (令和5年4月1日現在)

水 槽 付 ポンプ自動車	2台	警 防 車	2台
予 防 ・ 査 察 車	3台	普 通 ポンプ自動車	12台
広 報 車	1台	小 型 動 力 ポンプ付水槽車	1台
水 防 指 令 車	1台	化 学 消 防 自 動 車	1台
指 揮 車	2台	救 助 工 作 車	1台
は し ご 付 消 防 自 動 車	1台	資 機 材 搬 送 車	1台
消 防 バ イ ク	3台	救 急 車	10台
津波・大規模風水害対策車	1台	水 上 バ イ ク	1台
水 陸 両 用 車	1台	水 上 バ イ ク ト レ ー ラ ー	1台
		合 計	45台

### 3 火 災 状 況

(各年12月31日現在)

	建物	林野	車両	船舶	その他	計
平成30年	25	0	8	0	20	53
令和元年	22	0	10	0	15	47
令和2年	18	1	6	0	11	36
令和3年	22	3	5	0	12	42
令和4年	24	1	4	0	5	34

※消防事務を受託している三川町を含む。

### 4 原因別出火件数

(各年12月31日現在)

	こんろ	たき火	放火の疑い	放火の	たばこ	かまど	風呂	煙道	煙突	ストーブ	の電電の配話灯等	の電電の配話灯等	ラマツイタチ	火あそび	その他	調不査明中	合計
平成30年	4	6	0	2	0	0	0	1	4	0	0	22	14	53			
令和元年	3	8	1	3	0	0	0	1	0	0	1	19	11	47			
令和2年	2	6	0	3	0	1	0	2	0	0	0	17	5	36			
令和3年	1	4	0	1	1	0	2	6	0	0	0	10	17	42			
令和4年	1	3	2	0	0	0	2	3	0	0	0	15	8	34			

※消防事務を受託している三川町を含む。

## 5 救急出動件数

(各年12月31日現在)

	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労災事故	運動競技事故	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他	転院搬送	計
平成30年	1	0	11	349	59	40	865	6	45	4,074	45	557	6,052
令和元年	4	0	13	357	34	26	804	9	36	4,107	45	471	5,906
令和2年	4	0	7	252	44	14	725	5	46	3,666	58	471	5,292
令和3年	5	0	7	240	62	12	818	8	37	3,960	68	442	5,659
令和4年	10	3	4	227	62	18	864	7	41	4,288	39	461	6,024

## 6 消防力の基準と現勢

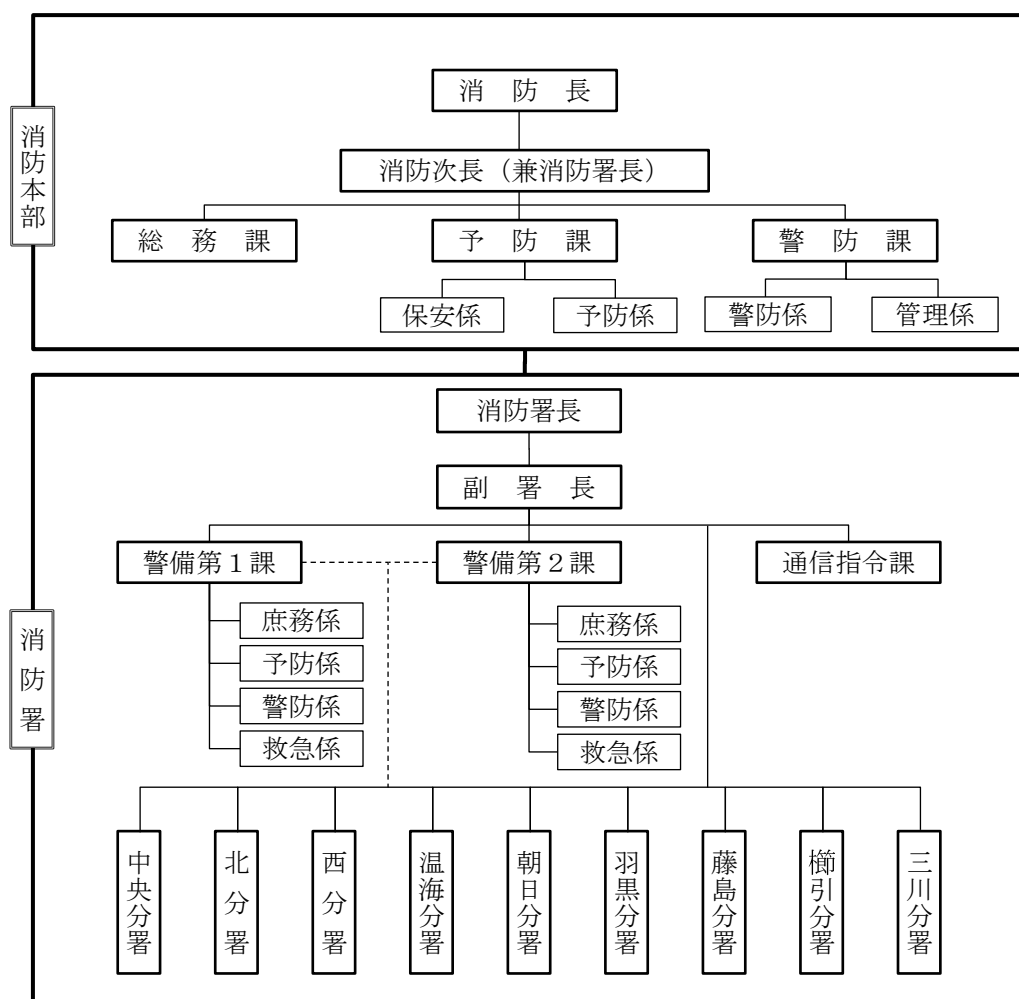
(各年4月1日現在)

	動力消防ポンプ					消防水利				
	基準台数		現有台数		充足率	基準数(A)	現有数(B)	不足数	充足率B/A	
	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ						
平成31年	36	296	36	296	100.0	3,842	2,549	1,293	66.3	
令和2年	36	296	36	296	100.0	3,814	2,529	1,285	66.3	
令和3年	36	296	36	296	100.0	3,814	2,529	1,285	66.3	
令和4年	48	282	48	282	100.0	4,142	2,753	1,389	66.5	
令和5年	48	270	48	270	100.0	4,142	2,753	1,389	66.5	

※令和4年度消防施設整備計画実態調査により見直し

※動力消防ポンプについては、現有台数を基準台数とする。

## 7 消防機関の組織



## 8 消防団

### (1) 組織、団員数

(各年4月1日現在)

	鶴岡方面隊 (1~4方面隊)		藤島方面隊		羽黒方面隊		櫛引方面隊		朝日方面隊		温海方面隊		女性消防隊	合計	
	分団	人	分団	人	分団	人	分団	人	分団	人	分団	人	人	分団	人
平成31年	16	1,349	5	473	6	415	4	315	4	229	5	349	12	40	3,142
令和2年	16	1,347	5	463	6	406	4	296	4	222	5	349	10	40	3,093
令和3年	16	1,327	5	457	6	399	4	285	4	216	5	341	14	40	3,039
令和4年	16	1,282	5	442	6	385	4	267	4	208	5	302	12	40	2,898
令和5年	16	1,246	5	426	6	365	4	260	4	204	5	288	11	40	2,800

※団長、副団長は鶴岡方面隊に含む。

### (2) 消防団主力機械の台数 (各年4月1日現在)

(単位：台)

	水槽付消防 ポンプ自動車	普通消防 ポンプ自動車	小型動力ポンプ (台車付)	積載車 (小型動力ポンプ含)	軽搬送車 (小型動力ポンプ含)	合計
平成31年	1	35	149	147	0	332
令和2年	1	35	148	147	0	331
令和3年	1	35	145	146	1	328
令和4年	1	35	133	147	2	318
令和5年	1	35	124	143	3	306

# 教育・文化

## ■ 学校教育 (令和5年5月1日現在)

### 1 市内の教育機関

校 種	総 数	国 立	県 立	市 立	私 立
小 学 校	26	—	—	26	—
中 学 校	11	—	—	11	—
高 等 学 校	8	—	6	—	2
高等専門学校	1	1	—	—	—
大 学 ( 院 )	2	1	—	—	(1)
養 護 学 校	1	—	1	—	—
高等養護学校	1	—	1	—	—
保 育 所 等	認可保育所32	認定子ども園16	地域型保育施設4	届出保育施設等7	

### 2 学校種類別現況

校 種	学 校 数	学 級 数	児 童 ・ 生 徒 数	教 員 数	職 員 数
小 学 校	26	300	5,333	477	県 26 市 52
中 学 校	11	130	2,955	274	県 13 市 31

### 3 特別支援学級等設置状況

種 別	小 中 別	学級(教室)数	児 童 ・ 生 徒 数	教 員 数
言 語 障 害	小 学 校	(3)	106	6
L D ・ A D H D	小 学 校	(2)	31	2
	中 学 校	(1)	11	1
自 閉 症 ・ 情 緒 障 害	小 学 校	31	88	34
	中 学 校	10	36	10
知 的 障 害	小 学 校	30	80	31
	中 学 校	10	37	10
肢 体 不 自 由	小 学 校	3	4	3
	中 学 校	3	3	3
病 弱	小 学 校	6	6	6
	中 学 校	6	11	6
弱 視	小 学 校	2	2	2
	中 学 校	—	—	—
難 聴	小 学 校	—	—	—
	中 学 校	—	—	—

※通級 ( ) を含む。

#### 4 児童生徒の体位の現況

性別	年齢	身長 (cm)			体重 (kg)			
		鶴岡市	山形県	全国	鶴岡市	山形県	全国	
男子	小学校	6	117.9	116.8	116.7	22.5	22.1	21.7
		7	124.3	123.5	122.6	25.9	25.5	24.5
		8	129.9	129.4	128.3	29.4	29.1	27.7
		9	134.8	134.7	133.8	33.1	32.9	31.3
		10	141.3	139.7	139.3	37.8	35.8	35.1
		11	147.3	147.1	145.9	41.8	41.9	39.6
	中学校	12	155.4	154.5	153.6	47.3	46.7	45.2
		13	162.3	161.4	160.6	53.3	50.8	50.0
		14	166.7	166.1	165.7	57.2	56.4	54.7
女子	小学校	6	116.7	116.1	115.8	21.8	21.6	21.2
		7	123.0	122.3	121.8	24.9	24.2	23.9
		8	129.2	127.9	127.6	28.5	27.7	27.0
		9	135.5	135.5	134.1	31.9	32.4	30.6
		10	142.8	141.2	140.9	36.8	36.0	35.0
		11	149.1	148.2	147.3	41.9	41.2	39.8
	中学校	12	153.4	152.8	152.1	45.6	45.3	44.4
		13	155.7	155.8	155.0	49.0	48.6	47.6
		14	157.4	156.9	156.5	51.6	50.9	50.0

※山形県及び国は公表となっている令和3年度の数値で本市の令和4年度と比較

## 5 公立学校施設等実態調査一覧表

学校名	学級数		児童・生徒数		校 有	
	普通	特別支援	普通	特別支援	保 有	
					鉄筋コンクリート造	鉄骨造
朝 陽 第 一 小 学 校	19	5	524	15	7,701	
朝 陽 第 二 小 学 校	11	3	271	9	6,412	
朝 陽 第 三 小 学 校	19	5	554	17	7,597	
朝 陽 第 四 小 学 校	18	5	513	19	6,895	
朝 陽 第 五 小 学 校	12	5	346	24	2,891	790
朝 陽 第 六 小 学 校	20	5	562	21	5,152	214
斎 小 学 校	6	2	110	2	2,460	
黄 金 小 学 校	5	2	65	2	2,145	
大 泉 小 学 校	6	2	133	2	3,354	
京 田 小 学 校	6	2	123	4	2,357	
上 郷 小 学 校	6	2	90	4	1,937	
豊 浦 小 学 校	6	2	86	3	2,408	
湯 野 浜 小 学 校	6	2	88	4	2,499	
大 山 小 学 校	12	3	292	11	4,229	98
西 郷 小 学 校	6	4	76	5	2,455	53
藤 島 小 学 校	11	2	262	3	4,099	
東 栄 小 学 校	6	1	66	1	2,332	45
渡 前 小 学 校	5	2	54	2	2,488	23
羽 黒 小 学 校	6	2	192	5	4,818	
広 瀬 小 学 校	6	2	136	2	2,893	537
櫛 引 東 小 学 校	6	2	74	2	3,303	
櫛 引 西 小 学 校	7	3	175	7	3,769	
櫛 引 南 小 学 校	6	2	67	3	2,930	
あ さ ひ 小 学 校	6	3	112	6	3,171	7
あ つ み 小 学 校	6	2	125	4	2,731	201
鼠 ヶ 関 小 学 校	5	2	57	3	1,884	
計 26 校	228	72	5,153	180	94,910	1,968
鶴 岡 第 一 中 学 校	16	4	500	10	7,033	
鶴 岡 第 二 中 学 校	14	4	402	14	7,595	
鶴 岡 第 三 中 学 校	19	4	549	15	7,403	
鶴 岡 第 四 中 学 校	11	3	322	7	6,264	
鶴 岡 第 五 中 学 校	10	3	274	11	6,815	
豊 浦 中 学 校	3	1	53	2	3,137	
藤 島 中 学 校	9	4	229	10	4,672	421
羽 黒 中 学 校	6	3	179	12	3,323	
櫛 引 中 学 校	6	1	171	1	5,022	
朝 日 中 学 校	3	1	77	2	53	45
温 海 中 学 校	4	1	112	3	5,974	
計 11 校	101	29	2,868	87	57,291	466



(令和5年4月1現在) (単位: m<sup>2</sup>)

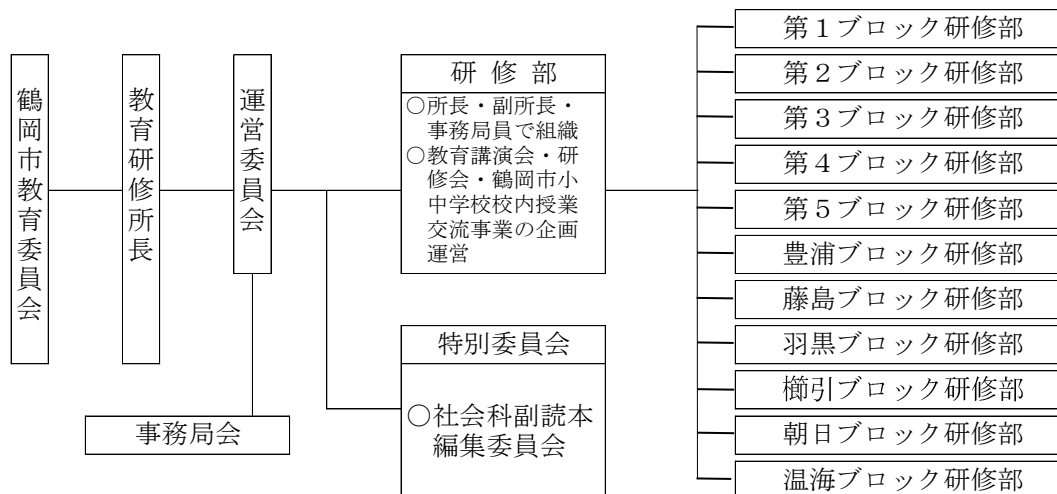
舎		屋 内 運 動 場				校地面積	プール
面 積		保 有 面 積					
木造	計	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	木造	計		
	7,701	1,358			1,358	24,830	○
375	6,787		1,518		1,518	29,908	○
	7,597		1,558		1,558	20,837	○
	6,895		1,604		1,604	22,409	○
175	3,856		553	42	595	28,305	○
477	5,843		1,108		1,108	27,290	○
	2,460		863		863	15,896	○
	2,145	37	810		847	22,040	○
	3,354		638		638	23,683	○
	2,357	12	839		851	14,493	○
9	1,946		660	16	676	15,661	○
	2,408		884		884	23,800	○
1,011	3,510			1,300	1,300	20,814	○
41	4,368		778	142	920	18,757	○
9	2,517	1,106	43		1,149	18,411	○
	4,099	36	959		995	27,861	○
	2,377	18	700		718	16,988	○
	2,511	18	701		719	18,391	○
	4,818	1,654			1,654	32,010	○
400	3,830	1,262			1,262	22,369	○
	3,303	1,150			1,150	17,457	○
	3,769	255	1,099		1,354	22,804	○
	2,930		1,153		1,153	22,907	○
	3,178	24	756		780	23,561	○
	2,932		1,123		1,123	21,162	○
1,819	3,703	1,228			1,228	22,983	○
4,316	101,194	8,158	18,347	1,500	28,005	575,627	
	7,033		1,854		1,854	32,855	
	7,595	2,456			2,456	30,352	
	7,403		2,283		2,283	29,393	
	6,264		1,799		1,799	28,119	
	6,815		3,425		3,425	40,578	
	3,137		1,225		1,225	25,976	
	5,093		1,356		1,356	27,849	
1,660	4,983	2,128			2,128	53,481	
	5,022	2,557			2,557	41,962	
2,966	3,064	1,553	50		1,603	30,327	
	5,974	2,459			2,459	58,116	
4,626	62,383	11,153	11,992	0	23,145	399,008	

## ■ 鶴岡市教育研修所 (昭和32年設置)

### 1 主な事業

教育に関する調査・研究、学習指導・生徒指導についての研修。ブロック授業研修会、教育講演会の開催。

### 2 運営組織図



## ■ 鶴岡市教育相談センター

相談件数	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	31件	35件	32件	37件	34件

## ■ 鶴岡市青少年育成センター (昭和40年設置)

青少年の健全育成のため、関係機関・団体との密接な連携を図りながら、総合的・計画的に非行防止活動を実施する。

### 青少年指導状況

街頭指導少年の行為別、職業別状況 (令和4年4月～令和5年3月)

(単位：件数)

	生徒・学生				有職少年	無職少年	合計	前年同期
	小学生	中学生	高校生	その他学生				
怠学							0	0
喫煙							0	0
不健全娯楽※			4				4	6
異性交遊							0	0
交通ルール	1	2	9				12	15
その他	3						3	8
合計	4	2	13	0			19	29
前年同期	7	2	20	0			29	

※不健全娯楽への指導には、児童のみのゲームセンター遊戯、カラオケボックスの照明等の注意を含む。

## ■ 社会教育行政

- 多様な学習活動を支援する環境づくりの推進
  - 1 社会教育施策の充実と社会教育関係団体への支援
  - 2 市民の学習を促進する社会教育事業の展開
  - 3 家庭教育推進事業
  - 4 学校・家庭・地域の連携協働事業の推進
  - 5 生涯学習の魅力ある拠点づくり
- 豊かな感性を高める文化の振興
  - 1 創造性を育む芸術文化活動の振興
  - 2 歴史に育まれた伝統文化と文化財の保存・活用
  - 3 文化活動の中核施設の整備・充実
  - 4 文化資源の保存・研究基盤の整備

### 1 社会教育事業等

#### (1) 社会教育事業実施状況

地域	事業項目	内 容					参加者数等
全市	社会教育 行政一般	女性のための地域づくり活動研修会 (兼温海地域女性団体連絡協議会公開講演会) 講演「自然はいとおいしいほどすばらしい！」 講師：南陽市観光えくぼ大使 須貝 智郎 氏					112
	放課後子ども 教室推進事業	教室名	対象学校区名	開催場所	年間開 催日数	スタッ フ数	延べ 参加児童数
		朝陽第四小(田川) 子ども教室	朝陽第四小学校	田川コミュニテイ センター	36	10	613
		上郷地区 放課後子ども教室	上郷小学校	上郷コミュニテイ センター	200	11	5,888
		豊浦地区 放課後子ども教室	豊浦小学校	三瀬コミュニテイ センター、 豊浦小学校	197	8	3,876
				由良コミュニテイ センター	194	8	2,101
		湯野浜小学校 放課後子ども教室	湯野浜小学校	湯野浜コミュニ ティセンター	192	11	2,558
		おおやま 放課後子ども教室	大山小学校	大山コミュニテイ センター	42	9	945
		西郷地区 放課後子ども教室	西郷小学校	西郷小学校	177	7	5,376
		櫛引西小 放課後子ども教室	櫛引西小学校	下山添公民館	118	2	669
ねずがせき 放課後子ども教室	鼠ヶ関小学校	鼠ヶ関小学校	150	39	3,182		
家庭教育支援事業	① 家庭教育支援講座 学校等の保護者会など、多くの親が集まる機会を活用して、子どもの成長各期に応じた課題別子育て講座を実施し、家庭教育力の向上を図る。全市の幼稚園、保育園、児童館、小中学校が対象 ② やまがた子育て講座 多くの親が集まる効果的な機会を活用して、親が主体的に参加できる形態を工夫した家庭教育に関する講座を実施する。 ③ 幼児共育ふれあい広場 幼稚園や保育園等において、人やモノ、自然とのかかわりを重視した親子の体験的な活動等を実施する。					① 幼保園等59 (2施設) 小学校314 (3校) ② 小学校496 (9校) 児童館50 (1施設) ③ 幼保園等452 (15施設)	

地域	事業項目	内 容				参加者数等
全市	家庭教育支援事業	④ 地域子育て推進講演会（全市版・櫛引地域版合同開催） 子育て家庭に対して家庭教育の学習機会を提供するとともに、広く市民に対して子育てや子育て家庭への理解や関心を高めるための講演会を行い、地域全体で子育てを支援する意識の醸成を推進する。 講演（オンライン） 「子どもとネットのつきあい方 ～メディアリテラシーを実行する4つの入口～」 講師：白鷗大学特任教授 下村 健一 氏 会場：鶴岡市先端研究産業支援センター レクチャーホール				④37 内オンライン27
		⑤ ブックスタート事業 絵本の読み聞かせを通じた親子のふれあいを推進するために、読み聞かせの大切さを伝えながら絵本の贈呈を行う。				⑤652
	青少年教育事業	鶴岡・田川地区2022高校生等ボランティア交流会 主催：庄内地域広げようボランティアの輪連絡会議、鶴岡田川地区保護司会 共催：鶴岡市教育委員会 会場：庄内産業振興センター マリカ市民ホール 内容：講話「社会を明るくする運動についてと反射材の活用」、活動紹介等				40
	地域学校協働活動推進事業	実施団体	対象学校区名	主な活動内容	年間活動日数	スタッフ数
		渡前小学校 地域学校協働本部	渡前小学校	伝統芸能指導 海浜学校支援 動物飼育支援 クラブ活動補助	38 4 16 6	24
		櫛引東小学校 地域学校協働本部	櫛引東小学校	授業の補助 伝統芸能指導 図書読み聞かせ	32 30 10	28
		朝 日 地域学校協働本部	あさひ小学校	授業の補助 校外学習支援 図書貸出支援 学校周辺環境整備	3 10 149 2	24
			朝日中学校	授業の補助 放課後学習支援 夏季休業中学習会 地域未来塾※	16 5 5 9	
あつみ小学校 地域学校協働本部		あつみ小学校	登下校安全指導 図書読み聞かせ	206 108	19	
鼠ヶ関小学校 地域学校協働本部		鼠ヶ関小学校	校外学習支援	3	61	
温海中学校 地域学校協働本部		温海中学校	地域未来塾※	20	20	
※地域未来塾・・・教員OBや大学生などの地域住民の協力で行う学習支援						
藤島	「山形学」 地域連携講座	テーマ：「過去を知り・現代を見つめ・未来を拓くパートⅢ」 ①「明治政府の支配体制～郡役所の役割と実績～」 講師：東北公益文科大学准教授 門松 秀樹 氏 現地：旧東田川郡役所、藤岡公民館、松ヶ岡開墾記念館本陣・蚕室等 ②「松山藩360年の歩み」【公開講座】 講師：松山文化伝承館館長 榎本 和介 氏 現地：松山文化伝承館及び歴史公園周辺施設 ③「酒井家庄内入部400年：三方領知替え」 講師：致道博物館主任学芸員 菅原 義勝 氏 現地：致道博物館と関連施設				①63 現地 58 ②60 現地 55 ③56 現地 47

地域	事業項目	内 容	参加者数等
藤島	「山形学」 地域連携講座	④ 「鶴岡市SDGs未来都市計画1～エネルギー自給率の向上～」 講師：鶴岡市政策企画課専門員 佐藤 紘司 氏 講師：鶴岡市環境課課長補佐 阿部 邦彦 氏 現地：JRE鶴岡八森山風力発電所と三瀬ひやくねん森 三瀬コミセンバイオマス	④49 現地 48
		⑤ 「鶴岡市SDGs未来都市計画2～これからの農業の在り方～」 講師：鶴岡市農林水産部長 佐藤 龍一 氏 現地：ヤマガタデザイン ベビーリーフ団地	⑤56 現地 48
	おもしろ講座	① 子どもおもしろ講座 「ワンモーターホバークラフトを作って遊ぼうーPartⅡ」 講師：日本国末端技術研究所所長 富樫 芳男 氏	①小学生8
		② 「わら細工教室ーわらを使って干支（兎）を作ろうー」 協力：JA 庄内たがわ 藁工芸部会6人	②小学生4 大人 5
	大人の大学	① 軽体操・講話・図工（オープン粘土） ② ヤクルト健康教室・軽体操 ③ 大人の遠足「ほとりあ」 ④ 軽体操・講話・図工（ペーパーフィリング）	①②③④ 全て18 計 72
	女性団体研修事業 (共催)	① 暮らしを見直す婦人のつどい 「こころが疲れていませんか？ゆっくりできるこころの持ち方のヒント」 講師：三原皮膚科 看護師 三原 美雪 氏	①60
家庭教育支援事業	① きらきら親子教室 講師：読育アドバイザー 本間 俊美 氏	①12	
	② 孫親学級 講師：山形県家庭教育アドバイザー 後藤 敬子 氏	②14	
青少年育成事業	① 子ども会関係者等研修会 「子供達のスマホへの向き合い方」 講師：庄内総合支庁子ども家庭支援課 青少年専門員 松田 裕可 氏 ② ボランティアサークル「Ben's (ベンズ)」会員ボランティア研修会 講師：県青年の家 研修課長 沼澤 欣一 氏	①14 ②中学生5	
羽黒	青少年育成事業	① 山のつどい 小学5年生が金峰少年自然の家での野外活動を通して、自ら挑戦する意欲と仲間や大人たちと関わり合う力を高める。	①小学生69
		② 川であそぼう 川での遊び方や川魚のさばき方などを学び、川に親しみながら、親子の触れ合いを深める。	②保育園・小学生40 大人31
家庭教育支援事業	① びよびよ広場 ○ベビーピクス：講師 佐藤 しおり 氏 ○まんまる抱っこ：講師 難波 ハツ子 氏 ② 親子で遊ぼう ○リラックス・ヨガ：講師 佐藤 陽子 氏 ③ 子育て講演会	①親子8 ②親子5 ③中止	
櫛引	青少年育成事業	① 子ども会リーダー研修会 櫛引地域の新6年生が、子ども会のリーダー養成と子ども会活動の活性化、仲間づくりを目指す。 「レクリエーション」講師：菅原 とり子 氏（くしびきスポーツクラブ） 「応急措置の仕方について」講師：消防署櫛引分署職員 「危険予知トレーニングについて」講師：櫛引庁舎総務企画課職員	①26
		② 実技研修会 集団の中での実技的活動から、体験学習と会員相互の交流を図る。 「スラックライン体験」講師：五十嵐 晃 氏（鶴岡スラックライン代表）	②29
家庭教育支援事業	① 人形劇団「クスクス」 絵本を題材とした人形劇をとおり、親子の触れ合いと読書活動へつなげる。 演目：「日天さん月天さん」「おむすびころりん」 ② あそびの会育児講座「ふれあい遊び」 講師：佐藤 しおり 氏（鶴岡フィットネス協会）	①172 ②親子10	

地域	事業項目	内 容	参加者数等
朝日	家庭教育学級	幼児学級 ① 家庭教育学級（朝日保育園2・3歳児） 「親子でリトミック遊び」 講師：ピアノ講師 安達 満美 氏 ② 家庭教育学級（朝日保育園4・5歳児） 「親子ヨガですっきり！」 講師：yoga講師 河合 千穂 氏	①41 ②72
	青少年育成事業	① ジュニアキャンプ 朝日地域の小学6年生を対象に大鳥地区の大自然を仲間と支えあいながら自然体験及び宿泊体験をすることで、子どもたちの学ぶ意欲や自立心などを育み力強い成長を支える。また、中学生、高校生、一般青年が指導者となり、地域内世代交流の機会となっている。 ② 日帰り自然体験イベント「とりキャン△3 in 大鳥自然の家」 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、新しい生活様式を実践しつつ、大鳥自然の家の既存プログラムを活用した自然体験の機会を設けることで、施設の利用拡大を図るとともに、自然体験を通じた青少年の心身の健康維持・増進を図る。	①中止 ②中止
温海	生涯学習振興事業	① 市民大学「赤かぶ大学2022」 温海地域における伝統（文化・食材・芸能）について学び、地域の魅力を再発見するとともに、郷土愛と地域への誇りを醸成する。 ② 国際理解講座「エンジョイ・ワールド」 地域住民が国際交流を身近に体験し世界各国の文化、芸能、料理、音楽等を学び国際理解を深める。 ③ ふれセンみんなの講座（全年齢対象） 学びと交流を通じて親睦を深める。	① 109 ② 93 ③ 46
	青少年育成事業	① 青少年ボランティア養成講座（中高生対象） ボランティア活動への理解を深め地域貢献のあり方を考える機会とする。ボランティア活動への取り組みへのきっかけづくりとする。 ② ふるさと学習鍋倉雪燈籠祭 温海地域内の子どもたちが、親子間交流や地域交流、地域学習をとおして、温海地域への郷土愛を育む機会とする。 ③ ぼく・わたしの一人一標語運動 家庭、学校、地域、企業、行政が一体となり、小中学生から募集した「あいさつ・思いやり・環境美化・防犯」に関わる標語を活用し活動を展開する。	① 40 ② 15 ③ 標語応募人数320人
	家庭教育支援事業	① 子育て講座 子育てに関わる学習機会の提供や参加者同士の交流を通じて子育て支援を図る。	① 中止

(2) 成人式・二十歳を祝う会開催状況

年度	名称	開催日	会場	対象者数	参加者数	備考
令和2年度	令和3年鶴岡市成人式	R4.4.30	荘銀タクト鶴岡	1,254	491	令和3年1月より延期開催 午前・午後の2部制 参加者はPCR検査を実施
令和3年度	令和4年鶴岡市成人式	R4.11.20	荘銀タクト鶴岡	1,203	734	令和4年1月より延期開催 参加者は抗原検査を実施
令和4年度	令和5年鶴岡市二十歳を祝う会	R5.1.8	荘銀タクト鶴岡	1,161	855	参加者は抗原検査を実施

(3) 公民館等

①施設利用状況

施設名	令和3年度		令和4年度	
	件数(件)	人数(人)	件数(件)	人数(人)
中央公民館	3,355	46,120	3,494	56,426
櫛引生涯学習センター	705	13,630	803	18,072
温海ふれあいセンター	802	19,360	1,032	16,238
大鳥自然の家	24	1,084	40	1,749

②主な事業実施状況(主催事業)

(単位:人)

施設名	令和3年度		令和4年度	
	内 容	参加者数(人)	内 容	参加者数(人)
中央公民館	市民講座	149	市民講座	198
	文化祭	946	文化祭	1,248
	早春文化展	471	早春文化展	573
	青年講座	20	映画会	57
	映画会	16	プラネタリウム公開	6,161
	プラネタリウム公開	4,821	女性講座	301
	女性講座	259	資格取得準備講座	—
	資格取得準備講座	12	就業支援講座	8
	就業支援講座	9	家庭生活支援講座	69
	家庭生活支援講座	67	市民ギャラリー	1,825
市民ギャラリー	1,589	女性センター40周年事業	622	
櫛引生涯学習センター	趣味の講座	10	趣味の講座	34
	古文書講座	49	古文書講座	73
	仕掛人養成講座	27	三方国替え講演会	109
温海ふれあいセンター	市民大学	91	市民大学	109
	国際理解講座	100	国際理解講座	93
	ふれセンみんなの講座	46	ふれセンみんなの講座	46
	陶芸教室	32	陶芸教室	65
	絵が泳ぐ水族館	356	バーチャル花火大会	273

2 芸術文化活動の振興

(1) 各種事業概要

①芸術祭等の開催状況(主催・共催事業)

地域	事業名	令和3年度		令和4年度	
		参加団体数	入場者数(人)	参加団体数	入場者数(人)
鶴岡	鶴岡市芸術祭	30	11,940	44	16,087
	芸能のつどい(※1)	6	121	7	164
藤島	藤島芸術文化祭	26	827	22	380
羽黒	はぐろ秋まつり芸術文化祭	—	—	38	457
櫛引	くしびき文化祭	555人(※2)	1,150(展示4日間)	639人(※2)	957(展示4日間)
朝日	あさひ産業文化まつり	—	(展示のみ)700	10	1,000
温海	温海文化祭	9	1,100	13	1,100

※1 R3年度芸能のつどいは新型コロナウイルス感染症拡大のため延期しR4.5.22に実施

※2 ステージ・展示延人数

②普及鑑賞事業の開催状況（主催・共催の音楽、舞台系事業）

地域	事業名 (施設名)	令和3年度		令和4年度	
		参加団体数 (事業名)	入場者数 (人)	参加団体数 (事業名)	入場者数 (人)
鶴岡	荘銀タクト鶴岡 (文化会館)	・ワンコインコンサート Vol.1フルートリサイタル	258	・劇団四季『ロボット・ イン・ザ・ガーデン』	954
		・津軽三味線&ジャズデュオ コンサート	340	・宝生流能楽公演 祝賀能公演	829
		・ワンコインコンサート Vol.2有地TRIO with 春山 早苗ジャズライブ	350	・宝生流能楽公演 鑑賞能	450
		・劇団四季 The Bridge ～歌の架け橋～	969	・Noism×鼓童『鬼』	568
		・陸上自衛隊中央音楽隊 鶴岡公演	1,033	・工藤静香 35th Anniversary Tour2022～感受～	1,040
		・高嶋ちさ子 with Super Cellists	1,039	・夏川りみ コンサート ツアー2022 ～たびぐる～	540
		・スターダスト☆レビュー 40周年ライブツアー	672	・『プレミアムクラシックス』 バレエ&オーケストラ	350
		・新日本フィルハーモニー 交響楽団 鶴岡公演	516	・ワンコインコンサート Vol.6「2台ピアノで奏で る♪ピアノデュオコンサ ート」	383
		・魂のピアニスト フジコ・ ヘミング ピアノソロ コンサート2021	1,043	・ワンコインコンサート Vol.7「0歳から入れる！ 親子で楽しむ音楽会 クラリネット&ピアノ」	272
		・高橋多佳子ピアノリサイ タル庄内公演in鶴岡	212	・宝くじ文化公演 歌園迎賓館	1,029
・THE EMPTY STAGE 2022 in 鶴岡	174	・山形交響楽団 庄内定期 演奏会 第31回 鶴岡公演	1,000		
				・中本マリ Jazz Live	251
				・宮田大&三浦一馬 スペシャル・デュオ リサイタル	294
藤島	ふじしま音楽祭	10	200	10	122
	明治ホールコンサート	・松田美香コンサート	中止	・第99回「SESSION 2022 山澤昭彦&石原弘之」	58
		・藤島出身の音楽家による スプリングコンサート	105	・第100回「山本純&渡辺 公章」とその仲間たち	96
朝日	音楽鑑賞会	中止	-	・バーカッション・バ フォーマンス・プレ イヤーズによる打楽器 コンサート	150
温海	温海ふれあいセンター	・あつみの音楽好きの コンサート	172	・あつみの音楽好きの コンサート	187
		・ふれセン歌うま選手権	93	・ふれセン歌うま選手権	91



③展示系事業の開催状況（芸術祭等除く、主催・共催事業）

地域	施設名	令和3年度		令和4年度	
		開催回数 (事業名)	入場者数 (人)	開催回数 (事業名)	入場者数 (人)
鶴岡	鶴岡アートフォーラム (展覧会入場者)	・シャガール展	3,895	・鴨居玲展	1,532
		・北斎展	5,353	・アートの光展	5,328
・第76回県総合美術展覧会/第63回県こども絵画展覧会		1,015	・第77回県総合美術展覧会/第64回県こども絵画展覧会	845	
・高校生アートフォーラム展15		1,255	・高校生アートフォーラム展16	1,228	
・みんなあつまれ!つるおかこども美術館2022		914	・みんなあつまれ!つるおかこども美術館2023	1,625	
・庄内の美術家たち17 昭和の日本画家		629	・庄内の美術家たち18 つるおか伝統芸能こけしの今昔	1,176	
・つくり手たちの展覧会 ・常設展示 第1~4期		377 8,608	・つくり手たちの展覧会 ・常設展示 第1~4期	666 10,143	
藤沢周平記念館	1	7,544	1	12,294	
藤島	東田川文化記念館 (ギャラリー藤を含む)	9	2,496	11	3,280
羽黒	羽黒庁舎市民ホール	3	65	3	40
櫛引	黒川能の里王祇会館 (多目的ホール)	5	800	5	1,514
温海	温海ふれあいセンター (ギャラリースペース)	4	※	3	※

※来場者を把握していない。

④高山樗牛賞の授与（令和4年度）

賞	区分	受賞者	備考
高山樗牛賞	—	—	昭和33年度から実施
奨励賞	小学校児童及び中学校生徒の部	齋藤里恋/齋藤文音	平成15年度から実施
	高等学校生徒の部	若生真衣	

(2) 文化施設の利用状況（主催・共催・貸し館事業等全て）

地域	施設名	令和3年度		令和4年度	
		件数(件)	人数(人)	件数(件)	人数(人)
鶴岡	荘銀タクト鶴岡（文化会館）	285	39,949	316	52,451
	鶴岡アートフォーラム	1,288	47,071	1,424	63,248
櫛引	黒川能の里王祇会館	211	5,184	257	5,897

### 3 文化財保護活動

(1) 指定文化財（令和5年4月1日現在）

①国指定（文化財保護法によるもの）

区 分		件 数	備 考
有形文化財	国宝	建造物	1 羽黒山五重塔
		工芸品	2 太刀「銘信房作」、太刀「銘真光」
	重要文化財	建造物	9 水上八幡神社本殿、羽黒山正善院黄金堂、旧西田川郡役所、旧渋谷家住宅、鶴岡カトリック教会天主堂、羽黒山三神合祭殿及び鐘楼、旧風間家住宅、金峯神社本殿、旧鶴岡警察署庁舎
		絵画	1 絹本着色「王昭君図」
		彫刻	1 銅造如来立像
		工芸品	7 銅燈籠竿、短刀「銘吉光」、色々威胴丸、銅鉢、梵鐘、能装束2領、能装束1領
		書跡	1 禅院額字「潮音堂」
		考古資料	1 銅鏡「羽黒山御手洗池出土」
民俗文化財	重要無形民俗文化財	2 黒川能、松例祭の大松明行事	
	重要有形民俗文化財	8 庄内のぼんどりコレクション 116点 庄内の木製酒器 " 77点 庄内の仕事着 " 126点 大宝寺焼 " 234点 庄内及び周辺地のくりもの " 250点 庄内浜及び飛島の漁撈用具 1,937点 最上川水系の漁撈用具 810点 庄内の米作り用具 1,800点	
史跡・名勝 天然記念物	史跡	4 旧致道館、松ヶ岡開墾場、小国城跡、旧東田川郡役所及び郡会議事堂	
	名勝	3 金峯山、酒井氏庭園、玉川寺庭園	
	特別天然記念物	1 羽黒山のスギ並木	
	天然記念物	8 熊野神社の大スギ、文下のケヤキ、南谷のカスミザクラ、羽黒山の爺スギ、山五十川の玉スギ、早田のオハツキイチョウ、月山、三瀬気比神社社叢	
計		49	

②国登録（文化財保護法によるもの）

区 分		件 数	備 考
有形文化財	建 造 物	19	石名坂家住宅主屋・（同）蔵、安良町公民館（旧鶴岡警察署大山分署）、風間家旧宅（丙申堂）表門・（同）西側板塀、旧鶴岡町消防組第八部消防ポンプ庫、風間家旧別邸無量光苑 釈迦堂・（同）土蔵・（同）表門・（同）中門・（同）北門・（同）板塀、善寶寺龍王殿・（同）五百羅漢堂・（同）龍華庵・（同）五重塔・（同）山門・（同）総門、旧小池薬局 恵比寿屋本店
計		19	

③県指定（県文化財保護条例によるもの）

区 分		件 数
有 形 文 化 財	建 造 物	7
	絵 画	5
	彫 刻	12
	工 芸 品	32
	書 跡	5
	典 籍	3
	古 文 書	—
	考 古 資 料	8
	歴 史 資 料	6
民 俗 文 化 財	無形民俗文化財	3
	有形民俗文化財	3
史 跡 ・ 名 勝 ・ 天 然 記 念 物	史 跡	6
	名 勝	1
	天 然 記 念 物	10
計		101

④市指定（市文化財保護条例によるもの）

区 分		件 数
有 形 文 化 財	建 造 物	11
	絵 画	30
	彫 刻	62
	工 芸 品	52
	書 跡	29
	典 籍	3
	古 文 書	41
	考 古 資 料	14
	歴 史 資 料	46
民 俗 文 化 財	無形民俗文化財	8
	有形民俗文化財	15
史 跡 ・ 名 勝 ・ 天 然 記 念 物	史 跡	24
	名 勝	—
	天 然 記 念 物	26
計		361

(2) 文化財施設の公開管理

①史跡旧致道館

国指定史跡旧致道館の保存を図りながら藩校資料等の展示を行い、一般に公開することにより、庄内の教育の源泉である致道館教育を伝え現代の教育に生かすとともに文化財愛護思想の高揚を図る。

②大宝館

市指定有形文化財大宝館の保存を図りながら、一般に公開することにより、文化財愛護思想の高揚を図るとともに、郷土人物等展示施設として郷土の発展に貢献された方々の業績を顕彰する。

③史跡旧東田川郡役所及び郡会議事堂

国指定史跡及び県指定有形文化財旧東田川郡役所及び郡会議事堂の保存を図りながら、一般に公開するとともに、芸術文化活動の場としても活用することにより文化財愛護思想の高揚と芸術文化活動の振興を図る。

④史跡松ヶ岡開墾場

国指定史跡松ヶ岡開墾場の保存を図りながら、一般に公開することにより、開墾や養蚕の歴史、本市近代化の礎となった絹産業の伝統を後世に伝え、絹織物に関わる産業面や文化面からの新たな価値の創出に生かすとともに、地域活性化を図る。

⑤日向家住宅（丸岡城跡史跡公園）

県指定史跡丸岡城跡と市指定有形文化財日向家住宅を保存、活用し、文化財保護の普及と啓発を図るとともに、地域の歴史と伝統文化の継承及び地域活性化を図る。

⑥旧遠藤家住宅

県指定有形文化財旧遠藤家住宅の保存を図りながら、一般に公開することにより、文化財愛護思想の高揚を図るとともに、田麦俣地区特有の多層建築の様式を後世に継承する。

## (3) 文化財施設の入館状況

(単位：人)

地域	施設名	令和3年度入館者数	令和4年度入館者数
鶴岡	致道館	12,124	19,384
	大宝館	10,451	17,825
藤島	東田川文化記念館	5,645	9,489
羽黒	松ヶ岡開墾場	2,443	25,167
櫛引	日向家住宅	491	404
朝日	旧遠藤家住宅	1,010	775

## 4 社会教育機関・関連施設の設置状況

地域	名称	設置年月	施設の概要				
			敷地面積 (㎡)	建物延面積 (㎡)	建築年	態様	備考
鶴岡	中央公民館	昭24.3	5,075	4,395	昭58	新築移転	
	(女性センター)	昭57.4	2,138	964	昭56 平4	新築 一部改修	平成24年4月 中央公民館に統合
	市立図書館	昭23	3,841	2,180	昭59	新築移転	移動図書館あり
	荘銀タクト鶴岡 (文化会館)	昭46.5	13,097	7,846	昭45 平29	新築 改築	
	鶴岡アートフォーラム	平17.4	7,040	4,143	平17	新築	
	藤沢周平記念館	平22.4	1,719	929	平21	新築	
	史跡旧致道館	昭47.3	7,034	461	文化13	旧藩校	国指定史跡 文化財資料等展示
大宝館	昭63.4	—	534	大4	旧図書館	市指定文化財 郷土人物資料展示	
藤島	東田川文化記念館 ①旧郡会議事堂 ②旧郡役所	平8.4	6,421	①593 ②512	①明36改築 ②明20	復元	国指定史跡 県指定有形文化財 文化財資料等展示 図書館藤島分館 ギャラリー藤、明 治ホール
羽黒	史跡松ヶ岡開墾場	令2.4	20,629	4,273	明8	旧蚕室他	国指定史跡
櫛引	櫛引生涯学習センター	平30.4	3,390	1,632	昭55	新築	
	黒川能の里王祇会館	平15.6	14,208	889	平14	新築	
朝日	丸岡城跡史跡公園 (日向家住宅)	平28.4	19,306	(214)	(平28) 令3	(復元) 駐車場増設	県指定史跡 (市指定文化財)
	大鳥自然の家	昭61.4	19,324	1,680	昭52	学校転用	
朝日	旧遠藤家住宅	昭54.4	333	449	文化文政年間	新築	県指定文化財
温海	温海ふれあいセンター	平元.7	12,885	2,042	平元	新築	

# ■ 図 書 館

- 多様な学習活動を支援する環境づくりの推進  
市民の読書活動を推進する図書館づくりと地域に根ざした郷土資料館づくり

## 1 利用状況【本館・藤島分館・羽黒分館・櫛引分館・朝日分館・温海分館】

(1) 入館者・貸出登録者・貸出利用者数 (単位：人)

	入館者数		登録者数 (個人新規)	貸出利用者数			
	開館日数	入館者数		個人	団体	計	(自動車文庫)
令和3年度	299~357	202,947	2,690	100,467	1,723	102,190	6,865
令和4年度	300~357	205,316	2,773	99,200	1,692	100,892	6,315

※自動車文庫：内訳数

(2) 貸出利用冊数及び予約図書冊数 (単位：冊)

	貸出利用冊数						予約図書冊数			
	一般図書	児童図書	録音 図書他	計	(自動車 文庫)	(団体 貸出)	一般図書	児童図書	録音 図書他	計
令和3年度	277,488	165,745	2,676	445,909	32,696	29,048	38,348	11,002	2,313	51,663 (24,664)
令和4年度	266,491	167,654	2,781	436,926	31,126	27,683	36,810	10,290	2,412	49,512 (24,324)

※自動車文庫・団体貸出：内訳数

※( ) うちインターネット予約

(3) 蔵書冊数 (単位：冊)

	本館					分館					合 計
	一般	児童	紙芝居	AV※	その他	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海	
令和3年度	200,690	63,735	2,381	2,049	8,686	28,781	21,184	30,625	33,933	16,110	408,174
令和4年度	198,522	63,142	2,374	2,088	8,686	29,145	21,827	31,136	34,522	16,866	408,308

※AV資料 (CD、DVD等)

## 2 主要事業

(1) 図書館サービス及び図書館情報の充実

- ・図書館システムによる蔵書管理と資料提供
- ・レファレンスサービスの実施
- ・自動車文庫「やまびこ号」による移動図書館事業の実施
- ・図書館ホームページ、市広報、地域広報紙等での情報発信
- ・読書推進に向けたおたよりの発行
- ・図書館見学の受入れ
- ・職場体験、インターンシップの受入れ

(2) 市民の読書活動の推進

- ・市民の学習ニーズ等にこたえる図書資料等の充実
- ・図書企画展示の実施
- ・対面朗読ボランティアの実施
- ・山形小説家・ライター講座 鶴岡出張講座の開催
- ・絵本原画展とワークショップの開催
- ・手づくり絵本紙芝居コンクールの実施
- ・郷土出身作家コーナーの充実
- ・施設、サークル等への団体貸出の実施

(3) 子どもの読書活動の推進

- ・「第2次鶴岡市子ども読書活動推進計画」の推進
- ・ボランティア団体協力のもとでのおはなし会の開催
- ・子ども読書活動推進講座の開催
- ・小学生のための図書館講座の開催
- ・図書館ナイトツアーの実施
- ・読書感想文、読書感想画の募集
- ・学校図書館支援員派遣による学校図書館の支援と連携
- ・学級文庫や保育園等への団体貸出
- ・ブックスタート事業への協力
- ・おすすめ絵本リストの配布

(4) 郷土への理解と地域文化の振興

- ・郷土史の調査研究のための史料の収集、整理、活用
- ・未整理史料の目録化と貴重資料・劣化資料の保存活用のための電子化促進
- ・企画展示の実施
- ・歴史講演会、郷土史講座の開催
- ・上野甚作賞短歌の募集

# ■ スポーツ

## 1 スポーツ施設の状況

施設名	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	整備年	概要
小真木原総合体育館	9,000	3,616	9,059	平3	収容人員：固定席 1,720席、移動席 1,000席 アリーナ1,938㎡ バドミントン12面、バスケットボール2面、バレーボール3面 第1、第2多目的ホール559㎡ バドミントン各3面、バスケットボール各1面、バレーボール各1面 大会議室、第1～4会議室、役員室、第1～4選手控室、会食室、放送室、更衣室、幼児室、トレーニングルーム
小真木原陸上競技場	24,880	2,215	2,294	昭57	収容人員：メインスタンド 2,500 芝生スタンド 4,500 日本陸上競技連盟第二種公認 全天候型ウレタントラック400m8レーン、フィールド 芝 メインスタンド、室内走路
小真木原テニスコート	10,400	クラブ ハウス 150	クラブ ハウス 300	平3	固定席800席 全天候型砂入人工芝12面 夜間照明設備（コインタイマー式） クラブハウス（休憩室、男女更衣室、男女トイレ）
小真木原スケート場				平4	冬期間(12月～2月)、小真木原テニスコートを使用
小真木原野球場	27,040	4,388	4,531	平11	収容人員：内野スタンド5,500、外野スタンド6,500 本塁～中堅122.0m、本塁～両翼97.6m、本塁～後方19.0m、内外野とも天然芝舗装（洋芝） トレーニングルーム、室内練習場(人工芝1,3塁側) スコアボード設備（バックスクリーン一体型）
小真木原相撲場	1,400	348	348	平6	収容人員：432 土俵1（屋根付）、屋内相撲場（土俵2）
朝陽武道館	10,400	5,588	5,605	平13	収容人員：観客席500 柔道場常設 2面、剣道場常設 2面、弓道場近的10人立・遠的6人立、大武道場、体操ピット
小真木原 小東多目的広場	9,400			昭54	芝
小真木原 小南多目的広場	10,814	93	93	平4	芝、倉庫、バックネット2、アーチェリー用防矢ネット
宝田体育館	2,141	1,036	1,036	昭60	競技場面積 825㎡ バスケットボール1面、バレーボール2面、バドミントン6面、卓球10台、テニス1面
市民プール	10,061	2,746	3,136	平元	屋内プール（50m×25m） 日本水泳連盟公認（25m、50m）
東部運動広場	9,810			平4	クレー サッカーゴール1対、バックネット2 夜間照明設備（コインタイマー式）
大山運動広場	14,200			平元	クレー サッカーゴール1対 夜間照明設備（コインタイマー式）
J A鶴岡だだちゃ アリーナ (屋内多目的運動場)	10,822	4,756	5,402	令3	1階アリーナ人工芝 フットサル2面、テニス4面、ゲートボール8面、グラウンドゴルフほか 2階ホール ボッチャ、卓球等の軽スポーツ 2階ウォーキングコース 230m/周

施設名	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	整備年	概要
八森山 レクリエーション広場	81,714	ヒュッ テ417	ヒュッ テ417	昭32	ヒュッテ、キャンプ場、多目的広場（遊具、炊事場）、便所、水飲場、駐車場
赤川河川緑地	413,433			昭45	陸上競技場、サッカー場2、ソフトボール場、野球場2、ラグビー場、グラウンドゴルフ場、自由広場2、子ども広場2、ゲートボール場、赤川市民ゴルフ場
鶴岡市 グラウンド・ゴルフ場	26,800			平23	8ホール×6コース 計48ホール
藤島体育館	21,522	4,254	6,156	平8	収容人員：観客席 420 競技場面積 1,470㎡ バスケットボール2面、バレーボール2面、 バドミントン6面、卓球24台、テニス2面 軽スポーツルーム、トレーニング室、会議室、屋 内練習場（クレア）、クライミングボード、ス テージ（固定）
ふれあいと躍動の 広場テニスコート	3,169	クラブ ハウス 69	クラブ ハウス 69	平9	砂入人工芝2面、クレア2面 クラブハウス（休憩室、男女更衣室、男女トイ レ）
ふれあいと躍動の 広場グラウンド ゴルフ場	7,854			平9	東西各8ホール 計16ホール
藤島運動広場	19,900	管理棟 84	管理棟 84	昭57	管理棟（休憩室、男女トイレ）、夜間照明設備 （コインタイマー式） サッカー1、野球1（ソフトボール4）
羽黒体育館	9,295	3,116	3,759	平3	収容人員：観客席 144 競技場面積 1,428㎡ バスケットボール2面、バレーボール2面、 バドミントン6面、卓球5台、テニス2面 トレーニング室2、会議室、ステージ（固定）
羽黒テニスコート	4,342			平5	砂入人工芝4面 男女トイレ 夜間照明設備
羽黒体育センター	1,184	635	764	昭57	競技場面積 764㎡ バドミントン3面、卓球2台、 バスケットボール1面、バレーボール1面 ステージ（固定）
櫛引 スポーツセンター	6,726	3,285	6,637	平7	観客席 304 競技場面積 1,400㎡ バスケットボール2面、バレーボール2面、 バドミントン6面、卓球7台、テニス2面 武道場505㎡、トレーニング室、合宿室、 軽スポーツコーナー、屋内練習場（クレア）、 指導員室、控え室、ステージ（固定）
櫛引総合運動公園 陸上競技場	22,317			平元	護岸観客席 1,280 クレア400m 8レーン、フィールド 芝
櫛引総合運動公園 野球場	14,533			平3	本塁～中堅 112.0m 本塁～両翼 98.0m 外野 天然芝舗装（高麗芝） 夜間照明設備 スコアボード（手動）設備、放送、ストライク等 電光掲示
櫛引総合運動公園 多目的広場	15,141			平元	クレア
櫛引総合運動公園 イベント広場	5,645			平3、4	芝



施設名	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	整備年	概要
櫛引総合運動公園 野外ステージ	1,812			平3	芝池 ステージ (コンクリート固定)
櫛引総合運動公園 グラウンドゴルフ場	3,328			平3	12ホール
櫛引総合運動公園 ゲートボールコート	1,583			平3	クレー2面
櫛引総合運動公園 なべっこ広場	934			平3	砂利 炊事場
朝日スポーツセンター 体育館	12,768	2,140	2,383	平5	競技場面積 1,080㎡ バドミントン2面、卓球5台、 バスケットボール2面、バスケットボール2面 レクリエーション室 180㎡ ステージ (固 定)
朝日スポーツセンター 運動場	17,451			昭57	クレー、フィールド 芝 夜間照明設備 (コイン タイマー式) サッカー1 (野球1又はソフト2) バックネットに スコアボード (手動)
朝日スポーツセンター テニスコート	2,554			平6	人工芝 2面 夜間照明設備 (コインタイマー式)
朝日スポーツセンター プール	1,146			昭59	25mプール プールハウス (50.59㎡) 平成9年大規模改修
朝日スポーツセンター ゲートボール場	1,469			平6	クレー2面
温海総合運動場	23,560	202	440	昭58	収容人員：バックネット裏観客席310人 野球場1面 夜間照明設備 (コインタイマー式) 管理棟
温海湯見ヶ代運動場	14,687	100	100	昭63	管理棟、テニスコート (全天候透水型ゴムチップ ウレタン舗装) 5面 ゲートボール場 (緑色スクリーニング舗装) 1面 グラウンドゴルフ 16ホール

## 2 鶴岡市主催、共催等主要体育行事実施状況（令和4年度）

	月日	行事名	開催場所	参加人数
1	5月1日～ 11月30日	スポーツチャレンジ2022	全市	達成者 374
2	4月16日	てくてく健康「里山あるき」-赤川土手お花見ウォーク-	赤川	54
3	4月29日	てくてく健康「里山あるき」-西目大佛 荒倉を訪ねて-	上郷	49
4	5月7日	てくてく健康「里山あるき」-ふじの花ウォーク	藤島	49
5	5月15日	てくてく健康「里山あるき」-新緑の八森山を訪ねて-	三瀬	51
6	5月21日	てくてく健康「里山あるき」-義経上陸の地を巡る-	鼠ヶ関	52
7	5月28日	てくてく健康「里山あるき」-マタギの里大鳥を訪ねて-	大鳥	47
8	6月4日	市民登山「温海岳」	温海岳	31
9	6月18日	てくてく健康「里山あるき」-さくらんぼの里を歩く-	西片屋	59
10	6月25日	てくてく健康「里山あるき」-信仰の歴史を語る荒倉山から由良へ-	由良	55
11	7月16日	てくてく健康「里山あるき」-日本海と湯けむりの里を訪ねて-	温海温泉	36
12	8月7日	市民登山「月山」	月山	43
13	8月27日 ・28日	第67回鶴岡市民総合体育大会	小真木原総合 体育館	1,825
14	9月3日	てくてく健康「里山あるき」-古の六十里越街道に行く-	大網	61
15	9月10日	てくてく健康「里山あるき」-出羽街道の宿場街 小国宿を巡る-	小国	中止
16	9月17日	みんなで歩こう！里山あるき2022-羽黒山修験のみち-	羽黒山	101
17	9月18日	みんなで歩こう！里山あるき2022-大山 上池・下池-	大山	121
18	9月19日	第24回国際ノルディック・ウォークin鶴岡	湯野浜	79
19	10月1日	てくてく健康「里山あるき」-藤沢岩屋洞窟遺跡巡り-	湯田川	39
20	10月22日	てくてく健康「里山あるき」-南庄内の水がめ 紅葉のあさひ月山湖へ-	田麦俣	42
21	10月23日	子ども夢スポーツフェスティバルin鶴岡2022 SOMPOボールゲームフェスタ2022in鶴岡	小真木原総合 体育館ほか	2,120
22	10月30日	鶴岡市民親善駅伝大会	小真木原公園	495
23	11月5日 ・6日	第26回ジャパンソフトバレーボール鶴岡フェスティバル	小真木原総合 体育館	205
24	11月19日	水中ポールウォーキング教室	スパール	8
25	2月25日	雪上かんじきウォーク-たらのき代から雪の庄内を望む-	たらのき代	32

合計	25行事（実施24・中止1）
----	----------------

# ■ 学 校 給 食

## 1 学校給食の沿革

鶴岡市の学校給食は、明治22年に鶴岡町の私立忠愛小学校において、貧困児童に給食を提供したのが始まりで、日本における学校給食の発祥とされている。当時の献立は「おにぎり2個、塩びき一切れ、煮びたし」であった。その後、大正・昭和期を通じ貧困家庭の就学を支援する趣旨で全国に広まった。

藤島地域の学校給食は、明治43年に東栄小学校が行った「めし給食」が始まりとされ、昭和3年には藤島小学校で虚弱児や貧困家庭の児童に給食が提供された。朝日地域では、昭和13年に本郷小学校で弁当を持参できない子供達に、お汁とおかずを提供したことが給食の始まりとされている。

昭和7年、国による学校給食の援助が始まり、昭和15年には文部省で「学校給食奨励規程」を定め、貧困児童だけでなく身体虚弱・栄養不良児などに対して栄養を補給する目的から学校給食が奨励され終戦前まで続いた。

戦後は食糧の極度の不足から給食は休止の状態であったが、昭和21年、政府はアメリカから救援物資を受けて学校給食を再開奨励することとなり、鶴岡地域では昭和22年2月、第一小学校から第五小学校の5校で給食が再開された。同年に藤島地域、朝日地域でミルク給食、翌23年に温海地域、昭和29年に櫛引地域でミルクとおかずの給食が始まり、以後各地域においても順次再開されながら完全給食へと移行していった。当時の給食物資は、脱脂粉乳、缶詰などが多く用いられていた。

現在の学校給食は、昭和29年に制定された「学校給食法」に基づいており、当初は小学校のみ対象であったが昭和31年に中学校へも適用された。また、昭和33年には給食が「学校行事」に位置づけられ、その後の改正では「特別活動」となり、教育の一貫として実施されるようになった。

昭和40年7月に鶴岡地域の小・中学校38校17,590人を対象に山形県内初の共同調理場が設置され、小学校38円、中学校50円の給食費で学校給食の提供を開始した。その後、昭和42年11月に櫛引地域、昭和44年4月に藤島地域、昭和47年1月には温海地域で次々に共同調理場が設置され、単独調理場方式から共同調理場方式へと移行していった。

昭和45年頃から日本人の食生活が欧米型に変わってきたことによる健康面への弊害が問題となり、日本型食事の良さを見直そうという動きと相まって、学校給食における米の消費拡大を進める必要性が議論され始めた。

その結果、国においては昭和51年から米飯給食が導入され、鶴岡地域では昭和52年に米飯を週1回取り入れ、昭和54年に2回、昭和63年に3回、平成元年からは現在の週4回に増やし実施している。

昭和62年4月に鶴岡地域の共同調理場が現在の鶴岡市学校給食センターとして生まれ変わり給食提供を開始した。平成7年に櫛引地域、平成13年に温海地域、平成14年には藤島地域でも現在の施設に改築された。この改築に合わせ藤島地域では、国の構造改革特区により学校給食に加え保育園への給食提供を開始した。また、単独調理場方式であった朝日地域では平成13年に新たに共同調理場を設置し給食提供を開始した。

平成10年、鶴岡市学校給食センターが学校給食優良校の共同調理部門で文部大臣表彰を受賞し、平成12年には文部科学省の「食生活に関する教育実践事業」のモデル地域に指定された。

平成23年4月、櫛引学校給食センターとあさひ給食センターの調理・配送業務を民間に委託、平成24年4月にあつみっこ給食センター、平成25年4月に藤島ふれあい食センターの調理・配送業務を民間に委託し現在に至っている。昭和33年から単独調理場方式で実施していた羽黒地域では、少子化や施設の老朽化等のため平成24年4月から鶴岡市学校給食センターに包含され、現在市内5つの給食センターで約9,200食が提供されている。

また、給食の提供については、食の安心安全が重要であることから、「学校における食物アレルギー対応マニュアル」を平成26年1月（令和3年3月改訂）に策定、同じく「学校給食における異物混入マニュアル」を平成26年4月（令和3年1月改訂）に策定し、万が一の事故等への迅速かつ適正な対応に備えることとしている。

献立作成では地産地消の推進にも努めており、令和4年度の野菜の地場産使用率は庄内産35.0%、うち鶴岡産31.3%となっている。また、平成26年12月にユネスコ食文化創造都市に認定されたことから地域の豊かな食材を使った伝統的な食文化を継承するため、「もうそう汁」や「いも煮」などの郷土料理や「大黒様のお歳夜献立」などの行事食を市内全てのセンターで年間を通じ提供している。

## 給食施設関係

項目	給食開始年	共同調理場建設年月日	敷地面積(m <sup>2</sup> )	建物面積(m <sup>2</sup> )	職員数(人)		委託業者数(人)	給食形態	米飯給食回数(週)
					正職員	パート職員			
鶴岡市学校給食センター	鶴岡S22	S62.3.20	8,148	3,110	38	36		完全給食	4
	羽黒S33	H24.4統合							
藤島ふれあい食センター	昭和22年	H14.3.28	2,994	1,334	2	1	14	完全給食	4
櫛引学校給食センター	昭和29年	H7.12.27	1,188	475	2		11	完全給食	4
あさひ給食センター	昭和22年	H13.3.26	1,614	559	1	1	9	完全給食	4
あつみっこ給食センター	昭和34年	H13.12.5	2,017	573	2		8	完全給食	4
合計	—	—	—	—	45	38	42		

※羽黒地域は平成24年4月統合

## 給食施設関係

項目	学校数		学級数		児童生徒数(人)		教職員数(人)		
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	
鶴岡市学校給食センター	17	7	181	83	4,304	2,328	422	243	
	鶴岡地域	15	6	169	77	3,969	2,137	389	219
	羽黒地域	2	1	12	6	335	191	33	24
藤島ふれあい食センター	3	1	21	9	395	246	56	30	
櫛引学校給食センター	3	1	20	6	328	171	50	21	
あさひ給食センター	1	1	6	3	118	79	16	13	
あつみっこ給食センター	2	1	11	6	189	115	31	18	
合計	26	11	239	107	5,334	2,939	575	325	

※米飯給食：平成20年11月からパン給食を月1回米飯給食に変更

※児童生徒数及び教職員数は給食数(令和5年5月1日現在)

※給食費は小学校280円、中学校320円

# 市の主な施設

## 1 本庁舎市長部局

施設名	所在地	電話	備考
鶴岡市役所本庁舎	馬場町9-25	25-2111	昭和56年7月現庁舎竣工 鉄骨鉄筋コンクリート造6階建・地下1階 11,335㎡ 車庫棟鉄骨造2階建 1,055㎡ 別棟鉄骨造2階建 472㎡
<b>( 総務部関係 )</b>			
職員研修会館	若葉町24-25		平成3年建築、鉄筋コンクリート造・木造2階建 678
東京事務所	東京都江戸川区西葛西七丁目28-7	03-5696-6821	平成2年4月開設、木造2階建 150㎡
<b>( 企画部関係 )</b>			
出羽庄内国際村	伊勢原町8-32	25-3600	平成6年4月開設、鉄筋コンクリート造一部2階建 3,199㎡ 倉庫 68㎡ (公益財団法人出羽庄内国際交流財団指定管理)
致道ライブラリー	馬場町14-1	29-0810	平成13年5月開設、鉄筋コンクリート造3階建、743㎡
先端研究産業支援センター	覚岸寺字水上246-2	29-1620	平成16年5月開設、鉄骨造一部2階建 10,533.26㎡
<b>( 市民部関係 )</b>			
第一学区コミュニティ防災センター	文園町1-63	25-1615	鉄筋コンクリート造2階建 935.68㎡ (第一学区コミュニティ振興会指定管理)
第二学区コミュニティ防災センター	昭和町11-22	24-8032	鉄筋コンクリート造2階建 868.12㎡ 鉄骨建トタン葺(自転車小屋) 10㎡ (第二学区コミュニティ振興会指定管理)
第三学区コミュニティセンター	泉町5-30	24-2212	鉄骨造3階建1階部分 990.28㎡ 市総合保健福祉センター にこふる との合築 (第三学区コミュニティ協議会指定管理)
第四学区コミュニティセンター	稲生一丁目10-80	24-4789	鉄筋コンクリート造2階建 828.06㎡ 鉄骨建トタン葺(自転車小屋) 11.25㎡ (第四学区コミュニティ振興会指定管理)
第五学区コミュニティ防災センター	宝町18-77	22-4766	鉄筋コンクリート造2階建 842.97㎡ 鉄骨建トタン葺(自転車小屋) 11㎡ (第五学区コミュニティ振興会指定管理)
第六学区コミュニティ防災センター	みどり町22-28	22-5346	鉄筋コンクリート造2階建(大集会室:鉄骨造) 1,360.71㎡ (第六学区コミュニティネットワーク指定管理)
斎コミュニティ防災センター	我老林字野中川原35-2	22-0985	鉄筋コンクリート造平屋建 872.78㎡ (斎地区自治振興会指定管理)
黄金コミュニティ防災センター	青龍寺字北内203-1	22-5743	鉄筋コンクリート造平屋建 932.06㎡、物置 木造平屋建 43㎡(黄金地区自治振興会指定管理)
湯田川コミュニティセンター	藤沢字西側174-1	35-2111	鉄筋コンクリート造一部木造2階建 726.56㎡ (湯田川地区自治振興会指定管理)
農村センター	矢馳字上矢馳258	22-0798	鉄筋コンクリート造平屋建 1,597.86㎡ (大泉地区自治振興会指定管理)

施設名	所在地	電話	備考
京田コミュニティ 防災センター	高田字下村336-1	22-0762	鉄筋コンクリート造平屋建 890.22㎡ 鉄筋コンクリート造平屋建(プロアポンプ庫) 4.62㎡ (京田地区自治振興会指定管理)
栄コミュニティ 防災センター	播磨字若松95-1	29-2105	鉄筋コンクリート造平屋建 745.81㎡ (栄地区自治振興会指定管理)
田川 コミュニティセンター	田川字高田9	35-2003	鉄筋コンクリート造3階建1階部分 (大集会室:鉄骨造) 1589.05㎡ (田川地区自治振興会指定管理)
上郷 コミュニティセンター	みずほ49-1	35-2001	鉄筋コンクリート造2階建(大集会室:鉄骨造) 1,556.14㎡ (上郷地区自治振興会指定管理)
三瀬 コミュニティセンター	三瀬字堅田138-8	73-2001	鉄筋コンクリート造2階建 868.60㎡ 木造平屋建(倉庫) 12.42㎡ 軽量鉄骨造平屋建(自転車小屋) 10.09㎡ 木造平屋建(ボイラー室) 9.93㎡ (三瀬地区自治会指定管理)
由良 コミュニティセンター	由良二丁目14-53	73-2905	鉄筋コンクリート造2階建 1,077.40㎡ (由良自治会指定管理)
小堅 コミュニティセンター	堅苔沢字淵ノ上334	73-2243	鉄筋コンクリート造2階建1階部分 (多目的ホール:鉄骨造) 1,400.17㎡ (小堅地区自治振興会指定管理)
加茂コミュニティ 防災センター	加茂字坂ノ下166	33-3023	鉄筋コンクリート造平屋建 887.58㎡ (加茂地区自治振興会指定管理)
湯野浜 コミュニティセンター	湯野浜一丁目1-7	75-2300	鉄筋コンクリート造3階建 1,321.19㎡ 観光案内所、下区公衆浴場との合築 (湯野浜地区自治会指定管理)
大山 コミュニティセンター	友江町23-71	33-3213	鉄筋コンクリート造2階建 1,398.00㎡ (大山自治会指定管理)
西郷地区 農林活性化センター	下川字龍花1-1	76-2301	木造平屋建(一部鉄筋コンクリート造) 1,199.63㎡ (西郷自治会指定管理)
鶴岡斎場	伊勢原町12-81	22-1005	昭和61年9月開設 鉄筋コンクリート造2階建 1,494㎡
鶴岡墓園	下川字龍花崎10-19		平成2年7月開設 361区画、5,629㎡
自然学習交流館 ほとりあ	馬町字駒繫3-1	33-8693	平成24年4月開設、木造2階建 412.59㎡ (大山自治会指定管理)
クリーンセンター	宝田三丁目13-6	22-2848 22-2849	ごみ焼却プラント(地上5階、地下1階建)他 5,414㎡(渡廊下、車庫棟等を含む) し尿処理プラント(地上2階、地下1階建) 3,942㎡
リサイクルプラザ	水沢字水京68-1	35-3557	不燃物中間処理棟(地上4階、地下1階建)他 6,191㎡(プラザ棟について株式会社鶴岡地区ク リーン公社指定管理)
岡山一般廃棄物 最終処分場	岡山字大谷地16	35-2766	汚水処理棟(地上2階、地下1階建)他 1,046㎡
鶴岡市一般廃棄物 最終処分場	大荒字荒沢前167番地2	35-3470	管理棟(地上2階、地下1階建)他 764.19㎡
<b>(健康福祉部関係)</b>			
総合保健福祉センター	泉町5-30	25-2111	平成22年3月竣工 鉄骨造地下1階・地上3階・塔屋1階 6,148.81㎡
休日夜間診療所	泉町5-30	23-5678	平成22年4月設置(保健福祉センター併設)
休日歯科診療所	泉町5-30	23-0372	平成22年4月設置(保健福祉センター併設)
湯野浜上区公衆浴場	湯野浜一丁目6-1	76-4960	平成22年7月改築 鉄筋コンクリート造平屋建 154.31㎡(湯野浜地区自治会指定管理)

施設名	所在地	電話	備考
愛光園	藤沢字軽井沢68	35-2399	建物面積 3,231.84㎡ (社会福祉法人恵泉会指定管理)
松原保育園 あおば学園	宝町18-50	29-1501 29-1502	木造平屋建 保育園 1,021.05㎡ あおば学園 332.55㎡ (社会福祉法人恵泉会指定管理)
東部保育園	日出一丁目25-23	22-2142	鉄筋コンクリート造2階建 852㎡ (社会福祉法人恵泉会指定管理)
西部保育園	新海町11-57	23-5646	木造トタン葺平屋建 697㎡
南部保育園	陽光町9-32	22-0527	木造一部鉄骨造、地下1階地上一部2階建 1,876.08㎡
かたばみ保育園	家中新町14-10	22-0686	鉄筋コンクリート造2階建 698㎡ 木造平屋2才児保育室 53.86㎡
由良保育園	由良一丁目21-73	73-2276	木造カラスステンレス鋼板葺2階建 496.58㎡ (由良保育園運営委員会指定管理)
中央児童館	苗津町1-1	24-4608	木造トタン葺平屋建 690.62㎡ 木造平屋建自転車 置場 13㎡ 木造平屋(トイレ、倉庫)45㎡、木造平 屋東屋 北7.00㎡、南7.00㎡ (社会福祉法人鶴岡市社会福祉協議会指定管理)
鶴岡西部児童館	淀川町9-15	29-0031	木造カラーGL鋼板葺2階建 593.76㎡ 木造平屋建 自転車置場 14㎡ (社会福祉法人鶴岡市社会福祉協議会指定管理)
鶴岡南部児童館	文園町1-8	64-1900	木造カラーGL鋼板葺2階建 587.61㎡ (社会福祉法人鶴岡市社会福祉協議会指定管理)
暁光児童館	柳田字田中28-3	64-8640	木造カラーGL鋼板葺平屋建 557.73㎡ 木造付属棟18.17㎡ (社会福祉法人鶴岡市社会福祉協議会指定管理)
大山児童館	大山三丁目34-16	38-0260	鉄骨造2階建 283.02㎡ (社会福祉法人鶴岡市社会福祉協議会指定管理)
ゆうあいプラザ	ほなみ町3-2	28-3136	鉄筋コンクリート造平屋建 1,285㎡ (社会福祉法人鶴岡市社会福祉協議会指定管理)
ゆうあいプラザ分館	家中新町18-50	24-5610	木造平屋建 171㎡ (社会福祉法人鶴岡市社会福祉協議会指定管理)
高齢者福祉センター おおやま	大山三丁目34-1	38-0250	鉄筋コンクリート造3階建 8,075㎡ 木造平屋倉庫 14㎡ 木造平屋自転車置場 9㎡ 木造平屋倉庫兼防 災備蓄庫 26.49㎡ (社会福祉法人鶴岡市社会福祉協議会指定管理)
助産所	泉町4-20 (市立荘内病院内)	26-5111	経済的理由で入院助産が受けられない妊産婦のため の助産施設(2床)
<b>( 農 林 水 産 部 関 係 )</b>			
農業経営者育成学校	千安京田字龍花山1-1	76-3220	令和2年4月設置 鉄筋コンクリート造地下1階地上2階建 6,940.61㎡
<b>( 商 工 観 光 部 関 係 )</b>			
庄内産業振興センター	末広町3-1	23-2200	昭和62年6月設置、(公益財団法人庄内地域産業振 興センター指定管理) 平成21年7月マリカ東館に施設拡張
勤労者会館	泉町8-57	25-2548	勤労者等の福祉増進と雇用安定のため、昭和63年8月 設置。鉄筋コンクリート造2階建 940㎡ (一般財団法人鶴岡市開発公社指定管理)
加茂水族館	今泉字大久保657-1	33-3036	平成26年6月1日改築 鉄筋コンクリート造3階建 4,029.40㎡ (一般財団法人鶴岡市開発公社指定管理)

施設名	所在地	電話	備考
<b>(建設部関係)</b>			
市営駅前自転車駐車場	末広町1-125	23-6248	昭和61年10月設置、鉄骨造2階建 610㎡ (一般財団法人鶴岡市開発公社指定管理)
鶴岡駅北自転車駐車場	末広町1-46		鉄骨造平屋建 95㎡
赤川市民ゴルフ場	勝福寺字根木漣162	25-5624	平成元年オープン、9ホール、166,730㎡。クラブハウス、駐車場、管理機材など平成24年4月取得。 (有限会社鶴岡ゴルフカートンが令和4年4月から令和9年3月まで指定管理者)
<b>(病院関係)</b>			
市立荘内病院	泉町4-20	26-5111	鉄筋コンクリート造10階建 54,728.13㎡ 平成15年7月 新病院開院
市立荘内看護専門学校	馬場町2-1	22-1919	平成16年3月大規模改造 木造平屋建一部鉄筋コンクリート造 1,066.04㎡
<b>(上下水道部関係)</b>			
上下水道部	のぞみ町2-10	23-7731	昭和57年竣工 鉄筋コンクリート2階建 1,217.31㎡
鶴岡浄化センター	宝田三丁目21-1	24-7033	昭和55年5月供用開始、敷地面積 69,443㎡、管理棟地下2階地上3階、汚泥棟地下1階地上5階 機械濃縮棟地下1階地上2階、第1消化棟地下1階地上1階、第2消化棟地下1階地上3階、滅菌棟地下1階地上1階 16,071㎡
<b>(消防本部関係)</b>			
鶴岡市消防本部	美咲町36-1	22-8330	平成23年4月1日建設 鉄筋コンクリート造5階建 5,609.70㎡
鶴岡市消防署	美咲町36-1	22-8331	平成23年4月1日建設 消防本部の建物内
鶴岡市消防署中央分署	文園町1-63	22-9200	平成25年4月12日建設 鉄筋コンクリート造2階建 440.55㎡
鶴岡市消防署北分署	道形町12-17	22-2131	平成28年4月15日建設 鉄筋コンクリート造2階建 444.36㎡
鶴岡市消防署西分署	下川字龍花崎41-697	75-2030	平成19年12月1日建設 鉄筋コンクリート造平屋建 437.77㎡
鶴岡市消防署温海分署	湯温海字湯之尻289	43-2132	平成27年4月13日建設 鉄筋コンクリート造2階建 478.67㎡
鶴岡市消防署朝日分署	下名川字落合9	53-2126	昭和49年3月28日建設 鉄筋コンクリート造2階建 240.16㎡
鶴岡市消防署羽黒分署	羽黒町荒川字前田元89	62-2119	平成28年12月2日建設 鉄筋コンクリート造2階建 830.57㎡のうち1階416.58㎡
鶴岡市消防署藤島分署	藤島字笹花51-1	64-2139	令和3年8月24日建設 鉄筋コンクリート造2階建 479.48㎡
鶴岡市消防署櫛引分署	上山添字文栄78-1	57-2146	平成8年2月27日建設 木造カラー鉄板葺平屋建 178.20㎡



## 2 教育委員会部局

施設名	所在地	電話	備考
教育研修所・理科教育センター	上山添字文栄100	57-4864	教育委員会に併設
教育相談センター	末広町3-1マリカ東館	23-9351	486㎡
青少年育成センター	上山添字文栄100	57-2108	教育委員会に併設
学校給食センター	白山字西野148-1	22-0411	鉄骨造2階建 3,110㎡
藤島ふれあい食センター	藤浪三丁目95-9	64-2124	鉄骨造2階建 1,334㎡
櫛引学校給食センター	上山添字成田21-4	57-3279	鉄骨造平屋建 475㎡
あさひ給食センター	本郷字中田30-1	58-1325	鉄筋コンクリート2階建 559㎡
あつみっこ給食センター	大岩川字黒岩35	48-1432	鉄骨造平屋建 573㎡
中央公民館	みどり町22-36	25-1050	鉄骨鉄筋コンクリート造3階建 4,395㎡
女性センター	みどり町22-43	24-2340	鉄筋コンクリート造2階建 964㎡
市立図書館	家中新町14-7	25-2525	鉄筋コンクリート造2階建 2,181㎡
郷土資料館	家中新町14-7	25-5014	平成20年1月図書館に併設
史跡旧致道館	馬場町11-45	23-4672	木造瓦葺平屋建 461㎡ (公益財団法人致道博物館指定管理)
大宝館	馬場町4-7	24-3266	木造瓦葺2階建 534㎡ (公益財団法人致道博物館指定管理)
荘銀タクト鶴岡 (文化会館)	馬場町11-61	24-5188	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上3階地下1階建 敷地面積13,096.84㎡、建築面積5,756.35㎡、延床面積7,846.12㎡(タクトつるおか共同企業体指定管理)
鶴岡アートフォーラム	馬場町13-3	29-0260	鉄筋コンクリート・鉄骨混構造3階建 4,143㎡ (一般財団法人鶴岡市開発公社指定管理)
藤沢周平記念館	馬場町4-6	29-1880	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建 敷地面積 1,718.95㎡、建築面積716.16㎡、延床面積928.81㎡
東田川文化記念館	藤島字山ノ前99	64-2537	旧東田川郡役所(木造平屋建512㎡)旧東田川郡会議事堂(木造2階建593㎡) その他(管理棟・土蔵)平成8年開館(公益財団法人藤島文化スポーツ事業団指定管理)
藤島農村環境改善センター	添川字新地315	64-2470	鉄筋コンクリート造2階建 1,140㎡
松ヶ岡開墾場	羽黒町松ヶ岡字松ヶ岡	64-1331	木造瓦葺2階建(1~5番蚕室)3,655.68㎡ 木造亜鉛メッキ鋼板・セメント瓦葺(寄宿舎)346.26㎡ 木造セメント瓦葺平屋建(貯桑土蔵)190.11㎡ コンクリートブロック造カラー鉄板葺平屋建(冷蔵庫庫)81.15㎡
櫛引生涯学習センター	上山添字文栄90	57-5670	鉄筋コンクリート造2階建 1,632㎡ (櫛引地域生涯学習振興会指定管理)
丸岡城跡史跡公園 (日向家住宅)	丸岡字町の内96	57-5556	史跡公園(敷地面積19,306㎡)、日向家住宅(木造平屋建214㎡) (荘内加藤清正公忠廣公遺蹟顕彰会指定管理)
大鳥自然の家	大鳥字寿岡112	55-2946	鉄筋コンクリート2階建 1,680㎡ (大鳥地区村づくり推進協議会指定管理)
旧遠藤家住宅	田俣保字七ツ滝139		木造3階建茅葺 449㎡
温海ふれあいセンター	温海戊577-1	43-4411	鉄筋コンクリート造4階建 2,042㎡ (温海生涯学習振興会指定管理)
(市立小学校)			
朝暘第一小学校	文園町2-1	22-0441	平成21年度建設 延床面積 9,059㎡
朝暘第二小学校	東原町25-1	22-7755	平成10年度建設 延床面積 8,305㎡
朝暘第三小学校	新形町17-24	22-0318	平成2年度建設 延床面積 9,155㎡
朝暘第四小学校	柳田字田中28-1	22-8343	平成25年度建設 延床面積 8,499㎡

施設名	所在地	電話	備考
朝陽第五小学校	切添町15-4	22-0514	昭和39年度建設 延床面積 4,451㎡
朝陽第六小学校	淀川町9-70	24-2290	昭和50年度建設 延床面積 6,951㎡
斎小学校	我老林字野中川原51	22-1566	昭和63年度建設 延床面積 3,323㎡
黄金小学校	青龍寺字北内48	22-5742	昭和57年度建設 延床面積 2,992㎡
大泉小学校	白山字西野148	22-0794	昭和62年度建設 延床面積 3,992㎡
京田小学校	高田字下村104	22-0763	昭和60年度建設 延床面積 3,208㎡
上郷小学校	みずほ33-3	35-2641	昭和46年度建設 延床面積 2,622㎡
豊浦小学校	三瀬字菖蒲田88-1	73-2012	平成4年度建設 延床面積 3,292㎡
湯野浜小学校	湯野浜一丁目16-38	75-2110	平成15年度建設 延床面積 4,810㎡
大山小学校	大山二丁目20-1	33-2570	昭和46年度建設 延床面積 5,288㎡
西郷小学校	下川字樋渡100	76-2307	昭和40年度建設 延床面積 3,666㎡
藤島小学校	藤の花二丁目1-1	64-2156	昭和51年度建設 延床面積 5,094㎡
東栄小学校	川尻字町上14	64-2159	昭和59年度建設 延床面積 3,095㎡
渡前小学校	渡前字中屋敷1	64-2160	昭和63年度建設 延床面積 3,230㎡
羽黒小学校	羽黒町荒川字花沢4	62-2148	昭和59年度建設 延床面積 6,472㎡
広瀬小学校	羽黒町後田字下田元9	62-2165	昭和63年度建設 延床面積 5,092㎡
櫛引東小学校	黒川字小在家90	57-2105	昭和60年度建設 延床面積 4,453㎡
櫛引西小学校	上山添字文栄1	57-2106	平成5年度建設 延床面積 5,123㎡
櫛引南小学校	東荒屋字竹の内212	57-2107	平成18年度建設 延床面積 4,083㎡
あさひ小学校	下名川字落合2	53-2028	昭和49年度建設 延床面積 3,958㎡
あつみ小学校	温海字荻田240-1	43-3101	昭和53年度建設 延床面積 4,055㎡
鼠ヶ関小学校	鼠ヶ関字横路497-2	44-2128	平成20年度建設 延床面積 4,931㎡
(市立中学校)			
鶴岡第一中学校	道田町1-82	22-0530	昭和55年度建設 延床面積 8,887㎡
鶴岡第二中学校	宝田二丁目8-34	22-8323	平成19年度建設 延床面積 10,051㎡
鶴岡第三中学校	城南町25-1	22-2793	平成29年度建設 延床面積 9,686㎡
鶴岡第四中学校	小真木原町3-1	24-7330	昭和54年度建設 延床面積 8,063㎡
鶴岡第五中学校	大山字若柳271	33-2222	平成8年度建設 延床面積 10,240㎡
豊浦中学校	三瀬字横町33-2	73-2028	平成6年度建設 延床面積 4,362㎡
藤島中学校	藤島字笹花86-1	64-2154	昭和42年度建設 延床面積 6,449㎡
羽黒中学校	羽黒町荒川字宮東28-1	62-2100	平成23年度建設 延床面積 7,111㎡
櫛引中学校	上山添字文栄86	57-2103	平成11年度建設 延床面積 7,579㎡
朝日中学校	本郷字笹目50	53-2092	平成26年度建設 延床面積 4,667㎡
温海中学校	大岩川字黒岩35	43-2911	平成9年度建設 延床面積 8,433㎡
(保健体育施設)			
市民プール	馬場町13-1	22-0074	鉄骨コンクリート造2階建 3,136㎡ (一般財団法人鶴岡水泳育成協会指定管理)
赤川河川緑地	大宝寺字立野地内		
鶴岡市 グラウンド・ゴルフ場	勝福寺地内		8ホール×6コース(敷地面積 26,800㎡) (NPO法人鶴岡市スポーツ協会指定管理)
東部運動広場	伊勢原町12-13		(NPO法人鶴岡市スポーツ協会指定管理)
大山運動広場	大山三丁目34-1		(NPO法人鶴岡市スポーツ協会指定管理)
J A 鶴岡 だだちゃアリーナ (屋内多目的運動場)	山田字油田74番地22	33-9331	鉄骨造2階建 5,402㎡ (NPO法人鶴岡市スポーツ協会指定管理)
八森山 レクリエーション広場	三瀬字山田1-1		鉄筋コンクリート造3階建 417㎡
小真木原総合体育館	小真木原町2-1	25-8131	鉄骨コンクリート造4階建 9,059㎡ (NPO法人鶴岡市スポーツ協会指定管理)
小真木原陸上競技場	小真木原町2-1	23-4747	鉄筋コンクリート造2階建 2,294㎡ (NPO法人鶴岡市スポーツ協会指定管理)

施設名	所在地	電話	備考
小真木原テニスコート	小真木原町2-1	23-5694	クラブハウス 鉄骨造2階建 300㎡ (NPO法人鶴岡市スポーツ協会指定管理)
小真木原野球場	小真木原町2-1	25-8133	内野スタンド鉄筋コンクリート造PC構造3階建 4,531㎡ (NPO法人鶴岡市スポーツ協会指定管理)
小真木原相撲場	小真木原町2-1		屋外相撲場鉄骨造平屋建 110㎡ 屋内相撲場軽量 鉄骨プレハブ造平屋建 237㎡ (NPO法人鶴岡市スポーツ協会指定管理)
朝陽武道館	小真木原町2-1	29-1346	鉄骨造2階建 5,344㎡ 遠的場鉄骨造平屋建 261㎡ (NPO法人鶴岡市スポーツ協会指定管理)
宝田体育館	宝田一丁目20-61		鉄筋コンクリート造平屋建 1,036㎡ (NPO法人鶴岡市スポーツ協会指定管理)
藤島体育館	藤の花一丁目1-1	64-2143	鉄筋コンクリート造2階 5,032㎡ 屋内練習場 鉄骨平屋 1,124㎡ (NPO法人鶴岡市スポーツ協会指定管理)
藤島ふれあいと 躍動の広場	藤の花一丁目1-1	64-2143	グラウンドゴルフ場 (8ホール×2コース) テニスコート (人工芝2面、クレール2面) (NPO法人鶴岡市スポーツ協会指定管理)
藤島運動広場	添川字新地307	64-2470	グラウンド (野球・ソフトボール・サッカー 管理棟84㎡ (トイレ・倉庫) 夜間照明
藤島農村環境 改善センター	添川字新地315	64-2470	鉄筋コンクリート造2階 1,140㎡
羽黒体育館	羽黒町荒川字谷地堰 29-1	62-4789	鉄筋コンクリート造2階建 3,759㎡ (NPO法人鶴岡市スポーツ協会指定管理)
羽黒テニスコート	羽黒町荒川字谷地堰 30-1	62-4789	砂入人工芝4面 男女トイレ 夜間照明設備 (NPO法人鶴岡市スポーツ協会指定管理)
羽黒体育センター	羽黒町荒川字前田元 67-2	62-4789	鉄筋コンクリート造 764㎡ (NPO法人鶴岡市スポーツ協会指定管理)
櫛引スポーツセンター	三千刈字清和158-1	57-4311	鉄筋コンクリート造3階建 6,637㎡ (NPO法人鶴岡市スポーツ協会指定管理)
櫛引総合運動公園	黒川字大杉川原地内 勝福寺字福島地内	57-4311	陸上競技場(サッカー場) 多目的広場 野球場 グラウンドゴルフ場 ゲートボールコート (NPO法人鶴岡市スポーツ協会指定管理) なべっこ広場 イベント広場
朝日スポーツセンター 体育館	東岩本字野中146	53-3302	鉄筋コンクリート造2階建 2,382㎡ (NPO法人鶴岡市スポーツ協会指定管理)
朝日スポーツセンター 運動場	東岩本字野中146	53-3302	グラウンド・テニスコート2面 ゲートボール場 (NPO法人鶴岡市スポーツ協会指定管理) 屋外プール
温海総合運動場	湯温海字嶽之腰1-1	43-3755	野球場1面、夜間照明設備 (コイントイマー式)、 管理棟440㎡ (NPO法人鶴岡市スポーツ協会指定管理)
温海湯見ヶ代運動場	湯温海字湯見ヶ代 10-1	43-3755	管理棟 100㎡ (NPO法人鶴岡市スポーツ協会指定管理)

### 3 本庁舎 その他の関連組織

施設名	所在地	電話	備考
一般財団法人 鶴岡市開発公社	末広町5-22 マリカ西館	22-9069	
庄内広域行政組合	三川町大字押切新田 字茨谷地50	66-4141	

### 4 藤島庁舎市長部局

施設名	所在地	電話	備考
鶴岡市藤島庁舎	藤島字笹花25	64-2111	昭和59年竣工 鉄筋コンクリート造3階建 3,983㎡ 車庫棟(昭和60年建築 鉄骨造2階 1,009㎡) 大型 車庫棟(昭和62年 鉄骨造 459㎡)
藤島斎場	古郡字道橋246	64-4244	昭和59年竣工、鉄筋コンクリート造平屋建 188㎡
藤島墓園	藤島字村東153-1 藤島字川向1-3		昭和62年設置 43区画
藤島児童館	藤島字笹花58-2	64-2163	昭和54年竣工 木造鉄板葺2階 462㎡ (学校法人いなば学園指定管理)
藤島くりくり保育園	藤島字笹花82-1	64-2167	平成5年竣工 鉄筋コンクリート造平屋建 972㎡ 0~2歳児保育施設(社会福祉法人ふじの里指定管理)
藤島こりす保育園	藤の花一丁目21-1	78-2588	平成16年竣工 木造平屋 1,668㎡ 3~5歳児保育 施設(社会福祉法人ふじの里指定管理)
藤島 ふれあいセンター	藤島字古楯跡94-1	64-8775	平成13年竣工 木造平屋 333㎡ 平成17年改・増 築後 834㎡(藤島中町町内会指定管理) 平成28年4月 商業施設部分(408.09㎡)を用途廃 止し、公募を経て株式会社出羽マルシェに有償貸付
藤島 エコタウンセンター	藤浪二丁目93	78-2520	旧NOSAI庄内中央事務所(昭和56年)を改築(平成 17年) 鉄筋コンクリート造2階建903㎡ 作業室兼車 庫(鉄骨造283㎡) 平成30年2月 1階一部分(283.528㎡)を用途廃止 し、公募を経て有限会社田和楽へ有償貸付
藤島総合交流促進施設	長沼字宮前266-1	64-4126	平成12年竣工 ヘルシーハウス(温泉交流施設 木 造平屋建一部鉄筋コンクリート造 799㎡) グリー ンハウス(農産物直売施設 鉄骨平屋建 165㎡) コミュニティハウス(木造平屋建 496㎡) (長沼温泉ぼっぼの湯運営協議会指定管理)
藤島 エコ有機センター	添川字西山173	64-3003	平成16年竣工 一次発酵棟(鉄骨造平屋建 1,770 ㎡) 二次発酵・保管棟(鉄骨造平屋建 940㎡) 鶏糞 処理棟(鉄骨造平屋建 480㎡) 管理棟(木造平屋建 31㎡)
藤島地区 地域活動センター	藤島字笹花73	64-2119	昭和53年11月竣工 鉄筋コンクリート造2階建 2,093㎡(藤島地区自治振興会指定管理)
東栄地区 地域活動センター	蛸井興屋字水尻26-2	64-2123	平成6年10月竣工 鉄骨平屋造1,477㎡(東栄地区自 治振興会指定管理)
八栄島地区 地域活動センター	八色木字西野102-4	64-2121	平成16年12月竣工 コミュニティセンター(木造平 屋368㎡) 農村文化伝承施設(鉄骨一部2階436㎡) (八栄島地区自治振興会指定管理)
長沼地区 地域活動センター	長沼字宮前164	64-2122	令和元年12月改築(旧長沼小学校) 鉄筋コンクリ ート造2階建 1,886㎡(長沼地区自治振興会指定管理)
渡前地区 地域活動センター	渡前字中屋敷28	64-2120	平成3年10月竣工 鉄骨平屋 1,405㎡(渡前地区自 治振興会指定管理)

## 5 羽黒庁舎市長部局

施設名	所在地	電話	備考
鶴岡市羽黒庁舎	羽黒町荒川字前田元89	62-2111	平成29年7月竣工 庁舎棟（木造2階建）845.31㎡ 庁舎・消防棟（鉄筋コンクリート造2階建）830.57㎡ 渡り廊下棟（鉄筋コンクリート造平屋建）11.67㎡ 図書館棟（木造平屋建）463.54㎡
大東保育園	羽黒町手向字池之頭139-1	62-2156	平成7年5月竣工 木造平屋建 564㎡ （社会福祉法人羽黒百寿会指定管理）
貴船保育園	羽黒町後田字谷地田186-1	62-2155	平成11年3月竣工 木造一部鉄筋平屋建 1,167㎡ （社会福祉法人羽黒百寿会指定管理）
いずみ保育園	羽黒町市野山字山王林11	62-2153	平成9年3月竣工 木造平屋建 923㎡ （社会福祉法人羽黒百寿会指定管理）
いでは文化記念館	羽黒町手向字院主南72	62-4727	平成3年3月竣工 鉄筋コンクリート造2階建 2,653㎡（羽黒町観光協会指定管理）
創造の森	羽黒町川代字向山628	62-2655	平成4年8月竣工 木造平屋建 499㎡
羽黒山スキー場	羽黒町手向字羽黒山9-1	62-2152	昭和62年12月竣工 ロッジ・ペアリフト 面積 10.4ha（一般社団法人月山畜産振興公社指定管理）
やまぶし温泉ゆぽか	羽黒町後田字谷地田188	62-4855	平成9年12月竣工 鉄筋コンクリート造一部木造1階 建 1,782㎡（株式会社ゆぽか指定管理）
月山高原ふれあいハウス・ハーモニーパーク	羽黒町川代字東増川山368-2	62-4200	平成4年建設 鉄筋コンクリート造・木造建 538.66㎡（一般社団法人月山畜産振興公社指定管理）
羽黒コミュニティセンター	羽黒町荒川字谷地堰28	62-4627	昭和56年建設 鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コ ンクリート造2階建 1,772㎡
手向地区 地域活動センター	羽黒町手向字黒沢31-1	62-2128	木造一部鉄骨造平屋建 780㎡ （手向地区自治振興会指定管理）
泉地区 地域活動センター	羽黒町荒川字谷地堰11-1	62-4303	鉄筋コンクリート造2階建一部鉄骨 2,165㎡ （泉地区自治振興会指定管理）
広瀬地区 地域活動センター	羽黒町後田字下田元237	62-2129	木造一部鉄骨造平屋建 917㎡ （広瀬地区自治振興会指定管理）
羽黒第四地区 地域活動センター	羽黒町上野新田字式反割1-2	62-4280	鉄筋コンクリート造3階建1階部分 1,022.79㎡ （羽黒第四地区自治振興会指定管理）

## 6 櫛引庁舎市長部局

施設名	所在地	電話	備考
鶴岡市櫛引庁舎	上山添字文栄100	57-2111	平成10年竣工 鉄筋コンクリート造3階建 3,335㎡
鶴岡市高齢者活動センター	三千刈字藤掛1	57-2116	鉄骨造平屋建 640㎡
横綱柏戸記念館	三千刈字清和158-1	57-2115	鉄筋コンクリート造平屋建 535㎡
櫛引たらのきだい スキー場	櫛代字西野469-1	57-5470	ゲレンデ 91,077㎡ ペアリフト1基 430m 事務所等 192㎡
ほのかたらのきだい	櫛代字西野469-1	57-4488	木造2階建・渡り廊下 534㎡ ロッジ 732㎡ （株式会社王祇建設指定管理）
くしびき温泉 ゆ～Town	三千刈字清和159	57-4313	鉄筋コンクリート造2階建 1,601㎡ （くしびき温泉ゆ～Town管理運営組合指定管理）
櫛引パーキングエリア 地域拠点施設	板井川字村西40-11	57-5008	木造平屋建 193㎡ 交流広場・駐車場 6,716㎡ （アイビー株式会社鶴岡営業所指定管理）
櫛引情報センター （図書館櫛引分館含む）	上山添字文栄60	57-5681	鉄筋コンクリート造2階建 768㎡
ケーブルテレビジョン	上山添字文栄60	57-3014	鉄筋コンクリート造平屋建 199㎡ （株式会社渡会電気土木指定管理）
黒川能の里王祇会館	黒川字宮の下253	57-5310	鉄骨造平屋建 889㎡ （公益財団法人黒川能保存会指定管理）

## 7 朝日庁舎市長部局

施設名	所在地	電話	備考
鶴岡市朝日庁舎	下名川字落合1	53-2111	昭和45年6月竣工 鉄筋コンクリート造4階建 2,139㎡
鶴岡市朝日庁舎南出張所	上田沢字下中島25	55-2111	鉄筋コンクリート造2階建 276㎡
月山あさひ博物村	越中山字名平3-2	53-3411	文化創造館 木造2階建 611㎡ 収蔵庫 鉄筋コンクリート造 38㎡ (株式会社月山あさひ振興公社指定管理)
あさひ自然体験交流施設	田麦俣字六十里山104-5	54-6450	湯殿山スキー場 店舗・事務所 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造木造2階建 646㎡ 第一ロマンスリフト 890m 第二ロマンスリフト 560m 各リフト乗降場 木造平屋建 53㎡ トイレ・機械室 木造平屋建 87㎡ 旧発券所 木造平屋建 19㎡ (株式会社月山あさひ振興公社指定管理)
		54-6606	あさひ家族キャンプ村 オートキャンプサイト50台 管理棟 木造2階建 333㎡ サニタリー棟 1階鉄筋コンクリート造2階木造311㎡ (株式会社月山あさひ振興公社指定管理)
タキタロウ館	大鳥字高岡55-8	55-2452	木造平屋建 229㎡ (大鳥地区村づくり推進協議会指定管理)
大鳥池避難小屋	大鳥字深谷現114林班ろ小班		木造2階建 206㎡
健康の里ふっくら	熊出字東村156	53-2115	鉄筋コンクリート平屋造 1,263㎡
鶴岡市国民健康保険大網診療所	大網字興屋69-1	54-6005	木造平屋建 184㎡
鶴岡市国民健康保険上田沢診療所	上田沢字下中島25	55-2111	鉄骨造平屋建 173㎡
朝日保育園	下名川字落合5	53-2969	木造平屋建 998㎡ 付属棟 木造平屋建 86㎡ (社会福祉法人朝日ぶなの木会指定管理)
産直あさひ・グー	下名川字落合183	58-1455	鉄骨造2階建 996㎡ (あさひ村直売施設管理運営組合指定管理)
朝日中央コミュニティセンター	下名川字落合220	53-3560	鉄筋コンクリート造一部2階建 2,207㎡ (鶴岡市朝日中央地区自治振興会指定管理)
朝日南部コミュニティセンター	上田沢字船渡3-14	55-2252	木造平屋建 463㎡ (鶴岡市朝日南部地区自治振興会指定管理)
大網地区地域交流センター	大網字興屋38-6	54-6546	交流棟 木造平屋建 285㎡ 渡り廊下 鉄骨造平屋建 11㎡ ホール棟 鉄骨鉄筋コンクリート造2階建 654㎡ (鶴岡市朝日東部地区自治振興会指定管理)

## 8 温海庁舎市長部局

施設名	所在地	電話	備考
鶴岡市温海庁舎	温海戊577-1	43-2111	平成5年7月竣工 鉄筋コンクリート・鉄骨造ステンレス鋼板葺渡廊下付7階建 延床面積 4,214㎡
温海温泉林業センター	湯温海字湯之里88-7	43-2024	昭和58年8月竣工 鉄筋コンクリート造一部3階建 1,462㎡ (温海温泉自治会指定管理)